

本資料内に掲載されている平成 18 年、19 年の統計については、数値の一部に誤りがあります。

修正後の数値は、

[警察庁トップページ](#) > [統計](#) > [捜査活動に関する統計等](#) > [年間の犯罪の「正誤情報」](#)
をご確認ください。

平成19年の犯罪情勢

平成20年5月

警 察 庁

凡 例

1 本資料における用語等の意義は次のとおりである。

(1) 刑法犯

道路上の交通事故に係る業務上（重）過失致死傷及び危険運転致死傷を除いた「刑法」に規定する罪並びに「爆発物取締罰則」、「決闘罪ニ関スル件」、「暴力行為等処罰ニ関スル法律」、「盗犯等ノ防止及処分ニ関スル法律」、「航空機の強取等の処罰に関する法律」、「火炎びんの使用等の処罰に関する法律」、「航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律」、「人質による強要行為等の処罰に関する法律」、「流通食品への毒物の混入等の防止等に関する特別措置法」、「サリン等による人身被害の防止に関する法律」、「組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律」、「公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律」及び「公衆等脅迫目的の犯罪行為のための資金の提供等の処罰に関する法律」に規定する罪をいう。

(2) 包括罪種

刑法犯を「凶悪犯」、「粗暴犯」、「窃盗犯」、「知能犯」、「風俗犯」、「その他の刑法犯」の6種に分類したものをいう。

凶悪犯.....殺人、強盗、放火、強姦

粗暴犯.....暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合

窃盗犯.....窃盗

知能犯.....詐欺、横領（占有離脱物横領を除く。）、偽造、汚職、背任、「公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律」に規定する罪

風俗犯.....賭博、わいせつ

その他の刑法犯.....公務執行妨害、住居侵入、逮捕・監禁、器物損壊、占有離脱物横領等上記に掲げるもの以外の刑法犯

(3) 認知件数

警察において発生を認知した事件の数をいう。

(4) 検挙件数

刑法犯において警察で検挙した事件の数をいい、特に断りのない限り、解決事件の件数を含む。

(5) 検挙人員

警察において検挙した事件の被疑者の数をいい、解決事件に係る者を含まない。

(6) 解決事件（件数）

刑法犯として認知され、既に統計に計上されている事件であって、これを捜査した結果、刑事責任無能力者の行為であること、基本事実がないことその他の理由により犯罪が成立しないこと又は訴訟条件・処罰条件を欠くことが確認された事件（件数）をいう。

(7) 検挙率

認知件数に対する検挙件数の割合を百分率で表したものをいい、その算式は次による。

$$\text{検挙率} = \frac{\text{検挙件数（当該年以前の認知事件の検挙を含む。）}}{\text{当該年の認知件数}} \times 100$$

(8) 未遂罪及び予備罪は、それぞれの既遂の罪に含めている。

(9) 成人事件、少年事件、成人少年共犯事件

成人事件とは20歳以上の者が犯した事件を、少年事件とは14歳以上20歳未満の者が犯した事件をいい、両者の共犯事件を成人少年共犯事件という。

(10) 少年の検挙人員

特に断りのない限り、犯行時及び処理時の年齢がともに14歳以上20歳未満の少年の検挙人員をいう。

(11) 犯罪手口の名称変更

平成16年から、「部品盗」を「部品ねらい」に、「自動販売機荒し」を「自動販売機ねらい」に、「空き巣ねらい」を「空き巣」に改めた。

(12) 発生場所

ア 「共同住宅（4階建以上）」とは、中高層（4階建以上）住宅とし、「共同住宅（3階建以下）」とは、その他の住宅（住宅のうち、一戸建住宅及び中高層（4階建以上）住宅を除く）とした。

イ 「一般事務所」とは、その他の会社・事務所とした。

ウ 「商店」とは、デパート、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ディスカウントストア、その他のスーパーマーケット、レンタルビデオ店、貴金属店、古物店、給油所及びその他の商店（平成15年以前は、デパート、スーパーマーケット、レンタルビデオ店、貴金属店、古物店、給油所及びその他の商店）とした。

エ 「生活環境営業」とは、一般ホテル・旅館、サウナ等公衆浴場、映画館劇場等、ぱちんこ屋・まあじゃん屋等、景品交換所、ゲームセンター、その他の風俗営業店、個室付浴場、モーテル・ラブホテル等、その他の店舗型性風俗特殊営業店、深夜飲食店、その他の飲食店（平成15年以前は、景品交換所の区分はない）とした。

オ 「金融機関等」とは、質屋、貸金業、銀行、郵便局、信用金庫・組合及び農（漁）業協同組合とした。

カ 「公共交通機関等」とは、地下鉄内、新幹線内、その他の列車内、駅、その他の鉄道施設、航空機内、空港、船舶内、海港及びバス内（平成15年以前は、地下鉄内の区分はない）とした。

キ 「その他の交通機関」とは、タクシー内及びその他の自動車内（平成15年以前は、タクシー内の区分はない）とした。

ク 「その他の街頭」とは、地下街・地下道路及び高速道路とした。

ケ 「街頭」とは、道路上、駐車（輪）場、都市公園、空き地、公共交通機関等、その他の交通機関及びその他の街頭とした。

コ 「学校（幼稚園）」には、学校教育法第1条に掲げる学校（小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、大学、高等専門学校、盲学校、聾学校、養護学校、幼稚園）、同法第82条の2の専修学校及び同法第83条の各種学校のほか、その実態が幼稚園と同視されるような保育所を含む。

サ 「都市公園」とは、都市公園法第2条に規定する公園及び緑地で、同法第2条の2の規定に基づき設置されたものをいう。

(13) 来日外国人

来日外国人とは、我が国にいる外国人のうち、いわゆる定着居住者（永住権を有する者等）、在日米軍関係者及び在留資格不明の者以外の者をいう。

(14) 暴力団構成員等

暴力団構成員等には、暴力団構成員のほか、準構成員を含む。

(15) 高齢者

高齢者とは、65歳以上の者とした。

2 本資料の分析は、犯罪統計及び実務統計による（実務統計とは、警察庁において特別調査により集計する数値である。）。

3 本資料中の図表による構成比については、四捨五入の関係で、合計の数値と内訳の数値の計が一致しない場合がある。

4 本資料中の事例の検挙月日は、特に断りのない限り、平成19年である。

目 次

第 1 全刑法犯の概況

- 1 刑法犯の認知・検挙状況の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 刑法犯の被害状況の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

第 2 街頭犯罪・侵入犯罪の特徴的傾向

- 1 街頭犯罪・・ 7
 - (1) 路上強盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - (2) ひったくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
 - (3) 街頭における強姦・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
 - (4) 街頭における強制わいせつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
 - (5) 街頭における略取・誘拐・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
 - (6) 街頭における暴行・傷害・恐喝・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
 - (7) 自動車盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
 - (8) オートバイ盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
 - (9) 自転車盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
 - (10) 車上ねらい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
 - (11) 部品ねらい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
 - (12) 自動販売機ねらい・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
- 2 侵入犯罪・・ 33
 - (1) 侵入強盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33
 - (2) 侵入窃盗・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
 - (3) 住居侵入・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38

第 3 振り込め詐欺の特徴的傾向

- 1 詐欺の状況・・ 43
- 2 振り込め詐欺（恐喝）の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
 - (1) いわゆるオレオレ詐欺（恐喝）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 44
 - (2) 架空請求詐欺（恐喝）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46
 - (3) 融資保証金詐欺・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48
 - (4) 還付金等詐欺・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
- 3 振り込め詐欺を助長する犯罪・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
 - (1) 預貯金口座等の不正な取得・流通・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
 - (2) 携帯電話の不正な取得・流通・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52

第4 刑法犯の現況

1 重要犯罪	55
(1) 重要犯罪の認知・検挙状況	55
(2) 殺人事件の状況	56
ア 捜査本部設置事件の状況	58
イ 通り魔殺人事件	58
ウ 保険金目的殺人事件	59
エ 被疑者と被害者の関係別検挙件数	60
(3) 強盗事件の状況	61
ア 金融機関・郵便局対象強盗事件	63
イ 消費者金融対象強盗事件	65
ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件	66
エ ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件	67
オ ぱちんこ景品買取所対象強盗事件	67
カ 現金輸送車対象強盗事件	68
キ タクシー対象強盗事件	69
ク 強盗の手口別認知・検挙状況	70
(4) 主な性犯罪の状況	71
(5) 略取誘拐・人身売買事件の状況	73
(6) 放火事件の状況	75
2 重要窃盗犯	77
(1) 重要窃盗犯の認知・検挙状況	77
(2) 組織窃盗事件の状況	80
(3) 建設機械等を使用したATM等を対象とした窃盗事件	82
3 特殊事件・事故	83
(1) 人質立てこもり事件	83
(2) 業務上過失致死傷事件・事故	83
4 構造的な不正事案等	84
(1) 政治・行政をめぐる不正事案	84
ア 贈収賄事件	84
イ 談合・競売入札妨害事件	85
ウ 公職選挙法違反事件	85
エ 公務員犯罪	89
(2) 経済をめぐる不正事案	89
ア 企業犯罪	89

イ	金融関連犯罪	90
(3)	通貨偽造犯罪及びその他の知能犯罪	92
ア	通貨偽造犯罪	92
イ	その他の知能犯罪	93
5	風俗犯の認知・検挙状況	94
(1)	強制わいせつの認知・検挙状況	94
(2)	公然わいせつの認知・検挙状況	94
(3)	わいせつ物頒布等の認知・検挙状況	94
(4)	賭博の認知・検挙状況	95
6	その他の特徴的な犯罪	96
(1)	高齢者による犯罪	96
(2)	薬物常用者による犯罪	97
(3)	銃砲刀剣類等を使用した犯罪	98
(4)	カードの窃盗被害の状況等とカード使用犯罪	100
ア	カードの窃盗被害の状況	100
イ	カード偽造犯罪の認知・検挙状況	101
ウ	カードを使用した窃盗及び詐欺の状況	102
(5)	その他	103
ア	暴行・傷害の認知・検挙状況	103
イ	万引き・置引きの認知・検挙状況	104
ウ	公務執行妨害の認知・検挙状況	105
エ	器物損壊の認知・検挙状況	106
7	少年による犯罪	107
(1)	少年の刑法犯検挙状況	107
(2)	刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況	108
(3)	触法少年（刑法）の補導状況	109
8	来日外国人による犯罪	110
(1)	刑法犯の検挙状況	110
(2)	国籍・地域別刑法犯検挙状況	110
(3)	凶悪犯の検挙状況	111
(4)	刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況	112
(5)	不法滞在者・正規滞在者の検挙状況	113
9	暴力団による犯罪	114
(1)	暴力団構成員等の状況	114
(2)	暴力団構成員等の刑法犯の検挙状況	115

10	女性・子ども・高齢者を主たる被害者とする犯罪	1 1 7
(1)	女性を主たる被害者とする犯罪	1 1 7
ア	女性の犯罪被害の状況	1 1 7
イ	年齢層別の犯罪被害の状況	1 1 8
ウ	場所別被害の発生状況	1 1 9
エ	配偶者による暴力事件	1 2 0
(2)	子どもを主たる被害者とする犯罪	1 2 1
ア	子どもの犯罪被害の状況	1 2 1
イ	就学別の犯罪被害の状況	1 2 3
ウ	場所別被害の発生状況	1 2 3
エ	子ども対象・暴力的性犯罪被害の状況	1 2 4
(3)	高齢者を主たる被害者とする犯罪	1 2 5
ア	高齢者の犯罪被害の状況	1 2 5
イ	場所別被害の発生状況	1 2 7

第 5 資料

1	刑法犯の認知・検挙状況の推移	1 3 1
2	刑法犯の罪種別犯罪率の推移	1 3 2
3	刑法犯の都道府県別認知件数の推移	1 3 4
4	刑法犯の都道府県別検挙件数の推移	1 3 6
5	刑法犯の都道府県別検挙人員の推移	1 3 8
6	刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移	1 4 0
7	凶悪犯の罪種別認知・検挙状況の推移	1 4 0
8	粗暴犯の罪種別認知・検挙状況の推移	1 4 2
9	窃盗犯の手口別認知・検挙状況の推移	1 4 2
10	侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	1 4 4
11	乗り物盗の手口別認知・検挙状況の推移	1 4 4
12	非侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	1 4 6
13	知能犯の罪種別認知・検挙状況の推移	1 4 6
14	風俗犯の罪種別認知・検挙状況の推移	1 4 8
15	その他の刑法犯の罪種別認知・検挙状況の推移	1 4 8
16	街頭犯罪・侵入犯罪の認知・検挙状況の推移	1 5 0
17	来日外国人刑法犯の罪種・手口別検挙状況の推移	1 5 2
18	来日外国人刑法犯の国籍別検挙状況の推移	1 5 4
19	刑法犯の発生場所別認知件数(全刑法犯、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯)	1 5 6
20	刑法犯の発生場所別認知件数(非侵入窃盗、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯)	1 5 8

*	図表索引	1 6 1
---	------	-------

第 1 全刑法犯の概況

1 刑法犯の認知・検挙状況の推移

刑法犯の認知件数は、平成14年まで7年連続して戦後最多を記録していたが、平成15年は前年に比べ2.2%減少し、以後、平成16年は8.1%、平成17年は11.5%、平成18年は9.6%、平成19年は6.9%（14万2,014件）と5年連続減少した結果、平成19年の認知件数は190万8,836件となった。

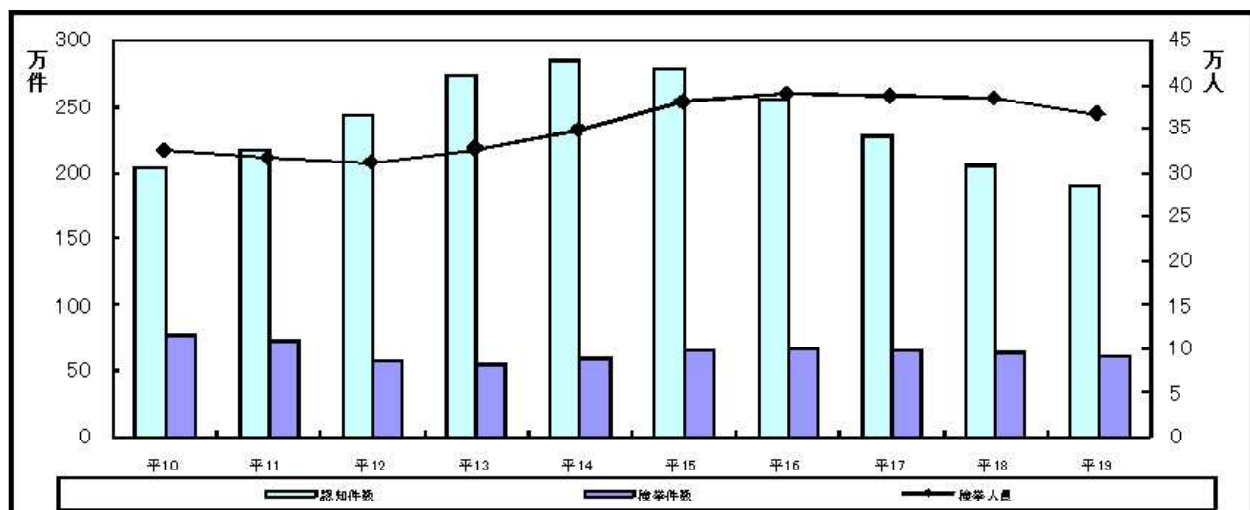
平成19年の認知件数を前年と比較すると、減少件数が多いものとして、車上ねらい、空き巣、部品ねらい、オートバイ盗等がある。一方、増加件数の多いものとして自転車盗がある。

検挙件数は、平成11年以降減少したのち、平成14年以降は増加していたが、平成17年に再び減少に転じ、平成19年にあっても60万5,358件と、前年に比べ3万5,299件（5.5%）減少している。その中でも、減少件数が多いものとして、占有離脱物横領、車上ねらい等がある。一方、増加件数の多いものとして暴行、ひったくり等がある。

検挙人員は、平成13年以降増加していたが、平成17年に減少に転じ、平成19年にあっても36万5,577人と、前年に比べ1万8,673人（4.9%）減少している。その中でも、減少人数が多いものとして、占有離脱物横領、万引き、自転車盗等がある。一方、増加人数の多いものとして、暴行等がある。

検挙率は、平成7年以降低下傾向にあったが、平成14年以降上昇に転じ、平成19年にあっても31.7%と、前年に比べ0.5ポイント上昇している（図表1-1）。

図表1-1 刑法犯の認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件(人)数	率(%)
認知件数	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	-142,014	-6.9
検挙件数	772,282	731,284	576,771	542,115	592,359	648,319	667,620	649,503	640,657	605,358	-35,299	-5.5
検挙人員	324,263	315,355	309,649	325,292	347,558	379,602	389,027	386,955	384,250	365,577	-18,673	-4.9
うち少年	157,385	141,721	132,336	138,654	141,775	144,404	134,847	123,715	112,817	103,224	-9,593	-8.5
(割合%)	48.5	44.9	42.7	42.6	40.8	38.0	34.7	32.0	29.4	28.2	-1.2	-
うち来日外国人	5,382	5,963	6,329	7,168	7,690	8,725	8,898	8,505	8,148	7,528	-620	-7.6
(割合%)	1.7	1.9	2.0	2.2	2.2	2.3	2.3	2.2	2.1	2.1	0.0	-
うち暴力団構成員	20,207	19,611	19,668	19,650	20,405	20,265	19,472	18,629	18,016	16,621	-1,395	-7.7
(割合%)	6.2	6.2	6.4	6.0	5.9	5.3	5.0	4.8	4.7	4.5	-0.2	-
検挙率	38.0	33.8	23.6	19.8	20.8	23.2	26.1	28.6	31.2	31.7	0.5ポイント	

注：本表の少年、来日外国人及び暴力団構成員等は、対象ごとの検挙人員及び占める割合を記述したもので、検挙人員は重複するものもある。

2 刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移

平成19年の刑法犯の認知件数を包括罪種別にみると、前年に比べ、凶悪犯は1,073件（10.6%）、粗暴犯は3,395件（4.4%）、窃盗犯は10万4,572件（6.8%）、知能犯は8,272件（9.8%）、風俗犯は748件（6.3%）それぞれ減少している。

刑法犯認知件数全体に占める割合を包括罪種別にみると、凶悪犯は0.5%、粗暴犯は3.8%、窃盗犯は74.9%、知能犯は4.0%、風俗犯は0.6%、その他の刑法犯は16.2%となっている。

検挙件数は、前年に比べ、凶悪犯は664件（9.3%）、窃盗犯は2万1,038件（5.1%）、知能犯は3,418件（9.2%）、風俗犯は290件（4.3%）それぞれ減少しているが、粗暴犯は247件（0.5%）増加している。

検挙人員は、前年に比べ、凶悪犯は536人（8.3%）、粗暴犯は342人（0.6%）、窃盗犯は7,208人（3.8%）、知能犯は496人（3.1%）それぞれ減少しているが、風俗犯は18人（0.3%）増加している（図表1-2）。

図表1-2 包括罪種別の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件数	率(%)
刑法犯総数	認知件数(件)	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	-142,014	-6.9
	検挙件数(件)	772,282	731,284	576,771	542,115	592,359	643,319	667,620	649,503	640,657	605,358	-35,299	-5.5
	検挙人員(人)	324,263	315,355	309,649	325,292	347,553	379,602	389,027	386,955	384,250	365,577	-18,673	-4.9
凶悪犯	認知件数	8,253	9,087	10,567	11,967	12,567	13,658	13,064	11,360	10,124	9,051	-1,073	-10.6
	検挙件数	6,991	6,859	7,175	7,320	7,604	8,238	7,924	7,418	7,125	6,461	-664	-9.3
	検挙人員	8,949	7,217	7,488	7,490	7,726	8,362	7,519	7,047	6,459	5,923	-536	-8.3
粗暴犯	認知件数	41,751	43,822	64,418	72,801	76,573	78,759	76,616	73,772	76,303	72,908	-3,395	-4.4
	検挙件数	29,638	28,488	39,211	39,924	40,425	42,296	41,123	44,037	49,409	49,656	247	0.5
	検挙人員	39,755	37,874	50,419	50,428	49,615	49,530	46,801	49,156	54,505	54,183	-342	-0.6
窃盗犯	認知件数	1,789,049	1,910,393	2,131,164	2,340,511	2,377,488	2,235,844	1,981,574	1,725,072	1,534,528	1,429,956	-104,572	-6.8
	検挙件数	597,283	561,148	407,246	367,643	403,872	433,918	447,950	429,038	416,281	395,243	-21,038	-5.1
	検挙人員	181,329	172,147	162,610	168,919	180,725	191,403	195,151	194,119	187,654	180,446	-7,208	-3.8
知能犯	認知件数	59,271	53,528	55,184	53,007	62,751	74,754	99,258	97,500	84,271	75,999	-8,272	-9.8
	検挙件数	55,118	47,827	44,322	37,800	39,384	40,574	36,299	33,151	37,296	33,878	-3,418	-9.2
	検挙人員	11,236	10,562	11,341	11,539	13,173	13,653	14,850	15,053	15,760	15,264	-496	-3.1
風俗犯	認知件数	6,686	7,448	9,801	11,841	12,220	13,034	12,346	12,035	11,932	11,184	-748	-6.3
	検挙件数	5,899	5,438	5,809	6,066	5,633	6,165	6,070	6,422	6,752	6,462	-290	-4.3
	検挙人員	7,239	6,110	6,112	6,166	5,912	5,886	5,688	6,373	6,261	6,279	18	0.3
その他の刑法犯	認知件数	128,536	141,348	172,336	245,485	312,140	374,087	379,909	349,504	333,692	309,738	-23,954	-7.2
	検挙件数	77,353	81,524	73,008	83,362	94,941	117,128	128,249	124,437	123,794	113,858	-10,136	-8.2
	検挙人員	77,705	81,445	71,679	80,750	90,407	110,768	119,018	115,207	113,611	103,502	-10,109	-8.9

3 刑法犯の被害状況の推移

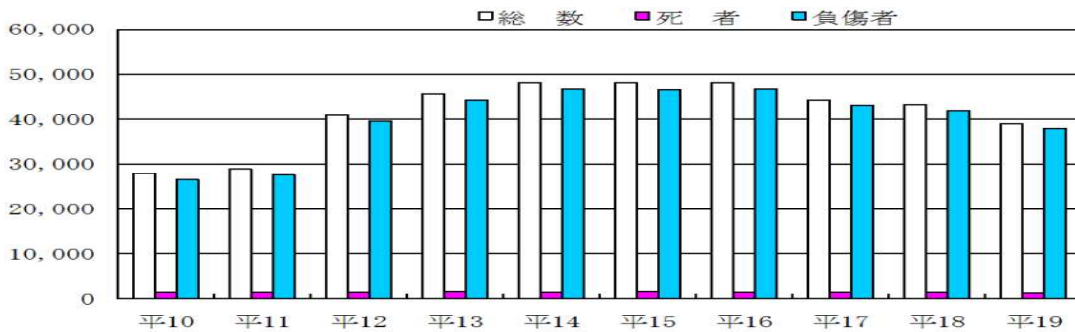
刑法犯の死傷被害者数は、平成9年以降増加し、平成14年からは4万8千人台で推移していたが、平成17年に減少に転じ、平成19年においても3万9,022人と、前年に比べ4,138人（9.6%）減少している。

平成19年における死傷被害者数の内訳をみると、死者は1,134人で、前年に比べ150人（11.7%）、負傷者は3万7,888人で、前年に比べ3,988人（9.5%）それぞれ減少している（図表1-3-(1)）。

財産犯の被害額は、平成11年以降増加していたが、平成15年に減少に転じ、平成19年においても約2,285億9,400万円と、前年に比べ約172億4,600万円（7.0%）減少している。

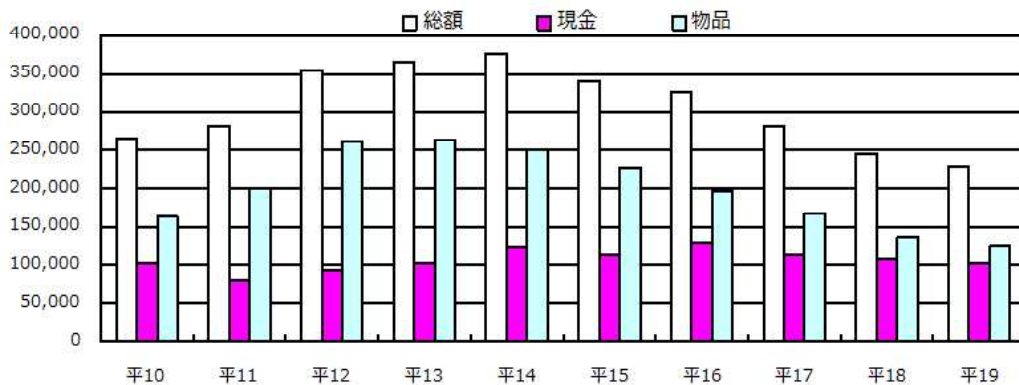
平成19年における財産犯の被害の内訳をみると、現金の被害は約1,022億4,500万円で、前年に比べ約57億6,500万円（5.3%）、物品の被害は約1,263億4,900万円で、前年に比べ約114億8,100万円（8.3%）それぞれ減少している（図表1-3-(2)）。

単位：人 図表1-3-(1) 刑法犯 死傷被害者数の推移



区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												人数	率 (%)
総数		27,928	28,973	40,897	45,778	48,130	48,097	48,190	44,465	43,160	39,022	-4,138	-9.6
死者		1,350	1,334	1,345	1,441	1,368	1,432	1,397	1,354	1,284	1,134	-150	-11.7
負傷者		26,578	27,639	39,552	44,337	46,762	46,665	46,793	43,111	41,876	37,888	-3,988	-9.5

単位：百万円 図表1-3-(2) 財産犯 被害額の推移



区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												金額	率 (%)
総額		265,185	280,684	354,388	366,539	375,881	339,787	325,846	280,536	245,840	228,594	-17,246	-7.0
現金		102,003	81,024	92,812	103,026	124,948	113,321	128,928	113,386	108,010	102,245	-5,765	-5.3
物品		163,182	199,660	261,576	263,513	250,933	226,466	196,918	167,150	137,830	126,349	-11,481	-8.3

(単位：百万円)

(裏面)

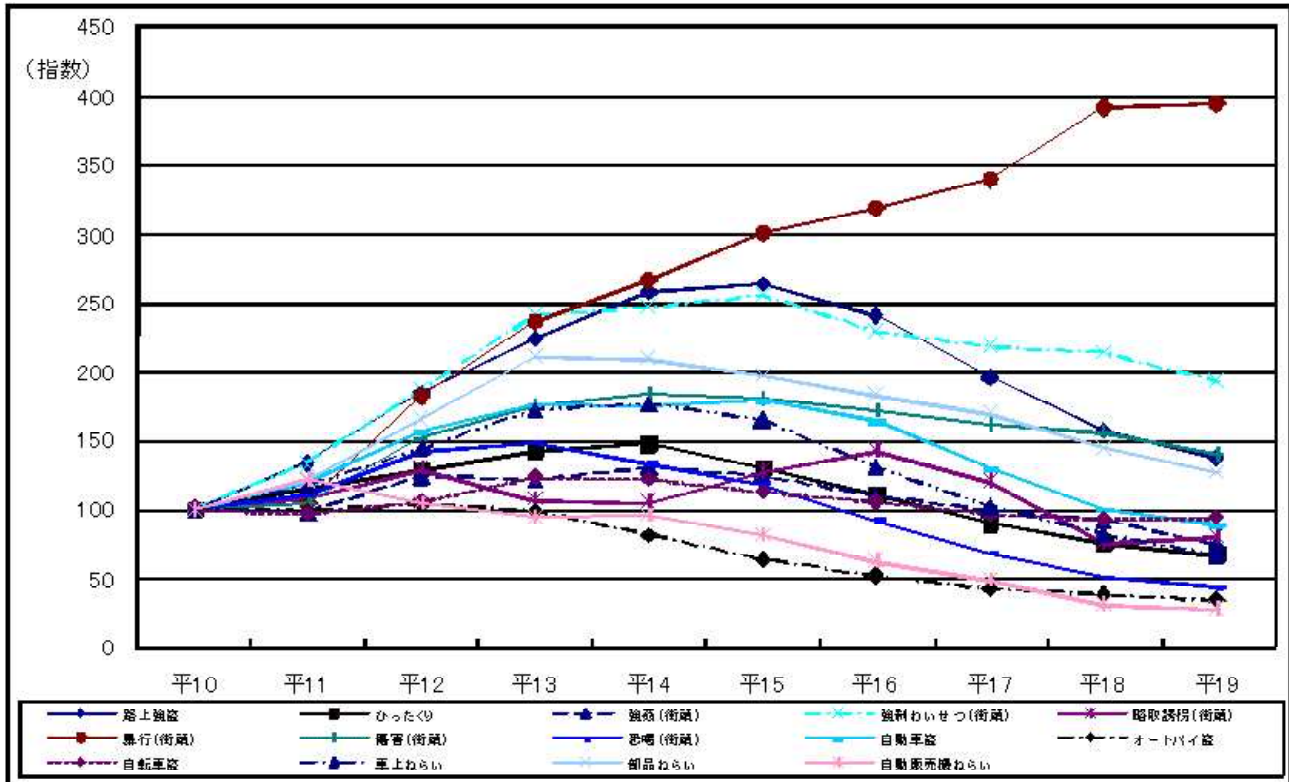
第2 街頭犯罪・侵入犯罪の特徴的傾向

(裏面)

1 街頭犯罪

平成19年の主な街頭犯罪の認知件数は、前年に比べ、自転車盗、街頭における暴行及び街頭における略取・誘拐を除き減少している。特に、街頭における強姦、車上ねらい、街頭における恐喝、路上強盗、部品ねらい、自動車盗、ひったくり及びオートバイ盗は大幅に減少している（図表2-1）。

図表2-1 街頭犯罪の認知状況の推移



区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
		指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	指数	件数	率(%)
路上強盗	(指数)	1,119	1,495	2,070	2,509	2,888	2,955	2,695	2,192	1,759	1,537	-222	-12.6
ひったくり	(指数)	35,783	41,173	46,064	50,838	52,919	46,354	39,399	32,017	26,828	23,687	-3,141	-11.7
強姦(街頭)	(指数)	888	648	825	806	889	832	732	663	612	495	-117	-19.1
強姦(わいせつ)(街頭)	(指数)	2,399	3,196	4,475	5,786	5,915	6,145	5,510	5,254	5,131	4,640	-491	-9.6
略取誘拐(街頭)	(指数)	166	181	216	179	175	213	237	199	126	134	8	6.3
暴行(街頭)	(指数)	4,801	5,051	8,734	11,352	12,814	14,477	15,319	16,332	18,816	18,993	177	0.9
傷害(街頭)	(指数)	11,157	11,687	16,965	19,400	20,465	20,098	19,218	17,961	17,373	15,665	-1,708	-9.8
恐喝(街頭)	(指数)	9,344	10,419	13,230	13,856	12,514	11,089	8,534	6,346	4,690	4,042	-648	-13.8
自動車盗	(指数)	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	-4,268	-11.8
オートバイ盗	(指数)	246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	154,979	126,717	104,155	93,294	83,028	-10,266	-11.0
自転車盗	(指数)	423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	476,589	444,268	406,104	388,463	395,344	6,881	1.8
車上ねらい	(指数)	252,092	294,635	362,762	432,140	443,298	414,819	328,921	256,594	205,744	168,129	-37,615	-18.3
部品ねらい	(指数)	61,192	73,824	101,338	129,380	128,539	120,726	112,161	103,772	88,739	78,016	-10,723	-12.1
自動車販売場ねらい	(指数)	181,444	222,328	190,490	170,470	174,718	147,873	112,965	88,180	55,981	50,846	-5,135	-9.2

注：指数は、平成10年を100とした場合の値である。

(1) 路上強盗

路上強盗の認知件数は、平成8年以降増加し、平成15年には平成7年の4.8倍となったが、平成16年以降3年連続して減少し、平成19年にあっても1,537件と、前年に比べ222件（12.6%）減少している。

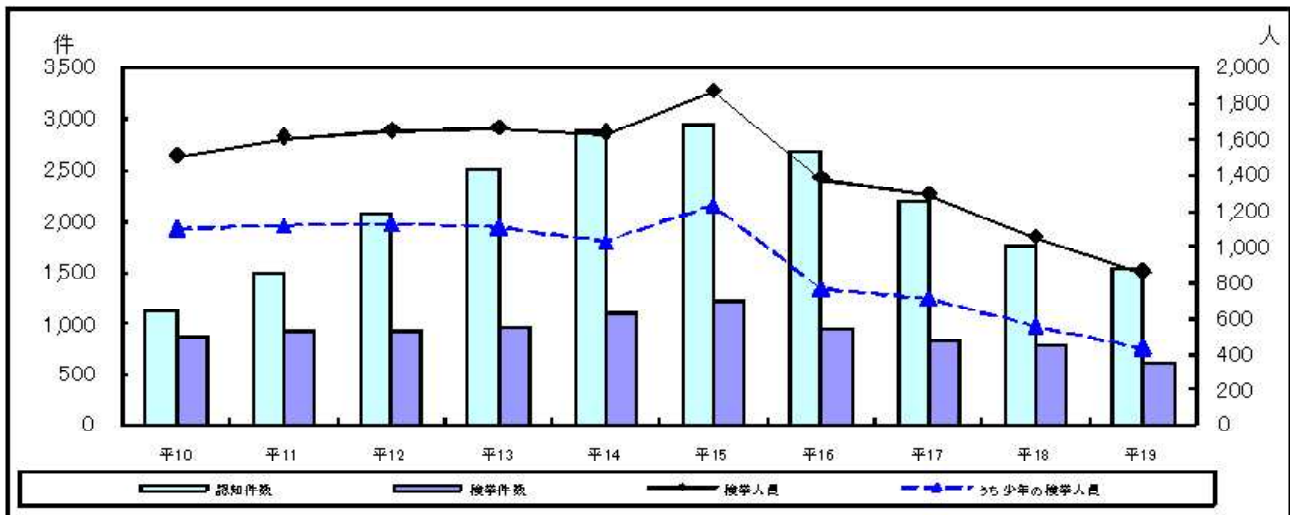
検挙件数、検挙人員は、平成7年から増加していたが、平成16年以降、検挙件数、検挙人員はともに減少し、平成19年にあっても検挙件数は621件と、前年に比べ167件（21.2%）、検挙人員は855人と、前年に比べ198人（18.8%）とともに減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は、平成10年には73.1%を占めたが、以後減少しており、平成19年は、検挙人員全体の50.4%（前年に比べ2.1ポイント低下）となっている（図表2-1-(1)-1）。

平成19年に認知した事件をみると、発生場所は道路上、発生時間帯は午前0時から午前2時、被害者は20歳代の女性が最も多い（図表2-1-(1)-2、3、4）。

検挙した事件をみると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多く、被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段は、その他・該当なしを除くと自動車を利用したものが最も多い（図表2-1-(1)-5、6）。

図表2-1-(1)-1 路上強盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件(人)	率(%)
認知件数	1,119	1,495	2,070	2,509	2,888	2,955	2,695	2,192	1,759	1,537	-222	-12.6
うち未遂	89	84	96	126	154	186	155	148	103	94	-9	-8.7
検挙件数	873	925	930	962	1,104	1,226	955	836	788	621	-167	-21.2
検挙人員	1,503	1,809	1,645	1,658	1,631	1,885	1,377	1,285	1,053	855	-198	-18.8
うち少年	1,098	1,111	1,122	1,103	1,027	1,227	763	707	553	431	-122	-22.1
(割合%)	73.1	69.0	68.2	66.5	63.0	65.8	55.4	55.0	52.5	50.4	-2.1	-
検挙率	78.0	61.9	44.9	38.6	38.2	41.5	35.4	38.1	44.8	40.4	-4.4	ポイント

図表 2 - 1 - (1) - 2 路上強盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
認知件数		1,759	100.0	1,537	100.0	-222	-12.6
街頭		1,684	95.7	1,480	96.3	-204	-12.1
道路上		1,451	82.5	1,289	83.9	-162	-11.2
駐車(輸)場		169	9.6	143	9.3	-26	-15.4
都市公園		43	2.4	37	2.4	-6	-14.0
空き地		10	0.6	2	0.1	-8	-80.0
公共交通機関等		9	0.5	5	0.3	-4	-44.4
その他の交通機関		0	0.0	3	0.2	3	—
その他の街頭		2	0.1	1	0.1	-1	-50.0
その他		75	4.3	57	3.7	-18	-24.0

図表 2 - 1 - (1) - 3 路上強盗の発生時間帯別認知件数

年次	時間	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
平18		372	228	114	35	30	42	47	42	66	141	252	390	0	1,759
平19		323	200	102	28	39	48	39	40	51	135	215	317	0	1,537
	(割合%)	21.0	13.0	6.6	1.8	2.5	3.1	2.5	2.6	3.3	8.8	14.0	20.6	0.0	100.0
増減	件数	-49	-28	-12	-7	9	6	-8	-2	-15	-6	-37	-73	0	-222
	率 (%)	-13.2	-12.3	-10.5	-20.0	30.0	14.3	-17.0	-4.8	-22.7	-4.3	-14.7	-18.7	0.0	-12.6

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (1) - 4 路上強盗の被害者の年齢・性別認知件数(平成19年)

認知件数	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
男性	819	175	281	131	102	92	58
(割合%)	53.4	11.4	17.0	8.5	6.6	6.0	3.8
女性	716	110	282	110	54	49	131
(割合%)	46.6	7.2	17.1	7.2	3.5	3.2	8.5

注1：被害者が団体・法人のものを除く。

注2：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

図表 2 - 1 - (1) - 5 路上強盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数		776	100.0	607	100.0	-169	-21.8
成人事件の総数		469	60.4	370	61.0	-99	-21.1
単独		263	56.1	242	65.4	-21	-8.0
共犯		206	43.9	128	34.6	-78	-37.9
少年事件の総数		222	28.6	175	28.8	-47	-21.2
単独		33	14.9	29	16.6	-4	-12.1
共犯		189	85.1	146	83.4	-43	-22.8
成人・少年共犯事件の総数		85	11.0	62	10.2	-23	-27.1

注：解決事件を除く。

図表 2 - 1 - (1) - 6 路上強盗の検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段

区分	年次	平18		平19		増減	
		検挙件数	割合 (%)	検挙件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数		776	100.0	607	100.0	-169	-21.8
自動車		373	48.1	212	34.9	-161	-43.2
うち盗難自動車		66	8.5	44	7.2	-22	-33.3
自二車・原付車		78	10.1	61	10.0	-17	-21.8
うち盗難自二車・原付車		15	1.9	16	2.6	1	6.7
自転車		52	6.7	65	10.7	13	25.0
その他・該当なし		273	35.2	269	44.3	-4	-1.5

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

(2) ひったくり

ひったくりの認知件数は、平成3年以降増加し、平成14年には平成2年の5.2倍となったが、平成15年以降4年連続して減少し、平成19年にあっても2万3,687件と、前年に比べ3,141件（11.7%）減少している。

検挙件数は、平成15年以降減少していたが、平成19年にあっては1万1,321件と、前年に比べ1,231件（12.2%）増加している。

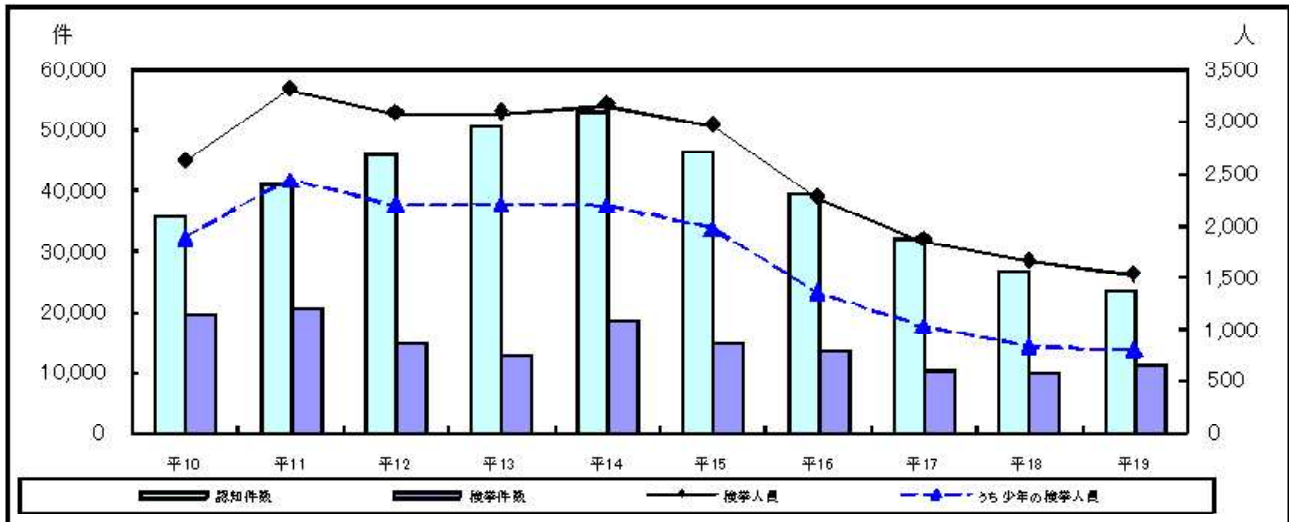
検挙人員は、平成15年以降減少し、平成19年にあっても1,524人と、前年に比べ128人（7.7%）減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は減少傾向にあったが、平成19年は796人で、検挙人員全体の52.2%（前年に比べ1.7ポイント上昇）となっている（図表2 - 1 - (2) - 1）。

平成19年に認知した事件をみると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後8時から午後10時、被害者は60歳以上の女性が最も多い（図表2 - 1 - (2) - 2、3、4）。

検挙した事件をみると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多く、被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段は、自動二輪車・原動機付自転車を利用したものが最も多い（図表2 - 1 - (2) - 5、6）。

図表 2 - 1 - (2) - 1 ひったくりの認知・検挙状況の推移



区分	年次											増減	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件(人)数	率(%)	
認知件数	35,763	41,173	46,064	50,838	52,919	46,354	39,399	32,017	26,828	23,687	-3,141	-11.7	
うち未遂	1,286	1,631	2,320	2,718	3,027	3,031	2,489	1,903	1,665	1,416	-249	-15.0	
検挙件数	19,636	20,597	14,796	12,925	18,434	14,861	13,561	10,406	10,090	11,321	1,231	12.2	
検挙人員	2,605	3,304	3,072	3,078	3,158	2,953	2,259	1,851	1,652	1,524	-128	-7.7	
うち少年	1,871	2,420	2,179	2,190	2,166	1,957	1,352	1,025	834	796	-38	-4.6	
(割合%)	71.8	73.2	70.9	71.2	68.6	66.3	59.8	55.4	50.5	52.2	1.7	-	
検挙率	54.9	50.0	32.1	25.4	34.8	32.1	34.4	32.5	37.6	47.8	10.2	ポイント	

図表 2 - 1 - (2) - 2 ひったくりの発生場所別認知件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		26,828	100.0	23,687	100.0	-3,141	-11.7
街頭		26,315	98.1	23,215	98.0	-3,100	-11.8
道路上		25,953	96.7	22,872	96.6	-3,081	-11.9
駐車(輪)場		264	1.0	268	1.1	4	1.5
都市公園		28	0.1	25	0.1	-3	-10.7
空き地		1	0.0	2	0.0	1	100.0
公共交通機関等		58	0.2	42	0.2	-16	-27.6
その他の交通機関		0	0.0	0	0.0	0	-
その他の街頭		11	0.0	6	0.0	-5	-45.5
その他		513	1.8	472	2.0	-41	-8.0

図表 2 - 1 - (2) - 3 ひったくりの発生時間帯別認知件数

年次	時間	0~2時	2~4時	4~6時	6~8時	8~10時	10~12時	12~14時	14~16時	16~18時	18~20時	20~22時	22~24時	不明	総数
		平18	2,216	983	759	1,010	1,122	1,597	1,734	1,804	2,129	4,114	5,181	4,170	
平19		2,083	897	591	694	941	1,547	1,540	1,805	1,858	3,553	4,639	3,738	1	23,687
(割合%)		8.8	3.8	2.5	2.9	4.0	6.5	6.5	6.8	7.8	15.0	19.6	15.8	0.0	100.0
増減		-133	-86	-168	-316	-181	-50	-194	-199	-271	-561	-542	-432	-8	-3,141
率(%)		-6.0	-8.7	-22.1	-31.3	-16.1	-3.1	-11.2	-11.0	-12.7	-13.6	-10.5	-10.4	-88.9	-11.7

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (2) - 4 ひったくりの被害者の年齢・性別認知件数（平成19年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	23,681	1,583	5,100	3,174	2,709	3,891	7,224
男性 (割合%)	1,812 7.7	176 0.7	328 1.4	259 1.1	251 1.1	317 1.3	431 2.0
女性 (割合%)	21,869 92.3	1,407 5.9	4,772 20.2	2,915 12.3	2,458 10.4	3,574 15.1	6,743 28.5

注1：被害者が団体・法人のものを除く。

注2：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

図表 2 - 1 - (2) - 5 ひったくりの共犯形態別検挙件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数		10,032	100.0	11,227	100.0	1,195	11.9
成人事件の総数		7,209	71.9	9,178	81.7	1,969	27.3
単独		5,724	79.4	7,959	86.7	2,235	39.0
共犯		1,485	20.6	1,219	13.3	-266	-17.9
少年事件の総数		2,323	23.2	1,523	13.6	-800	-34.4
単独		711	30.6	586	38.5	-125	-17.6
共犯		1,612	69.4	937	61.5	-675	-41.9
成人・少年共犯事件の総数		500	5.0	526	4.7	26	5.2

注：解決事件を除く。

図表 2 - 1 - (2) - 6 ひったくりの検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段

区分	年次	平18		平19		増減	
		検挙件数	割合 (%)	検挙件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数		10,032	100.0	11,227	100.0	1,195	11.9
自動車		952	9.5	556	5.0	-396	-41.6
うち盗難自動車		276	2.8	179	1.6	-97	-35.1
自二車・原付車		7,087	70.4	9,236	82.3	2,169	30.7
うち盗難自二車・原付車		3,631	36.2	3,761	33.5	130	3.6
自転車		1,285	12.8	721	6.4	-564	-43.9
その他・該当なし		728	7.3	714	6.4	-14	-1.9

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

(3) 街頭における強姦

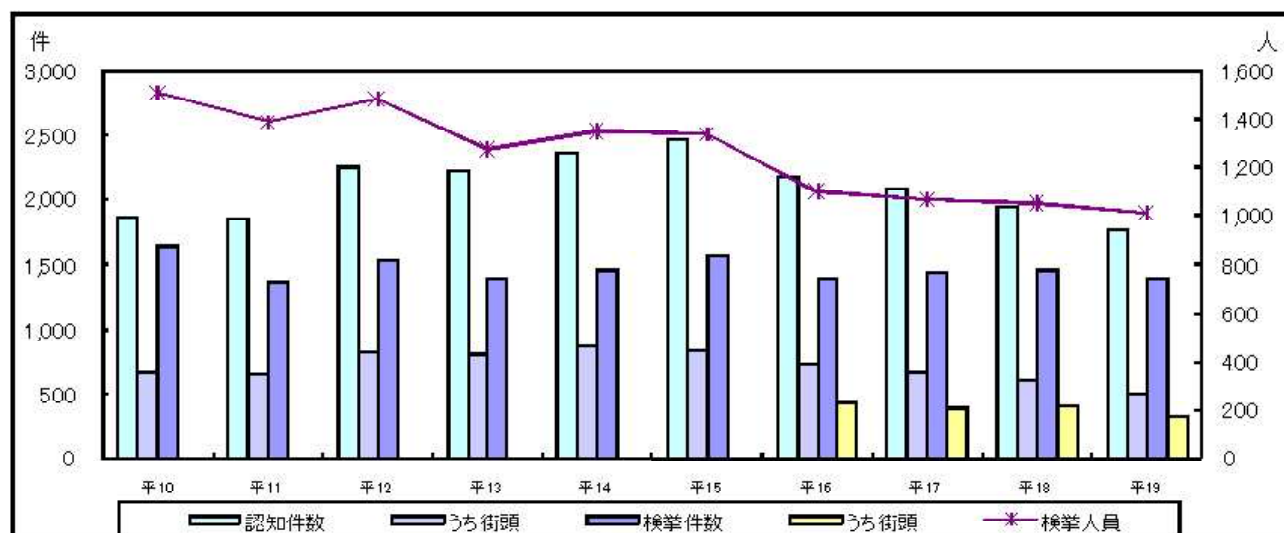
強姦の認知件数は、平成15年まで増加傾向にあったが、平成16年以降3年連続して減少し、平成19年にあっても1,766件と、前年に比べ182件（9.3%）減少している。うち街頭における認知は495件で、強姦全体の28.0%を占めており、前年に比べ117件（19.1%）減少している。

検挙件数、検挙人員は1,500件（人）前後で推移していたが、平成16年以降、検挙人員は千人前後に減少している。平成19年の検挙件数は1,394件で、前年に比べ66件（4.5%）うち街頭における事件の検挙は329件で、前年に比べ79件（19.4%）ともに減少しており、検挙人員も1,013人で、前年に比べ45人（4.3%）減少している（図表 2 - 1 - (3) - 1）。

平成19年に街頭において発生した事件をみると、発生場所はその他を除くと、道路上、発生時間帯は午前0時から午前2時、被害女性は20歳未満が最も多い（図表 2 - 1 - (3) - 2、3、4）。

検挙した事件をみると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表 2 - 1 - (3) - 5）。

図表 2 - 1 - (3) - 1 強姦の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率 (%)
認知件数		1,873	1,857	2,260	2,228	2,357	2,472	2,176	2,076	1,948	1,766	-182	-9.3
	うち街頭	668	648	825	806	869	832	732	663	612	495	-117	-19.1
	うち未遂	189	137	172	149	148	158	161	138	153	87	-66	-43.1
検挙件数		1,652	1,369	1,540	1,404	1,468	1,569	1,403	1,443	1,460	1,394	-66	-4.5
	うち街頭	-	-	-	-	-	-	438	394	408	329	-79	-19.4
検挙人員		1,512	1,392	1,486	1,277	1,355	1,342	1,107	1,074	1,058	1,013	-45	-4.3
検挙率		88.2	73.7	68.1	63.0	62.3	63.5	64.5	69.5	74.9	78.9	4.0ポイント	

図表 2 - 1 - (3) - 2 街頭における強姦の発生場所別認知件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
認知件数		1,948	100.0	1,766	100.0	-182	-9.3
街頭		612	31.4	495	28.0	-117	-19.1
	道路上	241	12.4	179	10.1	-62	-25.7
	駐車(輪)場	190	9.8	136	7.7	-54	-28.4
	都市公園	30	1.5	41	2.3	11	36.7
	空き地	42	2.2	43	2.4	1	2.4
	公共交通機関等	16	0.8	7	0.4	-9	-56.3
	その他の交通機関	92	4.7	86	4.9	-6	-6.5
	その他の街頭	1	0.1	3	0.2	2	200.0
その他		1,336	68.6	1,271	72.0	-65	-4.9

図表 2 - 1 - (3) - 3 街頭における強姦の発生時間帯別認知件数

年次	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
平18	111	96	47	12	8	8	10	16	23	69	90	115	2	612
平19	104	76	34	8	7	8	14	19	22	41	72	88	2	495
(割合%)	21.0	15.4	6.9	1.6	1.4	1.6	2.8	3.8	4.4	8.3	14.5	17.8	0.4	100.0
増減	-7	-20	-13	-4	-1	0	4	3	-6	-23	-18	-27	0	-117
率(%)	-6.3	-20.8	-27.7	-33.3	-12.5	0.0	40.0	18.8	-21.4	-40.6	-20.0	-23.5	0.0	-19.1

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (3) - 4 街頭における強姦の被害者の年齢別認知件数（平成19年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	495	265	174	42	10	4	0
(割合%)	100.0	53.5	35.2	8.5	2.0	0.8	0.0

注：主たる被害者の年齢を計上している。

図表 2 - 1 - (3) - 5 強姦の共犯形態別検挙件数

区分	年次		平18		平19		増減	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数	1,379	100.0	1,281	100.0	-98	-7.1		
成人事件の総数	1,287	93.3	1,181	92.2	-106	-8.2		
単独	1,218	94.6	1,111	94.1	-107	-8.8		
共犯	69	5.4	70	5.9	1	1.4		
少年事件の総数	84	6.1	81	6.3	-3	-3.6		
単独	69	82.1	69	85.2	0	0.0		
共犯	15	17.9	12	14.8	-3	-20.0		
成人・少年共犯事件の総数	8	0.6	19	1.5	11	137.5		

注：解決事件を除く。

(4) 街頭における強制わいせつ

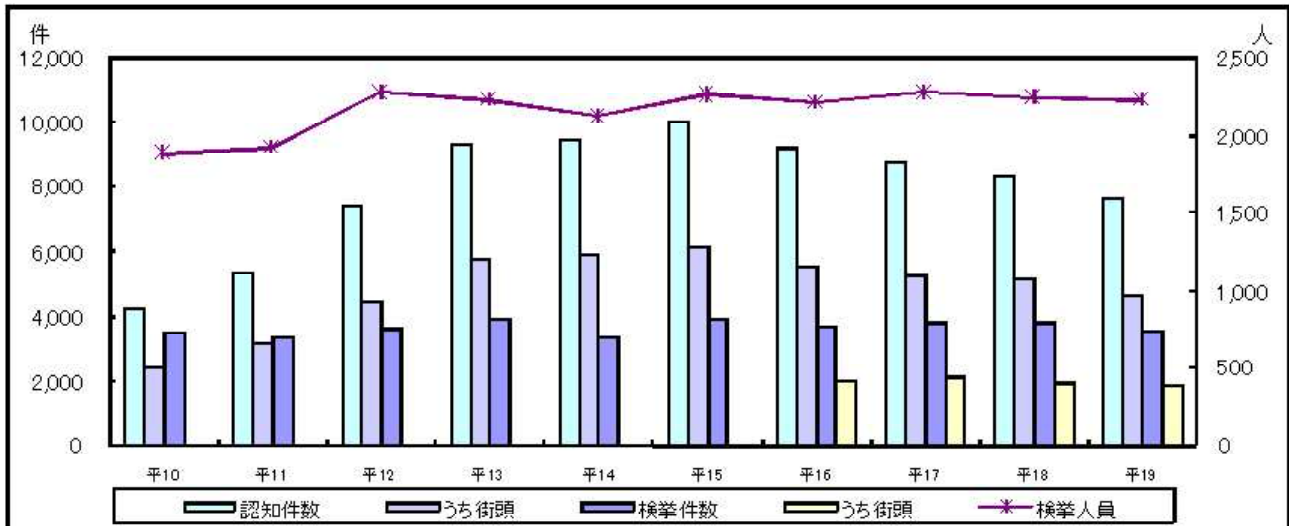
強制わいせつの認知件数は、平成11年以降増加し、平成15年には1万件に達したが、平成16年以降3年連続して減少し、平成19年にあっても7,664件と、前年に比べ662件（8.0%）減少している。うち街頭における認知は4,640件で、強制わいせつ全体の60.5%を占めており、前年に比べ491件（9.6%）減少している。

検挙件数は3千件台、検挙人員は2千人前後で推移しており、平成19年の検挙件数は3,542件で、前年に比べ237件（6.3%）減少し、うち街頭における事件の検挙は1,853件で、前年に比べ98件（5.0%）とともに減少しており、検挙人員も2,240人で、前年に比べ14人（0.6%）減少している（図表2-1-(4)-1）。

平成19年に街頭において発生した事件をみると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後8時から午後10時、被害者は20歳未満の女性が最も多い（図表2-1-(4)-2、3、4）。

検挙した事件をみると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表2-1-(4)-5）。

図表 2 - 1 - (4) - 1 強制わいせつの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
認知件数		4,251	5,346	7,412	9,326	9,476	10,029	9,184	8,751	8,326	7,664	-662	-8.0
うち街頭		2,399	3,196	4,475	5,786	5,915	6,145	5,510	5,254	5,131	4,640	-491	-9.6
うち未遂		164	216	289	364	353	413	311	320	330	263	-67	-20.3
検挙件数		3,498	3,388	3,602	3,887	3,367	3,893	3,656	3,797	3,779	3,542	-237	-6.3
うち街頭		-	-	-	-	-	-	2,009	2,091	1,951	1,853	-98	-5.0
検挙人員		1,890	1,926	2,286	2,236	2,130	2,273	2,225	2,286	2,254	2,240	-14	-0.6
検挙率		82.3	63.4	48.6	41.7	35.5	38.8	39.8	43.4	45.4	46.2	0.8ポイント	

図表 2 - 1 - (4) - 2 街頭における強制わいせつの発生場所別認知件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
認知件数		8,326	100.0	7,664	100.0	-662	-8.0
街頭		5,131	61.6	4,640	60.5	-491	-9.6
道路上		3,588	43.1	3,223	42.1	-365	-10.2
駐車(輪)場		616	7.4	488	6.4	-128	-20.8
都市公園		177	2.1	203	2.6	26	14.7
空き地		89	1.1	75	1.0	-14	-15.7
公共交通機関等		539	6.5	540	7.0	1	0.2
その他の交通機関		95	1.1	93	1.2	-2	-2.1
その他の街頭		27	0.3	18	0.2	-9	-33.3
その他		3,195	38.4	3,024	39.5	-171	-5.4

図表 2 - 1 - (4) - 3 街頭における強制わいせつの発生時間帯別認知件数

年次	時間	0~2時	2~4時	4~6時	6~8時	8~10時	10~12時	12~14時	14~16時	16~18時	18~20時	20~22時	22~24時	不明	総数
		平18	693	286	157	297	295	126	138	198	353	729	908	946	5
平19		632	316	149	251	259	98	123	208	333	601	836	830	4	4,640
(割合%)		13.6	6.8	3.2	5.4	5.6	2.1	2.7	4.5	7.2	13.0	18.0	17.9	0.1	100.0
増減		-61	30	-8	-46	-36	-28	-15	-10	-20	-128	-72	-116	-1	-491
率 (%)		-8.8	10.5	-5.1	-15.5	-12.2	-22.2	-10.8	5.1	-5.7	-17.6	-7.9	-12.3	-20.0	-9.6

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (4) - 4 街頭における強制わいせつの被害者の年齢・性別認知件数（平成19年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	4,640	2,585	1,599	326	98	21	11
男性 (割合%)	94 2.0	72 1.6	16 0.3	2 0.0	3 0.1	1 0.0	0 0.0
女性 (割合%)	4,546 98.0	2,513 54.2	1,583 34.1	324 7.0	95 2.0	20 0.4	11 0.2

注：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

図表 2 - 1 - (4) - 5 強制わいせつの共犯形態別検挙件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数		3,848	100.0	3,387	100.0	-259	-7.1
成人事件の総数		3,279	89.9	3,023	89.3	-256	-7.8
単独		3,248	99.1	2,993	99.0	-255	-7.9
共犯		31	0.9	30	1.0	-1	-3.2
少年事件の総数		366	10.0	359	10.6	-7	-1.9
単独		360	98.4	345	96.1	-15	-4.2
共犯		6	1.6	14	3.9	8	133.3
成人・少年共犯事件の総数		1	0.0	5	0.1	4	400.0

注：解決事件を除く。

(5) 街頭における略取・誘拐

略取・誘拐の認知件数は、平成4年から200件弱から300件強の間で推移し、平成17年は前年に比べ13.4%、平成18年は前年に比べ28.2%とそれぞれ減少したが、平成19年においては207件と、前年に比べ8件（4.0%）増加している。うち街頭における認知は134件で、略取・誘拐全体の64.7%を占めており、前年に比べ8件（6.3%）増加している。

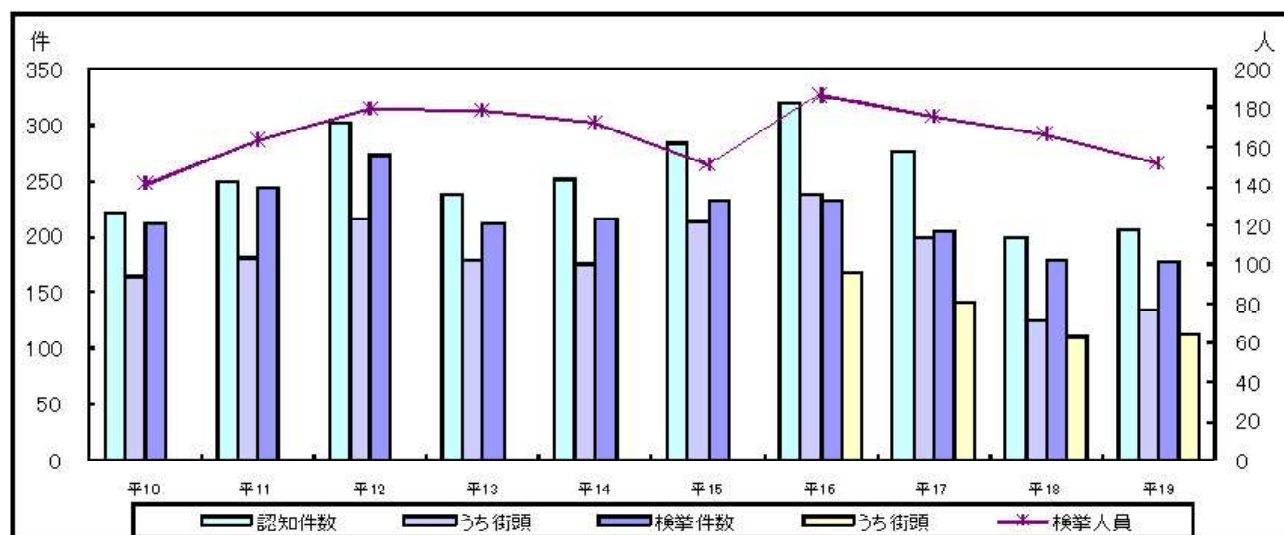
検挙件数、検挙人員は平成17年以降ともに減少しており、平成19年の検挙件数は178件で、前年に比べ2件（1.1%）減少し、うち街頭における事件の検挙は113件で、前年に比べ1件（0.9%）増加し、検挙人員は152人で、前年に比べ15人（9.0%）減少している（図表2-1-(5)-1）。

平成19年に街頭において発生した事件をみると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後6時から午後8時、被害者は20歳未満の女性が最も多い（図表2-1-(5)-2、3、4）。

検挙した事件をみると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表2-1-(5)-5）。

注：「略取・誘拐」の認知件数には、人身売買の認知件数を含む（以下同じ）。

図表 2 - 1 - (5) - 1 略取・誘拐の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
認知件数		221	249	302	237	251	284	320	277	199	207	8	4.0
	うち街頭	166	181	216	179	175	213	237	199	126	134	8	6.3
	うち未遂	31	26	59	35	44	61	77	55	35	28	-7	-20.0
検挙件数		211	244	272	211	215	231	232	204	180	178	-2	-1.1
	うち街頭	-	-	-	-	-	-	168	141	112	113	1	0.9
検挙人員		141	164	180	179	173	151	187	176	167	152	-15	-9.0
検挙率		95.5	98.0	90.1	89.0	85.7	81.3	72.5	73.6	90.5	88.0	-4.5	ポイント

図表 2 - 1 - (5) - 2 街頭における略取・誘拐の発生場所別認知件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
認知件数		199	100.0	207	100.0	8	4.0
街頭		126	63.3	134	64.7	8	6.3
	道路上	80	40.2	91	44.0	11	13.8
	駐車(輪)場	24	12.1	21	10.1	-3	-12.5
	都市公園	10	5.0	10	4.8	0	0.0
	空き地	2	1.0	3	1.4	1	50.0
	公共交通機関等	6	3.0	6	2.9	0	0.0
	その他の交通機関	4	2.0	3	1.4	-1	-25.0
	その他の街頭	0	0.0	0	0.0	0	0.0
その他		73	36.7	73	35.3	0	0.0

図表 2 - 1 - (5) - 3 街頭における略取・誘拐の発生時間帯別認知件数

年次	時間	0~2時	2~4時	4~6時	6~8時	8~10時	10~12時	12~14時	14~16時	16~18時	18~20時	20~22時	22~24時	不明	総数
		平18	6	9	0	4	6	9	7	27	22	13	12	10	1
平19		9	7	5	8	9	7	8	19	19	20	13	9	1	134
(割合%)		6.7	5.2	3.7	6.0	6.7	5.2	6.0	14.2	14.2	14.9	9.7	6.7	0.7	100.0
増減		3	-2	5	4	3	-2	1	-8	-3	7	1	-1	0	8
率 (%)		50.0	-22.2	-	100.0	50.0	-22.2	14.3	-29.6	-13.6	53.8	8.3	-10.0	0.0	6.3

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (5) - 4 街頭における略取・誘拐の被害者の年齢別認知件数（平成19年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	134	95	26	9	3	1	0
男性 (割合%)	21 15.7	15 11.2	3 2.2	1 0.7	1 0.7	1 0.7	0 0.0
女性 (割合%)	113 84.3	80 59.7	23 17.2	8 6.0	2 1.5	0 0.0	0 0.0

注：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

図表 2 - 1 - (5) - 5 略取・誘拐の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数		177	100.0	170	100.0	-7	-4.0
成人事件の総数		165	93.2	156	91.8	-9	-5.5
単独		137	83.0	125	80.1	-12	-8.8
共犯		28	17.0	31	19.9	3	10.7
少年事件の総数		8	4.5	8	4.7	0	0.0
単独		5	62.5	7	87.5	2	40.0
共犯		3	37.5	1	12.5	-2	-66.7
成人・少年共犯事件の総数		4	2.3	6	3.5	2	50.0

注：解決事件を除く。

(6) 街頭における暴行・傷害・恐喝

暴行の認知件数は平成12年以降急激に増加しており、平成19年にあっても3万1,966件と、前年に比べ964件(3.1%)増加している。うち街頭における認知は1万8,993件で、暴行全体の59.4%を占めており、前年に比べ177件(0.9%)増加している。

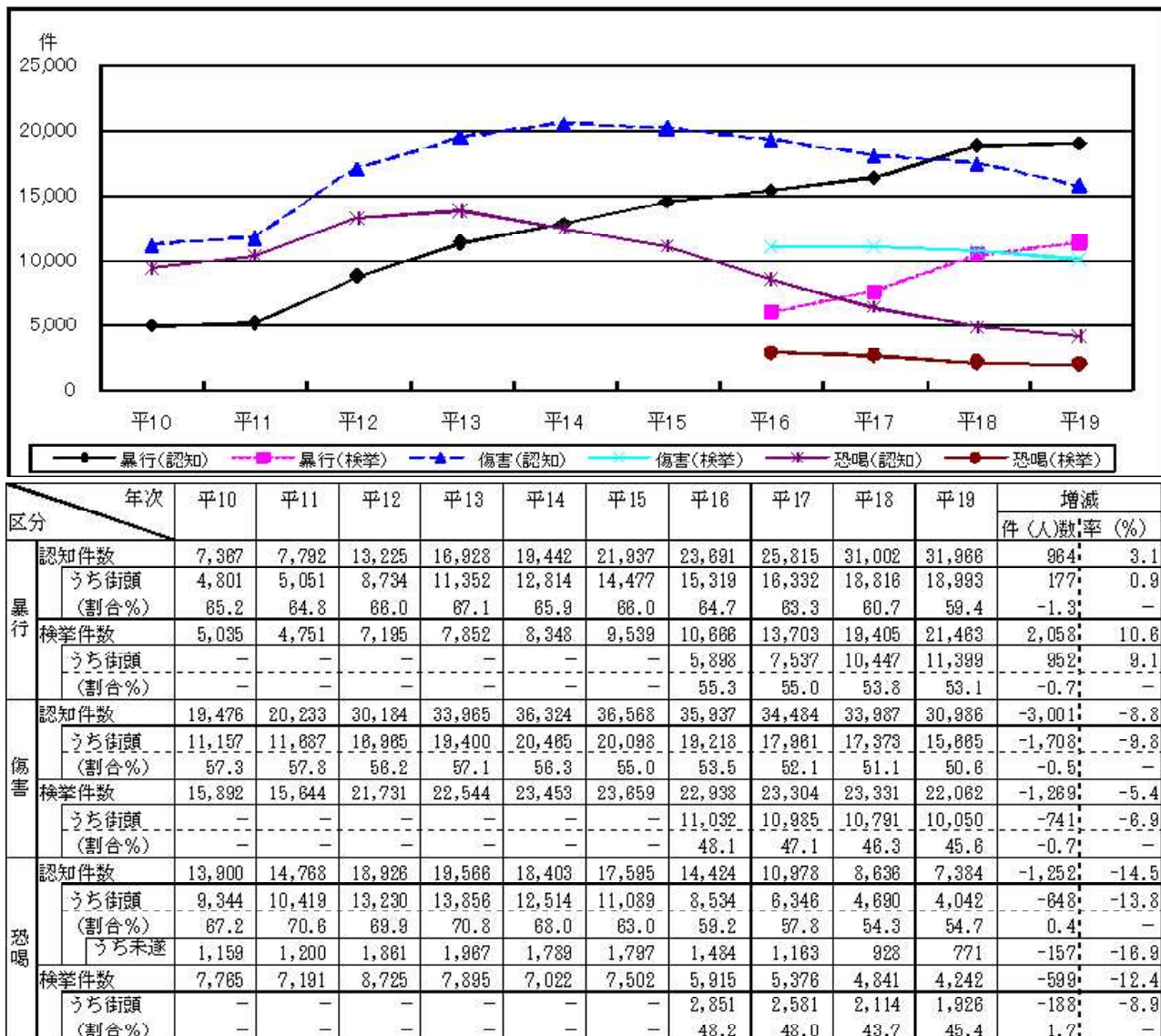
傷害の認知件数は平成12年以降急激に増加していたが、平成16年以降3年連続して減少しており、平成19年にあっても3万986件と、前年に比べ3,001件(8.8%)減少している。うち街頭における認知は1万5,885件で、傷害全体の50.6%を占めており、前年に比べ1,708件(9.8%)減少している。

恐喝の認知件数は平成13年まで増加していたが、平成14年以降5年連続して減少しており、平成19年にあっても7,384件と、前年に比べ1,252件(14.5%)減少している。うち街頭における認知は4,042件で、恐喝全体の54.7%を占めており、前年に比べ648件(13.8%)減少している(図表2-1-(6)-1)。

平成19年に街頭において発生した事件をみると、発生場所はその他を除くと、暴行、傷害、恐喝のいずれも道路上が最も多く、被害者は暴行、傷害が20歳代の男性、恐喝は20歳未満の男性が最も多い。

また、凶器を使用したものは、傷害、恐喝のいずれも包丁類(その他の刃物を含む。)が最も多い(図表2-1-(6)-2、3、4)。

図表2-1-(6)-1 街頭における暴行・傷害・恐喝の認知・検挙状況の推移



図表 2 - 1 - (6) - 2 街頭における暴行・傷害・恐喝の発生場所別認知件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
暴行の認知件数		31,002	100.0	31,966	100.0	964	3.1
街頭		18,816	60.7	18,993	59.4	177	0.9
道路上		13,141	42.4	12,902	40.4	-239	-1.8
駐車(輸)場		2,014	6.5	2,088	6.5	74	3.7
都市公園		491	1.6	574	1.8	83	16.9
空き地		101	0.3	90	0.3	-11	-10.9
公共交通機関等		2,736	8.8	2,963	9.3	227	8.3
その他の交通機関		264	0.9	317	1.0	53	20.1
その他の街頭		69	0.2	59	0.2	-10	-14.5
その他		12,186	39.3	12,973	40.6	787	6.5
傷害の認知件数		33,987	100.0	30,936	100.0	-3,051	-8.8
街頭		17,373	51.1	15,665	50.6	-1,708	-9.8
道路上		11,660	34.3	10,413	33.6	-1,247	-10.7
駐車(輸)場		2,997	8.8	2,533	8.3	-464	-15.5
都市公園		835	2.6	925	3.0	90	10.8
空き地		184	0.5	198	0.6	14	7.6
公共交通機関等		1,324	3.9	1,224	4.0	-100	-7.6
その他の交通機関		252	0.7	266	0.9	14	5.6
その他の街頭		71	0.2	56	0.2	-15	-21.1
その他		16,614	48.9	15,271	49.4	-1,343	-8.1
恐喝の認知件数		8,636	100.0	7,384	100.0	-1,252	-14.5
街頭		4,690	54.3	4,042	54.7	-648	-13.8
道路上		2,780	32.2	2,357	31.9	-423	-15.2
駐車(輸)場		1,214	14.1	1,085	14.7	-129	-10.6
都市公園		329	3.8	303	4.1	-26	-7.9
空き地		76	0.9	62	0.8	-14	-18.4
公共交通機関等		172	2.0	111	1.5	-61	-35.5
その他の交通機関		92	1.1	113	1.5	21	22.8
その他の街頭		27	0.3	11	0.1	-16	-59.3
その他		3,946	45.7	3,342	45.3	-604	-15.3

図表 2 - 1 - (6) - 3 街頭における暴行・傷害・恐喝の被害者の年齢・性別認知件数(平成19年)

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
暴行(街頭)認知件数	18,993	4,542	5,140	3,568	2,439	1,974	1,330
男性	12,618	2,084	3,086	2,646	1,971	1,712	1,119
(割合%)	66.4	11.0	16.2	13.9	10.4	9.0	5.9
女性	6,375	2,458	2,054	922	468	262	211
(割合%)	33.6	12.9	10.8	4.9	2.5	1.4	1.1
傷害(街頭)認知件数	15,665	3,500	4,047	3,115	2,026	1,853	1,324
男性	12,415	2,677	3,164	2,466	1,664	1,401	1,043
(割合%)	79.3	17.1	20.2	15.7	10.6	8.9	6.7
女性	3,250	823	883	649	362	252	281
(割合%)	20.7	5.3	5.6	4.1	2.3	1.6	1.8
恐喝(街頭)認知件数	4,037	2,069	1,159	382	182	131	114
男性	3,668	1,933	1,045	329	153	112	96
(割合%)	90.9	47.9	25.9	8.1	3.8	2.8	2.4
女性	369	136	114	53	29	19	18
(割合%)	9.1	3.4	2.8	1.3	0.7	0.5	0.4

注1：被害者が団体・法人のものを除く。

注2：主たる被害者の年齢・性別を計上している。

図表 2 - 1 - (6) - 4 街頭における傷害・恐喝の発生時の犯罪供用物の状況

区分	年次		平18		平19		増減	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
街頭における傷害の認知件数	17,373	100.0	15,665	100.0	-1,708	-9.8		
銃砲類（けん銃様のものを含む）	6	0.0	5	0.0	-1	-16.7		
刀剣類	27	0.2	38	0.2	11	40.7		
包丁類（その他の刃物を含む）	244	1.4	243	1.6	-1	-0.4		
凶器以外	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
不明	196	1.1	188	1.2	-8	-4.1		
該当なし、供用物なし	16,900	97.3	15,191	97.0	-1,709	-10.1		
街頭における恐喝の認知件数	4,690	100.0	4,042	100.0	-648	-13.8		
銃砲類（けん銃様のものを含む）	5	0.1	6	0.1	1	20.0		
刀剣類	6	0.1	7	0.2	1	16.7		
包丁類（その他の刃物を含む）	73	1.6	60	1.5	-13	-17.8		
凶器以外	44	0.9	37	0.9	-7	-15.9		
不明	30	0.6	36	0.9	6	20.0		
該当なし、供用物なし	4,532	96.6	3,896	96.4	-636	-14.0		

注：街頭における恐喝の「凶器以外」の内訳は、平成18年は電話・ファックスが43件、チラシ・パンフレットが1件、平成19年は電話・ファックスが37件である。

(7) 自動車盗

自動車盗の認知件数は、平成13年から平成15年は6万件台で推移していたが、平成16年以降3年連続して減少し、平成19年にあっても3万1,790件と、前年に比べ4,268件（11.8%）減少している。

平成19年の検挙件数は1万3,507件で、前年に比べ219件（1.6%）増加し、検挙人員は2,380人で、前年に比べ676人（22.1%）減少している。

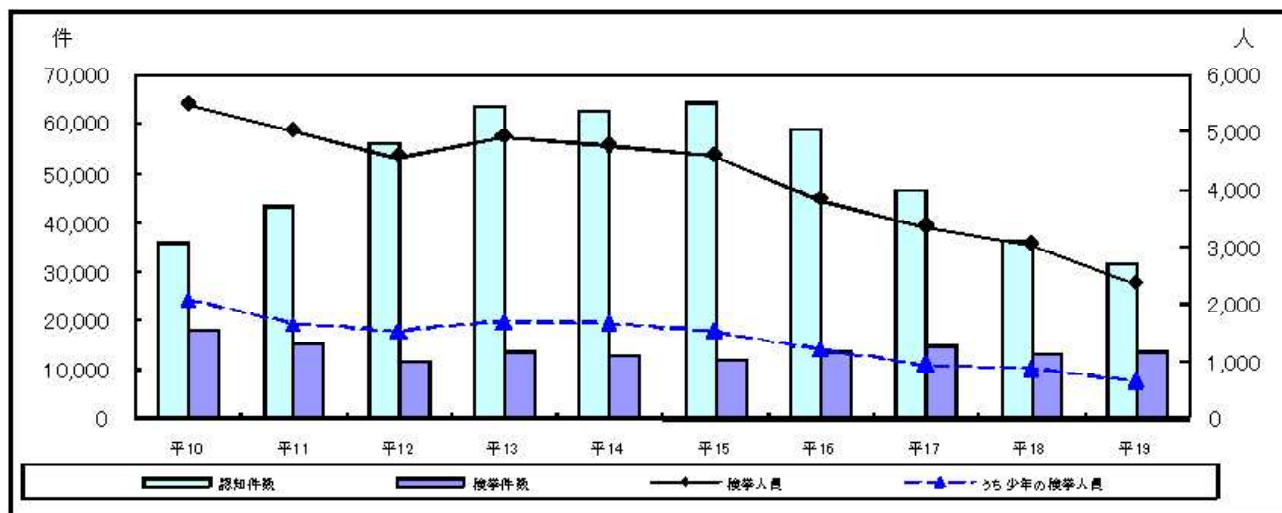
また、検挙人員に占める少年の割合は減少傾向にあり、平成19年は655人で、検挙人員全体の27.5%を占めている（図表2 - 1 - (7) - 1）。

平成19年に認知した事件をみると、発生場所は駐車（輪）場が最も多い。また、被害時にエンジンキー（イグニッションキー）がメーンスイッチ（イグニッションスイッチ）に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていた状態で盗まれているものの割合は全体の27.4%で、前年に比べ1.3ポイント低下している。さらに、年々増加していた被害額300万円未満の自動車盗は、平成16年以降3年連続、被害額300万円以上の自動車盗も平成13年以降6年連続減少しており、平成19年にあってもそれぞれ減少している（図表2 - 1 - (7) - 2、3、4）。

被害自動車の還付率は、平成12年に約30パーセントまで減少し、以降ほぼ横ばいで推移している。平成19年は30.8%で、前年に比べ1.9ポイント低下している（図表2 - 1 - (7) - 5）。

検挙した事件をみると、成人事件、少年事件ともに共犯が多い（図表2 - 1 - (7) - 6）。

図表 2 - 1 - (7) - 1 自動車盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率 (%)
認知件数		35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	-4,268	-11.8
検挙件数		18,210	15,241	11,415	13,390	12,791	11,931	13,765	14,898	13,288	13,507	219	1.6
検挙人員		5,495	5,028	4,590	4,933	4,775	4,599	3,823	3,366	3,056	2,380	-676	-22.1
うち少年 (割合%)		2,091 38.1	1,658 33.0	1,531 33.4	1,691 34.3	1,680 35.2	1,542 33.5	1,216 31.8	938 27.9	852 27.9	655 27.5	-197	-23.1
検挙率		50.7	35.4	20.3	21.2	20.4	18.6	23.4	31.9	36.9	42.5	5.6ポイント	-

図表 2 - 1 - (7) - 2 自動車盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
認知件数		36,058	100.0	31,790	100.0	-4,268	-11.8
街頭		27,236	75.5	23,315	73.3	-3,921	-14.4
道路上		3,828	10.6	2,857	9.0	-971	-25.4
駐車(輪)場		22,346	62.0	19,535	61.5	-2,811	-12.6
都市公園		15	0.0	14	0.0	-1	-6.7
空き地		1,002	2.8	889	2.8	-113	-11.3
公共交通機関等		39	0.1	17	0.1	-22	-56.4
その他の街頭		6	0.0	3	0.0	-3	-50.0
その他		8,822	24.5	8,475	26.7	-347	-3.9

図表 2 - 1 - (7) - 3 自動車盗のキーの有無別認知件数の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率 (%)
認知件数		35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	-4,268	-11.8
キーあり (割合%)		18,752 52.3	19,234 44.6	21,195 37.7	21,743 34.4	20,204 32.2	18,568 28.9	15,999 27.2	13,188 28.2	10,355 28.7	8,695 27.4	-1,660	-16.0
キーなし		17,132	23,858	35,010	41,532	42,469	45,655	42,738	33,542	25,703	23,095	-2,608	-10.1

注: 「キーあり」とは、エンジンキー(イグニッションキー)がメーンスイッチ(イグニッションスイッチ)に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていたものをいう。

図表 2 - 1 - (7) - 4 自動車盗の被害額別認知件数の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件数	率(%)
認知件数		35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	-4,268	-11.8
200万円未満 (割合%)		25,509 71.1	27,671 64.2	34,284 61.0	40,405 63.9	42,089 67.2	44,538 69.3	41,434 70.6	33,972 72.7	26,873 74.5	23,756 74.7	-3,117	-11.6
200~300万円未満 (割合%)		4,184 11.6	5,857 13.1	8,311 14.8	9,563 15.1	9,693 15.5	9,736 15.2	8,535 14.5	5,982 12.8	3,957 11.0	3,631 11.4	-326	-8.2
300万円以上 (割合%)		5,757 16.0	9,107 21.1	12,447 22.1	11,499 18.2	8,932 14.3	7,373 11.5	6,195 10.5	4,696 10.0	3,551 9.8	3,011 9.5	-540	-15.2
被害なし・被害額程不明		454	657	1,163	1,808	1,959	2,576	2,523	2,078	1,677	1,392	-285	-17.0

図表 2 - 1 - (7) - 5 被害自動車の還付数・還付率の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件数	率(%)
認知件数		35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	-4,268	-11.8
還付件数		17,764	16,512	16,914	19,579	19,422	20,036	17,806	14,081	11,794	9,793	-2,001	-17.0
還付率(%)		49.5	38.3	30.1	30.9	31.0	31.2	30.3	30.1	32.7	30.8	-1.9	-

注：還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2 - 1 - (7) - 6 自動車盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		12,536	100.0	12,850	100.0	314	2.5
成人事件の総数		11,504	91.8	11,945	93.0	441	3.8
単独		4,714	41.0	4,712	39.4	-2	0.0
共犯		6,790	59.0	7,233	60.6	443	6.5
少年事件の総数		752	6.0	639	5.0	-113	-15.0
単独		302	40.2	295	46.2	-7	-2.3
共犯		450	59.8	344	53.8	-106	-23.6
成人・少年共犯事件の総数		280	2.2	266	2.1	-14	-5.0

注：解決事件を除く。

(8) オートバイ盗

オートバイ盗の認知件数は、平成13年までおおむね24万件台で推移していたが、平成14年以降急激に減少し、平成19年にあっても8万3,028件と、前年に比べ1万266件(11.0%)減少している。

検挙件数、検挙人員は、減少傾向にあり、平成19年の検挙件数は1万161件で、前年に比べ2,265件(18.2%)、検挙人員は7,131人で、前年に比べ635人(8.2%)ともに減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は特に高く、平成19年は6,740人で、検挙人員全体の94.5%(前年に比べ0.4ポイント上昇)を占めている(図表2-1-(8)-1)。

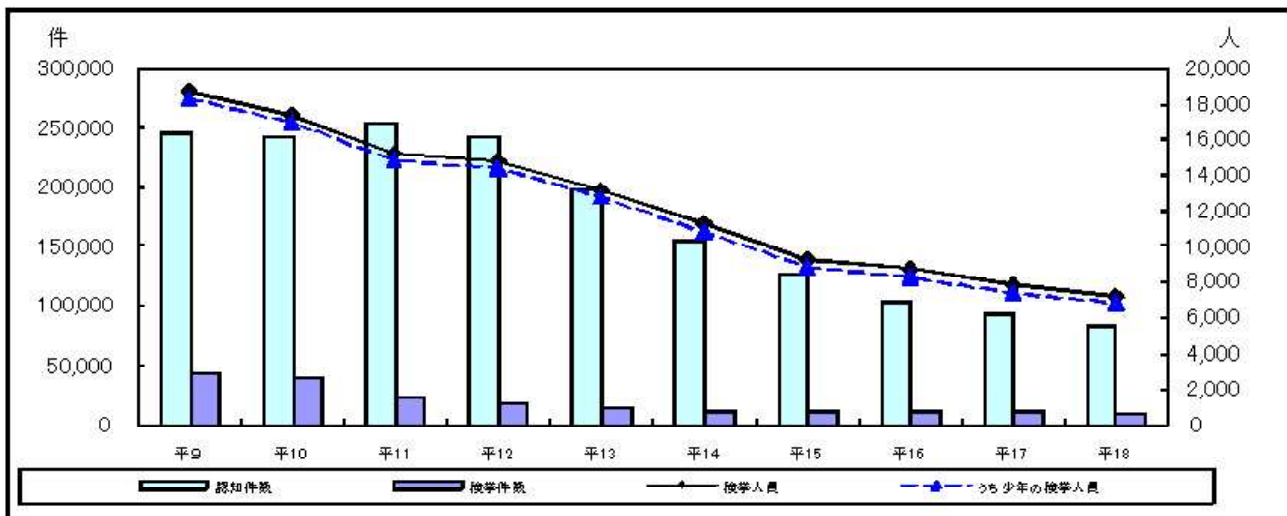
平成19年に認知した事件をみると、発生場所は駐車(輪)場が最も多く、被害時にエンジンキー(イグニッションキー)がメーンスイッチ(イグニッションスイッチ)に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていた状態で盗まれているものの割合は全体の23.7%となっている。

また、被害オートバイの還付率は41.7%で、前年に比べ1.5ポイント上昇している（図表2 - 1 - (8) - 2、3、4）

検挙した事件をみると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多い（図表2 - 1 - (8) - 5）

注：オートバイとは、自動二輪（50cc超）及び原動機付自転車（50cc未満）をいう（以下同じ。）

図表2 - 1 - (8) - 1 オートバイ盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件(人)数	率(%)
認知件数	246,364	242,877	253,433	242,517	188,642	154,978	128,717	104,155	83,284	83,028	-10,266	-11.0
検挙件数	43,878	40,356	23,708	19,440	15,725	12,447	11,715	11,621	12,428	10,161	-2,265	-18.2
検挙人員	18,897	17,298	15,143	14,707	13,106	11,213	9,203	8,665	7,766	7,131	-635	-8.2
うち少年 (割合%)	18,202 97.4	16,872 97.5	14,746 97.4	14,238 97.2	12,850 96.5	10,889 95.1	8,735 94.9	8,188 94.5	7,311 94.1	6,740 94.5	-571	-7.8
検挙率	17.7	16.6	9.4	8.0	7.9	8.0	9.2	11.2	13.3	12.2	-1.1	ポイント

図表2 - 1 - (8) - 2 オートバイ盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		93,284	100.0	83,028	100.0	-10,266	-11.0
街頭		64,108	68.7	54,012	65.1	-10,096	-15.7
道路上		18,825	20.2	15,185	18.3	-3,640	-19.3
駐車(輪)場		44,223	47.4	37,889	45.6	-6,334	-14.3
都市公園		203	0.2	194	0.2	-9	-4.4
空き地		530	0.6	502	0.6	-28	-5.3
公共交通機関等		322	0.3	240	0.3	-82	-25.5
その他の街頭		5	0.0	2	0.0	-3	-60.0
その他		29,186	31.3	29,016	34.9	-170	-0.6

図表 2 - 1 - (8) - 3 オートバイ盗のキーの有無別認知件数の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件数	率 (%)
認知件数		246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	154,979	126,717	104,155	93,294	83,028	-10,266	-11.0
キーあり		55,019	53,941	54,254	50,346	43,039	33,969	23,574	23,758	21,145	19,686	-1,459	-6.9
(割合%)		22.3	22.2	21.4	20.8	21.7	21.9	22.5	22.8	22.7	23.7	1.0	-
キーなし		191,345	189,036	199,179	192,171	155,603	121,010	98,143	80,397	72,149	63,342	-8,807	-12.2

注：「キーあり」とは、エンジンキー（イグニッションキー）がメーンスイッチ（イグニッションスイッチ）に差込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていたものをいう。

図表 2 - 1 - (8) - 4 被害オートバイの還付数・還付率の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件数	率 (%)
認知件数		246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	154,979	126,717	104,155	93,294	83,028	-10,266	-11.0
還付件数		89,790	88,123	85,483	86,163	72,503	59,599	47,796	40,421	37,521	34,640	-2,881	-7.7
還付率 (%)		36.4	36.3	33.7	35.5	36.5	38.5	37.7	38.8	40.2	41.7	1.5	-

注：還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2 - 1 - (8) - 5 オートバイ盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数		11,636	100.0	9,470	100.0	-2,166	-18.6
成人事件の総数		4,190	36.0	2,749	29.0	-1,441	-34.4
単独		2,773	66.2	2,157	78.5	-616	-22.2
共犯		1,417	33.8	592	21.5	-825	-58.2
少年事件の総数		7,107	61.1	6,535	69.0	-572	-8.0
単独		2,905	40.9	2,723	41.7	-182	-6.3
共犯		4,202	59.1	3,812	58.3	-390	-9.3
成人・少年共犯事件の総数		339	2.9	186	2.0	-153	-45.1

注：解決事件を除く。

(9) 自転車盗

自転車盗の認知件数は、平成14年以降5年連続減少していたが、平成19年にあつては39万5,344件と、前年に比べ6,881件（1.8%）増加している。

検挙件数、検挙人員は、平成12年に急激に減少したのち、検挙件数は平成15年以降、検挙人員は平成13年以降増加に転じたが、平成17年以降再び減少に転じ、平成19年にあつても検挙件数は2万8,243件と、前年に比べ2,702件（8.7%）、検挙人員は2万3,682人と、前年に比べ1,750人（6.9%）ともに減少している。

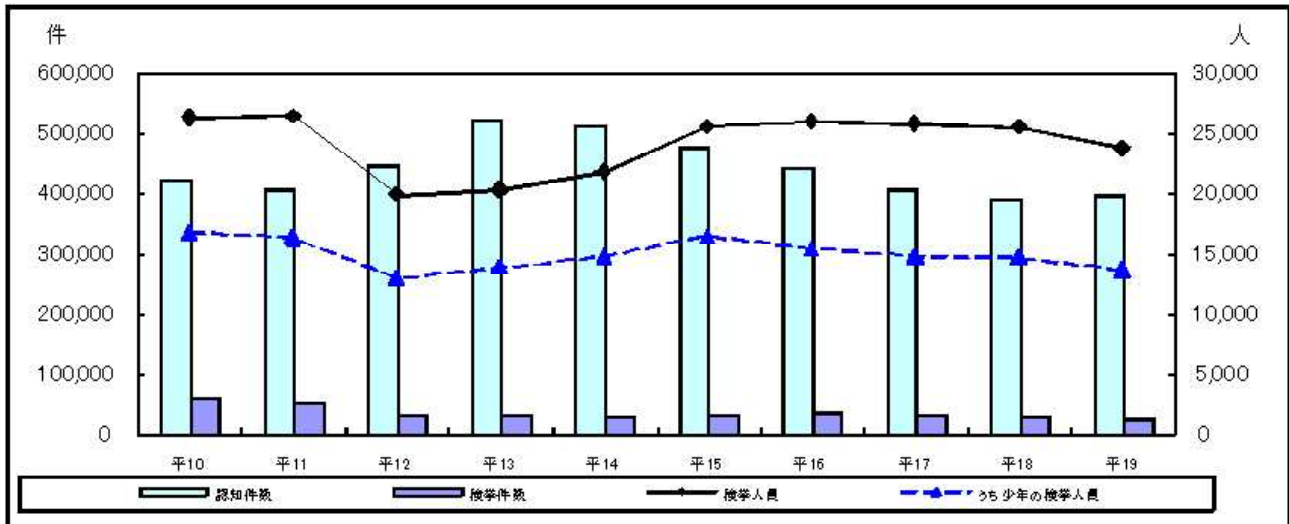
また、検挙人員に占める少年の割合は高く、平成19年は1万3,611人で、検挙人員全体の57.5%（前年に比べ0.1ポイント低下）を占めている（図表 2 - 1 - (9) - 1）。

平成19年に認知した事件をみると、発生場所は駐車（輪）場が最も多く、被害時に盗難防止のための施錠がなされていなかったものは、全体の47.1%を占めている。

また、被害自転車の還付率は41.9%で、前年に比べ1.3ポイント上昇している（図表 2 - 1 - (9) - 2、3、4）。

検挙した事件をみると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表 2 - 1 - (9) - 5）。

図表 2 - 1 - (9) - 1 自転車盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件(人)数	率(%)
認知件数	423,183	408,308	445,301	521,801	514,120	478,589	444,268	406,104	388,463	395,344	6,881	1.8
検挙件数	59,187	53,060	34,575	32,605	29,412	32,489	35,823	32,322	30,945	28,243	-2,702	-8.7
検挙人員	26,234	26,348	19,736	20,173	21,708	25,453	25,926	25,737	25,432	23,682	-1,750	-6.9
うち少年 (割合%)	18,875 63.6	18,271 61.8	12,991 65.8	13,843 68.6	14,710 67.8	18,316 64.1	15,342 59.2	14,732 57.2	14,658 57.6	13,611 57.5	-1,045	-7.1
検挙率	14.0	13.0	7.8	6.2	5.7	6.8	8.1	8.0	8.0	7.1	-0.9	ポイント

図表 2 - 1 - (9) - 2 自転車盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		388,463	100.0	395,344	100.0	6,881	1.8
街頭		296,245	76.3	289,472	73.2	-6,773	-2.3
道路上		87,829	22.6	85,339	21.6	-2,490	-2.8
駐車(輪)場		201,176	51.8	196,374	49.7	-4,802	-2.4
都市公園		1,741	0.4	1,957	0.5	216	12.4
空き地		1,656	0.4	1,556	0.4	-100	-6.0
公共交通機関等		3,834	1.0	4,238	1.1	404	10.5
その他の街頭		9	0.0	8	0.0	-1	-11.1
その他		92,218	23.7	105,872	26.8	13,654	14.8

図表 2 - 1 - (9) - 3 自転車盗の施錠の有無別認知件数の推移

区分	年次										増減	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件数	率(%)
認知件数	423,183	408,308	445,301	521,801	514,120	478,589	444,268	406,104	388,463	395,344	6,881	1.8
施錠あり	238,717	233,778	258,421	313,920	311,787	280,444	249,951	220,210	206,182	209,312	3,130	1.5
施錠なし	184,466	174,528	186,880	207,881	202,333	198,145	194,317	185,894	182,281	186,032	3,751	2.1
(割合%)	43.6	42.7	42.0	39.8	39.4	41.2	43.7	45.8	46.9	47.1	0.2	-

注:「施錠あり」とは、被害時に盗難防止のため施錠されていたものをいう。

図表 2 - 1 - (9) - 4 被害自転車の還付数・還付率の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件数	率(%)
認知件数		423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	476,589	444,268	406,104	388,463	395,344	6,881	1.8
還付件数		138,528	128,274	127,050	154,784	166,185	179,352	169,792	159,849	157,711	165,540	7,829	5.0
還付率(%)		32.7	31.4	28.5	29.7	32.3	37.6	38.2	39.4	40.6	41.9	1.3	-

注：還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2 - 1 - (9) - 5 自転車盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		26,563	100.0	24,339	100.0	-2,224	-8.4
成人事件の総数		13,457	50.7	12,077	49.6	-1,380	-10.3
単独		12,992	96.5	11,963	99.1	-1,029	-7.9
共犯		465	3.5	114	0.9	-351	-75.5
少年事件の総数		12,989	48.8	12,150	49.9	-819	-6.3
単独		10,159	78.3	9,529	78.4	-630	-6.2
共犯		2,810	21.7	2,621	21.6	-189	-6.7
成人・少年共犯事件の総数		137	0.5	112	0.5	-25	-18.2

注：解決事件を除く。

(10) 車上ねらい

車上ねらいの認知件数は、平成14年まで増加していたが、平成15年以降4年連続して減少し、平成19年にあっても16万8,129件と、前年に比べ3万7,615件(18.3%)減少している。

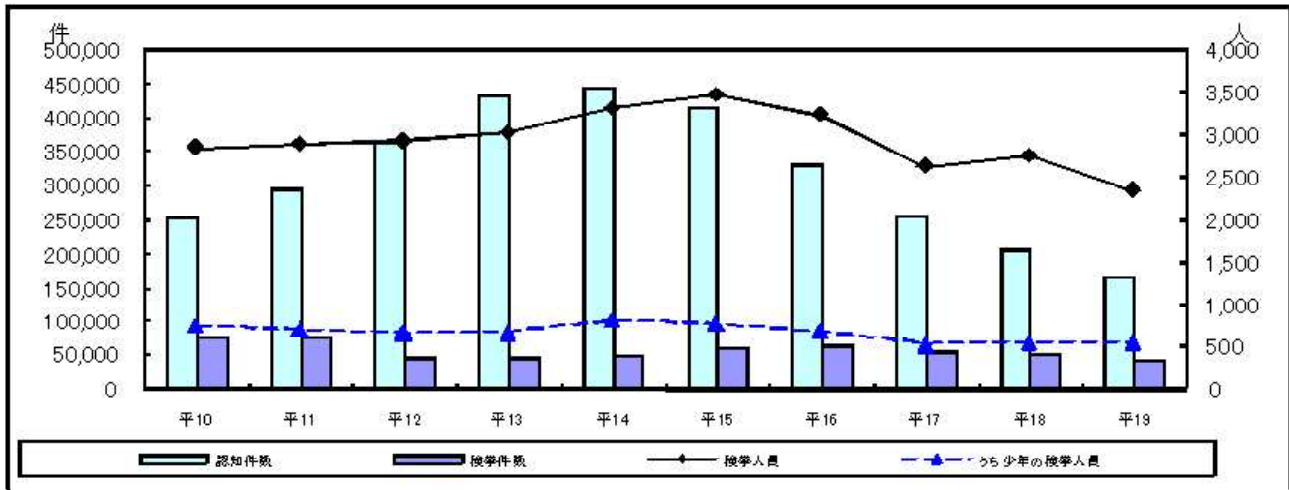
検挙件数は、平成11年まで7万件台で推移していたが、平成12年以降4万件台に減少し、平成15年以降は再び6万件台に増加したが、平成17年以降2年連続して減少し、平成19年にあっても4万1,116件で、前年に比べ8,476件(17.1%)減少している。

また、検挙人員は、3千人前後で推移していたが、平成19年は2,344人と、前年に比べ422人(15.3%)減少している(図表2-1-(10)-1)。

平成19年に認知した事件をみると、発生場所は駐車(輪)場が最も多く、被害時に盗難防止のための施錠がなされていないものは、全体の37.6%を占めている(図表2-1-(10)-2、3)。

検挙した事件をみると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い(図表2-1-(10)-4)。

図表2-1-(10)-1 車上ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率(%)
	認知件数	252,092	294,635	362,762	432,140	443,298	414,819	328,921	256,594	205,744	168,129	-37,615	-18.3
	検挙件数	74,473	73,715	45,666	43,176	48,881	60,479	63,171	53,465	49,592	41,116	-8,476	-17.1
	検挙人員	2,857	2,892	2,933	3,027	3,322	3,491	3,238	2,634	2,766	2,344	-422	-15.3
	うち少年	742	704	658	663	816	776	681	527	547	542	-5	-0.9
	(割合%)	26.0	24.3	22.4	21.9	24.6	22.2	21.0	20.0	19.8	23.1	3.3	-
	検挙率	29.5	25.0	12.6	10.0	11.0	14.6	19.2	20.8	24.1	24.5	0.4	ポイント

図表2-1-(10)-2 車上ねらいの発生場所別認知件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
	認知件数	205,744	100.0	168,129	100.0	-37,615	-18.3
	街頭	170,434	82.8	135,832	80.8	-34,602	-20.3
	道路上	35,223	17.1	27,462	16.3	-7,761	-22.0
	駐車(輪)場	131,151	63.7	104,541	62.2	-26,610	-20.3
	都市公園	1,378	0.7	1,559	0.9	181	13.1
	空き地	2,370	1.2	1,982	1.2	-388	-16.4
	公共交通機関等	243	0.1	255	0.2	12	4.9
	その他の街頭	69	0.0	33	0.0	-36	-52.2
	その他	35,310	17.2	32,297	19.2	-3,013	-8.5

図表2-1-(10)-3 車上ねらいの施錠の有無別認知件数の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率(%)
	認知件数	252,092	294,635	362,762	432,140	443,298	414,819	328,921	256,594	205,744	168,129	-37,615	-18.3
	施錠あり	146,461	185,318	245,071	312,380	324,713	305,871	233,481	174,882	136,083	104,857	-31,226	-22.9
	施錠なし	105,631	109,317	117,691	119,760	118,585	108,948	95,440	81,732	69,661	63,272	-6,389	-9.2
	(割合%)	41.9	37.1	32.4	27.7	26.8	26.3	29.0	31.9	33.9	37.6	3.7	-

注：「施錠あり」とは、施錠されている自動車の車室、トランク、荷物庫等から金品を窃取するものをいう。また、オートバイ（自動二輪車、原動機付自転車）及び自転車を対象とする「車上ねらい」については、施錠の有無にかかわらず、すべて「車上ねらい（施錠なし）」とする。

図表 2 - 1 - (10) - 4 車上ねらいの共犯形態別検挙件数

区分	年次		平18		平19		増減	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数	48,628	100.0	40,229	100.0	-8,399		-17.3	
成人事件の総数	44,522	91.6	38,244	95.1	-6,278		-14.1	
単独	29,562	66.4	26,403	69.0	-3,159		-10.7	
共犯	14,960	33.6	11,841	31.0	-3,119		-20.8	
少年事件の総数	2,528	5.2	1,124	2.8	-1,404		-55.5	
単独	1,829	72.3	597	53.1	-1,232		-67.4	
共犯	699	27.7	527	46.9	-172		-24.6	
成人・少年共犯事件の総数	1,578	3.2	861	2.1	-717		-45.4	

注：解決事件を除く。

(11) 部品ねらい

部品ねらいの認知件数は、平成12年に急激に増加したが、平成14年以降5年連続して減少しており、平成19年にあっても7万8,016件と、前年に比べ1万723件（12.1%）減少している。

検挙件数は平成13年以降5年連続して増加したが、平成18年は減少、平成19年は1万382件で、前年に比べ542件（5.5%）増加している。

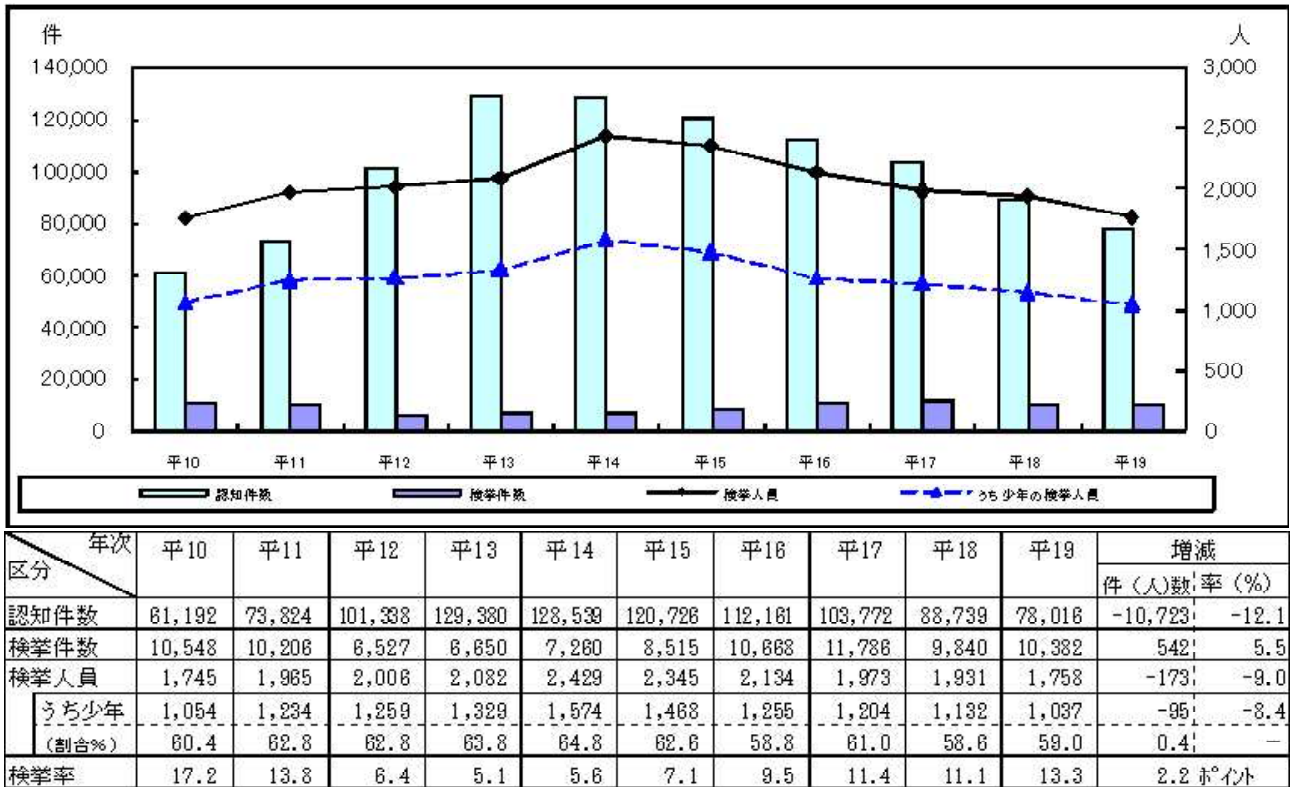
また、検挙人員は平成10年以降増加したのち、平成15年以降4年連続して減少し、平成19年にあっても1,758人と、前年に比べ173人（9.0%）減少している。

検挙人員に占める少年の割合は高く、平成19年は1,037人で、検挙人員全体の59.0%（前年に比べ0.4ポイント上昇）を占めている（図表2-1-(11)-1）。

平成19年に認知した事件をみると、発生場所は駐車（輪）場が最も多い（図表2-1-(11)-2）。

検挙した事件をみると、成人事件、少年事件とも単独犯が多い（図表2-1-(11)-3）。

図表 2 - 1 - (11) - 1 部品ねらいの認知・検挙状況の推移



図表 2 - 1 - (11) - 2 部品ねらいの発生場所別認知件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		88,739	100.0	78,016	100.0	-10,723	-12.1
街頭		71,623	80.7	60,835	78.0	-10,788	-15.1
道路上		6,313	7.1	5,049	6.5	-1,264	-20.0
駐車(輪)場		63,874	72.0	54,605	70.0	-9,269	-14.5
都市公園		101	0.1	97	0.1	-4	-4.0
空き地		848	1.0	704	0.9	-144	-17.0
公共交通機関等		481	0.5	376	0.5	-105	-21.8
その他の街頭		6	0.0	4	0.0	-2	-33.3
その他		17,116	19.3	17,181	22.0	65	0.4

図表 2 - 1 - (11) - 3 部品ねらいの共犯形態別検挙件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		9,672	100.0	10,218	100.0	546	5.6
成人事件の総数		7,637	79.0	8,535	83.5	898	11.8
単独		4,680	61.3	5,082	59.5	402	8.6
共犯		2,957	38.7	3,453	40.5	496	16.8
少年事件の総数		1,492	15.4	1,134	11.1	-358	-24.0
単独		868	58.2	663	58.5	-205	-23.6
共犯		624	41.8	471	41.5	-153	-24.5
成人・少年共犯事件の総数		543	5.6	549	5.4	6	1.1

注：解決事件を除く。

(12) 自動販売機ねらい

自動販売機ねらいの認知件数は、平成12年以降減少傾向にあり、平成19年にあっても5万846件と、前年に比べ5,135件（9.2%）減少している。

検挙件数は平成13年に1万件台に減少したのち、平成14年以降は2万件台で推移していたが、平成19年は1万8,585件で、前年に比べ4,022件（17.8%）減少している。

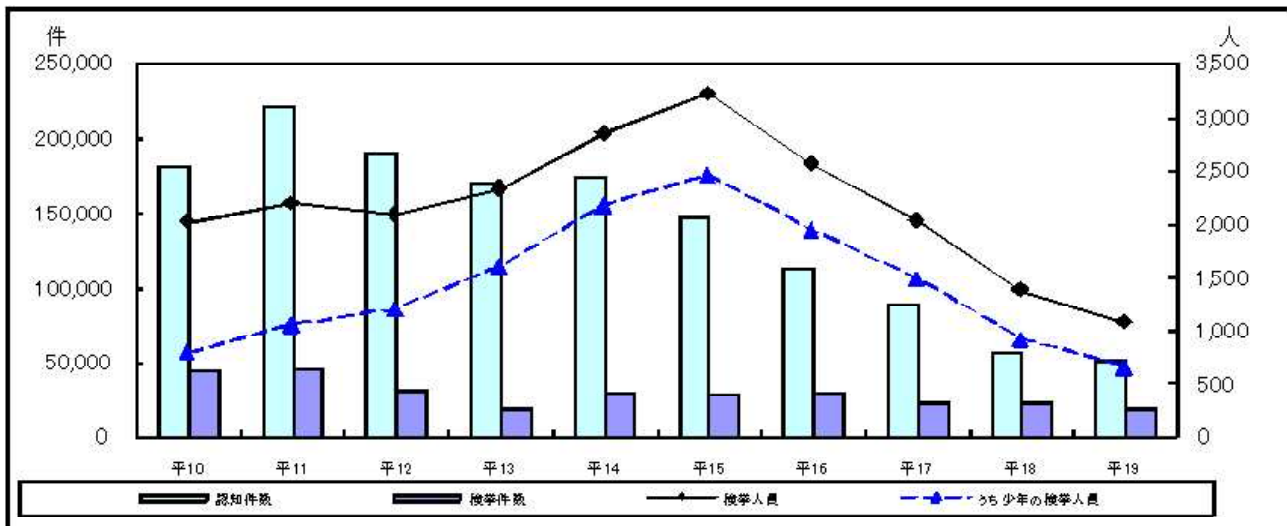
また、検挙人員は平成15年まで増加傾向にあったが、平成16年以降3年連続して減少し、平成19年にあっても1,064人と、前年に比べ306人（22.3%）減少している。

検挙人員に占める少年の割合は高く、平成19年は650人で、検挙人員全体の61.1%（前年に比べ5.5ポイント低下）を占めている（図表2-1-(12)-1）。

平成19年に認知した事件をみると、発生場所はその他を除くと道路上が最も多い（図表2-1-(12)-2）。

検挙した事件をみると、成人事件、少年事件ともに共犯が多い（図表2-1-(12)-3）。

図表2-1-(12)-1 自動販売機ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件(人)数	率(%)
認知件数	181,444	222,328	190,490	170,470	174,718	147,878	112,965	88,180	55,981	50,846	-5,135	-9.2
検挙件数	43,906	45,754	30,707	18,851	28,962	28,152	29,748	23,409	22,607	18,585	-4,022	-17.8
検挙人員	2,010	2,192	2,084	2,329	2,850	3,231	2,560	2,027	1,370	1,064	-306	-22.3
うち少年	739	1,044	1,196	1,593	2,163	2,453	1,933	1,479	912	650	-262	-28.7
(割合%)	39.3	47.6	57.4	68.4	75.9	75.9	75.5	73.0	66.6	61.1	-5.5	-
検挙率	24.2	20.6	16.1	11.1	16.6	19.0	26.3	26.5	40.4	36.6	-3.8	ポイント

図表 2 - 1 - (12) - 2 自動販売機ねらいの発生場所別認知件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
認知件数		55,981	100.0	50,848	100.0	-5,135	-9.2
街頭		18,273	32.6	17,336	34.1	-937	-5.1
道路上		9,240	16.5	9,825	19.3	585	6.3
駐車(輸)場		6,819	12.2	5,547	10.9	-1,272	-18.7
都市公園		547	1.0	518	1.0	-29	-5.3
空き地		1,305	2.3	1,151	2.3	-154	-11.8
公共交通機関等		350	0.6	284	0.6	-66	-18.9
その他の交通機関		1	0.0	2	0.0	1	100.0
その他の街頭		11	0.0	9	0.0	-2	-18.2
一般事務所		8,318	14.9	7,325	14.4	-993	-11.9
商店		9,766	17.4	8,432	16.6	-1,334	-13.7
その他		19,824	35.1	17,753	34.9	-1,871	-9.5

図表 2 - 1 - (12) - 3 自動販売機ねらいの共犯形態別検挙件数

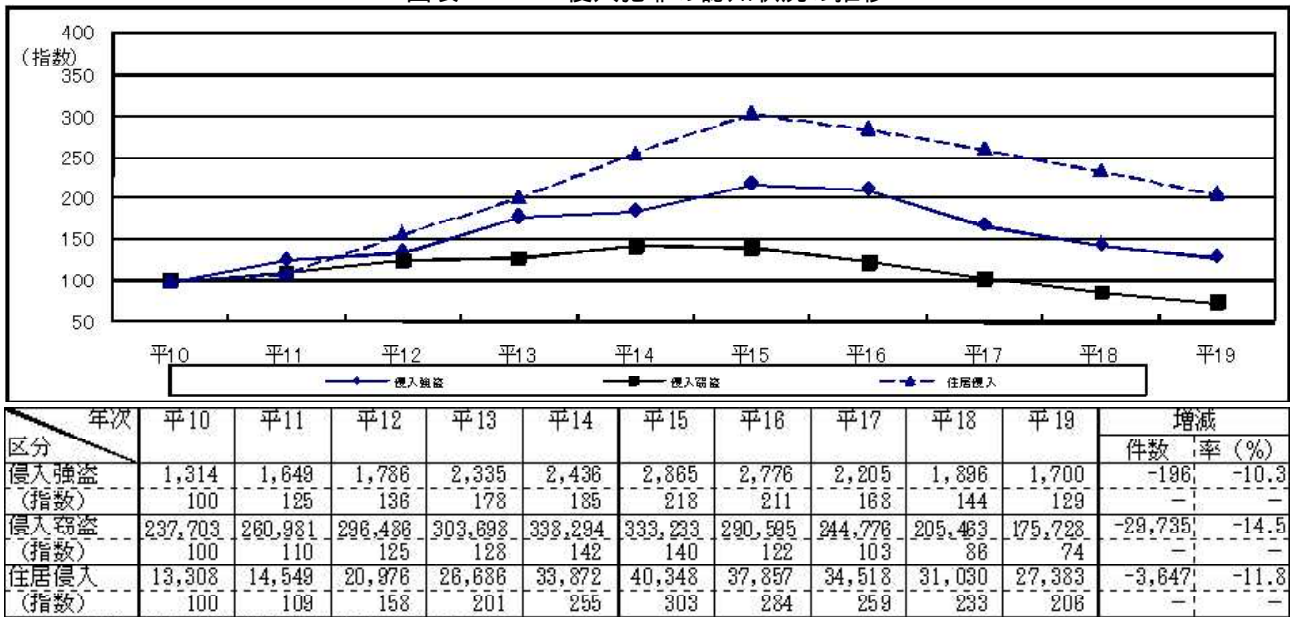
区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数		22,588	100.0	18,561	100.0	-4,027	-17.8
成人事件の総数		19,102	84.6	16,235	87.5	-2,867	-15.0
単独		7,277	38.1	6,074	37.4	-1,203	-16.5
共犯		11,825	61.9	10,161	62.6	-1,664	-14.1
少年事件の総数		2,108	9.3	1,118	6.0	-990	-47.0
単独		377	17.9	141	12.6	-236	-62.6
共犯		1,731	82.1	977	87.4	-754	-43.6
成人・少年共犯事件の総数		1,378	6.1	1,208	6.5	-170	-12.3

注：解決事件を除く。

2 侵入犯罪

平成19年の主な侵入犯罪の認知件数は、前年に比べ、侵入強盗、侵入窃盗及び住居侵入ともに減少している（図表2-2）。

図表2-2 侵入犯罪の認知状況の推移



注：指数は、平成10年を100とした場合の値である。

(1) 侵入強盗

侵入強盗の認知件数は、平成10年以降急激に増加し、平成15年には平成9年の2.9倍となったが、平成16年以降3年連続して減少し、平成19年にあっても1,700件と、前年に比べ196件（10.3%）減少している。うち住宅における認知は439件で、侵入強盗全体の25.8%を占めており、前年に比べ106件（19.4%）減少している。

また、侵入強盗に伴う身体犯の認知件数も増加していたが、平成16年以降3年連続して減少し、平成19年にあっても438件と、前年に比べ38件（8.0%）減少している。

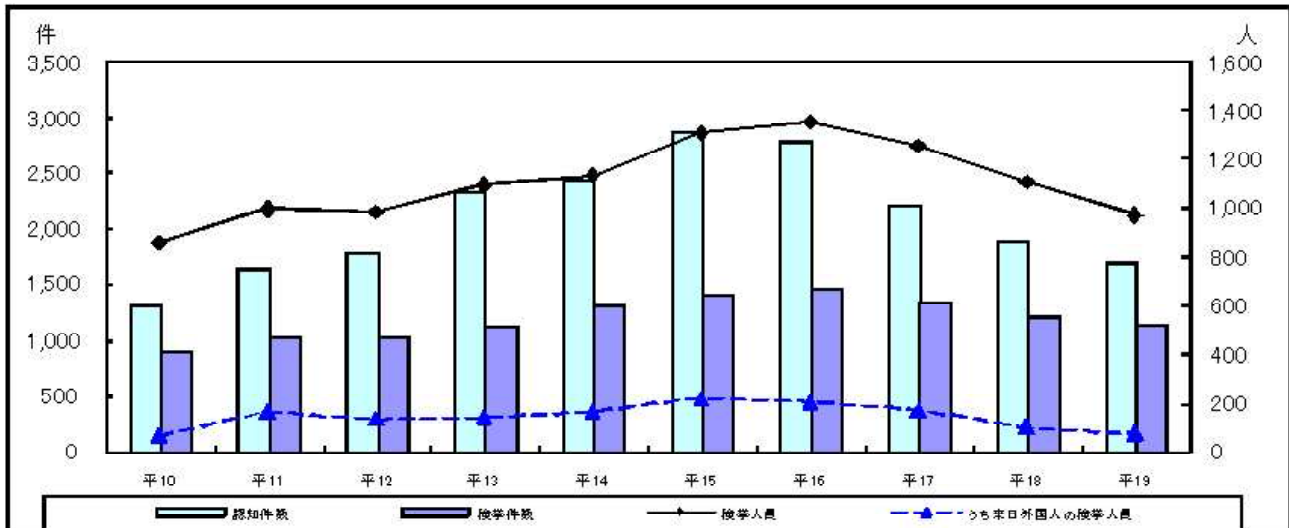
検挙件数、検挙人員は、平成9年以降ともに増加したが、平成17年以降2年連続してともに減少し、平成19年にあっても検挙件数は1,140件で、前年に比べ61件（5.1%）、うち住宅における事件の検挙は315件で、前年に比べ10件（3.1%）、検挙人員は968人で、前年に比べ139人（12.6%）それぞれ減少している。

来日外国人の検挙人員は、平成11年以降急激に増加したのち、平成16年以降3年連続して減少し、平成19年にあっても70人と、前年に比べ28人（28.6%）減少しており、検挙人員全体の7.2%を占めている（図表2-2-(1)-1、2）。

平成19年に認知した事件をみると、発生場所は商店が49.5%、住宅が25.8%（うち一戸建住宅が10.9%、4階建以上の共同住宅が6.1%、3階建以下の共同住宅が8.8%）、生活環境営業が10.6%、金融機関等が9.6%となっており、発生時間帯は午前2時から午前4時が最も多い（図表2-2-(1)-3、4）。

検挙した事件をみると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表2-2-(1)-5）。

図表 2 - 2 - (1) - 1 侵入強盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件(人)数	率(%)
認知件数	1,314	1,649	1,788	2,335	2,436	2,885	2,776	2,205	1,898	1,700	-196	-10.3
うち住宅	418	625	654	711	797	891	954	703	545	439	-106	-19.4
検挙件数	897	1,020	1,024	1,116	1,314	1,402	1,458	1,328	1,201	1,140	-81	-5.1
うち住宅	-	-	-	-	-	-	510	398	325	315	-10	-3.1
検挙人員	854	993	982	1,094	1,134	1,310	1,356	1,255	1,107	968	-139	-12.6
うち来日外国人 (割合%)	63 7.4	160 16.1	132 13.4	138 12.6	163 14.4	218 16.6	201 14.8	170 13.5	98 8.9	70 7.2	-28 -1.7	-28.6 -
検挙率	68.3	61.9	57.3	47.8	53.9	48.9	52.5	60.2	63.3	67.1	3.8ポイント	

注：「住宅」とは、一戸建住宅及び共同住宅とした。

図表 2 - 2 - (1) - 2 侵入強盗に伴う身体犯の認知件数の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率(%)
侵入強盗		1,314	1,649	1,788	2,335	2,436	2,885	2,776	2,205	1,898	1,700	-196	-10.3
侵入強盗に伴う身体犯		379	527	550	627	689	741	727	570	476	438	-38	-8.0
うち強盗殺人・致死		44	44	42	58	52	48	51	44	30	24	-6	-20.0
うち強盗傷人		287	398	446	477	557	572	552	431	381	334	-47	-12.3
うち強盗強姦		48	85	62	92	80	121	124	95	65	80	15	23.1

注：「侵入強盗に伴う身体犯」とは、侵入強盗のうち、強盗殺人・致死、強盗傷人、強盗強姦とした。

図表 2 - 2 - (1) - 3 侵入強盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		1,898	100.0	1,700	100.0	-198	-10.3
住宅		545	28.7	439	25.8	-106	-19.4
一戸建住宅		230	12.1	185	10.9	-45	-19.6
共同住宅(4階建以上)		158	8.3	104	6.1	-54	-34.2
共同住宅(3階建以下)		157	8.3	150	8.8	-7	-4.5
一般事務所		22	1.2	40	2.4	18	81.8
商店		934	49.3	842	49.5	-92	-9.9
生活環境営業		170	9.0	180	10.6	10	5.9
金融機関等		187	9.9	164	9.6	-23	-12.3
その他		38	2.0	35	2.1	-3	-7.9

図表 2 - 2 - (1) - 4 侵入強盗の発生時間帯別認知件数

年次	時間 0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	不明	総数
平18	205	371	288	48	59	105	150	129	130	130	135	145	1	1,896
平19 (割合%)	177 10.4	311 18.3	263 15.5	51 3.0	63 3.7	100 5.9	125 7.4	104 8.1	113 6.6	123 7.2	132 7.8	135 7.9	3 0.2	1,700 100.0
増減 件数	-28	-60	-25	3	4	-5	-25	-25	-17	-7	-3	-10	2	-196
率(%)	-13.7	-16.2	-8.7	6.3	6.8	-4.8	-16.7	-19.4	-13.1	-5.4	-2.2	-6.9	200.0	-10.3

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 2 - (1) - 5 侵入強盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		1,189	100.0	1,124	100.0	-65	-5.5
成人事件の総数		1,122	94.4	1,039	92.4	-83	-7.4
単独		903	80.5	894	86.0	-9	-1.0
共犯		219	19.5	145	14.0	-74	-33.8
少年事件の総数		50	4.2	66	5.9	16	32.0
単独		35	70.0	55	83.3	20	57.1
共犯		15	30.0	11	16.7	-4	-26.7
成人・少年共犯事件の総数		17	1.4	19	1.7	2	11.8

注：解決事件を除く。

(2) 侵入窃盗

侵入窃盗の認知件数は、平成10年以降増加していたが、平成15年以降4年連続して減少し、平成19年にあっても17万5,728件と、前年に比べ2万9,735件(14.5%)減少している。うち住宅における認知は10万6,700件で、侵入窃盗全体の60.7%を占めており、前年に比べ1万6,703件(13.5%)減少している。

検挙件数、検挙人員は、平成12年以降急激に減少し、検挙件数は平成14年、検挙人員は平成15年に増加に転じたが、平成16年以降は検挙件数、検挙人員ともに減少している。平成19年にあっても検挙件数は9万6,266件と、前年に比べ4,558件(4.5%)、うち住宅における事件の検挙は5万5,677件と、前年に比べ4,099件(6.9%)、検挙人員は1万2,037人と、前年に比べ397人(3.2%)それぞれ減少している。

来日外国人の検挙人員は、平成12年に急激に増加したが、平成16年以降3年連続して減少している。平成19年にあっても408人と、前年に比べ33人(7.5%)減少している(図表2-2-(2)-1)。

平成19年に認知した事件をみると、発生場所は住宅が60.7%(うち一戸建住宅が37.1%、4階建以上の共同住宅が8.2%、3階建以下の共同住宅が15.5%)、一般事務所が13.7%、商店が8.0%、生活環境営業が7.6%を占めている。

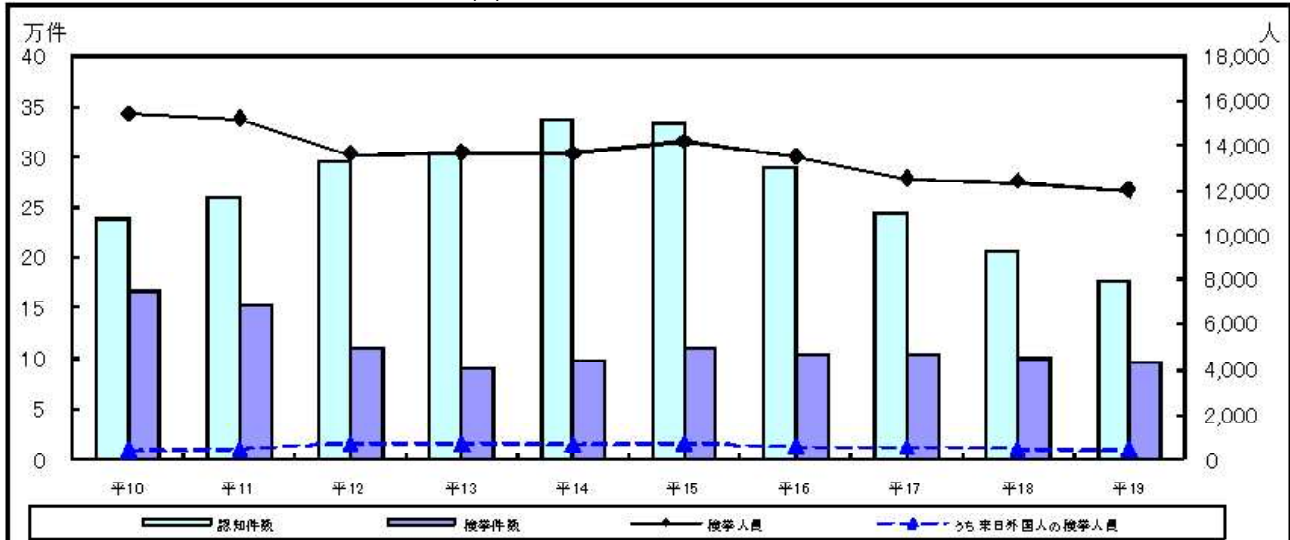
また、侵入口・侵入手段を発生場所別にみると、侵入口は、一戸建住宅及び3階建以下の共同住宅は窓、4階建以上の共同住宅、一般事務所、商店及び生活環境営業は表出入口が最も多く、侵入手段は、一戸建住宅、4階建以上の共同住宅、3階建以下の共同住宅、一般事務所、商店及び生活環境営業のいずれもガラス破りが最も多い(図表2-2-(2)-2、3)。

平成14年まで多発していたピッキング用具を使用した侵入窃盗は、平成15年以降急激に減少しており、平成19年は708件と、前年に比べ821件（53.7%）減少している。

また、平成15年に多発したドリルを使用したサムターン回しによる侵入窃盗（ドリル等で出入口ドアに穴を開けた上、サムターン回しで開錠する手口）は、平成16年以降減少し、平成18年に増加に転じたが、平成19年は169件で、前年に比べ699件（80.5%）と急激に減少している（図表2-2-(2)-4、5）

侵入窃盗の検挙した事件をみると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表2-2-(2)-6）。

図表2-2-(2)-1 侵入窃盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率 (%)
認知件数		237,703	260,931	296,436	303,698	338,294	333,233	290,595	244,778	205,463	175,728	-29,735	-14.5
	うち住宅	124,098	135,283	154,787	163,305	191,200	192,383	174,519	146,243	123,403	106,700	-16,703	-13.5
検挙件数		165,818	152,934	109,128	89,456	98,335	109,920	104,818	104,454	100,824	96,266	-4,558	-4.5
	うち住宅	-	-	-	-	-	-	59,177	61,414	59,778	55,677	-4,099	-6.9
検挙人員		15,480	15,234	13,651	13,712	13,696	14,208	13,548	12,564	12,434	12,037	-397	-3.2
	うち非日本人	390	438	674	688	658	704	565	524	441	408	-33	-7.9
	(割合%)	2.5	2.9	4.9	5.0	4.8	5.0	4.2	4.2	3.5	3.4	-0.1	-
検挙率		69.8	58.6	36.8	29.5	29.1	33.0	36.1	42.7	49.1	54.8	5.7ポイント	

注：「住宅」とは、一戸建住宅及び共同住宅とした。

図表2-2-(2)-2 侵入窃盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
認知件数		205,463	100.0	175,728	100.0	-29,735	-14.5
住宅		123,403	60.1	106,700	60.7	-16,703	-13.5
	一戸建住宅	73,155	35.6	65,136	37.1	-8,019	-11.0
	共同住宅（4階層以上）	16,876	8.2	14,380	8.2	-2,496	-14.8
	共同住宅（3階層以下）	33,372	16.2	27,184	15.5	-6,188	-18.5
一般事務所		29,004	14.1	24,016	13.7	-4,988	-17.2
商店		18,026	8.8	14,066	8.0	-3,960	-22.0
生活環境営業		15,493	7.5	13,273	7.6	-2,220	-14.3
金融機関等		408	0.2	309	0.2	-99	-24.3
その他		19,129	9.3	17,364	9.9	-1,765	-9.2

図表 2 - 2 - (2) - 3 侵入窃盗の発生場所別の侵入口・侵入手段（平成19年）

	総数	施錠開け	錠破り	ガラス破り	その他の破壊	戸外し	開け放し	施錠設備なし	施錠せず	その他	不明	
一戸建住宅	認知件数	65,136	1,936	713	26,366	2,380	669	1,924	385	25,601	2,113	3,049
	表出入口	9,334	987	170	591	130	32	427	138	6,373	219	257
	非常口	30	4	2	8	4	0	1	0	9	1	1
	その他の出入口	12,032	599	339	2,964	1,272	69	264	114	5,628	545	238
	窓	39,389	308	190	22,632	902	558	1,068	95	12,214	985	437
	その他	1,006	17	12	169	71	10	45	25	301	288	68
不明	3,345	11	0	2	1	0	119	13	1,076	75	2,048	
共同住宅（4階層以上）	認知件数	14,380	3,625	400	3,989	1,146	32	348	47	3,230	417	1,146
	表出入口	7,205	3,521	363	50	970	3	73	30	1,604	201	390
	非常口	20	5	0	4	0	0	2	0	7	1	1
	その他の出入口	136	18	4	27	9	1	4	0	63	6	4
	窓	6,197	66	31	3,895	165	27	264	17	1,495	151	86
	その他	91	7	2	12	2	1	3	0	17	36	11
不明	731	8	0	1	0	0	2	0	44	22	654	
共同住宅（3階層以下）	認知件数	27,184	2,747	332	12,425	465	137	700	112	8,000	721	1,545
	表出入口	7,095	2,514	227	209	206	17	157	48	3,097	212	408
	非常口	28	5	2	3	3	0	2	0	12	0	1
	その他の出入口	890	45	28	313	42	4	26	19	355	38	20
	窓	17,858	168	72	11,857	207	115	496	31	4,345	367	200
	その他	235	13	3	43	7	1	8	13	43	88	16
不明	1,078	2	0	0	0	0	11	1	148	16	900	
一般事務所	認知件数	24,016	1,847	1,334	11,255	2,382	473	471	263	3,980	957	1,054
	表出入口	9,077	1,325	938	2,797	1,175	183	275	126	1,696	334	228
	非常口	225	28	25	76	33	3	4	1	36	6	13
	その他の出入口	4,737	376	297	1,835	794	56	106	72	905	184	112
	窓	8,473	85	48	6,366	225	217	58	25	1,153	197	99
	その他	789	25	26	179	155	14	14	28	91	219	38
不明	715	8	0	2	0	0	14	11	99	17	564	
商店	認知件数	14,066	1,109	855	5,474	2,412	325	292	154	2,097	802	546
	表出入口	4,974	649	411	1,642	794	128	130	65	713	319	123
	非常口	243	29	20	60	66	0	2	4	37	9	16
	その他の出入口	4,469	378	393	1,319	1,198	68	90	52	681	194	96
	窓	3,464	38	18	2,295	187	120	49	13	584	121	39
	その他	607	12	13	158	167	9	14	13	54	147	20
不明	309	3	0	0	0	0	7	7	28	12	252	
生活環境営業	認知件数	13,273	1,412	1,188	4,379	2,206	285	246	87	2,219	649	602
	表出入口	5,176	894	742	1,376	801	80	110	39	735	249	150
	非常口	284	30	28	90	63	1	3	2	49	11	7
	その他の出入口	4,449	446	391	1,325	1,144	62	65	27	694	199	96
	窓	2,710	20	18	1,535	134	136	60	14	669	89	35
	その他	288	18	9	53	64	6	3	4	33	35	13
不明	366	4	0	0	0	0	5	1	39	16	301	

図表 2 - 2 - (2) - 4 ピッキング用具を使用した認知・検挙状況の推移

区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
							件数	率 (%)
認知件数		9,351	4,355	2,171	1,529	708	-821	-53.7
検挙件数		3,299	2,418	1,095	705	819	114	16.2
検挙率		35.3	55.5	50.4	46.1	115.7	69.6	ポイント

注：平成15年は実務統計による集計数値、平成16年以降は犯罪統計によるものである。

図表 2 - 2 - (2) - 5 ドリルを使用したサムターン回しによる認知・検挙状況の推移

区分	年次	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
							件数	率 (%)
認知件数		4,366	1,763	735	868	169	-699	-80.5
検挙件数		182	999	869	353	326	-27	-7.6
検挙率		4.2	56.7	118.2	40.7	192.9	152.2	ポイント

注：平成15年は実務統計による集計数値、平成16年以降は犯罪統計によるものである。

図表 2 - 2 - (2) - 6 侵入窃盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次		平18		平19		増減	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数	99,695	100.0	95,084	100.0	-4,611		-4.6	
成人事件の総数	94,595	94.9	90,599	95.3	-3,996		-4.2	
単独	72,449	76.6	71,105	78.5	-1,344		-1.9	
共犯	22,146	23.4	19,494	21.5	-2,652		-12.0	
少年事件の総数	3,711	3.7	3,324	3.5	-387		-10.4	
単独	2,129	57.4	1,960	59.0	-169		-7.9	
共犯	1,582	42.6	1,364	41.0	-218		-13.8	
成人・少年共犯事件の総数	1,389	1.4	1,161	1.2	-228		-16.4	

注：解決事件を除く。

(3) 住居侵入

住居侵入の認知件数は、平成12年以降急激に増加したが、平成16年以降3年連続して減少し、平成19年にあっても2万7,383件と、前年に比べ3,647件(11.8%)減少している。うち住宅における認知は1万7,579件と、住居侵入全体の64.2%を占めており、前年に比べ1,929件(9.9%)減少している。

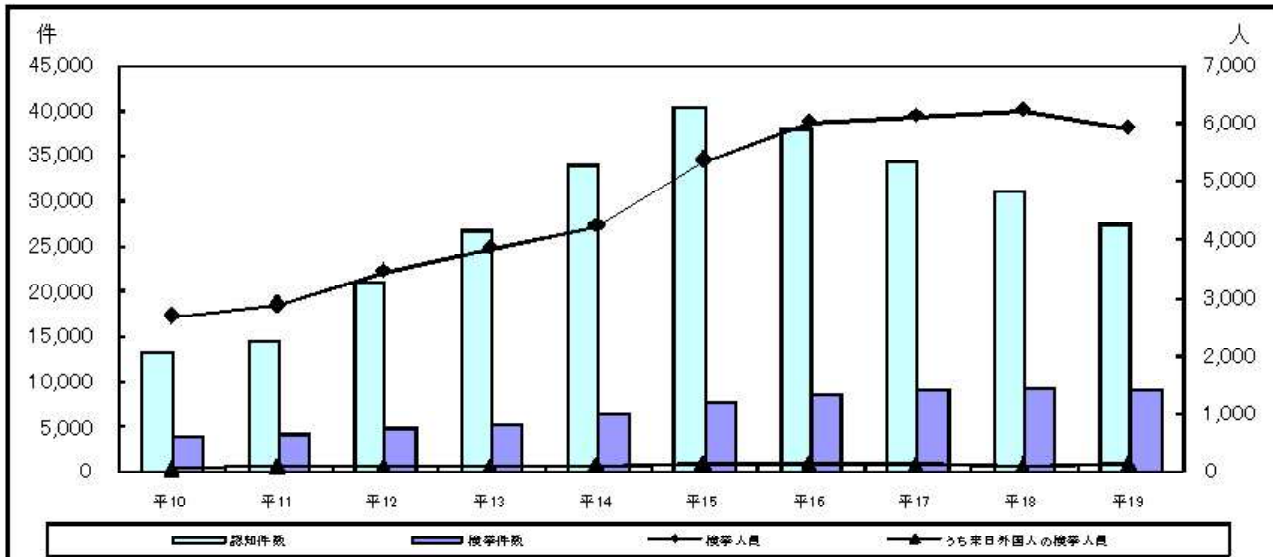
検挙件数、検挙人員は増加していたが、平成19年の検挙件数は9,041件で、前年に比べ170件(1.8%)、うち住宅における事件の検挙は5,334件で、前年に比べ35件(0.7%)、検挙人員は5,901人で、前年に比べ308人(5.0%)それぞれ減少している。

来日外国人の検挙人員は、平成11年以降増加し、平成16年以降は減少していたが、平成19年は114人で、前年に比べ8人(7.5%)増加している(図表2-2-(3)-1)。

平成19年に認知した事件をみると、発生場所は住宅が64.2%(うち一戸建住宅が34.5%、4階建以上の共同住宅が9.7%、3階建以下の共同住宅が20.0%)、一般事務所が8.5%、商店が6.0%、生活環境営業が5.1%を占めている(図表2-2-(3)-2)。

検挙した事件をみると、成人事件では単独犯が多く、少年事件では共犯が多い(図表2-2-(3)-3)。

図表 2 - 2 - (3) - 1 住居侵入の認知・検挙状況の推移



区分	年次											増減	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件(人)数	率(%)	
認知件数	13,308	14,549	20,976	26,636	33,872	40,348	37,857	34,518	31,030	27,383	-3,647	-11.8	
うち住宅	7,892	8,587	12,444	15,516	20,084	24,765	23,730	21,608	19,508	17,579	-1,929	-9.9	
検挙件数	4,013	4,094	4,818	5,245	6,461	7,820	8,566	8,961	9,211	9,041	-170	-1.8	
うち住宅	-	-	-	-	-	-	5,025	5,189	5,369	5,384	-35	-0.7	
検挙人員	2,679	2,868	3,445	3,856	4,214	5,361	5,993	6,107	6,209	5,901	-308	-5.0	
うち来日外国人 (割合%)	44 1.6	78 2.7	98 2.8	99 2.6	110 2.6	134 2.5	127 2.1	114 1.9	106 1.7	114 1.9	8 0.2	7.5 -	
検挙率	30.2	28.1	23.0	19.7	19.1	19.4	22.6	26.0	29.7	33.0	3.3ポイント		

注：「住宅」とは、一戸建住宅及び共同住宅とした。

図表 2 - 2 - (3) - 2 住居侵入の発生場所別認知件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		31,030	100.0	27,383	100.0	-3,647	-11.8
住宅		19,508	62.9	17,579	64.2	-1,929	-9.9
一戸建住宅		10,710	34.5	9,448	34.5	-1,262	-11.8
共同住宅(4階層以上)		2,938	9.5	2,643	9.7	-295	-10.0
共同住宅(3階層以下)		5,860	18.9	5,488	20.0	-372	-6.3
一般事務所		2,919	9.4	2,334	8.5	-585	-20.0
商店		2,088	6.7	1,639	6.0	-449	-21.5
生活環境営業		1,710	5.5	1,387	5.1	-323	-18.9
金融機関等		109	0.4	120	0.4	11	10.1
その他		4,696	15.1	4,324	15.8	-372	-7.9

図表 2 - 2 - (3) - 3 住居侵入の共犯形態別検挙件数

区分	年次		平18		平19		増減	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数	9,054	100.0	8,886	100.0	-168		-1.9	
成人事件の総数	7,529	83.2	7,457	83.9	-72		-1.0	
単独	6,628	88.0	6,657	89.3	29		0.4	
共犯	901	12.0	800	10.7	-101		-11.2	
少年事件の総数	1,410	15.6	1,316	14.8	-94		-6.7	
単独	567	40.2	512	38.9	-55		-9.7	
共犯	843	59.8	804	61.1	-39		-4.6	
成人・少年共犯事件の総数	115	1.3	113	1.3	-2		-1.7	

注：解決事件を除く。

第3 振り込め詐欺の特徴的傾向

(裏面)

1 詐欺の状況

詐欺の認知件数は、平成14年以降増加していたが、平成18年に減少に転じ、平成19年であっても6万7,787件と、前年に比べ6,845件（9.2%）減少している。しかしながら、振り込め詐欺等の広域知能犯罪の多発により、依然として高水準で推移している。

検挙件数は、平成19年は2万7,963件で、前年に比べ2,164件（7.2%）減少している。また、検挙人員は平成12年以降増加していたが、平成19年は1万2,113人で、前年に比べ293人（2.4%）減少している（図表3-1）。

図表3-1 詐欺の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
											件(人)数	率
認知件数	48,279	43,431	44,384	43,104	49,482	60,298	83,015	85,596	74,632	67,787	-6,845	-9.2%
検挙件数	44,405	38,340	35,255	30,017	31,547	30,364	26,617	29,384	30,127	27,963	-2,164	-7.2%
検挙人員	8,651	8,178	8,492	8,495	9,507	10,194	11,238	11,648	12,406	12,113	-293	-2.4%
検挙率	92.0%	88.3%	79.4%	69.6%	63.8%	50.4%	32.1%	34.3%	40.4%	41.3%	0.9ポイント	

2 振り込め詐欺（恐喝）の状況

近時、息子等親族を装い、会社でのトラブル、横領の補填金等名目に現金を騙し（脅し）取るいわゆるオレオレ詐欺（恐喝）や、架空の事実を口実として文書等を送付し金品を要求するなどして金品を騙し（脅し）取る架空請求詐欺（恐喝）、実際には融資をしないにもかかわらず、融資する旨の文書等を送付して、融資を申し込んできた者に対し、保証金等名目に金品を騙し取る融資保証金詐欺、税務署等を装い、税金の還付等に必要の手続を装って被害者にATMを操作させ、被害者が気付かないまま口座間送金により財産上の不法の利益を得る還付金等詐欺が多発し、被害は全国に及んでいる。

従来、振り込め詐欺の定義については、オレオレ詐欺、架空請求詐欺及び融資保証金詐欺の3類型を総称してきたが、還付金等詐欺の犯行形態は、何回も売買された携帯電話や預金口座等の匿名性の高い犯行ツールを利用し、不特定多数の者から現金を騙し取るものであり、従来の振り込め詐欺の3類型と同一視すべきものであることから、警察庁では平成19年10月から、還付金等詐欺を振り込め詐欺の第4の類型と位置付け、その捜査活動及び被害防止活動を強化することとした。

平成19年における振り込め詐欺（恐喝）の認知件数は1万7,930件（うち既遂1万7,671件）、被害額は251億4,242万1,788円で、検挙件数は3,079件、検挙人員は454人である（図表3-2）。

図表3 - 2 振り込め詐欺（恐喝）の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平17	平18	平19	増減
認知件数	21,612	19,020	17,930	-1,090
うち既遂	19,840	18,662	17,671	-991
被害総額	25,151,867,404	25,493,300,973	25,142,421,788	-350,879,185
検挙件数	2,539	2,974	3,079	105
検挙人員	819	761	454	-307

注：本表は、実務統計による集計数値である。

(1) いわゆるオレオレ詐欺（恐喝）

平成19年における、いわゆるオレオレ詐欺（恐喝）の認知件数は6,430件（うち既遂6,300件）と、前年に比べ663件減少（うち既遂497件減少）しており、被害総額は145億3,290万4,592円と、前年に比べ1億4,335万6,745円減少している。一方、平成19年の検挙件数は820件と、前年に比べ155件減少し、検挙人員は197人と、前年に比べ57人減少している（図表3 - 2 - (1) - 1）。

認知した事件を形態別（文言別）に見ると、会社でのトラブル・横領金等の補填金名目が2,725件（構成比42.4%）で最も多く、次いでサラ金等借金返済名目の2,025件（同31.5%）となっている（図表3 - 2 - (1) - 2）。

また、平成19年の既遂事件1件当たりの被害額は230万6,810円で、前年に比べ14万7,584円増加している（図表3 - 2 - (1) - 3）。

図表3 - 2 - (1) - 1 いわゆるオレオレ詐欺（恐喝）の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平17	平18	平19	増減
認知件数	6,854	7,093	6,430	-663
うち既遂	5,682	6,797	6,300	-497
被害総額	12,862,013,578	14,676,261,337	14,532,904,592	-143,356,745
検挙件数	1,142	975	820	-155
検挙人員	325	254	197	-57

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3 - 2 - (1) - 2 いわゆるオレオレ詐欺（恐喝）の形態別（文言別）認知事件数

区分	年次		平17		平18		平19		
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	
交通事故示談金名目	1,248	18.2	241	3.4	129	2.0			
サラ金等借金返済名目	1,204	17.6	1,845	26.0	2,025	31.5			
妊娠中絶手術費用名目	85	0.9	146	2.1	299	4.7			
身の代金目的誘拐等	132	1.9	1	0.0	0	0.0			
その他の名目	公共交通機関での麻漢示談金	1,512	22.1	680	9.6	93	1.4		
	わいせつ行為示談金	643	9.4	317	4.5	374	5.8		
	医療過誤示談金	217	3.2	33	0.5	24	0.4		
	会社でのトラブル・横領金等の補填金	718	10.5	2,885	40.7	2,725	42.4		
	その他	1,115	16.3	945	13.3	761	11.8		
合計	6,854	100.0	7,093	100.0	6,430	100.0			

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3 - 2 - (1) - 3 オレオレ詐欺（恐喝）事件の1件当たりの被害額

区分	年次	平17	平18	平19	増減
被害総額		12,862,013,578	14,676,261,337	14,532,904,592	-143,356,745
1件当たりの被害額		2,263,642	2,159,226	2,306,810	147,584

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】元暴力団員らによる交通事故示談金名目のオレオレ詐欺事件(北海道)

無職の男(22)らは、平成17年12月ころ、被害者に電話をかけ、同人の息子になりすまして、「昨日の夜、酒気帯び運転していて、人をはねてしまった。警察に言ったら免許取られるから、相手は120万円払ったら示談にしてやるって言っている。」などとうそを言い、さらに、交通事故の相手方になりすまし、「私の方は、警察に届けてもいいんですけど、息子さん、酒飲んでたし、免許取消しになるから、警察沙汰にしたいくないって言うんですよ。示談金くれれば、私の方は、警察沙汰にしないでいいですよ。」などとうそを言い、80万円を振り込ませて騙し取った(1月22日検挙)。

【事例2】会社の資金遺失補填名目のオレオレ詐欺事件(警視庁)

会社役員の男(23)らは、平成18年4月ころ、被害者に電話をかけ、同人の息子になりすまして、「タクシーの中に200万円を入れたバッグを忘れてしまった。契約するのに必要な200万円だったんだよ。午後3時までにはできなければ契約が駄目になる。お母さん頼むよ。」などとうそを言い、さらに、「相手の会社に払ったんだけど時間が間に合わなかった。違約金200万円を払わなければならなくなった。」などとうそを言い、3回にわたって合計400万円を振り込ませて騙し取った(3月3日検挙)。

【事例3】盗撮示談金名目のオレオレ詐欺事件（警視庁）

無職の男(24)らは、平成19年6月ころ、被害者に電話をかけ、同人の息子及び警察官になりすまして、「息子さんがコンビニの店内で、携帯電話のカメラを使って盗撮した。息子さんには刑務所に行って罪を償うか、弁護士がついて和解するかのどちらかになります。」などとうそを言い、さらに、弁護士及び被害者の家族になりすまし、「和解するにはお金がかかる。相場は200万円から400万円です。お金を用意してください。」などとうそを言い、190万円を振り込ませて騙し取った(9月18日検挙)。

【事例4】住宅ローン保証金名目のオレオレ詐欺事件（神奈川・埼玉・警視庁）

無職の男(31)らは、平成19年3月ころ、被害者に電話をかけ、同人の息子になりすまして、「友達の住宅ローンの保証人になったけど、その友達がなくなった。業者からローンの未払分や管理費を請求されている。弁護士が家に行ったらお金を渡して欲しい。」などとうそを言い、500万円を騙し取った(10月24日検挙)。

(2) 架空請求詐欺（恐喝）

平成19年における架空請求詐欺（恐喝）の認知件数は3,007件（うち既遂2,984件）と、前年に比べ607件減少（うち既遂586件減少）しており、被害総額は37億6,576万3,583円と、前年に比べ11億2,034万6,531円減少している。検挙件数は1,252件で、前年に比べ129件増加しており、検挙人員は132人と、前年に比べ207人減少している（図表3-2-(2)-1）。

認知した事件を形態別（文言別）に見ると、有料サイト利用料金名目が1,446件（構成比48.1%）で最も多くなっている（図表3-2-(2)-2）。

また、平成19年の既遂事件1件当たりの被害額は、126万1,985円で、前年に比べ10万6,673円減少している（図表3-2-(2)-3）。

図表3-2-(2)-1 架空請求詐欺（恐喝）の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平17	平18	平19	増減
認知件数	4,826	3,614	3,007	-607
うち既遂	4,258	3,570	2,984	-586
被害総額	5,605,918,855	4,886,110,114	3,765,763,583	-1,120,346,531
検挙件数	821	1,123	1,252	129
検挙人員	285	339	132	-207

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3 - 2 - (2) - 2 架空請求詐欺（恐喝）事件の形態別（文言別）認知事件数

区分	年次	平19	
		件数	構成比（%）
有料サイト利用料金名目		1,446	48.1
借金返済・債権回収名目		374	12.4
訴訟関係費用等名目		368	12.2
情報購入代金等名目		140	4.7
その他の名目		679	22.6
合計		3,007	100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3 - 2 - (2) - 3 架空請求詐欺（恐喝）事件の1件当たりの被害額

区分	年次	平17	平18	平19	増減
被害総額		5,605,918,855	4,886,110,114	3,765,763,583	-1,120,346,531
1件当たりの被害額		1,316,561	1,368,658	1,261,985	-106,673

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】有料サイト利用者に対する調査費用名目等による架空請求詐欺事件（静岡・広島）

債権回収代行業の男(31)らは、平成18年11月ころ、有料サイト利用者である被害者に電話をかけ、「親戚の名前、住所を確認するための調査料、親戚と確認された方の資料を作成する手数料で63万円になります。今進めている調査を中止させるための費用10万円、資料を処分する費用22万円等がかかり、金額は120万円となりますが、一度に振り込んでいただけるのなら特別に97万6,000円で決算します。」などとうそを言い、97万6,000円を振り込ませて騙し取り、さらに、別の被害者からも、調査費用、サイト利用者への迷惑料、債権回収要員の交通費名目に78万1,000円を振り込ませて騙し取った（2月1日検挙）。

【事例2】大学生らによる債務整理名目の架空請求詐欺未遂事件（警視庁）

大学生(23)らは、平成19年3月ころ、被害者の携帯電話にフリーダイヤルの着信情報を残存させ、電話をかけ直してきた被害者に対して、「私は、弁護士協会の者です。電話サイトの料金の未納分が30万円くらい発生していますよ。今なら前の債務を無しにして今まで払ったお金を取り戻せるかもしれませんよ。そのために手数料として100万円を振り込んでください。」などとうそを言い、金員を騙し取ろうとしたが、嘘であることを見破られて目的を遂げなかった（4月27日検挙）。

【事例3】金融信用情報業者を装った情報削除手数料名目の架空請求詐欺事件（警視庁）

無職の男（25）らは、平成19年9月ころ、被害者に電話をかけ、「あなたの金融データが出回っています。データを削除するには手数料がかかります。」などとうそを言い、30万円を振り込ませて騙し取った（11月28日検挙）。

(3) 融資保証金詐欺

平成19年における融資保証金詐欺の認知件数は5,922件（うち既遂5,896件）と、前年に比べ1,909件減少（うち既遂1,919件減少）しており、被害総額は38億5,704万2,597円と、前年に比べ15億5,899万5,181円減少している。また、平成19年の検挙件数は886件と、前年に比べ10件増加しており、検挙人員は117人で、前年に比べ51人減少している（図表3-2-(3)-1）。

平成19年の既遂事件1件当たりの被害額は、65万4,180円で、前年に比べ3万8,851円減少している（図表3-2-(3)-2）。

図表3-2-(3)-1 融資保証金詐欺の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平17	平18	平19	増減
認知件数	9,932	7,831	5,922	-1,909
うち既遂	9,900	7,815	5,896	-1,919
被害総額	6,683,934,971	5,416,037,778	3,857,042,597	-1,558,995,181
検挙件数	576	876	886	10
検挙人員	209	188	117	-51

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3-2-(3)-2 融資保証金詐欺（恐喝）事件の1件当たりの被害額

区分 \ 年次	平17	平18	平19	増減
被害総額	6,683,934,971	5,416,037,778	3,857,042,597	-1,558,995,181
1件当たりの被害額	675,145	693,031	654,180	-38,851

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】インターネットを利用した融資保証金詐欺事件（埼玉・静岡）

会社従業員の男(33)らは、平成18年12月ころ、融資を申し込めば90日間無利息で融資を受けられるなどと記載したウェブサイトを開示し、これを閲読して電話をかけてきた被害者に対して、「審査が通りましたので、400万円を融資することができます。しかし、担保もないし、私どもも融資にはリスクを負いますので保証会社に融資を保証してもらわなければなりません。保証会社には融資保証金と手数料で、合計25万5,000円を払ってもらうことになります。」などとうそを言い、さらに、「調査したところ、アダルトサイト使用料の未納料金があることが分かりました。このような債務がある人にはお金は貸せません。このアダルトサイトの債務を当社が買い取って、債務を一本化できます。アダルトサイトの料金は3万2,500円です。」などとうそを言い、それぞれ定型小包郵便で私設私書箱に送付させて合計約61万円を騙し取った（3月16日検挙）。

【事例2】融資保証金名目の詐欺事件(警視庁・岡山・和歌山)

無職の男(26)らは、平成19年1月ころ、被害者に電話をかけ、「お金が必要なことはないですか。当社は他社に比べ融資を受けられやすくなっております。あなたを審査してみますと30万円まで貸せます。その手数料として2万1,000円を入金してください。これは融資した金額に上乗せして融資を実行いたします。」などとうそを言い、6回にわたって合計約12万円を振り込ませて騙し取り、さらに、平成19年3月ころ、別の被害者に電話をかけ、「お金が必要なことはないですか。あなたには100万円まで貸せます。融資の前に返済能力について現状確認させていただきたい。とりあえず10万円を入金してください。これは融資した金額に上乗せして融資を実行いたします。」などとうそを言い、13回にわたって合計約65万円を振り込ませて騙し取った（5月23日検挙）。

【事例3】ダイレクトメールを利用した融資保証金詐欺事件（警視庁）

無職の男(34)らは、平成19年11月ころ、架空の金融業者を装い、被害者方に融資案内のダイレクトメールを郵送し、電話で融資を申し込んだ被害者に対して、「保証人を立てられない場合は、保証金を支払ってください。」などとうそを言い、25万円を振り込ませ騙し取った（12月5日検挙）。

(4) 還付金等詐欺

平成19年における還付金等詐欺の認知件数は2,571件（うち既遂2,491件）で、前年に比べ2,089件増加（うち既遂2,011件増加）しており、被害総額は29億8,671万1,016円で、前年に比べ24億7,181万9,272円増加している。また、平成19年の検挙件数は121件で、検挙人員は8人である（図表3-2-(4)-1）。

平成19年の既遂事件1件当たりの被害額は、119万9,001円で、前年に比べ12万6,310円増加している（図表3-2-(4)-2）。

図表3 - 2 - (4) - 1 還付金等詐欺事件の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平18	平19	増減
認知件数	482	2,571	2,089
うち既遂	480	2,491	2,011
被害総額	514,891,744	2,986,711,016	2,471,819,272
検挙件数	0	121	121
検挙人員	0	8	8

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3 - 2 - (4) - 2 還付金等詐欺事件の1件当たりの被害額

区分 \ 年次	平18	平19	増減
被害総額	514,891,744	2,986,711,016	2,471,819,272
1件当たりの被害額	1,072,691	1,199,001	126,310

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】税金還付金名目の電子計算機使用詐欺事件（警視庁・千葉）

無職の男(31)らは、平成19年4月ごろ、あらかじめ同人らの指示に従えば税金の還付金を受領できると誤信させられていた被害者に指示して、銀行の現金自動預払機に同被害者名義のキャッシュカードを挿入して同機を作動させ、同銀行に設置された電子計算機に対し、同被害者名義の預金口座から、無職の男らが管理する預金口座に2回にわたり、約200万円を振込送金したとする虚偽の情報を与えさせ、同銀行に設置された電子計算機に接続されている磁気ディスクに記録された預金口座の残高を増加させて財産権の得喪・変更に係る不実の電磁的記録を作り、合計約200万円相当の財産上不法の利益を得た（5月9日検挙）。

【事例2】税金還付等名目の電子計算機使用詐欺事件（岐阜・愛知・愛媛）

無職の男(28)らは、平成19年4月ごろ、あらかじめ同人らの指示に従えば税金の還付金を受領できると誤信させられていた被害者に指示して、銀行の現金自動預払機に同被害者名義のキャッシュカードを挿入して同機を作動させ、同銀行に設置された電子計算機に対し、同被害者名義の預金口座から、無職の男らが管理する預金口座に約50万円を振込送金したとする虚偽の情報を与えさせ、同銀行に設置された電子計算機に接続されている磁気ディスクに記録された預金口座の残高を増加させて財産権の得喪・変更に係る不実の電磁的記録を作り、合計約50万円相当の財産上不法の利益を得た（12月10日検挙）。

3 振り込め詐欺を助長する犯罪

振り込め詐欺（恐喝）を減少させるためには、詐欺（恐喝）の本犯を検挙するだけでなく、匿名性の高い犯行ツールである他人名義の預貯口座や携帯電話の不正な供給・流通を遮断する必要がある。

警察では、「金融機関等による顧客等の本人確認及び預金口座等の不正な利用の防止に関する法律」（いわゆる改正本人確認法）及び「携帯音声通信事業者による契約者等の本人確認等及び携帯音声通信役務の不正な利用の防止に関する法律」（いわゆる携帯電話不正利用防止法）を積極的に活用するなどして、振り込め詐欺を助長する犯罪の取締りを推進している。

(1) 預貯金口座等の不正な取得・流通

平成19年における金融機関から通帳・キャッシュカードを騙し取る詐欺罪及び騙し取られた通帳等であることを知りながら譲り受ける盗品譲受け等罪の検挙件数は1,650件と、前年に比べ16件減少し、検挙人員は740人と、前年に比べ172人減少している（図表3-3-(1)）。

また、平成19年の改正本人確認法の検挙件数は203件、検挙人員は139人である。

図表3-3-(1) 口座詐欺事件等の検挙状況

区分		年次	平17	平18	平19	増減
口座詐欺	検挙件数		1,222	1,558	1,602	44
	検挙人員		866	818	700	-118
盗品譲受け	検挙件数		148	108	48	-60
	検挙人員		161	94	40	-54
合計	検挙件数		1,370	1,666	1,650	-16
	検挙人員		1,027	912	740	-172

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】宅配便を利用した改正本人確認法（業としての有償譲受）違反事件（高知）

飲食店経営の男(40)らは、業として、平成18年2月ころ、預金通帳1通及びキャッシュカード1枚につき5万円の約束でその購入方を申込み、預金通帳12通、キャッシュカード12枚を宅急便センター等において受領して譲り受けた（1月17日検挙）。

【事例2】改正本人確認法（業としてのなりすまし目的譲受）違反事件（静岡）

会社員の女(24)は、業として、平成18年12月ころ、他人になりすまして預貯金引出等金融機関等との間における預金契約に係る役務の提供を受けることを目的として、債権回収業の男(31)からキャッシュカード1枚の交付を受け、さらに、前記債権回収業の男から預金通帳1通、キャッシュカード1枚の交付及び暗証番号の提供を受けた（2月21日検挙）。

(2) 携帯電話の不正な取得・流通

平成19年における携帯電話販売店から携帯電話端末を騙し取る詐欺罪の検挙件数は281件と、前年に比べ192件増加し、検挙人員は224人と、前年に比べ148人増加している（図表3 - 3 - (2)）。

また、平成19年における携帯電話不正利用防止法違反での検挙件数は85件、検挙人員は16人である。

図表3 - 3 - (2) 携帯電話端末詐欺事件の検挙状況

区分		年次	平18	平19	増減
		検挙件数	89	281	192
携帯電話端末詐欺	検挙人員	76	224	148	

注：本表は、実務統計による集計数値である。

注：携帯電話端末詐欺は、携帯電話不正利用防止法の全面施行により、無断転売目的を秘して本人名義で契約する行為であっても詐欺罪で問擬可能となった平成18年4月からの統計である。

【事例】携帯電話不正利用防止法違反（他人名義に係る携帯電話の譲受け・譲渡し）事件（新潟）

土木作業員の男(30)は、平成18年4月ころ、無職の男(43)が、役務提供契約の契約者となっていないことの情を知って、同人から通話可能な携帯電話1台を譲り受けた。

また、上記無職の男は、上記土木作業員の男に対し、自己が契約者となっていない役務提供契約に係る通話可能な携帯電話1台を譲り渡した（3月22日検挙）。

第4 刑法犯の現況

1 重要犯罪

(1) 重要犯罪の認知・検挙状況

重要犯罪（殺人、強盗、放火、強姦の凶悪犯に略取誘拐・人身売買、強制わいせつを加えたものをいう。以下同じ。）の認知件数は、平成11年以降増加していたが、平成16年に減少に転じ、平成19年にあっても1万6,922件と、前年に比べ1,727件（9.3%）減少している。

検挙件数は1万181件と、前年に比べ903件（8.1%）減少し、検挙人員は8,315人と、前年に比べ565人（6.4%）減少している。

また、検挙率は60.2%と、前年に比べ0.8ポイント上昇している。（図表4-1-（1））

なお、強盗のうち、路上強盗については、前記2-1-（1）-1、侵入強盗については、前記2-2-（1）-1のとおりである。

図表4-1-（1） 重要犯罪の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件(人)数	率(%)
重要犯罪	認知件数	12,725	14,682	18,281	21,530	22,294	23,971	22,568	20,388	18,649	16,922	-1,727	-9.3
	検挙件数	10,700	10,491	11,049	11,418	11,186	12,362	11,812	11,419	11,084	10,181	-903	-8.1
	検挙人員	8,980	9,307	9,954	9,905	10,029	10,788	9,931	9,509	8,880	8,315	-565	-6.4
	検 挙 率	84.1	71.5	60.4	53.0	50.2	51.8	52.3	56.0	59.4	60.2	0.8ポイント	
殺人	認知件数	1,388	1,265	1,391	1,340	1,396	1,452	1,419	1,392	1,309	1,199	-110	-8.4
	検挙件数	1,356	1,219	1,322	1,261	1,336	1,366	1,342	1,345	1,267	1,157	-110	-8.7
	検挙人員	1,365	1,313	1,416	1,334	1,405	1,456	1,391	1,338	1,241	1,161	-80	-6.4
	検 挙 率	97.7	96.4	95.0	94.1	95.7	94.1	94.6	96.6	96.8	96.5	-0.3ポイント	
強盗	認知件数	3,426	4,237	5,173	6,393	6,984	7,664	7,295	5,988	5,108	4,567	-541	-10.6
	検挙件数	2,814	2,813	2,941	3,115	3,586	3,855	3,888	3,289	3,081	2,790	-271	-8.9
	検挙人員	3,379	3,782	3,797	4,098	4,151	4,898	4,154	3,844	3,335	2,985	-350	-10.5
	検 挙 率	76.3	66.4	56.9	48.7	51.1	50.3	50.3	54.6	59.9	61.1	1.2ポイント	
放火	認知件数	1,566	1,728	1,743	2,006	1,830	2,070	2,174	1,904	1,759	1,519	-240	-13.6
	検挙件数	1,369	1,458	1,372	1,540	1,234	1,448	1,513	1,361	1,337	1,120	-217	-16.2
	検挙人員	693	750	789	783	815	866	867	791	825	764	-61	-7.4
	検 挙 率	87.4	84.4	78.7	76.8	67.4	70.0	69.6	71.5	76.0	73.7	-2.3ポイント	
強姦	認知件数	1,873	1,857	2,260	2,228	2,357	2,472	2,176	2,076	1,948	1,766	-182	-9.3
	検挙件数	1,652	1,369	1,540	1,404	1,468	1,569	1,403	1,443	1,460	1,394	-66	-4.5
	検挙人員	1,512	1,392	1,486	1,277	1,355	1,342	1,107	1,074	1,058	1,013	-45	-4.3
	検 挙 率	88.2	73.7	68.1	63.0	62.3	63.5	64.5	69.5	74.9	78.9	4.0ポイント	
略取誘拐・ 人身売買	認知件数	221	249	302	237	251	284	320	277	199	207	8	4.0
	検挙件数	211	244	272	211	215	231	232	204	180	178	-2	-1.1
	検挙人員	141	164	180	179	173	151	187	176	167	152	-15	-9.0
	検 挙 率	95.5	98.0	90.1	89.0	85.7	81.3	72.5	73.6	90.5	86.0	-4.5ポイント	
強制 わいせつ	認知件数	4,251	5,346	7,412	9,326	9,476	10,029	9,184	8,751	8,326	7,664	-662	-8.0
	検挙件数	3,498	3,388	3,602	3,887	3,367	3,893	3,656	3,797	3,779	3,542	-237	-6.3
	検挙人員	1,890	1,926	2,286	2,236	2,130	2,273	2,225	2,286	2,254	2,240	-14	-0.6
	検 挙 率	82.3	63.4	48.6	41.7	35.5	38.8	39.8	43.4	45.4	46.2	0.8ポイント	

(2) 殺人事件の状況

平成19年の殺人事件の認知件数は1,199件、検挙件数は1,157件、検挙人員は1,161人と、前年に比べ、認知件数が110件（8.4%）、検挙件数が110件（8.7%）、検挙人員が80人（6.4%）それぞれ減少している。検挙率は96.5%と、前年に比べ0.3ポイント減少している（図表4-1-(2)-1）。

認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前0時から午前2時までが156件（13.0%）で最も多く、次いで午後8時から午後10時までが135件（11.3%）となっている（図表4-1-(2)-2）。

また、発生場所は、住宅が751件（62.6%）で最も多く、次いで道路上が147件（12.3%）となっている（図表4-1-(2)-3）。

検挙した事件をみると、被疑者の性別では、男性が889人（76.6%）、女性が272人（23.4%）となっている。少年被疑者は62人で、前年に比べ7人（10.4%）減少している。

犯行後の逃走手段は、車両（盗難車を含む。）を利用したものが179件と、全体の17.0%を占めている（図表4-1-(2)-4）。

なお、殺人の年齢別検挙人員は、図表4-1-(2)-5のとおりである。

図表4-1-(2)-1 殺人事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		1,333	1,265	1,391	1,340	1,396	1,452	1,419	1,392	1,309	1,199	-110	-8.4
検挙件数(件)		1,356	1,219	1,322	1,261	1,336	1,366	1,342	1,345	1,267	1,157	-110	-8.7
検挙人員(人)		1,365	1,313	1,416	1,334	1,405	1,456	1,391	1,338	1,241	1,161	-80	-6.4
検挙率(%)		97.7	96.4	95.0	94.1	95.7	94.1	94.6	96.6	96.8	96.5	-0.3	ポイント
被害(死亡)者数		775	736	678	696	662	697	699	643	619	574	-45	-7.3
	男性	419	398	348	332	347	379	366	324	295	292	-3	-1.0
	女性	356	338	330	314	315	318	333	319	324	282	-42	-13.0

図表4-1-(2)-2 殺人事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成19年）

認知件数	0時～2時	2時～4時	4時～6時	6時～8時	8時～10時	10時～12時	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時～22時	22時～24時	不明
1,199	156	90	68	71	95	86	80	82	77	109	135	121	29

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表4-1-(2)-3 殺人事件の発生場所別認知件数の状況（平成19年）

認知件数	住宅	道路上	駐車(輪)場	その他
1,199	751	147	37	264

図表 4 - 1 - (2) - 4 殺人事件の検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段（平成19年）

総数	盗難車		盗難車以外					自転車	その他	該当なし
	自動車	オートバイ	自己所有の自動車	レンタカー	タクシー・ハイヤー	その他の自動車	オートバイ			
1,052	13	2	100	8	12	36	8	30	18	825

注1：解決事件を除く。

注2：「その他」には、電車、バス、地下鉄等の公共交通機関を利用したものなどが含まれる。

注3：「該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

図表 4 - 1 - (2) - 5 殺人事件の年齢別検挙人員

	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平10	1,365	116	234	273	302	255	72	113
平11	1,313	113	240	250	258	233	83	106
平12	1,416	110	258	309	247	290	84	118
平13	1,334	102	279	284	205	256	109	119
平14	1,405	85	260	326	238	274	82	140
平15	1,456	95	268	314	212	306	117	144
平16	1,391	60	299	322	216	240	90	164
平17	1,338	71	253	303	219	247	107	138
平18	1,241	73	215	288	209	226	98	152
平19	1,161	64	197	284	185	199	99	123
増減数	-80	-9	-18	26	-24	-27	1	-29
増減率	-6.4	-12.3	-8.4	9.7	-11.5	-11.9	1.0	-19.1

注：犯行時の年齢を計上している。

【事例1】渋谷区等における殺人・死体遺棄等事件（警視庁）

無職の女（32）は、平成18年12月12日、渋谷区内の自宅で夫の頭部をワイン瓶で殴打して殺害し、その死体を切断して、新宿区内の植え込み内等に放置するなどした（1月10日検挙）。

【事例2】坂出市における殺人・死体遺棄等事件（香川）

無職の男（61）は、11月16日、坂出市内の民家において、女性及び幼女2人を包丁で突き刺すなどして殺害し、その死体を同市内の空き地に埋没して遺棄した（12月28日検挙）。

【事例3】佐世保市における殺人等事件（長崎）

無職の男（37）は、12月14日、佐世保市内のスポーツクラブにおいて、散弾銃を発砲して女性等8人を殺傷した。男は、12月15日、同市所在の教会敷地内において、散弾銃で自殺を図った（平成20年2月1日検挙）。

ア 捜査本部設置事件の状況

平成19年の捜査第一課又は国際捜査担当課の主管する捜査本部設置事件（注）は103件と、前年に比べ5件（5.1%）増加している。捜査本部設置事件の解決率は95.1%で、前年に比べ4.34ポイント上昇している（図表4-1-(2)-6）。

注：「捜査本部設置事件」とは、殺人、強盗殺人等殺人の絡む事件のうち刑事部長（警視庁については、組織犯罪対策部長を含む。）を長とする捜査本部（警視庁については特別捜査本部）を設置した事件とした。

図表4-1-(2)-6 捜査本部設置・解決状況の推移

区分	年次											増減 (%)
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19		
設置件数(件)	140	135	152	165	176	145	145	116	98	103	5.1	
					19	27	13	7	6	25	316.7	
解決事件数(件)	114	106	102	122	140	118	117	102	89	98	10.1	
					17	15	16	8	4	15	275.0	
解決率(%)	81.4	78.5	67.1	73.9	79.5	81.4	80.7	87.9	90.8	95.1	4.3	
					89.5	55.6	123.1	114.3	66.7	80.0	-6.7	

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：解決事件数については、解決した年次に計上した。

注3：平成14年以降については、暴力団犯罪捜査担当課において設置したものを下段に外数で示した。

イ 通り魔殺人事件

平成19年の通り魔殺人事件（注）の認知事件数は8件、検挙事件数は8件と、前年に比べ、認知事件数が4件、検挙事件数が4件、それぞれ増加している（図表4-1-(2)-7）。

注：通り魔殺人事件とは、人の自由に出入りできる場所において、確たる動機がなく通りすがりに不特定の者に対し、凶器を使用するなどして、殺傷等の危害を加える事件をいう。

図表4-1-(2)-7 通り魔殺人事件の認知・検挙の推移

区分	年次											増減	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件数	率(%)	
認知事件数(件)	10	6	7	6	8	9	3	6	4	8	4	100.0	
検挙事件数(件)	10	6	7	6	6	9	3	6	4	8	4	100.0	

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：検挙事件数は、その年の認知事件数に対する事件数で、平成19年12月末までに検挙したものである。

注3：未遂を含む。

【事例1】 川崎市における通り魔殺人未遂事件（神奈川）

会社員の男（26）は、4月5日、路上を歩行中の女性の背部を包丁様の刃物で突き刺し殺害しようとしたが、傷害を負わせるにとどまった（4月20日検挙）。

【事例2】 岩見沢市における通り魔殺人事件（北海道）

トラック運転手の男(33)は、5月2日、路上を歩行中の女性の背部をナイフで突き刺し殺害した（5月2日検挙）。

ウ 保険金目的殺人事件

平成19年の保険金目的殺人事件の検挙事件数は3件と、前年に比べ1件減少している（図表4-1-（2）-8）。

図表4-1-（2）-8 保険金目的殺人事件の検挙件数の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
		6	8	9	9	11	10	9	2	4	3	件数	率(%)
検挙事件数(件)		6	8	9	9	11	10	9	2	4	3	-1	-25.0

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：未遂を含む。

【事例】 福山市における保険金目的放火・殺人事件（広島）

無職の女（48）は、入籍していた男性を殺害して生命保険金等を得ようと企て、平成17年12月28日、男性に睡眠導入剤を飲ませて眠らせた上で、男性がいるビルに放火して殺害した（1月19日検挙）。

工 被疑者と被害者の関係別検挙件数

殺人事件の検挙件数における被疑者と被害者の関係別は、図表4-1-(2)-9のとおりである。

図表4-1-(2)-9 殺人事件の検挙件数における被疑者と被害者の関係

	被害者	総数	親族間計		親	子	配偶者(内縁を含む)	兄弟姉妹	その他の血縁	知人友人	職務関係者	その他	面識なし	被害者なし
			割合											
総数	平10	1,222	520	42.6	118	130	189	38	45	334	74	133	159	2
	平11	1,098	459	41.8	114	98	170	40	37	299	60	138	141	1
	平12	1,219	514	42.2	131	120	197	34	32	304	84	140	172	5
	平13	1,157	492	42.5	98	121	191	47	35	282	77	134	162	10
	平14	1,238	512	41.4	111	128	197	41	35	325	68	133	193	7
	平15	1,258	530	42.1	133	110	215	47	25	333	71	134	184	6
	平16	1,224	557	45.5	121	135	208	57	38	300	65	147	154	1
	平17	1,224	541	44.2	133	111	218	50	29	273	74	144	189	3
	平18	1,155	542	46.9	154	143	179	38	28	290	71	114	132	6
	平19	1,052	506	48.1	133	102	192	42	37	251	61	92	137	5
	増減数	-103	-36	1.2	-21	-41	13	4	9	-39	-10	-22	5	-1
増減率	-8.9	-6.6	-	-13.6	-28.7	7.3	10.5	32.1	-13.4	-14.1	-19.3	3.8	-16.7	
14-19歳	平10	67	20	29.9	5	9	0	4	2	27	2	4	14	0
	平11	48	17	35.4	10	3	0	1	3	16	0	4	11	0
	平12	70	16	22.9	10	4	0	2	0	20	2	9	22	1
	平13	66	18	27.3	8	6	0	3	1	20	0	7	20	1
	平14	52	16	30.8	4	5	0	5	2	12	2	2	19	1
	平15	58	17	29.3	6	4	1	5	1	18	1	5	16	1
	平16	38	19	50.0	9	4	1	4	1	10	0	4	5	0
	平17	52	30	57.7	17	5	1	4	3	7	1	4	10	0
	平18	56	25	44.6	15	7	0	3	0	16	0	3	11	1
	平19	45	21	46.7	8	4	0	3	6	10	0	5	8	1
	増減数	-11	-4	2.1	-7	-3	0	0	6	-6	0	2	-3	0
増減率	-19.6	-16.0	-	-46.7	-42.9	0.0	0.0	-	-37.5	0.0	66.7	-27.3	0.0	
20-64歳	平10	1,039	423	40.7	110	98	150	32	33	284	70	116	144	2
	平11	944	380	40.3	101	81	135	33	30	259	59	121	124	1
	平12	1,028	426	41.4	117	90	164	29	26	259	79	115	145	4
	平13	980	393	40.1	86	92	146	41	28	246	77	115	140	9
	平14	1,046	411	39.3	100	98	152	32	29	280	60	117	172	6
	平15	1,051	424	40.3	123	80	167	35	19	292	63	110	158	4
	平16	1,024	452	44.1	106	113	154	48	31	253	59	125	134	1
	平17	1,031	437	42.4	111	91	172	39	24	234	66	122	163	3
	平18	949	432	45.5	133	112	130	31	21	239	65	94	114	5
	平19	879	411	46.8	122	85	143	32	24	215	58	70	123	2
	増減数	-70	-21	1.3	-16	-27	18	1	3	-24	-7	-24	9	-3
増減率	-7.4	-4.9	-	-11.6	-24.1	13.8	3.2	14.3	-10.0	-10.8	-25.5	7.9	-60.0	
65歳代以上	平10	116	77	66.4	3	23	39	2	10	23	2	13	1	0
	平11	106	62	58.5	3	14	35	6	4	24	1	13	6	0
	平12	121	72	59.5	4	26	33	3	6	25	3	16	5	0
	平13	111	81	73.0	4	23	45	3	6	16	0	12	2	0
	平14	140	85	60.7	7	25	45	4	4	33	6	14	2	0
	平15	149	89	59.7	4	26	47	7	5	23	7	19	10	1
	平16	162	86	53.1	6	18	51	5	6	37	6	18	15	0
	平17	141	74	52.5	5	15	45	7	2	32	7	13	10	0
	平18	150	85	56.7	1	24	49	4	7	35	6	17	7	0
	平19	128	74	57.8	3	13	44	7	7	26	3	17	6	2
	増減数	-22	-11	1.1	2	-11	-5	3	0	-9	-3	0	-1	2
増減率	-14.7	-12.9	-	200.0	-45.8	-10.2	75.0	0.0	-25.7	-50.0	0.0	-14.3	-	

注1：解決事件を除く。

注2：犯罪統計上、「被害者なし」には、殺人予備のうち、被害者が特定できないものが計上されている。

(3) 強盗事件の状況

平成19年の強盗事件の認知件数は4,567件、検挙件数は2,790件、検挙人員は2,985人と、前年に比べ、認知件数は541件（10.6%）、検挙件数は271件（8.9%）、検挙人員は350人（10.5%）それぞれ減少している。検挙率は61.1%と、前年に比べ1.2ポイント上昇している（図表4-1-(3)-1）。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午前2時から午前4時までが685件（15.0%）と最も多く、午前0時から午前4時までで全体の29.4%を占めている（図表4-1-(3)-2）。

認知件数を手口別にみると、侵入強盗は1,700件、非侵入強盗は2,867件で、前年に比べ、侵入強盗は196件（10.3%）、非侵入強盗は345件（10.7%）それぞれ減少している。

犯罪供用物別では、刃物類を使用したものが30.1%と最も高い（図表4-1-(3)-3）。

また、強盗に伴う身体犯の認知件数は、平成15年まで増加していたが、平成16年から減少に転じ、平成19年は1,932件で、前年に比べ275件（12.5%）減少している（図表4-1-(3)-4）。

検挙した事件を見ると、犯行後の逃走手段は、車両（盗難車を含む。）を利用したものが1,045件と、全体の38.0%を占めている（図表4-1-(3)-5）。

なお、強盗の年齢別検挙人員は、図表4-1-(3)-6のとおりである。

図表4-1-(3)-1 強盗事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次											増減率	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件(人)数	率(%)	
認知件数(件)	3,426	4,237	5,173	6,393	6,984	7,664	7,295	5,988	5,108	4,567	-541	-10.6	
検挙件数(件)	2,614	2,813	2,941	3,115	3,566	3,855	3,666	3,269	3,061	2,790	-271	-8.9	
検挙人員(人)	3,379	3,762	3,797	4,096	4,151	4,698	4,154	3,844	3,335	2,985	-350	-10.5	
検挙率(%)	76.3	66.4	56.9	48.7	51.1	50.3	50.3	54.6	59.9	61.1	1.2ポイント		

図表4-1-(3)-2 強盗事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成19年）

認知件数	0時～2時	2時～4時	4時～6時	6時～8時	8時～10時	10時～12時	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時～22時	22時～24時	不明
4,567	659	685	446	116	146	233	264	252	283	383	490	607	3

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表4 - 1 - (3) - 3 強盗事件の発生時の犯罪供用物の状況（平成19年）

犯罪供用物	総数	銃器										不明	その他
		銃器		うちけん銃等		刀剣類		刃物類		犯罪供用物なし・該当なし			
		認知件数	割合(%)	認知件数	割合(%)	認知件数	割合(%)	認知件数	割合(%)				
強盗手口		認知件数	割合(%)	認知件数	割合(%)	認知件数	割合(%)	認知件数	割合(%)	認知件数	割合(%)	認知件数	割合(%)
強盗	4,567	94	2.1	79	1.7	70	1.5	1,375	30.1	2,873		152	3
侵入強盗	1,700	72	4.2	59	3.5	36	2.1	941	55.4	596		55	0
住宅強盗	408	4	1.0	1	0.2	5	1.2	139	34.1	233		27	0
金融機関強盗	142	19	13.4	18	12.7	1	0.7	94	66.2	25		3	0
コンビニ強盗	544	11	2.0	9	1.7	19	3.5	401	73.7	108		5	0
その他の店舗強盗	492	29	5.9	25	5.1	9	1.8	280	56.9	161		13	0
その他	114	9	7.9	6	5.3	2	1.8	27	23.7	69		7	0
非侵入強盗	2,867	22	0.8	20	0.7	34	1.2	434	15.1	2,277		97	3
途中強盗	27	0	0.0	0	0.0	2	7.4	7	25.9	18		0	0
タクシー強盗	187	2	1.1	2	1.1	3	1.6	83	44.4	95		4	0
自動車強盗	65	3	4.6	3	4.6	2	3.1	19	29.2	37		4	0
路上強盗	1,537	9	0.6	8	0.5	18	1.2	168	10.9	1,276		65	1
その他	1,051	8	0.8	7	0.7	9	0.9	157	14.9	851		24	2

注1：本表の数値は犯罪統計による認知件数であり、実務統計である(3)ア 金融機関・郵便局対象強盗事件、(3)ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件、(3)キ タクシー対象強盗事件の認知件数と異なるものである。

注2：「銃器」とは、けん銃、けん銃様のもの、その他の銃砲、その他の銃砲様のもの、「刀剣類」とは、日本刀、その他の刀剣類、「刃物類」とは、包丁類、その他の刃物類をいう。また、「けん銃等」には、けん銃様のものを含む。

図表4 - 1 - (3) - 4 強盗事件に伴う身体犯の認知件数の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率(%)
強盗		3,426	4,237	5,173	6,393	6,984	7,664	7,295	5,938	5,108	4,567	-541	-10.6
強盗に伴う身体犯		1,598	2,016	2,488	3,022	3,285	3,400	3,248	2,576	2,207	1,932	-275	-12.5
強盗殺人・致死		78	73	71	96	93	78	89	66	52	44	-8	-15.4
強盗傷人		1,411	1,815	2,280	2,755	3,038	3,119	2,958	2,351	2,018	1,752	-266	-13.2
強盗強姦		109	128	137	171	154	203	201	159	137	136	-1	-0.7

注：「強盗に伴う身体犯」とは、強盗殺人・致死、強盗傷人、強盗強姦とした。

図表4 - 1 - (3) - 5 強盗事件の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成19年）

総数	盗難車		盗難車以外				自転車	その他	該当なし	
	自動車	オートバイ	自己所有の自動車	レンタカー	タクシー・ハイヤー	その他の自動車				
2,748	180	28	488	26	48	200	85	229	26	1,448

注1：解決事件を除く。

注2：「その他」には、電車、バス、地下鉄等の公共交通機関を利用したものなどが含まれる。

注3：「該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

図表4 - 1 - (3) - 6 強盗事件の年齢別検挙人員

	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平10	3,379	1,552	814	353	334	235	50	41
平11	3,762	1,637	950	446	360	287	60	40
平12	3,797	1,666	975	447	300	287	66	56
平13	4,096	1,705	992	577	361	331	73	57
平14	4,151	1,631	1,088	591	367	331	82	61
平15	4,698	1,818	1,261	643	414	373	106	83
平16	4,154	1,305	1,199	722	381	352	111	84
平17	3,844	1,159	1,146	625	413	309	97	95
平18	3,335	913	1,010	616	340	283	72	101
平19	2,935	786	848	541	341	271	88	110
増減数	-350	-127	-162	-75	1	-12	16	9
増減率	-10.5	-13.9	-16.0	-12.2	0.3	-4.2	22.2	8.9

注：犯行時の年齢を計上している。

【事例1】杉並区における強盗殺人事件（警視庁）

大学生の男（21）は、金品を強取しようと企て、1月25日、杉並区内の民家において、夫婦2人をナイフで刺すなどして殺害し、現金等を強取した（3月2日検挙）。

【事例2】広域にわたる連続強盗殺人事件（京都、神奈川）

無職の男（25）は、金品を強取しようと企て、1月16日、京都府内の民家において、女性を刃物で突き刺すなどして殺害し、現金等を強取した。男は、1月23日には、神奈川県相模原市の民家において、男性を金属棒で殴打するなどして殺害し、現金等を強取した（1月23日検挙）。

【事例3】愛知・岐阜両県にまたがる3人組強盗殺人等事件（愛知）

無職の男（40）は、金品を強取しようと企て、闇サイトを通じて知り合った男2人と共謀の上、8月24日、名古屋市内の路上で女性を拉致し、現金等を強取した上、女性の頭部をハンマーで殴打するなどして殺害し、その死体を岐阜県内の山林に遺棄した（8月26日検挙）。

【事例4】川口市における強盗殺人等事件（埼玉）

配管工の男（39）は、金品を強取しようと企て、10月30日、川口市内のマンションにおいて、女性の頭部等を両手で圧迫するなどして殺害し、現金等を強取した。男は、7月26日にも、同マンションにおいて、強盗強姦等事件を敢行していた（12月27日検挙）。

ア 金融機関・郵便局対象強盗事件

平成19年の金融機関（注）・郵便局対象強盗事件の認知事件数は144件（うち郵便局対象は113件、78.5%）、検挙事件数は117件で、前年に比べ、認知事件数が2件（1.4%）減少し、検挙事件数が11件（10.4%）増加している（図表4-1-(3)-7、8）。

平成19年に認知した事件をみると、発生時間帯では、午後2時から午後4時までが39件（27.1%）と最も多い（図表4-1-(3)-9）。

また、強盗事件発生に伴う防犯設備の設置及び活用の状況について見ると、非常通報装置及び防犯カメラの活用率は高いものの、非常ベル、カラーボール及び屋外赤色灯の活用率は低い（図表4-1-(3)-10）。

注：金融機関とは、銀行、信用金庫・組合、商工中金、労働金庫、農（漁）業協同組合をいう。郵便局も金融機関であるが、発生状況等を鑑み、銀行、信用金庫等と区別している。

図表 4 - 1 - (3) - 7 金融機関・郵便局対象強盗事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
													件数
認知事件数		161	120	135	229	141	142	129	128	146	144	-2	-1.4
検挙事件数		117	97	92	147	111	113	83	97	106	117	11	10.4
検挙率		72.7	80.8	68.1	64.2	78.7	79.6	64.3	75.8	72.6	81.3	8.7	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 4 - 1 - (3) - 8 金融機関・郵便局対象強盗事件の内訳

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
認知事件数		146	100.0	144	100.0	-2	-1.4
金融機関		33	22.6	31	21.5	-2	-6.1
銀行		14	9.6	16	11.1	2	14.3
信用金庫		15	10.3	9	6.3	-6	-40.0
信用組合		2	1.4	2	1.4	0	0.0
農(漁)業協同組合		2	1.4	2	1.4	0	0.0
その他		0	0.0	2	1.4	2	-
郵便局		113	77.4	113	78.5	0	0.0
普通郵便局		1	0.7	-	-	-	-
特定郵便局		100	68.5	-	-	-	-
簡易郵便局		12	8.2	-	-	-	-

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 4 - 1 - (3) - 9 金融機関・郵便局対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成19年）

区分	年次	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
認知事件数		0	0	0	2	12	26	35	39	25	3	1	1	0	144
割合 (%)		0.0	0.0	0.0	1.4	8.3	18.1	24.3	27.1	17.4	2.1	0.7	0.7	0.0	100

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 4 - 1 - (3) - 10 防犯設備の設置・活用状況（平成19年）

防犯設備	区分	設置あり				設置なし
		認知事件数	活用あり	活用なし	活用不要	
非常通報装置	認知事件数	140	120	19	1	4
	(割合%)	97.2	83.3	13.2	0.7	2.8
非常ベル	認知事件数	119	33	85	1	25
	(割合%)	82.6	22.9	59.0	0.7	17.4
防犯カメラ	認知事件数	143	134	9	0	1
	(割合%)	99.3	93.1	6.3	0.0	0.7
カラーボール	認知事件数	144	39	83	22	0
	(割合%)	100.0	27.1	57.6	15.3	0.0
屋外赤色灯	認知事件数	76	40	36	0	68
	(割合%)	52.8	27.8	25.0	0.0	47.2

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】金沢市における銀行を対象とした強盗事件（石川）

無職の男（58）は、モデルガンを用いて金員を強取しようと企て、2月5日、金沢市内の銀行に押し入り、所持していたモデルガンをあたかも本物のけん銃のように装って脅迫し、現金1,500万円を強取した（2月20日検挙）。

イ 消費者金融対象強盗事件

平成19年の消費者金融対象強盗事件の認知事件数は10件で、前年に比べ14件（58.3%）減少している（図表4-1-(3)-11）。

平成19年に認知した事件をみると、発生時間帯では、午前8時から午前10時、午後4時から午後6時までが、いずれも3件（30.0%）と多い（図表4-1-(3)-12）。

また、強盗事件発生に伴う防犯設備の設置及び活用の状況についてみると、防犯カメラの活用率は高いものの、非常ベル、カラーボール及び屋外赤色灯の活用率は低い（図表4-1-(3)-13）。

図表4-1-(3)-11 消費者金融対象強盗事件の認知状況の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件数	率(%)
認知事件数		28	30	33	104	46	53	42	28	24	10	-14	-58.3
検挙事件数		9	12	15	37	33	28	19	17	13	15	2	15.4
検挙率		34.6	40.0	45.5	35.6	71.7	49.1	45.2	65.4	54.2	150.0	95.8	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-12 消費者金融対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成19年）

区分	年次	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
		認知事件数		0	0	0	0	3	2	1	0	3	0	1	0
割合(%)		0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	20.0	10.0	0.0	30.0	0.0	10.0	0.0	0.0	100

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-13 防犯設備の設置・活用状況（平成19年）

防犯設備	区分	設置あり				設置なし
		活用あり	活用なし	活用不要		
非常通報装置	認知事件数	8	5	3	0	2
	(割合%)	80.0	50.0	30.0	0.0	20.0
非常ベル	認知事件数	3	2	1	0	7
	(割合%)	30.0	20.0	10.0	0.0	70.0
防犯カメラ	認知事件数	9	7	2	0	1
	(割合%)	90.0	70.0	20.0	0.0	10.0
カラーボール	認知事件数	4	0	2	2	6
	(割合%)	40.0	0.0	20.0	20.0	60.0
屋外赤色灯	認知事件数	3	1	2	0	7
	(割合%)	30.0	10.0	20.0	0.0	70.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】諏訪市における消費者金融対象の持凶器強盗致傷事件（長野）

無職の男（53）は、3月1日、消費者金融の店舗において、店員に対しカッターナイフを突き付けて脅迫し、現金を強取しようとしたところ、この店員らに取り押さえられそうになったため、ナイフで抵抗し、店員らに傷害を負わせた（3月1日検挙）。

ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件

平成19年の深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件（注）の認知事件数は457件、検挙事件数は218件と、前年に比べ認知事件数が70件（13.3%）、検挙事件数が43件（16.5%）ともに減少している（図表4-1-(3)-14）。

平成19年に認知した事件をみると、発生時間帯では、午前2時から午前4時までが192件（42.0%）と最も多く、午前2時から午前6時までで全体の75.7%を占めている（図表4-1-(3)-15）。

また、強盗事件発生に伴う防犯設備の設置及び活用の状況についてみると、防犯カメラの設置及び活用率は高いものの、非常通報装置、非常ベル、カラーボール及び屋外赤色灯の活用率はいずれも低い（図表4-1-(3)-16）。

注：「深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件」とは、午後10時から午前7時までの間に、営業しているコンビニエンスストアやスーパーマーケットの売上金等を目的として敢行された強盗事件をいう。

図表4-1-(3)-14 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次										増減	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件数	率(%)
認知事件数	308	340	394	527	468	742	680	561	527	457	-70	-13.3
検挙事件数	149	173	188	163	225	259	247	337	261	218	-43	-16.5
検挙率	48.4	50.9	47.7	30.9	48.1	34.9	36.3	60.1	49.5	47.7	-1.8	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-15 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成19年）

区分	年次													不明	総数
	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時			
認知事件数	73	192	154	9	-	-	-	-	-	-	-	29	0	457	
割合(%)	16.0	42.0	33.7	2.0	-	-	-	-	-	-	-	6.3	0.0	100	

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-16 防犯設備の設置・活用状況（平成19年）

防犯設備	区分	設置あり				設置なし
		活用あり	活用なし	活用不要		
非常通報装置	認知事件数	307	127	178	2	150
	(割合%)	67.2	27.8	38.9	0.4	32.8
非常ベル	認知事件数	369	54	310	5	88
	(割合%)	80.7	11.8	67.8	1.1	19.3
防犯カメラ	認知事件数	455	434	21	0	2
	(割合%)	99.6	95.0	4.6	0.0	0.4
カラーボール	認知事件数	405	9	389	7	52
	(割合%)	88.6	2.0	85.1	1.5	11.4
屋外赤色灯	認知事件数	225	39	185	1	232
	(割合%)	49.2	8.5	40.5	0.2	50.8

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】札幌市における深夜スーパー対象連続強盗事件（北海道）

コンビニエンスストア店員の男（23）は、1月28日、札幌市内のコンビニエンスストアにおいて、店員に刃物を突きつけて脅迫し、現金約8万円を強取した。男は、1月18日には、札幌市内のコンビニエンスストア2店舗においても、店員に刃物を突き付けて脅迫し、現金合計約31万円を強取していた（1月29日検挙）。

エ ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件

平成19年のぱちんこ屋・まあじゃん屋等（注）を発生場所とする強盗事件の認知件数は48件と、前年に比べ12件（33.3%）増加している（図表4-1-(3)-17）。

平成19年に認知した事件をみると、発生時間帯では、午後8時から午後10時までが9件（18.8%）と最も多い（図表4-1-(3)-18）。

注：「ぱちんこ屋・まあじゃん屋等」とは、ぱちんこ店やまあじゃん店のほか、パチスロ店やスマートボール店等のように設備を設けて客に射幸心をそそるおそれのある遊技をさせる場所をいう。

図表4-1-(3)-17 ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の認知状況の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件数	率(%)
認知件数		76	71	66	77	95	110	44	51	36	48	12	33.3

注：強盗の認知件数の内、発生場所を「ぱちんこ屋・まあじゃん屋等」とするものとした。

図表4-1-(3)-18 ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の発生時間帯別認知件数

（平成19年）

区分	時間	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
認知件数		5	2	0	1	1	2	6	6	5	3	9	8	0	48
割合(%)		10.4	4.2	0.0	2.1	2.1	4.2	12.5	12.5	10.4	6.3	18.8	16.7	0.0	100

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

オ ぱちんこ景品買取所対象強盗事件

平成19年のぱちんこ景品買取所対象強盗事件の認知事件数は31件と、前年に比べ6件（16.2%）減少している（図表4-1-(3)-19）。

平成19年に認知した事件をみると、発生時間帯では、午後10時から午前0時までが7件（22.6%）と最も多い（図表4-1-(3)-20）。

図表 4 - 1 - (3) - 19 ぱちんこ景品買取所対象強盗事件の認知事件件数の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
													件数
認知事件数		76	47	38	80	42	75	42	32	37	31	-6	-16.2
検挙事件数		22	15	15	25	17	19	11	8	11	11	0	0.0
検挙率		28.9	31.9	39.5	31.3	40.5	25.3	26.2	25.0	29.7	35.5	5.8	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 4 - 1 - (3) - 20 ぱちんこ景品買取所対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成19年）

区分	年次	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
		認知事件数		0	0	0	0	1	6	6	3	2	3	3	7
割合 (%)		0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	19.4	19.4	9.7	6.5	9.7	9.7	22.6	0.0	100

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】横浜市におけるぱちんこ景品買取所を対象とした連続持凶器強盗未遂事件（神奈川）

無職の男（59）は、1月21日、横浜市緑区内のぱちんこ景品買取所において、同所で稼働する女性に刃物を突きつけて脅迫し、金員を強取しようとしたものの、駆けつけた警察官に取り押さえられたため、その目的を遂げなかった。男は、同日、別のぱちんこ景品買取所においても、強盗未遂事件を敢行していた（1月21日検挙）。

カ 現金輸送車対象強盗事件

平成19年の現金輸送車対象強盗事件の認知事件数は1件と、前年に比べ5件（83.3%）減少している（図表 4 - 1 - (3) - 21）。

図表 4 - 1 - (3) - 21 現金輸送車対象強盗事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
													件数
認知事件数		10	12	8	9	8	7	3	3	6	1	-5	-83.3
検挙事件数		12	4	2	4	5	1	9	3	5	1	-4	-80.0
検挙率		120.0	33.3	25.0	44.4	62.5	14.3	300.0	100.0	83.3	100.0	16.7	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】名古屋市における強盗未遂事件（愛知）

無職の男（56）は、金品を強取しようとして、2月9日、名古屋市中区内の信用金庫駐車場において、車両から降車した信用金庫職員に対し、けん銃を突き付けながら脅迫し、金品を強取しようとしたが、駆けつけた警察官に取り押さえられたため、その目的を遂げなかった（2月9日検挙）。

キ タクシー対象強盗事件

平成19年のタクシー対象強盗事件の認知事件数は184件と、前年に比べ6件（3.4%）増加している（図表4-1-(3)-22）。

平成19年に認知した事件をみると、発生時間帯では、午前2時から午前4時までが50件（27.2%）と最も多く、午前0時から午前6時までで全体の59.8%を占めている（図表4-1-(3)-23）。

また、タクシー強盗事件における防犯設備の設置及び活用の状況についてみると、防犯仕切板を設置した車両は全体の60.3%となっており、防犯仕切板を設置した場合には、負傷等を負う割合が低くなっている（図表4-1-(3)-24）。

図表4-1-(3)-22 タクシー対象強盗事件の認知事件数の推移

区分	年次	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
								件数	率(%)
認知事件数		168	226	208	196	178	184	6	3.4
検挙事件数		80	113	120	104	116	117	1	0.9
検挙率		47.6	50.0	57.7	53.1	65.2	63.6	-1.6	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-23 タクシー対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成19年）

年次	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
認知事件数	37	50	23	8	4	4	1	1	2	4	16	34	0	184
割合(%)	20.1	27.2	12.5	4.3	2.2	2.2	0.5	0.5	1.1	2.2	8.7	18.5	0.0	100

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-24 防犯仕切板の活用と負傷等の状況（平成19年）

設置状況	被害件数	負傷等あり				負傷等なし
		死亡	重体	軽傷		
タクシー対象強盗の総数（件）	184	57	1	2	54	127
防犯仕切板あり	111	32	0	1	31	79
（割合%）	60.3	17.4	0.0	0.5	16.8	42.9
防犯仕切板なし	73	25	1	1	23	48
（割合%）	39.7	13.6	0.5	0.5	12.5	26.1

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】福島市等における連続タクシー強盗等事件（福島）

無職の男（38）は、タクシー運転手から売上金を奪おうと企て、5月2日、乗車しているタクシーの運転手にモデルガン突き付けて脅迫し、現金を強取した。男は、同日、別のタクシー運転手に対しても、強盗未遂事件を敢行していた（5月8日検挙）。

ク 強盗の手口別認知・検挙状況

強盗の手口別における認知・検挙状況は、図表4-1-(3)-25、26、27のとおりである。

図表4-1-(3)-25 強盗の手口別認知件数

	平18	平19	増減数	増減率
総数	5,108	4,567	-541	-10.6
侵入強盗計	1,896	1,700	-196	-10.3
住宅強盗	498	408	-90	-18.1
金融機関強盗	149	142	-7	-4.7
コンビニ強盗	610	544	-66	-10.8
その他の店舗強盗	519	492	-27	-5.2
侵入強盗その他	120	114	-6	-5.0
非侵入強盗計	3,212	2,867	-345	-10.7
途中強盗	53	27	-26	-49.1
タクシー強盗	184	187	3	1.6
自動車強盗	92	65	-27	-29.3
路上強盗	1,759	1,537	-222	-12.6
非侵入強盗その他	1,124	1,051	-73	-6.5

図表4-1-(3)-26 強盗の手口別検挙件数・検挙率

	検挙件数				検挙率		
	H18	H19	増減数	増減率	H18	H19	増減数
総数	3,061	2,790	-271	-8.9	59.9	61.1	1.2
侵入強盗計	1,201	1,140	-61	-5.1	63.3	67.1	3.8
住宅強盗	285	271	-14	-4.9	57.2	66.4	9.2
金融機関強盗	106	121	15	14.2	71.1	85.2	14.1
コンビニ強盗	386	321	-65	-16.8	63.3	59.0	-4.3
その他の店舗強盗	310	314	4	1.3	59.7	63.8	4.1
侵入強盗その他	114	113	-1	-0.9	95.0	99.1	4.1
非侵入強盗計	1,860	1,650	-210	-11.3	57.9	57.6	-0.3
途中強盗	29	19	-10	-34.5	54.7	70.4	15.7
タクシー強盗	118	119	1	0.8	64.1	63.6	-0.5
自動車強盗	69	51	-18	-26.1	75.0	78.5	3.5
路上強盗	788	621	-167	-21.2	44.8	40.4	-4.4
非侵入強盗その他	856	840	-16	-1.9	76.2	79.9	3.7

図表4-1-(3)-27 強盗の手口別検挙人員

	検 挙 人 員				うち) 少 年			
	平18	平19	増減数	増減率	平18	平19	増減数	増減率
総数	3,335	2,985	-350	-10.5	892	757	-135	-15.1
侵入強盗計	1,107	968	-139	-12.6	77	93	16	20.8
住宅強盗	331	252	-79	-23.9	10	14	4	40.0
金融機関強盗	108	95	-13	-12.0	2	2	0	0.0
コンビニ強盗	248	241	-7	-2.8	23	39	16	69.6
その他の店舗強盗	303	289	-14	-4.6	38	33	-3	-8.3
侵入強盗その他	117	91	-26	-22.2	6	5	-1	-16.7
非侵入強盗計	2,228	2,017	-211	-9.5	815	664	-151	-18.5
途中強盗	54	42	-12	-22.2	6	4	-2	-33.3
タクシー強盗	101	121	20	19.8	13	18	5	38.5
自動車強盗	88	67	-21	-23.9	8	13	5	62.5
路上強盗	1,053	855	-198	-18.8	553	431	-122	-22.1
非侵入強盗その他	932	932	0	0.0	235	198	-37	-15.7

(4) 主な性犯罪の状況

平成19年の強姦の認知件数は1,766件、検挙件数は1,394件、検挙人員は1,013人と、前年に比べ、認知件数が182件（9.3%）、検挙件数が66件（4.5%）、検挙人員が45人（4.3%）それぞれ減少している。検挙率は78.9%で、前年に比べ4.0ポイント上昇している（図表4-1-(4)-1）。

平成19年の強制わいせつの認知件数は7,664件で、検挙件数は3,542件、検挙人員は2,240人と、前年に比べ、認知件数が662件（8.0%）、検挙件数が237件（6.3%）、検挙人員が14人（0.6%）それぞれ減少している。検挙率は46.2%で、前年に比べ0.8ポイント上昇している（図表4-1-(4)-2）。

認知した事件を発生時間帯別にみると、強姦については午前0時から午前2時までが293件（16.6%）、強制わいせつについては午後10時から午前0時までが1,158件（15.1%）と、最も多くなっている（図表4-1-(4)-3）。

また、検挙した事件をみると、犯行後の逃走手段は、盗難車以外の車両を利用したものが、強姦では444件（34.7%）、強制わいせつでは800件（23.6%）と、それぞれ最も多くなっている（図表4-1-(4)-4）。

なお、強姦及び強制わいせつの年齢別検挙人員は、それぞれ図表4-1-(4)-5、6のとおりである。

図表4-1-(4)-1 強姦の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		1,873	1,857	2,260	2,228	2,357	2,472	2,176	2,076	1,948	1,766	-182	-9.3
検挙件数(件)		1,652	1,369	1,540	1,404	1,468	1,569	1,403	1,443	1,460	1,394	-66	-4.5
検挙人員(人)		1,512	1,392	1,486	1,277	1,355	1,342	1,107	1,074	1,058	1,013	-45	-4.3
検挙率(%)		88.2	73.7	68.1	63.0	62.3	63.5	64.5	69.5	74.9	78.9	4.0ポイント	

図表4-1-(4)-2 強制わいせつの認知・検挙状況の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		4,251	5,346	7,412	9,326	9,476	10,029	9,184	8,751	8,326	7,664	-662	-8.0
検挙件数(件)		3,498	3,338	3,602	3,887	3,367	3,893	3,656	3,797	3,779	3,542	-237	-6.3
検挙人員(人)		1,890	1,926	2,286	2,236	2,130	2,273	2,225	2,286	2,254	2,240	-14	-0.6
検挙率(%)		82.3	63.4	48.6	41.7	35.5	38.8	39.8	43.4	45.4	46.2	0.8ポイント	

図表4-1-(4)-3 主な性犯罪の発生時間帯別認知件数の状況（平成19年）

	認知件数	0時～2時	2時～4時	4時～6時	6時～8時	8時～10時	10時～12時	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時～22時	22時～24時	不明
強姦	1,766	293	282	177	58	57	54	81	91	102	187	181	286	17
強制わいせつ	7,664	991	627	362	340	351	262	320	480	699	909	1,143	1,158	28

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 4 - 1 - (4) - 4 主な性犯罪の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成19年）

	総数	盗難車		盗難車以外				自転車	その他	該当なし	
		自動車	オートバイ	自己所有の自動車	レンタカー	タクシー・ハイヤー	その他の自動車				オートバイ
強姦	1,281	19	1	344	3	13	60	24	100	18	699
強制わいせつ	3,387	31	9	611	5	17	71	96	352	43	2,152

注1：解決事件を除く。

注2：「その他」には、電車、バス、地下鉄等の公共交通機関を利用したものが含まれる。

注3：「該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

図表 4 - 1 - (4) - 5 強姦の年齢別検挙人員

	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平10	1,512	470	619	199	122	80	12	10
平11	1,392	439	529	225	118	67	10	4
平12	1,486	317	662	251	134	91	22	9
平13	1,277	289	560	228	109	84	11	16
平14	1,355	258	566	283	108	91	28	23
平15	1,342	280	572	306	106	73	15	10
平16	1,107	159	438	274	116	83	18	21
平17	1,074	152	392	308	118	75	15	14
平18	1,058	120	384	310	123	81	23	17
平19	1,013	129	367	278	133	69	19	18
増減数	-45	9	-17	-32	10	-12	-4	1
増減率	-4.3	7.5	-4.4	-10.3	8.1	-14.8	-17.4	5.9

注：犯行時の年齢を計上している。

図表 4 - 1 - (4) - 6 強制わいせつの年齢別検挙人員

	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平10	1,890	305	614	498	243	154	41	35
平11	1,928	318	632	464	247	169	46	50
平12	2,286	348	698	558	314	246	60	62
平13	2,236	325	665	576	282	249	68	71
平14	2,130	280	644	530	302	245	67	82
平15	2,273	337	647	550	285	281	69	104
平16	2,225	280	554	605	327	277	82	120
平17	2,286	288	581	626	344	252	85	110
平18	2,254	246	593	581	342	272	85	135
平19	2,240	265	554	588	347	257	94	135
増減数	-14	19	-39	7	5	-15	9	0
増減率	-0.6	7.7	-6.6	1.2	1.5	-5.5	10.6	0.0

注：犯行時の年齢を計上している。

【事例1】JR列車内等における強姦事件（滋賀・大阪）

解体工の男（36）は、平成18年8月3日、走行中の列車内において、女性を車両内のトイレ等に連れ込み強姦した。男は、平成18年12月21日、駅構内の男子トイレ内においても強姦事件を敢行していた（1月17日検挙）。

【事例2】飲食店店長らによる女性客に対する強盗強姦等事件（大阪）

飲食店店長である男（25）は、同店店員と共謀の上、5月9日、勤務する飲食店に来店した女性客を連れ去り、ガレージに逮捕監禁して強姦した上、現金等を強取した（5月9日検挙）。

(5) 略取誘拐・人身売買事件の状況

平成19年の略取誘拐・人身売買の認知件数は207件、検挙件数は178件、検挙人員は152人と、前年に比べ、認知件数が8件（4.0%）増加し、検挙件数が2件（1.1%）、検挙人員が15人（9.0%）それぞれ減少している。検挙率は86.0%で、前年に比べ4.5ポイント減少している（図表4-1-(5)-1）。

認知した事件をみると、被害者の年齢は、13歳未満の者を対象としたものが82件で、全体の39.6%を占めている（図表4-1-(5)-2）。

発生時間では、午後2時から午後4時までが30件と最も多く、全体の14.5%を占めている（図表4-1-(5)-3）。

検挙した事件をみると、犯行後の逃走手段は、車両（盗難車を含む。）を利用したものが89件（52.4%）となっている（図表4-1-(5)-4）。

被疑者の年齢別では、20歳代が49人（32.2%）と最も多く、次いで30歳代が43人（28.3%）となっている（図表4-1-(5)-5、7）。

また、平成19年の身の代金目的略取・誘拐事件の認知事件数は2件となっている（図表4-1-(5)-6）。

図表4-1-(5)-1 略取誘拐・人身売買事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		221	249	302	237	251	284	320	277	199	207	8	4.0
検挙件数(件)		211	244	272	211	215	231	232	204	180	178	-2	-1.1
検挙人員(人)		141	164	180	179	173	151	187	176	167	152	-15	-9.0
検挙率(%)		95.5	98.0	90.1	89.0	85.7	81.3	72.5	73.6	90.5	86.0	-4.5ポイント	

図表4-1-(5)-2 略取誘拐・人身売買の被害者の年齢・性別認知件数の状況（平成19年）

	総数	0～5歳	6～12歳	13～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	207	30	52	82	37	16	6	2	2
(割合%)	100	14.5	25.1	30.0	17.9	7.7	2.9	1.0	1.0
男性	46	18	6	8	7	3	1	1	2
(割合%)	22.2	8.7	2.9	3.9	3.4	1.4	0.5	0.5	1.0
女性	161	12	46	54	30	13	5	1	0
(割合%)	77.8	5.8	22.2	26.1	14.5	6.3	2.4	0.5	0.0

図表 4 - 1 - (5) - 3 略取誘拐・人身売買事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成19年）

認知件数	0時～2時	2時～4時	4時～6時	6時～8時	8時～10時	10時～12時	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時～22時	22時～24時	不明
207	15	10	8	13	17	18	12	30	24	27	19	12	2

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 4 - 1 - (5) - 4 略取誘拐・人身売買事件の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成19年）

総数	盗難車		盗難車以外					自転車	その他	該当なし
	自動車	オートバイ	自己所有の自動車	レンタカー	タクシー・ハイヤー	その他の自動車	オートバイ			
170	5	0	54	5	2	21	2	8	3	70

注1：解決事件を除く。

注2：「その他」には、電車、バス、地下鉄等の公共交通機関を利用したものなどが含まれる。

図表 4 - 1 - (5) - 5 略取誘拐・人身売買の被疑者の年齢・性別検挙人員の状況（平成19年）

	総数	14～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
検挙人員	152	14	49	43	26	13	7
(割合%)	100	9.2	32.2	28.3	17.1	8.6	4.6
男性	138	14	45	40	23	10	6
(割合%)	90.8	9.2	29.6	26.3	15.1	6.6	3.9
女性	14	0	4	3	3	3	1
(割合%)	9.2	0.0	2.6	2.0	2.0	2.0	0.7

図表 4 - 1 - (5) - 6 身の代金目的略取・誘拐事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件(人)数	率(%)
認知事件数(件)		8	10	11	10	10	12	7	6	6	2	-4	-66.7
検挙事件数(件)		8	9	12	10	10	11	7	6	6	2	-4	-66.7
検挙人員(人)		22	24	23	24	35	24	24	21	21	7	-14	-66.7

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 4 - 1 - (5) - 7 略取誘拐・人身売買の年齢別検挙人員

	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平10	141	25	48	32	24	9	1	2
平11	164	31	53	37	18	19	4	2
平12	180	12	69	47	23	20	5	4
平13	179	11	65	51	23	21	7	1
平14	173	16	52	56	25	19	1	4
平15	151	7	60	43	17	21	1	2
平16	187	12	47	63	32	21	4	8
平17	176	8	57	56	23	18	7	7
平18	167	16	40	53	22	27	4	5
平19	152	14	49	43	26	13	3	4
増減数	-15	-2	9	-10	4	-14	-1	-1
増減率	-9.0	-12.5	22.5	-18.9	18.2	-51.9	-25.0	-20.0

注：犯行時の年齢を計上している。

【事 例】亀山市における身の代金目的女子中学生誘拐事件（三重）

工員の男（39）ら2人は、5月4日、出会い系サイトで知り合った被害者を連れ去り、ホテルに監禁し、同人の実父に対して、身の代金を要求した（5月5日検挙）。

(6) 放火事件の状況

平成19年の放火事件の認知件数は1,519件、検挙件数は1,120件、検挙人員は764人と、前年に比べ認知件数は240件（13.6%）、検挙件数は217件（16.2%）、検挙人員は61人（7.4%）それぞれ減少している。

検挙率は73.7%で、前年に比べ2.3ポイント減少している（図表4-1-(6)-1）。

認知した事件をみると、発生時間帯では、午前0時から午前2時までが232件と最も多く、全体の15.3%を占めている（図表4-1-(6)-2）。

また、検挙した事件をみると、犯行後の逃走手段は、車両（盗難車を含む。）を利用したものが172件と、全体の16.1%を占めている（図表4-1-(6)-3）。

なお、放火の年齢別検挙人員は、図表4-1-(6)-4のとおりである。

図表 4 - 1 - (6) - 1 放火事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件(人)	率(%)
認知件数(件)		1,588	1,728	1,743	2,006	1,830	2,070	2,174	1,904	1,759	1,519	-240	-13.6
検挙件数(件)		1,369	1,458	1,372	1,540	1,234	1,448	1,513	1,361	1,337	1,120	-217	-16.2
検挙人員(人)		693	750	789	783	815	866	867	791	825	764	-61	-7.4
検 挙 率(%)		87.4	84.4	78.7	76.8	67.4	70.0	69.6	71.5	76.0	73.7	-2.3ポイント	

図表4-1-(6)-2 放火事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成19年）

認知件数	0時～2時	2時～4時	4時～6時	6時～8時	8時～10時	10時～12時	12時～14時	14時～16時	16時～18時	18時～20時	20時～22時	22時～24時	不明
1,519	232	229	143	55	79	77	99	85	104	129	140	167	1

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表4-1-(6)-3 放火の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成19年）

総数	盗難車		盗難車以外				自転車	その他	該当なし	
	自動車	オートバイ	自己所有の自動車	レンタカー	タクシー・ハイヤー	その他の自動車				オートバイ
1,071	7	1	129	2	4	17	12	87	10	802

注1：解決事件を除く。

注2：「その他」には、電車、バス、地下鉄等の公共交通機関を利用したものなどが含まれる。

注3：「該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

図表4-1-(6)-4 放火の年齢別検挙人員

	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平10	693	89	141	127	146	121	38	31
平11	750	91	131	138	142	140	66	42
平12	789	82	157	145	141	163	50	51
平13	783	105	149	137	144	160	38	50
平14	815	91	144	134	136	155	57	48
平15	866	108	138	136	150	155	50	79
平16	867	105	153	162	149	139	57	52
平17	791	86	141	157	122	161	63	61
平18	825	103	136	171	154	152	41	68
平19	764	103	117	149	156	137	36	66
増減数	-61	0	-19	-22	2	-15	-5	-2
増減率	-7.4	0.0	-14.0	-12.9	1.3	-9.9	-12.2	-2.9

注：犯行時の年齢を計上している。

【事例】建築中の建物に対する放火事件（警視庁）

無職の男（29）は、平成18年8月31日、多摩市内の建築工事中の建物に放火し、同建物を焼損させた（1月16日検挙）。

2 重要窃盗犯

(1) 重要窃盗犯の認知・検挙状況

平成10年以降急増していた重要窃盗犯（窃盗犯のうち、侵入盗、自動車盗、ひったくり及びすりをいう。以下同じ。）の認知件数は、平成15年から減少に転じ、平成19年にあっても24万1,425件と、前年に比べ4万622件（14.4%）減少している。

検挙件数は12万4,158件で、前年に比べ3,743件（2.9%）減少し、検挙人員は1万6,857人で、前年に比べ1,241人（6.9%）減少している。また、検挙率は51.4%で、前年に比べ6.1ポイント上昇している（図表4-2-(1)-1）。

なお、各手口の年齢別検挙人員については、図表4-2-(1)-2、3、4、5、6、7のとおりである。

図表4-2-(1)-1 重要窃盗犯手口別認知・検挙状況の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件(人)数	率(%)
重要窃盗犯	認知件数	330,389	367,174	423,281	443,502	478,476	489,143	407,929	338,967	282,047	241,425	-40,622	-14.4
	検挙件数	213,261	197,011	140,351	120,183	133,960	140,861	135,933	133,390	127,901	124,158	-3,743	-2.9
	検挙人員	24,533	24,533	22,126	22,493	22,425	22,596	20,600	18,719	18,098	16,857	-1,241	-6.9
	検 挙 率	64.6	53.7	33.2	27.1	28.0	30.0	33.3	39.4	45.3	51.4	6.1ポイント	
侵入盗	認知件数	237,703	260,981	296,486	303,693	336,294	333,233	290,565	244,776	205,463	175,728	-29,735	-14.5
	検挙件数	165,818	152,984	109,123	89,456	98,335	109,920	104,816	104,454	100,824	96,266	-4,558	-4.5
	検挙人員	15,480	15,234	13,651	13,712	13,696	14,208	13,548	12,564	12,434	12,037	-397	-3.2
	検 挙 率	69.8	58.6	36.8	29.5	29.1	33.0	36.1	42.7	49.1	54.8	5.7ポイント	
住宅対象	認知件数	123,863	134,492	154,074	161,883	189,336	190,473	170,991	142,945	120,023	103,490	-16,533	-13.8
	検挙件数	87,351	82,373	57,893	45,752	51,897	59,138	57,948	60,486	58,717	54,491	-4,226	-7.2
	検挙人員	5,813	5,755	5,275	5,144	5,241	5,313	5,209	4,875	4,830	4,462	-368	-7.6
	検 挙 率	70.5	61.2	37.6	28.3	27.4	31.0	33.9	42.3	48.9	52.7	3.8ポイント	
自動車盗	認知件数	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	-4,268	-11.8
	検挙件数	18,210	15,241	11,415	13,390	12,791	11,931	13,765	14,898	13,338	13,507	219	1.6
	検挙人員	5,495	5,028	4,590	4,933	4,775	4,599	3,823	3,366	3,056	2,380	-676	-22.1
	検 挙 率	50.7	35.4	20.3	21.2	20.4	18.6	23.4	31.9	36.9	42.5	5.6ポイント	
ひったくり	認知件数	35,783	41,173	46,064	50,838	52,919	46,354	39,399	32,017	26,828	23,687	-3,141	-11.7
	検挙件数	19,636	20,597	14,796	12,925	18,434	14,861	13,561	10,406	10,090	11,321	1,231	12.2
	検挙人員	2,605	3,304	3,072	3,073	3,158	2,953	2,259	1,851	1,662	1,524	-128	-7.7
	検 挙 率	54.9	50.0	32.1	25.4	34.8	32.1	34.4	32.5	37.6	47.8	10.2ポイント	
すり	認知件数	21,019	21,928	24,526	25,891	24,590	25,333	19,198	15,449	13,998	10,220	-3,478	-25.4
	検挙件数	9,597	8,189	5,012	4,412	4,400	4,149	3,791	3,632	3,699	3,064	-635	-17.2
	検挙人員	953	967	813	770	796	836	970	938	966	916	-40	-4.2
	検 挙 率	45.7	37.3	20.4	17.2	17.9	16.4	19.7	23.5	27.0	30.0	3.0ポイント	

注：「住宅対象」とは、侵入盗のうち、空き巣、忍込み及び居空きをいう。

図表 4 - 2 - (1) - 2 侵入盗の年齢別検挙人員

	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平10	15,480	4,667	4,159	2,417	2,143	1,438	361	295
平11	15,234	4,343	4,209	2,545	1,985	1,525	336	291
平12	13,651	3,759	3,707	2,327	1,797	1,423	344	294
平13	13,712	3,883	3,585	2,386	1,748	1,436	346	278
平14	13,696	3,879	3,482	2,509	1,679	1,479	353	315
平15	14,208	3,901	3,677	2,697	1,699	1,524	377	333
平16	13,548	3,756	3,383	2,540	1,688	1,433	386	362
平17	12,564	3,044	3,209	2,425	1,686	1,428	396	376
平18	12,434	2,670	3,292	2,589	1,654	1,446	392	391
平19	12,037	2,464	3,148	2,490	1,612	1,460	405	458
増減数	-397	-206	-144	-99	-42	14	13	67
増減率	-3.2	-7.7	-4.4	-3.8	-2.5	1.0	3.3	17.1

注：犯行時の年齢を計上している。

図表 4 - 2 - (1) - 3 侵入盗のうち住宅対象の年齢別検挙人員

	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平10	5,813	1,558	1,541	997	864	569	156	128
平11	5,755	1,377	1,647	1,036	814	611	139	131
平12	5,275	1,180	1,458	968	769	608	154	138
平13	5,144	1,138	1,452	946	687	644	147	130
平14	5,241	1,099	1,456	1,033	683	659	147	164
平15	5,318	1,094	1,470	1,127	693	625	161	148
平16	5,209	1,015	1,411	1,075	727	629	180	172
平17	4,875	836	1,413	1,004	709	566	181	166
平18	4,830	726	1,394	1,126	683	580	162	159
平19	4,462	675	1,295	970	660	549	154	159
増減数	-368	-51	-99	-156	-23	-31	-8	0
増減率	-7.6	-7.0	-7.1	-13.9	-3.4	-5.3	-4.9	0.0

注：犯行時の年齢を計上している。

図表 4 - 2 - (1) - 4 侵入盗のうち住宅対象以外の年齢別検挙人員

	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平10	9,667	3,109	2,618	1,420	1,279	869	205	167
平11	9,479	2,966	2,562	1,509	1,171	914	197	160
平12	8,376	2,579	2,249	1,359	1,028	815	190	156
平13	8,568	2,745	2,133	1,440	1,061	842	199	148
平14	8,455	2,780	2,026	1,476	996	820	206	151
平15	8,890	2,807	2,207	1,570	1,006	899	216	185
平16	8,339	2,741	1,972	1,465	961	804	206	190
平17	7,639	2,208	1,796	1,421	977	862	215	210
平18	7,604	1,944	1,898	1,463	971	866	230	232
平19	7,575	1,789	1,853	1,520	952	911	251	299
増減数	-29	-155	-45	57	-19	45	21	67
増減率	-0.4	-8.0	-2.4	3.9	-2.0	5.2	9.1	28.9

注：犯行時の年齢を計上している。

図表 4 - 2 - (1) - 5 自動車盗の年齢別検挙人員

	総数	14~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上
平10	5,495	2,109	1,322	877	721	369	68	29
平11	5,028	1,674	1,276	875	691	411	66	35
平12	4,590	1,559	1,130	810	570	420	69	32
平13	4,933	1,714	1,219	873	593	439	65	30
平14	4,775	1,701	1,129	862	505	434	86	58
平15	4,599	1,575	1,064	867	532	430	82	49
平16	3,823	1,236	881	755	452	386	61	52
平17	3,366	960	771	722	452	332	71	58
平18	3,056	867	642	678	439	303	72	55
平19	2,380	678	496	477	348	265	60	56
増減数	-676	-189	-146	-201	-91	-38	-12	1
増減率	-22.1	-21.8	-22.7	-29.6	-20.7	-12.5	-16.7	1.8

注：犯行時の年齢を計上している。

図表 4 - 2 - (1) - 6 ひったくりの年齢別検挙人員

	総数	14~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上
平10	2,605	1,891	387	129	95	73	20	10
平11	3,304	2,438	472	145	118	97	23	11
平12	3,072	2,209	507	160	82	76	22	16
平13	3,078	2,208	497	181	85	78	18	11
平14	3,158	2,187	554	172	107	96	25	17
平15	2,953	1,985	552	208	90	91	16	11
平16	2,259	1,380	503	181	88	76	17	14
平17	1,851	1,041	463	154	98	70	14	11
平18	1,652	855	408	193	95	66	16	19
平19	1,524	816	364	162	80	66	12	24
増減数	-128	-39	-44	-31	-15	0	-4	5
増減率	-7.7	-4.6	-10.8	-16.1	-15.8	0.0	-25.0	26.3

注：犯行時の年齢を計上している。

図表 4 - 2 - (1) - 7 すり 犯行時の年齢別検挙人員

	総数	14~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上
平10	953	87	147	156	203	206	72	102
平11	967	50	133	193	197	221	75	98
平12	813	72	125	138	146	191	54	87
平13	770	58	115	133	137	178	55	93
平14	796	72	121	122	123	172	93	93
平15	836	103	126	144	137	166	83	77
平16	970	90	152	169	174	208	72	105
平17	938	83	154	174	133	200	90	104
平18	956	98	177	185	145	154	71	126
平19	916	92	173	153	144	170	56	128
増減数	-40	-6	-4	-32	-1	16	-15	2
増減率	-4.2	-6.1	-2.3	-17.3	-0.7	10.4	-21.1	1.6

注：犯行時の年齢を計上している。

(2) 組織窃盗事件の状況

平成10年から平成19年までの間、各都道府県警察が認定した組織窃盗事件（注1）は495件であり、そのうち、特に重要な83件を、警察庁登録組織窃盗事件（注2）として登録している（図表4-2-(2)）。

警察庁登録組織窃盗事件の検挙事例を見ると、窃盗組織は、いずれも来日外国人や暴力団員等を主要なメンバーとしたものである。数十人単位の多数の者で構成され、首魁の指揮の下、実行メンバーを入れ替えながら、連続して広域にわたる侵入盗や自動車盗等を敢行するとともに、実行メンバー以外のメンバーが、窃取した預貯金通帳を用いて不正に現金を引き下ろしたり、窃取した自動車の車台番号等を改ざんして不正に輸出したりするなどしている。

注1：「組織窃盗」とは、多数の被疑者が、首魁による指揮統制の下に、下見、窃取、盗品の運搬、処分などの各行為を分担又は共同して行う窃盗犯罪をいう。

注2：平成9年10月、警察庁では、組織窃盗事件登録要領を制定し、各都道府県警察が認定した組織窃盗事件のうち、特に重要な事件を「警察庁登録組織窃盗事件」として、全国警察に情報提供を求めるなど、組織の壊滅を主眼とする捜査を推進している。

図表4-2-(2) 組織窃盗事件(登録・認定)数の推移

区分	年次	総数	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
													件数	率(%)
都道府県警察が認定した組織窃盗事件数(件)		495	57	56	49	43	43	64	58	49	45	31	-14	-31.1
		(83)	(9)	(13)	(9)	(7)	(11)	(9)	(9)	(9)	(6)	(1)	-5	-83.3
	終結事件数(件)	449	57	56	49	43	43	64	58	46	29	4		
		(79)	(9)	(13)	(9)	(7)	(11)	(9)	(9)	(9)	(3)	(0)		
現在捜査中の事件数(件)		46	0	0	0	0	0	0	0	3	16	27		
		(4)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3)	(1)		

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：()内は、警察庁登録組織窃盗事件の登録事件数を内数で示した。

注3：組織窃盗事件数、終結事件数及び現在捜査中の事件数は、平成19年12月末現在のものである。

【事例1】暴力団構成員らによる組織的広域自動車盗事件（警察庁登録組織窃盗第80号事件）（埼玉・群馬・新潟・栃木・茨城・警視庁）

平成13年11月から平成18年6月までの間、暴力団構成員の男（39）が首魁となり、自動車盗グループを組織し、関東圏内を中心として、四輪駆動車を窃取し、暴力団構成員等を通じて国内で不正に売買したり、ナイジェリア人を通じて海外に不正に輸出するなどしていた。

平成19年2月までに、9都県下にわたる自動車盗等約2,300件（首魁を含む被疑者62人、被害総額約43億8,000万円相当）を検挙し、窃盗組織を壊滅させた。

【事例2】不良中国人グループによる特別養護老人ホーム等を対象とした広域金庫破り等事件（警察庁登録組織窃盗第82号事件）（大阪・京都・滋賀・三重・奈良・鳥取・兵庫・岡山・愛知・福井・和歌山・神奈川）

平成15年6月から平成18年2月までの間、中国籍の男（31）が首魁となり、暴力団構成員等を介して日本人の運転手を雇い入れるなどして窃盗グループを組織し、中部、近畿等において、特別養護老人ホーム、大規模病院、スーパーマーケット等を対象に金庫破り等を敢行し、現金、貴金属等を窃取して、同国籍の盗品買取ブローカー等に売却するなどしていた。

平成19年2月までに、23都府県下にわたる金庫破り、事務所荒し等約740件（首魁を含む被疑者60人、被害総額約6億9,000万円相当）を検挙し、窃盗組織を壊滅させた。

【事例3】不良中国人グループによる一般住宅等を対象とした広域組織窃盗事件（警察庁登録組織窃盗第85号事件）（警視庁・千葉・滋賀・奈良）

平成16年11月から平成18年10月までの間、中国籍の男（27）が首魁となり、暴力団構成員等を介して日本人の運転手を雇い入れるなどして窃盗グループを組織し、関東、近畿等において、一般住宅やアパート等を対象に空き巣等を敢行し、現金、貴金属等を窃取して、同国籍の盗品買取ブローカー等に売却するなどしていた。

平成19年2月までに、16都府県下にわたる空き巣、忍込み、金庫破り等約900件（首魁を含む被疑者36人、被害総額約4億1,000万円相当）を検挙し、窃盗組織を壊滅させた。

【事例4】払出盗を伴う中高層マンション対象の忍込み及びスナック店等対象の追出し盗等事件（警察庁登録組織窃盗第87号事件）（警視庁・愛知・埼玉・広島・福島・長野・群馬・栃木・兵庫・大阪・神奈川・福岡・山口・鹿児島）

平成15年6月から平成19年3月までの間、中国籍の男（51）が首魁となり、侵入盗グループ、非侵入盗グループ、偽電グループを組織し、全国を移動しながら、中高層マンションではサムターン回しによる忍込みや空き巣、飲食店では詐言を用いて従業員を店外へおびき出し店内で財布を窃取する追出し盗や、客が掛けている背広から財布等を抜き取るいわゆるブランコすりを敢行し、間髪入れずに偽電グループが警察官や銀行員を装って言葉巧みに暗証番号を聞き出し、その情報に基づきATMから現金を窃取する払出盗を敢行していた。

平成19年5月までに、1都1府19県下にわたる忍込み、追出し盗、払出盗約1,150件（首魁を含む被疑者49人、被害総額約4億4,600万円相当）を検挙し、窃盗組織を壊滅させた。

(3) 建設機械等を使用したA T M等を対象とした窃盗事件

平成19年の建設機械等を使用して現金自動支払機（A T M）等を収納ブースごと破壊した上、現金を窃取する窃盗事件の認知事件数は9件と、前年に比べ13件（59.1%）減少している（図表4 - 2 - (3)）。

図表4 - 2 - (3) 建設機械等を使用したA T M等を対象とした窃盗事件の認知事件数の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
									件数	率(%)
	認知事件数(件)	9	57	44	64	30	22	9	-13	-59.1
	うち未遂	8	31	32	39	18	11	3	-8	-72.7

注：本表は、実務統計による集計数値である。

3 特殊事件・事故

(1) 人質立てこもり事件

平成19年の人質立てこもり事件の認知事件数は6件で、前年と比べ3件増加している（図表4-3-(1)）。

図表4-3-(1) 人質立てこもり事件の認知・検挙状況の推移

区分 \ 年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19
認知事件数(件)	5	7	5	6	12	14	17	7	3	6
検挙事件数(件)	5	7	5	6	12	14	17	7	3	6
検挙人員(人)	5	7	5	6	12	14	17	7	3	6

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】長久手町におけるけん銃使用人質立てこもり等事件（愛知）

無職の男（50）は、5月17日、自己の長男・長女のほか、臨場した警察官にけん銃を発砲してそれぞれ負傷させ、元妻を人質に取って自宅事務所内に立てこもった上、負傷した警察官の救出にあたった警察官にもけん銃を発砲して殺害した（5月18日検挙）。

(2) 業務上過失致死傷事件・事故

【事例1】宝塚市におけるカラオケボックス失火事件（兵庫）

1月20日、宝塚市内のカラオケボックスにおいて発生した、3人が死亡、5人が負傷した火災につき、加熱中の天ぷら鍋を放置したとして、アルバイト店員を業務上失火・業務上過失致死傷で、防火上必要な対策を講じなかったとして、同店経営者を業務上過失致死傷でそれぞれ検挙した（1月30日までに検挙）。

【事例2】吹田市におけるジェットコースター脱線事故（大阪）

5月5日、吹田市内の遊園地において、ジェットコースターが脱線し、1人が死亡、19人が負傷した事故につき、安全管理に不備があったとして、管理者等を業務上過失致死傷等で検挙した（12月19日検挙）。

【事例3】渋谷区における温泉施設爆発事故（警視庁）

6月19日、渋谷区内の女性専用温泉施設において、爆発事故が発生し、3人が死亡、3人が負傷した。

【事例4】堺市におけるヘリコプター墜落事故（大阪）

10月27日、堺市内の南海電車線路上にヘリコプターが墜落し、搭乗員2人が死亡した。

4 構造的な不正事案等

(1) 政治・行政をめぐる不正事案

平成19年の政治・行政をめぐる不正事案（公職選挙法違反事件を除く。）の検挙事件数は73件と、前年に比べ46件（38.7%）減少している（図表4 - 4 - (1) - 1）。

図表4 - 4 - (1) - 1 政治・行政をめぐる不正事案の検挙事件数

区分	年次										増減	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件数	率(%)
贈収賄	71	67	64	85	73	55	72	65	74	47	-27	-36.5
談合・競売入札妨害	15	13	20	20	15	12	11	17	42	26	-16	-38.1
あっせん利得処罰法違反	-	-	-	0	1	0	0	1	2	0	-2	-100.0
政治資金規正法違反	1	2	1	1	4	1	0	1	1	0	-1	-100.0
合計	87	82	85	106	93	68	83	84	119	73	-46	-38.7

注：本表は、実務統計による集計数値である。統計中に、公職選挙法違反事件は含まない。

ア 贈収賄事件

平成19年の贈収賄事件の検挙事件数は47件、検挙人員は113人で、県知事らによる県発注業務委託をめぐる贈収賄事件等、社会的反響の大きい事件を検挙している。

【事例1】深川市長らによる公共工事発注をめぐる贈収賄事件（北海道）

深川市長（68）は、平成18年4月下旬ころ、同市が発注した小学校校舎の改築に伴う機械設備工事に係る指名競争入札に関し、建設会社の代表取締役（58）から、同社ほか1社で構成する共同企業体が落札できるように取り計らってほしい旨の請託を受け、その見返りとして同代表取締役から、現金100万円の供与を受けた（1月4日検挙）。

【事例2】宮崎県知事らによる県発注業務委託をめぐる贈収賄事件（宮崎）

宮崎県知事（61）は、側近であるリゾート会社代表取締役と共謀の上、平成15年7月ころ、同県が発注する設計業務委託に関し、有利便宜な取り計らいを受けたい旨の請託を受け、その謝礼として供与されるものであることを知りながら、土木建築設計測量業者から現金2,000万円の供与を受けた。

さらに、同知事は、平成15年10月ころ、同県が発注する設計業務委託に関し、有利便宜な取り計らいを受けたい旨の請託を受け、その謝礼として供与されるものであることを知りながら、前後20回に亘り、リゾート会社代表取締役名義の銀行口座に振込送金させる方法により、前記業者から合計1,026万円を交付させ、第三者に賄賂を供与させた（1月22日検挙）。

【事例3】厚生労働技官らによる指導・助言をめぐる贈収賄事件（警視庁）

厚生労働技官東京社会保険事務局保険部保険医療課指導医療官（57）は、平成14年11月ころから17年7月ころまでの間、前後数回にわたり、歯科大学同窓会東京地域支部連合会から、指導医療官らによる指導、監査の対象となることを免れるための助言を受けるなどしたことに対する謝礼の趣旨の下に供与されるものであることを知りながら、現金合計230万円の供与を受けた（5月16日検挙）。

【事例4】農林水産技官らによる輸入米穀の特別売買契約をめぐる贈収賄事件（大阪・千葉合同）

農林水産省総合食料局職員（50）は、平成17年9月下旬ころ、農林水産省総合食料局が実施する輸入に係る米穀の特別売買の契約に関し、有利便宜な取り計らいを受けたことに対する謝礼の趣旨で供与されるものであることを知りながら、穀物輸入業者からアメリカへの航空券の供与及び現地での宿泊等の接待（約36万円相当）を受けた（10月7日検挙）。

【事例5】元名古屋市立大学大学院医学研究科教授らによる学位取得審査をめぐる贈収賄事件（愛知）

元名古屋市立大学大学院医学研究科教授（68）は、平成17年3月下旬ころ、論文博士学位審査の申請者から、同審査で有利便宜な取り計らいを受けたことに対する謝礼の趣旨で現金合計250万円の供与を受けた（12月5日検挙）。

イ 談合・競売入札妨害事件

平成19年の談合・偽計入札妨害の検挙事件数は26件で、検挙人員は172人である。

平成19年の主な検挙事例としては、「木曽岬町教育長らによる公共工事発注をめぐる偽計入札妨害」（三重、2月14日検挙）等がある。

ウ 公職選挙法違反事件

(7) 第16回統一地方選挙違反取締状況

第16回統一地方選挙における選挙期日後90日（7月7日及び7月21日）現在の検挙件数は1,026件、検挙人員は1,434人（うち逮捕者283人）で、前回の第15回統一地方選挙期日後90日の時点に比べ、検挙件数は956件、検挙人員は1,962人、逮捕人員は346人減少した。

罪種別に見ると、最も多いのは買収事件で、検挙件数は861件、検挙人員1,245人（うち逮捕人員201人）で、全検挙に占める割合は、検挙件数で83.9%、検挙人員で86.8%、逮捕人員で71.0%となっている（図表4-4-(1)-2）。

図表4 - 4 - (1) - 2 罪種別検挙状況

区分 罪種	今回（第16回）			前回（第15回）			増 減		
	件 数	人 員		件 数	人 員		件 数	人 員	
		うち逮捕			うち逮捕			うち逮捕	
買 収	861	1,245	201	1,777	3,131	492	-916	-1,886	-291
自 由 妨 害	50	39	31	42	48	40	8	-9	-9
詐偽投票等	71	96	31	77	103	67	-6	-7	-36
投票偽造	4	11	10	2	6	6	2	5	4
投票干渉	4	9	5	21	14	8	-17	-5	-3
地位利用	1	1	1	10	12	5	-9	-11	-4
戸別訪問	1	3	0	4	11	0	-3	-8	0
文書違反	8	15	1	23	52	5	-15	-37	-4
そ の 他	28	15	3	26	19	6	0	-4	-3
合 計	1,026	1,434	283	1,982	3,396	629	-956	-1,962	-346

注：選挙期日後90日現在の統計である。

【事例1】県議選挙における副町長による公務員の地位利用事件（熊本）

副町長(61)は、平成19年4月ころ、指揮監督下にある町職員数名に対し、その職務上の地位を利用して、投票並びに投票取りまとめ等の選挙運動を依頼した（4月10日検挙）。

【事例2】県議選挙における組織的な詐偽登録、詐偽投票事件（大分）

会社役員(55)は、社員十数名と共謀の上、平成18年8月ころ、転入事実のない同社員が転入した旨虚偽の届出をなし、選挙管理委員会係員をして選挙人名簿に同人らの氏名を登録させ、平成19年4月ころ、偽りの資格に基づき詐偽の方法により投票した（4月17日検挙）。

【事例3】府議選挙における当選候補者による日当買収事件（京都）

当選候補者(54)は、平成19年2月ころから同年3月ころまでの間、数名に対し、選挙運動をすることの報酬として、それぞれ1時間1,000円の割合で計算した金銭を供与する旨の約束をするとともに、未成年者数名を使用して選挙運動をした（4月17日検挙）。

【事例4】県議選挙における当選候補者による現金買収事件（埼玉）

当選候補者(48)は、平成19年1月ころ、選挙運動者数名に対し、自己のための投票並びに投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、それぞれ現金数万円を供与した（4月26日検挙）。

【事例5】福井市議選挙における不在者投票施設事務長らによる投票偽造事件（福井）

不在者投票施設事務長(63)らは、共謀の上、平成19年4月ころ、同施設に入所中の選挙人数名の投票用紙をあたかも同人らが正規の不在者投票を行ったものとして選挙管理委員会に送致し、投票管理者をして投票箱に投入させ投票を偽造した（4月29日検挙）。

(イ) 第21回参议院議員通常選挙違反取締状況

第21回参议院議員通常選挙における選挙期日後90日（10月27日）現在の検挙件数は156件、検挙人員は237人（うち逮捕者55人）で、前回第20回参议院議員通常選挙期日後90日の時点に比べ、検挙件数は251件、検挙人員は162人、逮捕人員は85人減少した。

罪種別にみると、最も多いのは買収事件で、検挙件数は67件、検挙人員136人（うち逮捕人員16人）で、全検挙に占める割合は、検挙件数で42.9%、検挙人員で57.4%、逮捕人員で29.1%となっている（図表4-4-(1)-3）。

図表4-4-(1)-3 罪種別検挙状況

区分 罪種	今回（第21回）			前回（第20回）			増 減		
	件 数	人 員		件 数	人 員		件 数	人 員	
		うち逮捕			うち逮捕			うち逮捕	
買 収	67	136	16	203	266	74	-136	-130	-58
自 由 妨 害	49	41	26	92	44	30	-43	-3	-4
詐偽投票等	16	20	6	10	18	12	6	2	-6
投票偽造	6	14	4	4	16	7	2	-2	-3
投票干渉	0	0	0	16	8	4	-16	-8	-4
地位利用	2	2	1	51	15	7	-49	-13	-6
戸別訪問	1	0	0	6	9	0	-5	-9	0
文書違反	12	21	0	11	16	0	1	5	0
そ の 他	3	3	2	14	7	6	-11	-4	-4
合 計	156	237	55	407	399	140	-251	-162	-85

注：選挙期日後90日現在の統計である。

【事例1】暴力団幹部らによる現金買収約束事件（愛媛）

暴力団幹部(57)らは、共謀の上、平成19年7月ころ、選挙人数名に対し、特定候補者のための投票並びに投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、それぞれ後日現金数千円を供与する旨の約束をした（7月31日検挙）。

【事例2】 県議らによる現金買収事件（新潟）

県議(76)は、選挙運動者と共謀の上、平成19年6月ころ、選挙人数十名に対し、特定候補者のための投票並びに投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、それぞれ現金数千円を供与した（8月1日検挙）。

【事例3】 不在者投票指定施設における投票偽造事件（岐阜）

不在者投票管理者を務める特別養護老人ホームの施設長(48)らは、平成19年7月ころ、不在者投票を行う施設として指定を受けた同施設において、入所者の投票用紙に無断で候補者の氏名を記載するなどして選挙管理委員会に送致し、投票日当日、投票管理者をして正規の投票箱に投入させ投票を偽造した（8月1日検挙）。

【事例4】 出納責任者らによる日当買収事件（神奈川）

出納責任者(33)は、選挙運動者と共謀の上、平成19年7月ころから8月ころまでの間、選挙運動者数十名に対し、同人らが選挙人に特定候補者への投票を呼び掛けるなどの選挙運動をしたことの報酬として、それぞれ現金数万円から十数万円を供与した（8月7日検挙）。

【事例5】 副村長による地位利用事件（長野）

副村長(60)は、平成19年7月ころ、指揮監督下にある村職員数十名に対し、その職務上の地位を利用して、投票及び投票取りまとめ等の選挙運動を依頼した（8月10日検挙）。

(ウ) 一般地方選挙

一般地方選挙において、候補者等を検挙している。

【事例1】 浅口市議選挙における暴力団組長らによる詐偽登録、詐偽投票事件（岡山）

暴力団組長(65)らは、共謀の上、平成17年12月、それぞれ転入した事実がないのに転入した旨虚偽の届出をなし、選挙管理委員会係員をして選挙人名簿に同人らの氏名を登録させ、平成18年4月ころ、偽りの資格に基づき詐偽の方法により投票した（1月17日検挙）。

【事例2】 山梨県知事選挙における市議による現金買収事件（山梨）

市議(64)は、平成19年1月ころ、選挙人数名に対し、候補者のための投票並びに投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、それぞれ現金数万円を供与した（1月23日検挙）。

【事例3】厚木市長選挙における供応買収事件（神奈川）

選挙運動者（78）らは、平成18年12月ころ、選挙人数名に対し、候補者への投票並びに投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、1人当たり数万円相当の酒食等の供応接待をした（2月2日検挙）。

【事例4】つがる市議選挙における当選候補者らによる現金買収事件（青森）

当選候補者（48）は、平成18年12月ころ、選挙運動者数名に対し、自己のための投票並びに投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、それぞれ現金数万円から数十万円を供与するとともに、選挙運動者と共謀の上、選挙人数名に対し、同様の趣旨の下、それぞれ現金数万円を供与した（2月5日検挙）。

【事例5】甲佐町議選挙における当選候補者らによる詐偽登録、詐偽投票事件（熊本）

当選候補者（55）は、選挙運動者らと共謀の上、平成18年10月ころ、転入事実のない選挙人数名が転入した旨虚偽の届出をなし、選挙管理委員会係員をして選挙人名簿に同人らの氏名を登録させ、平成19年2月ころ、偽りの資格に基づき詐偽の方法により投票した（3月1日検挙）。

エ 公務員犯罪

平成19年の公務員犯罪については、県幹部職員らによる詐欺事件を検挙している。

【事例】鹿児島県保健福祉部長（当時）らによる研究費補助金詐欺事件（警視庁）

鹿児島県保健福祉部長（49）らは、平成14年3月ころから同15年3月ころまでの間、平成13年度及び同14年度の厚生労働科学研究費補助金事業に関し、平成13年度の補助金として約90万円、同14年度の補助金として約120万円の余剰金を生じさせ、その返還を免れる目的をもって、民間会社から消耗品を購入した事実がないのに、その旨の実績報告書を厚生労働大臣宛に提出するなどして、補助金合計約210万円について、厚生労働省に対する返還を免れた（3月9日検挙）。

(2) 経済をめぐる不正事案

ア 企業犯罪

平成19年の企業犯罪については、老舗醤油メーカー前代表取締役らによる証券取引法違反（虚偽有価証券報告書提出）事件等社会的反響の大きい事件を検挙している。

【事例1】老舗醤油メーカー前代表取締役らによる証券取引法違反事件（愛知）

醤油等の製造販売会社の前代表取締役（56）らは、平成14年6月ころから平成17年6月ころまでの間、同社の連結決算が債務超過等であったのに、東海財務局長に対し、連結子会社が無く連結財務諸表を作成していない旨を記載した虚偽の有価証券報告書を提出した（1月17日検挙）。

【事例2】土地開発公社発注にかかる駐車場土地賃貸契約をめぐる詐欺事件（新潟）

駐車場管理経営会社の役員（64）は、平成14年4月ころから平成16年3月ころまでの間、同社が経営する駐車場の土地が土地開発公社の所有であり、同土地の賃貸借契約更新については、駐車場料金の総売上金額を基に次年度の賃貸借料を算定し、同公社と同社親会社の間で賃貸借契約が締結されていたことから、毎月の駐車場料金の売上金額を同公社に過少申告し、安価な金額で賃貸借契約を更新させて、同親会社に賃借権を不正取得させ、財産上不法の利益を他人に得させた（1月29日検挙）。

【事例3】ゴルフ場経営会社倒産に絡む会社更生法違反事件（埼玉）

更正手続中であったゴルフ場経営会社の代表取締役（75）らは、平成18年3月ころ、同社の管財人に対し、平成17年度の年会費等約6,200万円について、会員権の買い戻しの費用に充てたなどと、管財人に更生会社の業務及び財産の状況について虚偽の報告をした（2月7日検挙）。

前記代表取締役らは、前記虚偽報告にかかる資産を自宅金庫に保管するなどして、更生会社の財産を隠匿した（2月28日検挙）。

【事例4】電気通信事業会社代表取締役らによる通信事業投資名目の詐欺事件（警視庁）

電気通信事業会社の代表取締役（55）らは、共謀の上、平成17年8月ころ、通信機器購入資金の出資名目に現金を騙し取ろうと企て、一般投資家に対し、通信機器賃貸会社が出資を受けた資金は、通信機器メーカーから通信機器を購入するために使う旨の内容虚偽のパンフレットを送付して、一般投資家から約1億円を騙し取った（3月5日検挙）。

【事例5】大手電機メーカー社員等による詐欺等事件（警視庁）

大手電機メーカー社員（56）らは、平成16年8月ころから同年10月ころまでの間、同社がコンピュータソフトを購入するかのように装って、大手リース会社から購入資金の借入名目に現金を騙し取ろうと企て、真実は同ソフト購入に関する権限などないにも関わらず、同リース会社に「当社がコンピュータソフトを一括購入する。予算が組めないので立て替え払いをして欲しい。」などとうそを言い、偽造した契約書等を提出するなどして、同リース会社から合計約13億6,000万円を騙し取った（9月20日検挙）。

イ 金融関連犯罪

(7) 金融・不良債権関連事犯

平成19年の金融・不良債権関連事犯の検挙事件数は79件と、前年に比べ48件減少している。減少した検挙事件数の内訳をみると、前年に比べ「融資過程における事件」は13件減少、「債権回収過程における事件」は14件減少、「その他の金融機関の役職員による事件」は21件減少となっている（図表4-4-(2)）。

図表4-4-(2) 金融・不良債権関連事犯検挙事件数の推移

区分	年次										増減	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件数	率(%)
融資過程	23 (11)	33 (18)	28 (19)	44 (27)	25 (9)	29 (13)	20 (11)	20 (12)	32 (14)	19 (15)	-13 (+1)	-40.8 7.1
債権回収過程	107 (74)	103 (84)	117 (98)	93 (74)	73 (63)	75 (63)	52 (43)	47 (38)	27 (21)	13 (10)	-14 (-11)	-51.9 -52.4
その他の金融 機関役員	84 (0)	62 (0)	71 (0)	65 (0)	75 (3)	63 (0)	72 (1)	49 (1)	68 (1)	47 (0)	-21 (-1)	-30.9 -100.0
合計	214 (85)	198 (102)	216 (117)	202 (101)	173 (75)	167 (76)	144 (55)	116 (51)	127 (36)	79 (25)	-48 (-11)	-37.8 -30.8

注：本表は、実務統計による集計数値である。()内は、「暴力団等に係る金融・不良債権関連事犯」を示す。

a 融資過程における金融・不良債権関連事犯

平成19年の金融・不良債権関連事犯のうち、融資過程における詐欺事件等を19件検挙している。

【事例】暴力団組長らによる住宅ローン融資名目の詐欺事件（群馬）

指定暴力団組長(30)らは、住宅ローン融資名目に地方銀行から金員を騙し取ろうと企て、平成18年3月ころから同年4月ころまでの間、銀行に対して内容虚偽の源泉徴収票等を提出して住宅ローンの借入申込みを行い、現金合計約7,000万円を騙し取った。

また、同人らは、平成18年4月ころから同年6月ころまでの間、同様の手口で住宅ローン融資名目に地方銀行から現金合計約1億8,000万円を騙し取ろうとしたが、不審に思った銀行員から警察に通報されたため、その目的を遂げなかった（9月20日検挙）。

b 債権回収過程における金融・不良債権関連事犯

平成19年の金融・不良債権関連事犯のうち、金融機関の債権回収過程における詐欺事件等を13件検挙している。

【事例】RCC債務者らによる根抵当権の抹消による詐欺事件（和歌山）

砂利等の生産加工及び石油製品販売会社の代表取締役（60）らは、平成18年5月ころ、同社が所有し、株式会社整理回収機構（RCC）が債権の担保として極度額1億2,000万円の第一順位及び第二順位の各根抵当権並びに極度額4億円の第三順位根抵当権を設定した土地に関し、売買取引により得た代金を弁済に充てることを条件に根抵当権を抹消することをRCCが承認していることを奇貨として、真実は各土地を7,000万円で購入する契約が成立していたにもかかわらず、5,000万円で購入する契約が成立した旨の虚偽の事実を申し向けてRCCを誤信させ、各根抵当権抹消に同意させた上、法務局において同根抵当権登記を抹消させて財産上不法な利益を得た（2月15日検挙）。

c その他の金融機関役職員による金融・不良債権関連事犯

平成19年の金融・不良債権関連事犯のうち、金融機関役職員による詐欺、業務上横領等（a及びbで挙げた事例を除く。）を47件検挙している。

【事 例】漁業協同組合連合会会長による背任事件（滋賀）

漁業協同組合連合会会長(69)は、平成17年7月ころから同年10月ころまでの間、自己及び第三者の利益を図る目的で、自己の任務に背き、同連合会の総会又は理事会の決議を得ないまま無断で、水質浄化事業に関する契約を締結し、2回にわたり、同契約に基づく代金の支払いのために額面合計1億3,000万円の小切手を交付し、同連合会に債務を負担させて財産上の損害を加えた（1月10日検挙）。

(1) その他の金融関連犯罪

平成19年のその他の金融関連犯罪については、ジャスダック上場会社幹部社員らによる株式分割等をめぐる証券取引法違反（インサイダー取引）事件等を検挙している。

【事 例】ジャスダック上場会社幹部社員らによる株式分割等をめぐる証券取引法違反（インサイダー取引）事件（大阪）

ジャスダック上場会社の幹部社員(34)らは、平成17年11月ころから平成18年3月ころまでの間、同社が株式分割を行うことを決定したことなどの同社の業務等に関する重要事実を知ったことから、同事実の公表前に同社の株券を買い付けた（1月16日検挙）。

(3) 通貨偽造犯罪及びその他の知能犯罪

ア 通貨偽造犯罪

平成19年の通貨偽造罪等の検挙事件数は32件である。また、平成19年、届出等により警察が押収した偽造日本銀行券の枚数（発見枚数）は、1万5,779枚である。（図表4 - 4 - (3)）

図表4 - 4 - (3) 偽造日本銀行券の発見枚数の推移

区分 \ 年次	平 14	平 15	平 16	平 17	平 18	平 19
一万円券	6,815	6,138	8,828 (3)	5,714 (315)	3,293 (1,088)	3,562 (963)
五千円券	754	1,097	1,007 (1)	557 (16)	249 (81)	121 (76)
二千円券	5	99	11	7	10	13
千円券	12,637	9,576	16,012 (3)	5,925 (148)	736 (319)	12,083 (11,527)
合計	20,211	16,910	25,858 (7)	12,203 (479)	4,288 (1,488)	15,779 (12,566)
5百円貨幣	2,092	2,625	1,590	20,034	960	459

注：本表は、実務統計による集計数値である。

数値は、警察が届出等により押収したとして、警察庁に報告のあった枚数。平成16年以降の括弧内の数値は、新券の偽造券の枚数を内数で示している。

【事例1】ブラジル国籍の男による5千円券偽造・同行使事件（愛知）

ブラジル国籍の派遣社員の男(34)は、平成19年1月ころ、愛知県内の自宅において、スキャナ機能付きプリンタを使用して5千円券20数枚を偽造し、同年3月ころ、同県内のガソリンスタンド等で行使した（4月14日検挙）。

【事例2】タクシー運転手等被害にかかる1万円券偽造・同行使事件（警視庁）

会社役員の男(23)は、平成19年1月ころから2月ころまでの間、神奈川県内の自宅において、スキャナ機能付きプリンタを使用して1万円券数百枚を偽造し、同年1月ころから3月ころまでの間、東京都内や神奈川県内のタクシー、コンビニ、高速道路料金所等で行使した（3月21日検挙）。

イ その他の知能犯罪

平成19年におけるその他の知能犯罪については、地面師グループによる詐欺事件等を検挙している。

【事例1】出版社元経理部長による電子計算機使用詐欺事件（警視庁）

出版会社の経理部長（44）は、平成16年12月ころから平成18年5月ころまでの間、同社に設置されたインターネットバンキングシステムの端末機を操作し、前後18回にわたり、同社名義の預金口座から自己が管理する預金口座に合計約1億7,000万円の振込があったとする虚偽の情報を与え、財産上不法の利益を得た（2月14日検挙）。

【事例2】地面師グループによる詐欺事件（警視庁）

自称不動産ブローカー（57）らは、平成18年10月ころ、不動産所有者に成りすまし、住宅販売会社社長らに対し、偽造の登記済権利証、印鑑登録証明書等を提示して「よい土地があるので5億円で買い取って欲しい」等と申し向け、売買契約を締結させ、合計約4億8,000万円を騙し取った（3月7日検挙）。

【事例3】貴金属ブローカーらによる純金延べ板偽造詐欺事件（大阪）

貴金属ブローカー(56)らは、平成19年1月ころ、大阪府下の質店に、タングステン塊を金の延べ板で包み込み、刻印を施すなどして加工された金属塊を、真正の1キログラム純金インゴットであるかのように装って入質し、現金合計約600万円を騙し取った（5月15日検挙）。

【事例4】食料品仕入名目の広域取込詐欺事件（千葉）

会社役員(50)らは、平成18年6月ころから平成19年10月ころまでの間、架空の食料品卸会社を設立し、正常な商取引を装って百数十社から食料品等（合計約2億4,000万円相当）を騙し取った（11月12日検挙）。

5 風俗犯の認知・検挙状況

(1) 強制わいせつの認知・検挙状況

強制わいせつの認知・検挙状況については、第4-1-(4)「主な性犯罪の状況」のとおりである。

(2) 公然わいせつの認知・検挙状況

平成19年の公然わいせつの認知件数は2,286件と、前年に比べ316件(12.1%)減少している。検挙件数は1,718件、検挙人員は1,618人で、前年に比べ、検挙件数が281件(14.1%)、検挙人員が97人(5.7%)それぞれ減少している(図表4-5-(2))。

図表4-5-(2) 公然わいせつの認知・検挙状況の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
													件(人)
認知件数(件)		1,250	1,212	1,554	1,771	2,052	2,422	2,391	2,420	2,602	2,286	-316	-12.1
うちショーによるもの		10	12	7	5	22	52	11	10	14	7	-7	-50.0
検挙件数(件)		1,217	1,163	1,377	1,438	1,573	1,706	1,669	1,741	1,999	1,718	-281	-14.1
うちショーによるもの		10	11	5	4	9	14	8	7	14	7	-7	-50.0
検挙人員(人)		1,096	1,102	1,179	1,261	1,371	1,456	1,451	1,502	1,715	1,618	-97	-5.7
うちショーによるもの		79	85	15	16	16	29	21	14	56	78	22	39.3

【事例】ストリップ劇場における公然わいせつ事件(北海道)

ストリップ劇場経営者(67歳)らは、平成19年4月、同店において、不特定多数の入場客約30名に対し、ストリップ嬢をして全裸又は半裸になった上、陰部を露出し観覧させ、公然とわいせつな行為をした(4月28日検挙)。

(3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況

平成19年のわいせつ物頒布等の認知件数は810件と、前年に比べ15件(1.9%)増加している。

検挙件数は787件、検挙人員は892人と、前年に比べ、検挙件数が17件(2.2%)増加し、検挙人員が21人(2.3%)減少している(図表4-5-(3))。

図表4-5-(3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
													件(人)
認知件数(件)		670	597	557	454	392	375	522	693	795	810	15	1.9
検挙件数(件)		669	596	552	451	393	364	502	671	770	787	17	2.2
検挙人員(人)		881	755	742	592	483	432	590	814	913	892	-21	-2.3

【事例】わいせつDVD等密売グループによるわいせつ図画販売、販売目的所持事件(石川、大阪)

わいせつDVD等の密売グループは、ダイレクトメール等の方法により北海道から沖縄までのビデオ店を含む約20万以上の客から注文を受け、組織的に通信販売していた。密売グループの男性(66)らをわいせつ図画販売目的等所持で検挙するとともに、わいせつDVD等約9万1,000枚を押収した(7月24日までに検挙)。

(4) 賭博の認知・検挙状況

平成19年の賭博の認知件数は424件と、前年に比べ215件（102.9%）増加している。検挙件数は415件、検挙人員は1,529人と、前年に比べ、検挙件数が211件（103.4%）、検挙人員が150人（10.9%）それぞれ増加している（図表4-5-(4)）。

図表4-5-(4) 賭博の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件(人)	率(%)
認知件数(件)		515	293	278	290	300	208	249	221	209	424	215	102.9
うち遊技機使用賭博		227	107	150	112	95	82	133	117	91	117	26	28.6
検挙件数(件)		515	291	278	290	300	202	243	213	204	415	211	103.4
うち遊技機使用賭博		227	108	150	113	95	81	127	111	90	117	27	30.0
検挙人員(人)		3,372	2,327	1,905	2,077	1,928	1,725	1,422	1,771	1,379	1,529	150	10.9
うち遊技機使用賭博		1,583	632	989	933	873	638	709	816	584	699	135	23.9

【事例】バカラ賭博場開設に係る賭博場開張等図利事件（神奈川）

自称カジノバー経営者(52)らは、平成19年10月、バカラ台等を設置して賭博場を開設し、不特定多数の客に賭博をさせ、寺銭名目に金銭を徴収した。同経営者ら4人を賭博場開張等図利で、賭客7人を賭博で検挙するとともにバカラ台等3台と現金約470万円を押収した（10月17日検挙）。

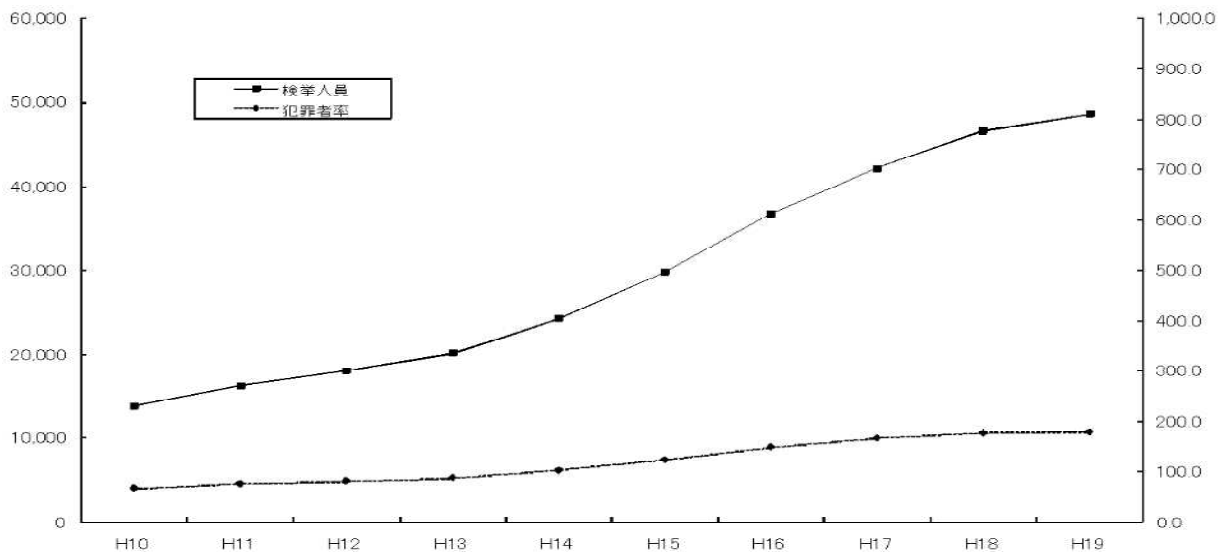
6 その他の特徴的な犯罪

(1) 高齢者による犯罪

平成19年における高齢者に係る刑法犯の検挙人員は、4万8,597人で、前年に比べ1,960人(4.2%)増加している(図表4-6-(1)-1)。

平成19年における高齢者に係る窃盗犯の検挙人員は、3万1,573人で、前年に比べ1,620人(5.4%)増加し、うち万引きの検挙人員は2万5,854人で、前年に比べ794人(3.2%)増加している。また、暴行についてみると、1,822人で、前年に比べ350人(23.8%)増加している(図表4-6-(1)-2)。

図表4-6-(1)-1 高齢者の刑法犯検挙人員の推移



図表4-6-(1)-2 高齢者の包括罪種別検挙人員の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												人員(人)	率(%)
検挙人員(刑法犯総数)		13,739	16,156	17,942	20,113	24,241	29,797	36,696	42,103	46,637	48,597	1,960	4.2
凶悪犯		195	192	234	242	272	316	321	303	333	317	-21	-6.2
うち)殺人		113	106	113	119	140	144	164	133	152	123	-29	-19.1
うち)強盗		41	40	56	57	61	33	34	95	101	110	9	8.9
租暴犯		453	445	762	973	1,245	1,480	1,714	2,142	2,781	3,213	432	15.5
うち)暴行		97	115	204	275	348	438	598	881	1,472	1,822	350	23.8
うち)傷害		279	231	474	601	769	834	965	1,074	1,068	1,124	36	3.5
窃盗犯		10,272	11,910	13,352	14,819	17,377	20,218	24,204	27,383	29,953	31,573	1,620	5.4
うち)万引き		8,851	10,077	11,851	12,840	15,174	17,456	20,887	23,252	25,080	25,854	794	3.2
知能犯		460	489	548	586	702	742	826	821	1,069	1,066	-33	-3.0
うち)詐欺		331	353	387	441	509	581	640	705	878	855	-23	-2.6
風俗犯		174	149	195	186	248	247	258	313	321	337	16	5.0
その他の刑法犯		2,185	2,971	2,851	3,507	4,397	6,794	9,373	11,091	12,155	12,101	-54	-0.4
うち)占有離脱物横領		1,956	2,729	2,464	2,968	3,761	5,928	8,215	9,730	10,739	10,596	-143	-1.3
うち)器物損壊等		59	70	107	148	182	210	260	315	325	366	61	18.8
犯罪者率		87.0	76.3	81.4	87.9	102.6	122.6	147.5	163.5	175.3	176.9		

注1：犯罪者率とは、人口10万人当たりの検挙人員をいう。

注2：犯罪者率に用いた人口は、総務省統計局の推計人口及び国勢調査人口(各年10月1日現在)である。

(2) 薬物常用者による犯罪

薬物常用者（覚せい剤常用者、麻薬常用者、大麻常用者、その他の薬物常用者及び有機溶剤等乱用者をいう。以下同じ。）による刑法犯の検挙人員は、平成8年以降増加傾向にあったが、平成16年は前年に比べ4.0%減少した。平成17年は前年に比べ13.6%増加、平成18年は前年に比べ15.3%減少し、平成19年は770人と、前年に比べ164人（17.6%）減少している（図表4-6-(2)-1）。

平成19年に殺人、強盗等の凶悪犯で検挙された者のうち、薬物常用者によるものは68人で、前年に比べ7人（9.3%）、暴行、傷害等の粗暴犯で検挙された者のうち、薬物常用者によるものが162人で、前年に比べ10人（5.8%）ともに減少している（図表4-6-(2)-2）。

図表4-6-(2)-1 薬物常用者による刑法犯検挙人員の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												人数	率(%)
薬物常用者		879	958	993	985	954	1,011	971	1,103	934	770	-164	-17.6
覚せい剤等常用者		615	729	774	772	745	802	823	973	817	699	-118	-14.4
有機溶剤等乱用者		264	229	219	213	209	209	148	130	117	71	-46	-39.3

注1：覚せい剤等常用者とは、覚せい剤、麻薬、大麻又はあへん及び向精神薬を常用している者をいい、中毒症状にあるか否かを問わない。

注2：有機溶剤等乱用者とは、トルエン等の有機溶剤又はこれらを含むシンナー、接着剤等を常習的に乱用している者をいい、中毒症状にあるか否かを問わない。

図表4-6-(2)-2 薬物常用者による刑法犯罪種別検挙人員の推移

罪種	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												人数	率(%)
検挙人員		879	958	993	985	954	1011	971	1103	934	770	-164	-17.6
凶悪犯		74	74	85	92	84	69	84	90	75	68	-7	-9.3
殺人		18	16	20	20	22	12	16	19	11	19	8	72.7
強盗		25	33	40	49	40	33	45	51	53	42	-11	-20.8
放火		9	9	12	12	10	10	5	8	4	2	-2	-50.0
強姦		22	11	13	11	12	9	18	12	7	5	-2	-28.6
粗暴犯		141	159	204	210	157	177	184	205	172	162	-10	-5.8
暴行		18	24	21	19	15	17	24	32	32	22	-10	-31.3
傷害		75	83	109	111	96	95	94	102	98	90	-8	-8.2
脅迫		4	8	19	11	11	9	8	6	4	9	5	125.0
恐喝		44	44	55	69	35	55	58	65	36	41	5	13.9
凶器準備集合		0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	-2	-100.0
窃盗犯		472	531	470	432	497	507	466	526	472	349	-123	-26.1
その他		192	194	234	201	216	258	237	282	215	191	-24	-11.2

(3) 銃砲刀剣類等を使用した犯罪

銃器使用事件（注1）の認知件数は年々増加傾向にあったが、平成17年は前年に比べ20.3%、平成18年は前年に比べ11.2%と2年連続して減少し、平成19年にあっても324件と、前年に比べ42件（11.5%）減少している。このうちけん銃使用の強盗事件は79件で、前年に比べ17件（17.7%）減少している（図表4-6-(3)-1）。

刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数は、年々増加していたが、平成17年は前年に比べ16.1%、平成18年は前年に比べ13.1%と2年連続して減少し、平成19年にあっても6,004件で、前年に比べ600件（9.1%）減少している（図表4-6-(3)-2）。

また、平成19年における殺人及び強盗事件で銃器、刀剣類・刃物類を使用した事件の割合は、殺人事件では銃器使用が2.8%、刀剣類・刃物類使用が54.5%、強盗事件では銃器使用が2.1%、刀剣類・刃物類使用が31.6%となっている（図表4-6-(3)-3）。

図表4-6-(3)-1 銃器使用事件の認知件数の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
		認知件数	認知件数	認知件数	認知件数	認知件数	認知件数	認知件数	認知件数	認知件数	認知件数	認知件数	件数
銃器使用		339	327	350	396	375	405	517	412	366	324	-42	-11.5
うちけん銃使用		221	229	230	264	251	242	289	207	189	183	-6	-3.2
殺人		53	42	43	58	47	51	42	24	23	34	11	47.8
うちけん銃使用		49	40	36	50	43	45	36	21	21	27	6	28.6
強盗		117	137	140	171	151	128	134	111	111	94	-17	-15.3
うちけん銃使用		92	108	115	142	128	99	126	91	96	79	-17	-17.7
強姦		8	5	8	1	5	8	7	3	2	4	2	100.0
うちけん銃使用		5	4	5	1	3	7	6	3	2	3	1	50.0
暴行		22	25	21	21	19	39	44	42	36	17	-19	-52.8
うちけん銃使用		6	2	3	1	4	7	12	6	4	5	1	25.0
傷害		26	21	26	30	30	29	33	20	13	14	1	7.7
うちけん銃使用		7	10	6	3	7	10	7	4	3	2	-1	-33.3
脅迫		18	13	17	13	20	19	26	24	11	27	16	145.5
うちけん銃使用		8	12	10	6	15	11	19	18	9	19	10	111.1
恐喝		19	18	23	14	18	13	21	14	12	14	2	16.7
うちけん銃使用		10	12	16	11	8	7	15	9	10	11	1	10.0
強制わいせつ		1	4	4	4	1	4	3	4	4	1	-3	-75.0
うちけん銃使用		1	3	2	1	0	4	2	4	1	0	-1	-100.0
器物損壊		45	38	39	48	63	91	141	121	96	79	-17	-17.7
うちけん銃使用		24	18	15	20	26	34	35	23	20	15	-5	-25.0
その他		30	24	29	38	21	25	66	49	58	40	-18	-31.0
うちけん銃使用		19	20	22	29	17	18	31	28	23	22	-1	-4.3

注1：「銃器」とは、けん銃、けん銃様のもの、その他の銃砲、その他の銃砲様のものをいう。なお、銃器使用事件のうち、「けん銃使用」とは、けん銃及びけん銃様のものを使用した事件をいい、また、けん銃様のものとは、けん銃らしきものを突き付け、見せるなどして犯行に及びる事件において、被害者、参考人等の供述により銃器と推定されるものをいう。

注2：平成16年の犯罪統計から全罪種を対象として犯罪供用物を計上しているが、ここでは、平成15年までの特定罪種に合わせて計上している。

図表4 - 6 - (3) - 2 刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数の推移

罪種	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
		認知件数											件数
殺人		711	651	720	701	732	747	712	718	713	653	-60	-8.4
強盗		1,189	1,444	1,500	1,997	1,990	2,373	2,366	1,992	1,625	1,445	-180	-11.1
強姦		267	232	204	278	271	291	249	237	179	152	-27	-15.1
暴行		213	143	245	242	322	333	405	362	321	300	-21	-6.5
傷害		892	801	949	905	990	995	1,048	967	823	806	-17	-2.1
脅迫		222	215	335	421	437	474	534	613	607	582	-25	-4.1
恐喝		254	239	225	286	284	232	313	210	159	124	-35	-22.0
強制わいせつ		139	244	322	352	352	338	330	261	210	173	-37	-17.6
器物損壊		506	528	638	816	1,304	1,167	2,736	1,866	1,676	1,489	-187	-11.2
その他		129	129	149	176	170	201	413	370	291	280	-11	-3.8

注1：刀剣類・刃物類を使用した事件とは、「日本刀」、「その他の刀剣類」、「包丁類」及び「その他の刃物類」を使用したものをいう。
 注2：平成16年の犯罪統計から全罪種を対象として犯罪供用物を計上しているが、ここでは平成15年までの特定罪種に合わせて計上している。

図表4 - 6 - (3) - 3 殺人及び強盗における銃砲刀剣類等を使用した事件の認知件数

区分	年次	平18		平19		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
殺人		1,309	100.0	1,199	100.0	-110	-8.4
銃器使用		23	1.8	34	2.8	11	47.8
刀剣類・刃物類使用		713	54.5	653	54.5	-60	-8.4
その他・不明		573	43.8	512	42.7	-61	-10.6
強盗		5,108	100.0	4,567	100.0	-541	-10.6
銃器使用		111	2.2	94	2.1	-17	-15.3
刀剣類・刃物類使用		1,625	31.8	1,445	31.6	-180	-11.1
その他・不明		3,372	66.0	3,028	66.3	-344	-10.2

注：「その他・不明」には、犯罪供用物が銃器、刀剣類・刃物類以外のもの、不明のもの及び犯罪供用物なしが含まれる。

平成19年中に猟銃等（散弾銃、ライフル銃及び空気銃）を使用した事件は12件発生した。

このうち、スポーツ施設において2名を殺害し、6名を負傷させた殺傷事件など殺人、殺人未遂事件が5件（うち1件は未遂）発生した（図表4 - 6 - (3) - 4）。

図表4 - 6 - (3) - 4 猟銃等使用事件の発生状況

区分	年次	平18	平19	増減	
		発生件数(件)		件数	率(%)
発生件数(件)		6	12	6	100.0
殺人(未遂を含む。)		1	5	4	400.0
強盗(未遂を含む。)		0	0	0	-
その他		5	7	2	40.0

注1：事件の発生件数については、警察庁に報告のあったもの。

注2：数値は、刑法犯（暴力行為等処罰ニ関スル法律違反を含む。）のみを計上している。

注3：平成18年中及び平成19年上半年で計上していた強盗については、猟銃等を使用した事件でないことが判明したことから0件と改め、増減率を計上していない。

(4) カードの窃盗被害の状況等とカード使用犯罪

ア カードの窃盗被害の状況

平成19年における窃盗事件で被害品にキャッシュカードが含まれる認知件数は9万8,620件、同じくクレジットカードは6万4,833件であり、手口別に見ると、キャッシュカードは車上ねらいが2万6,374件(26.7%)、置ききが2万1,582件(21.9%)、ひったくりが1万376件(10.5%)となっており、クレジットカードは車上ねらいが1万7,550件(27.1%)、置ききが1万3,137件(20.3%)、ひったくりが7,470件(11.5%)となっている(図表4-6-(4)-1)。

図表4-6-(4)-1 カードの窃盗被害の状況(平成19年)

犯罪類型	キャッシュカード		クレジットカード		消費者金融カード		プリペイドカード	
	件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合
	98,620	100.0	64,833	100.0	1,390	100.0	5,184	100.0
侵入窃盗	9,483	9.6	5,932	9.1	134	9.6	521	10.1
住宅対象侵入窃盗	7,765	7.9	5,028	7.8	108	7.8	331	6.4
その他	1,698	1.7	904	1.4	26	1.9	190	3.7
非侵入窃盗	88,637	89.9	58,368	90.0	1,247	89.7	4,598	88.7
ひったくり	10,376	10.5	7,470	11.5	75	5.4	283	5.5
すり	5,527	5.6	4,505	6.9	35	2.5	210	4.1
置きき	21,582	21.9	13,137	20.3	238	17.1	1,114	21.5
車上ねらい	26,374	26.7	17,550	27.1	537	38.6	1,204	23.2
仮睡者ねらい	4,831	4.9	3,343	5.2	94	6.8	99	1.9
脱衣場ねらい	2,962	3.0	2,126	3.3	29	2.1	119	2.3
その他	16,985	17.2	10,237	15.8	239	17.2	1,569	30.3
乗り物盗	520	0.5	533	0.8	9	0.6	65	1.3

注1:「住宅対象侵入窃盗」は、空き巣、忍込み及び居空きとした。

注2:「乗り物盗」とは、自動車盗、オートバイ盗、自転車盗等をいう。

注3:統計上、1件の被害に対し、3品まで被害品を計上できる。

イ カード偽造犯罪の認知・検挙状況

平成19年におけるカード偽造犯罪（刑法に規定する支払用カード電磁的記録に関する罪）の認知件数は381件で、前年に比べ14件（3.5%）減少している。検挙件数は298件と、前年に比べ21件（6.6%）検挙人員は64人と、前年に比べ57人（47.1%）それぞれ減少している（図表4-6-(4)-2）。

図表4-6-(4)-2 カード偽造犯罪の認知・検挙状況

区分	年次	平18	平19	増減	
				件(人)	率(%)
総計	認知件数	395	381	-14	-3.5
	検挙件数	319	298	-21	-6.6
	検挙人員	121	64	-57	-47.1
支払用カード電磁的記録不正作出 (第163条の2第1項)	認知件数	17	13	-4	-23.5
	検挙件数	18	8	-10	-55.6
	検挙人員	2	7	5	250.0
不正作出支払用カード電磁的記録供用 (第163条の2第2項)	認知件数	181	308	125	69.1
	検挙件数	155	242	87	56.1
	検挙人員	31	33	2	6.5
不正電磁的記録カードの譲り渡し、 貸渡し、輸入(第163条の2第3 項)	認知件数	11	1	-10	-90.9
	検挙件数	8	1	-7	-87.5
	検挙人員	5	1	-4	-80.0
不正電磁的記録カード所持 (第163条の3)	認知件数	80	30	-50	-62.5
	検挙件数	77	28	-49	-63.6
	検挙人員	63	19	-44	-69.8
支払用カード電磁的記録不正取得 (第163条の4第1項前段)	認知件数	95	28	-69	-72.6
	検挙件数	52	14	-38	-73.1
	検挙人員	8	1	-7	-87.5
支払用カード電磁的記録不正提供 (第163条の4第1項後段)	認知件数	0	0	0	0.0
	検挙件数	0	0	0	0.0
	検挙人員	0	0	0	0.0
支払用カード不正記録情報保管 (第163条の4第2項)	認知件数	5	0	-5	-100.0
	検挙件数	5	0	-5	-100.0
	検挙人員	10	0	-10	-100.0
支払用カード不正作出器械、原料準備 (第163条の4第3項)	認知件数	6	5	-1	-16.7
	検挙件数	4	5	1	25.0
	検挙人員	2	3	1	50.0

注：刑法に規定する支払用カード電磁的記録に関する罪の保護対象となるカードとは、クレジットカードその他の代金又は料金の支払用のカード及び預貯金の引出用のカードである。代金又は料金の支払用カードとは、クレジットカード（代金後払い）、プリペイドカード（前払い）、デビットカード（預貯金の即時振替払い）等、商品の購入等の取引の対価を現金で支払うのに代え、所定のシステムにより代金を支払うために用いるカードをいう。

ウ カードを使用した窃盗及び詐欺の状況

平成19年における不正に取得し、又は不正に作成したキャッシュカード、クレジットカード、消費者金融カードを利用して、ＡＴＭ（ＣＤ含む。）から現金を窃取する犯罪（払出盗）の認知件数は3,632件で、現金被害総額は15億323万2千円となっている（図表４－６－（４）－３）。

また、平成19年におけるキャッシュカードやクレジットカード等のカードを使用した詐欺事件の認知件数は1,371件で、被害金総額は２億257万4千円となっている（図表４－６－（４）－４）。

図表４－６－（４）－３ カードを使用した窃盗（払出盗）の状況（平成19年）

区分	種別	計	種別		
			キャッシュカード	クレジットカード	消費者金融カード
認知件数		3,632	2,640	551	441
現金被害総額（千円）		1,503,232	1,203,770	167,930	131,532

図表４－６－（４）－４ カードを使用した詐欺の状況（平成19年）

区分	種別	計	種別			
			キャッシュカード	クレジットカード	消費者金融カード	プリペイドカード
認知件数		1,371	4	1,290	44	33
被害金総額（千円）		202,574	7,188	175,352	18,581	1,453

(5) その他

ア 暴行・傷害の認知・検挙状況

図表 4 - 6 - (5) - 1 暴行の認知・検挙状況

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件(人)数	率
認知件数(件)		7,367	7,792	13,225	16,928	19,442	21,937	23,691	25,815	31,002	31,966	964	3.1
検挙件数(件)		5,035	4,751	7,195	7,852	8,948	9,599	10,666	13,703	19,405	21,463	2,058	10.8
検挙人員(人)		5,885	5,505	8,119	8,636	9,132	10,124	11,002	13,970	19,802	21,808	2,006	10.1
検挙率(%)		68.3	61.0	54.4	46.4	42.9	43.5	45.0	53.1	62.6	67.1	4.5ポイント	

図表 4 - 6 - (5) - 2 傷害の認知・検挙状況

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件(人)数	率
認知件数(件)		19,476	20,293	30,184	33,965	36,324	36,568	35,937	34,484	33,987	30,936	-3,001	-8.8
検挙件数(件)		15,892	15,644	21,781	22,544	23,453	23,659	22,938	23,304	23,931	22,062	-1,269	-5.4
検挙人員(人)		22,795	21,952	29,359	29,584	29,862	28,999	27,069	27,130	27,075	25,458	-1,617	-6.0
検挙率(%)		81.6	77.3	72.0	66.4	64.6	64.7	63.8	67.6	68.6	71.2	2.6ポイント	

図表 4 - 6 - (5) - 3 傷害致死の認知・検挙状況

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件(人)数	率
認知件数(件)		187	199	180	202	193	178	145	146	144	111	-33	-22.9
検挙件数(件)		178	193	170	192	182	173	136	139	141	105	-36	-25.5
検挙人員(人)		338	300	296	319	277	277	186	199	163	161	-2	-1.2
検挙率(%)		95.2	97.0	94.4	95.0	94.3	97.2	93.8	95.2	97.9	94.6	-3.3ポイント	

図表 4 - 6 - (5) - 4 暴行の検挙件数における犯罪供用物の有無

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件数	率
総数		5,016	4,730	7,151	7,740	8,223	9,341	10,525	13,519	19,175	21,203	2,028	10.6
犯罪供用物なし		4,631	4,471	6,723	7,310	7,774	8,794	9,812	12,901	18,476	20,515	2,033	11.0
割合		92.3	94.5	94.1	94.4	94.5	94.1	93.2	95.4	96.4	96.8	0.4ポイント	
犯罪供用物あり		385	259	422	430	449	547	713	618	699	688	-11	-1.6

注：解決事件を除く。

図表4-6-(5)-5 暴行の年齢別検挙人員

	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平10	5,885	1,657	1,312	975	957	725	162	97
平11	5,505	1,421	1,169	1,008	855	775	162	115
平12	8,119	2,019	1,894	1,502	1,125	1,255	320	204
平13	8,636	1,933	1,849	1,631	1,232	1,339	377	275
平14	9,132	1,812	1,845	1,814	1,374	1,521	418	348
平15	10,124	1,726	2,095	2,178	1,452	1,795	510	488
平16	11,002	1,627	2,049	2,470	1,771	1,918	569	596
平17	13,970	1,545	2,648	3,336	2,273	2,487	800	881
平18	19,802	1,513	3,727	4,843	3,455	3,620	1,172	1,472
平19	21,808	1,593	4,018	5,281	3,881	3,885	1,328	1,822
増減数	2,006	80	291	438	426	265	156	350
増減率	10.1	5.3	7.8	9.0	12.3	7.9	13.3	23.8

注：犯行時の年齢を計上している。

図表4-6-(5)-6 傷害の年齢別検挙人員

	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平10	22,795	9,359	5,556	2,974	2,475	1,830	322	273
平11	21,952	8,668	5,233	3,140	2,257	1,979	394	281
平12	29,359	10,773	7,124	4,388	3,114	2,862	624	474
平13	29,584	10,170	7,122	4,785	3,107	3,086	713	601
平14	29,862	9,247	7,148	5,290	3,212	3,358	838	763
平15	28,999	8,208	6,926	5,595	3,269	3,238	879	834
平16	27,069	6,482	6,257	5,704	3,284	3,407	970	965
平17	27,130	6,161	6,058	5,855	3,587	3,333	936	1,074
平18	27,075	5,972	5,821	6,085	3,729	3,385	937	1,086
平19	25,458	5,639	5,196	5,926	3,572	2,994	1,007	1,124
増減数	-1,617	-333	-625	-159	-157	-391	10	36
増減率	-6.0	-5.6	-10.7	-2.6	-4.2	-11.6	1.0	3.5

注：犯行時の年齢を計上している。

イ 万引き・置引きの認知・検挙状況

図表4-6-(5)-7 万引きの認知・検挙状況

区分	年次										増減	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件(人)数	率(%)
認知件数(件)	112,237	105,227	112,559	126,110	140,002	146,308	158,020	153,972	147,113	141,915	-5,198	-3.5
検挙件数(件)	96,828	88,532	87,366	92,319	101,445	106,925	114,465	115,636	110,723	105,774	-4,949	-4.5
検挙人員(人)	94,656	85,832	86,643	91,816	100,849	105,792	112,783	113,953	107,123	102,504	-4,619	-4.3
検挙率(率)	86.3	84.1	77.6	73.2	72.5	73.1	72.4	75.1	75.3	74.5	-0.8ポイント	

図表4-6-(5)-8 置引きの認知・検挙状況

区分	年次										増減	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件(人)数	率(%)
認知件数(件)	47,036	50,390	62,746	70,244	76,170	74,967	71,818	67,328	65,377	58,727	-6,650	-10.2
検挙件数(件)	12,655	11,648	6,820	5,268	4,884	6,791	7,262	7,158	7,236	8,113	877	12.1
検挙人員(人)	1,301	1,302	1,501	1,875	1,948	2,184	2,536	3,120	3,779	4,288	509	13.5
検挙率(率)	26.9	23.1	10.9	7.5	6.4	9.1	10.1	10.6	11.1	13.8	2.7ポイント	

図表 4 - 6 - (5) - 9 万引きの年齢別検挙人員

	総数	14~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上
平10	94,856	50,961	9,339	5,412	7,132	8,793	4,368	8,651
平11	85,832	39,445	9,189	5,385	7,192	9,790	4,754	10,077
平12	86,643	36,807	9,070	5,917	7,128	11,016	5,054	11,651
平13	91,816	38,833	9,817	6,372	7,217	11,425	5,312	12,840
平14	100,849	40,541	10,592	7,721	7,993	12,959	5,869	15,174
平15	105,792	38,709	12,084	8,718	8,569	13,729	6,527	17,456
平16	112,783	38,912	12,214	9,796	9,219	14,353	7,622	20,667
平17	113,953	36,481	11,859	10,146	9,508	14,662	8,045	23,252
平18	107,123	30,189	10,837	9,850	9,233	14,442	7,512	25,060
平19	102,504	28,186	9,949	9,194	8,819	13,317	7,185	25,854
増減数	-4,619	-2,009	-888	-656	-414	-1,125	-327	794
増減率	-4.3	-6.6	-8.2	-6.7	-4.5	-7.8	-4.4	3.2

注：犯行時の年齢を計上している。

図表 4 - 6 - (5) - 10 置引きの年齢別検挙人員

	総数	14~19歳	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~64歳	65歳以上
平10	1,301	284	206	179	231	249	84	68
平11	1,302	281	245	177	211	226	71	91
平12	1,501	369	260	200	214	265	77	116
平13	1,875	380	311	271	224	273	104	112
平14	1,948	495	322	310	257	311	109	144
平15	2,184	571	392	304	282	371	134	150
平16	2,536	561	464	421	339	420	130	201
平17	3,120	584	662	507	444	471	179	273
平18	3,779	664	753	645	508	636	237	336
平19	4,288	772	851	729	605	661	263	407
増減数	509	108	98	84	97	25	26	71
増減率	13.5	16.3	13.0	13.0	19.1	3.9	11.0	21.1

注：犯行時の年齢を計上している。

ウ 公務執行妨害の認知・検挙状況

図表 4 - 6 - (5) - 11 公務執行妨害の認知・検挙状況

区分	年次										増減	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件(人)数	率(%)
認知件数(件)	1,395	1,531	2,082	2,354	2,621	3,007	3,129	3,327	3,576	3,589	-7	-0.2
検挙件数(件)	1,334	1,508	2,049	2,302	2,544	2,909	2,957	3,133	3,402	3,459	57	1.7
検挙人員(人)	1,492	1,569	1,997	2,057	2,194	2,508	2,705	2,863	3,118	3,181	63	2.0
検挙率(率)	99.2	98.5	93.4	97.8	97.1	96.7	94.5	95.8	95.1	96.9	1.8ポイント	

図表 4 - 6 - (5) - 12 公務執行妨害の年齢別検挙人員

	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平10	1,482	286	438	260	246	190	48	24
平11	1,569	362	427	297	210	200	51	22
平12	1,997	422	550	364	276	278	62	45
平13	2,057	372	602	448	245	279	66	45
平14	2,194	345	648	521	289	285	65	43
平15	2,508	308	755	611	369	324	90	51
平16	2,705	274	731	717	446	359	102	76
平17	2,868	278	777	737	451	410	117	98
平18	3,118	277	728	835	564	453	123	140
平19	3,181	260	696	857	589	463	156	160
増減数	63	-17	-30	22	25	10	33	20
増減率	2.0	-6.1	-4.1	2.6	4.4	2.2	26.8	14.3

注：犯行時の年齢を計上している。

工 器物損壊の認知・検挙状況

図表 4 - 6 - (5) - 13 器物損壊の認知・検挙状況

区分	年次										増減	
	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	件(人)数	率(%)
認知件数(件)	46,009	53,552	87,943	145,936	196,018	230,743	226,059	205,312	194,824	185,472	-9,352	-4.8
検挙件数(件)	4,714	4,958	6,364	7,662	9,607	11,100	12,332	12,884	13,816	13,617	-199	-1.4
検挙人員(人)	2,850	2,861	4,062	4,222	4,931	5,331	5,522	6,362	6,551	6,575	24	0.4
検挙率(率)	10.2	9.3	7.2	5.3	4.9	4.8	5.5	6.3	7.1	7.3	0.2ポイント	

図表 4 - 6 - (1) - 14 器物損壊の年齢別検挙人員

	総数	14～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
平10	2,850	828	570	469	480	373	71	59
平11	2,861	863	538	482	448	373	87	70
平12	4,062	1,183	812	700	569	568	123	107
平13	4,222	1,126	816	732	632	634	134	148
平14	4,931	1,190	970	932	701	771	185	182
平15	5,331	1,373	1,039	1,037	725	725	222	210
平16	5,522	1,248	1,146	1,164	751	716	237	280
平17	6,362	1,562	1,214	1,283	912	813	263	315
平18	6,551	1,610	1,281	1,243	978	860	254	325
平19	6,575	1,662	1,213	1,286	956	803	269	366
増減数	24	52	-68	43	-22	-57	15	61
増減率	0.4	3.2	-5.3	3.5	-2.2	-6.6	5.9	18.8

注：犯行時の年齢を計上している。

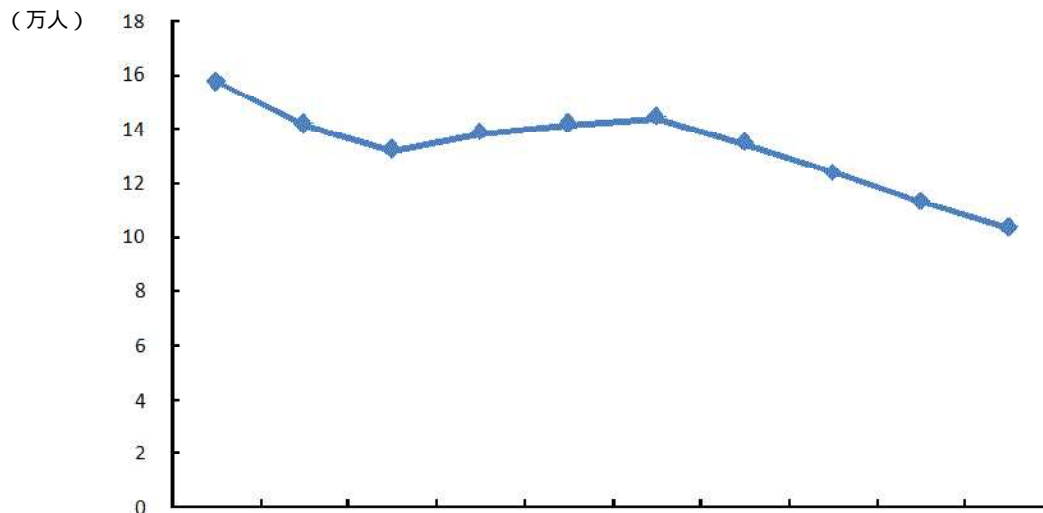
7 少年による犯罪

(1) 少年の刑法犯検挙状況

平成19年における少年の刑法犯検挙人員は10万3,224人で、前年に比べ9,593人(8.5%)減少している。

罪種別で見ると、凶悪犯は128人(10.9%)、粗暴犯は569人(5.8%)、窃盗犯は4,487人(7.2%)減少するなど、すべての包括罪種で減少している。人口比は、前年に比べ1.0ポイント減少した(図表4-7-(1))。

図表4-7-(1) 少年の刑法犯検挙人員の推移



区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減数	増減率
刑法犯総数(人)		157,385	141,721	132,336	138,654	141,775	144,404	134,847	123,715	112,817	103,224	-9,593	-8.5
凶悪犯		2,197	2,237	2,120	2,127	1,986	2,212	1,584	1,441	1,170	1,042	-128	-10.9
殺人		115	110	105	99	80	93	57	67	69	62	-7	-10.1
強盗		1,538	1,611	1,638	1,670	1,586	1,771	1,273	1,146	892	757	-135	-15.1
放火		89	90	81	103	90	106	103	86	103	102	-1	-1.0
強姦		455	426	296	255	230	242	151	142	106	121	15	14.2
粗暴犯		17,321	15,930	19,691	18,416	15,954	14,356	11,439	10,458	9,817	9,248	-569	-5.8
凶器準備集合		160	138	126	408	250	340	239	68	127	136	9	7.1
暴行		1,650	1,418	2,009	1,915	1,794	1,714	1,608	1,532	1,505	1,584	79	5.2
傷害		9,306	8,596	10,687	10,102	9,140	8,110	6,408	6,103	5,919	5,583	-336	-5.7
脅迫		78	68	157	149	154	127	111	139	149	117	-32	-21.5
恐喝		6,127	5,710	6,712	5,842	4,616	4,065	3,073	2,616	2,117	1,828	-289	-13.7
窃盗犯		99,768	86,561	77,903	81,260	83,300	81,512	76,637	71,147	62,637	58,150	-4,487	-7.2
うちひったくり		1,871	2,420	2,179	2,190	2,166	1,957	1,352	1,025	834	796	-38	-4.6
うち万引き		50,944	39,429	36,779	38,804	40,511	38,648	38,865	36,450	30,161	28,161	-2,000	-6.6
知能犯		715	561	584	526	632	784	1,240	1,160	1,294	1,142	-152	-11.7
うち詐欺		641	492	510	449	559	672	1,077	1,030	1,186	1,053	-133	-11.2
風俗犯		434	409	429	410	347	425	344	383	346	341	-5	-1.4
うち強制わいせつ		301	314	344	321	256	331	253	282	242	262	20	8.3
その他の刑法犯		36,950	36,023	31,609	35,915	39,556	45,115	43,603	39,126	37,553	33,301	-4,252	-11.3
うち占有隠蔽物横領		33,212	32,072	27,110	30,965	34,263	38,547	37,194	32,326	30,528	26,437	-4,091	-13.4
人口比		16.9	15.6	14.9	16.0	16.7	17.5	16.8	15.9	14.8	13.8	-1.0	-

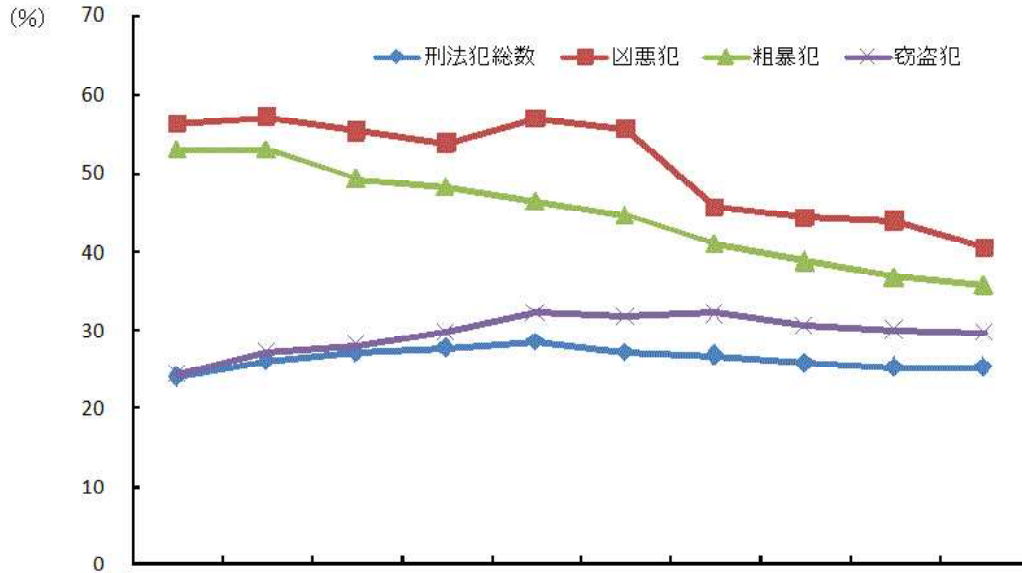
※ 人口比は、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口に基づく同年齢層人口1,000人当たりの検挙人員をいす。

(2) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況

平成19年における少年の刑法犯検挙件数に占める共犯率は25.3%で、前年と同水準で推移している。

共犯率の高い凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯については、凶悪犯は3.4ポイント、粗暴犯は1.0ポイント、窃盗犯は0.4ポイント、それぞれ減少した(図表4-7-(2))。

図表4-7-(2) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の推移



区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減数	増減率
刑法犯総数(件)	総数	199,430	176,875	137,333	136,602	139,942	140,045	130,779	116,909	107,419	95,181	-12,238	-11.4
	うち共犯	47,981	46,194	37,233	37,781	39,901	38,104	34,994	30,190	27,136	24,058	-3,078	-11.3
	(共犯率%)	24.1	26.1	27.1	27.7	28.5	27.2	26.8	25.8	25.3	25.3	0.0	-
凶悪犯	総数	1,072	1,052	986	1,039	1,091	1,146	895	763	677	576	-101	-14.9
	うち共犯	604	602	546	559	622	638	408	338	298	234	-64	-21.5
	(共犯率%)	56.3	57.2	55.4	53.8	57.0	55.7	45.6	44.3	44.0	40.6	-3.4	-
粗暴犯	総数	9,656	9,399	11,423	10,347	9,114	8,498	7,129	6,638	6,239	6,042	-197	-3.2
	うち共犯	5,113	4,986	5,625	4,987	4,227	3,786	2,914	2,574	2,299	2,163	-136	-5.9
	(共犯率%)	53.0	53.0	49.2	48.2	46.4	44.6	40.9	38.8	36.8	35.8	-1.0	-
窃盗犯	総数	153,702	132,467	95,027	91,261	92,153	87,379	80,862	72,145	64,601	56,692	-7,909	-12.2
	うち共犯	37,507	36,025	26,745	27,222	29,682	27,786	25,996	22,120	19,430	16,851	-2,579	-13.3
	(共犯率%)	24.4	27.2	28.1	29.8	32.2	31.8	32.1	30.7	30.1	29.7	-0.4	-

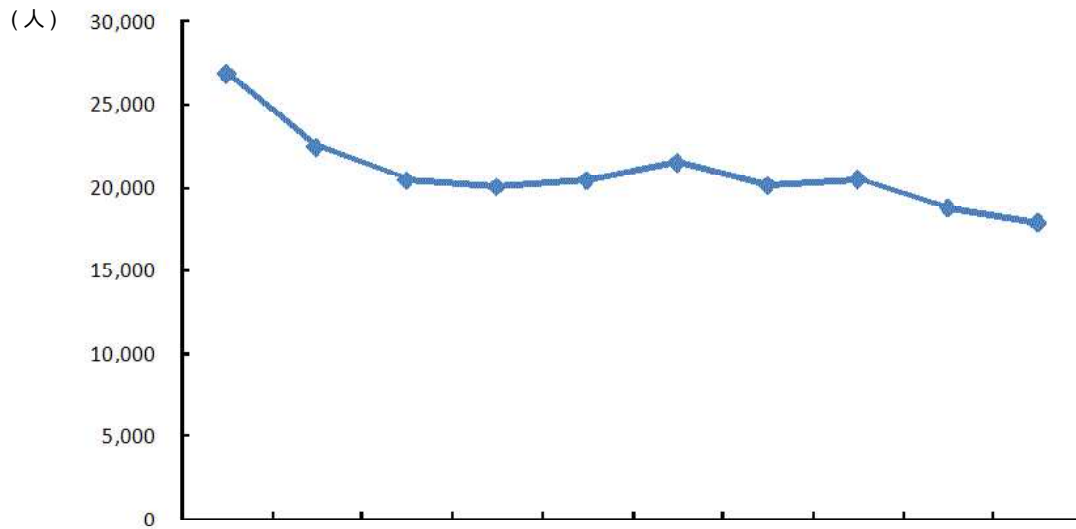
注1:共犯率とは、刑法犯検挙件数に占める共犯事件の割合をい、少年と成人との共犯事件は含まれていない。
 注2:グラフは、共犯率を示したものである。

(3) 触法少年（刑法）の補導状況

平成19年の触法少年（刑法）の補導人員は1万7,904人で、前年に比べ883人(4.7%)減少している。

罪種別でみると、凶悪犯は54人（24.0%）、粗暴犯は42人（2.9%）、窃盗犯は752人（6.3%）、知能犯は8人（12.7%）、その他の刑法犯は48人(1.0%)減少したが、風俗犯は21人（17.9%）増加している。人口比は、前年に比べ0.2ポイント減少した（図表4-7-(3)）。

図表4-7-(3) 触法少年（刑法）の補導状況



区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減数	増減率
刑法犯総数(人)		26,905	22,503	20,477	20,067	20,477	21,539	20,191	20,519	18,787	17,904	-883	-4.7
凶悪犯		182	173	174	165	144	212	219	202	225	171	-54	-24.0
殺人		2	1	0	10	3	3	5	6	4	3	-1	-25.0
強盗		28	33	30	25	25	29	28	26	20	28	8	40.0
放火		147	127	129	125	102	166	179	159	194	130	-64	-33.0
強姦		5	12	15	5	14	14	7	11	7	10	3	42.9
粗暴犯		1,455	1,507	1,869	1,696	1,613	1,467	1,301	1,624	1,467	1,425	-42	-2.9
凶器準備集合		2	12	21	0	0	22	1	2	18	4	-14	-77.8
暴行		197	234	359	312	310	295	354	437	382	384	2	0.5
傷害		608	648	815	824	817	707	588	799	764	733	-31	-4.1
脅迫		8	8	21	18	13	34	30	26	27	74	47	174.1
恐喝		640	605	653	542	473	409	328	360	276	230	-46	-16.7
窃盗犯		21,493	16,968	14,840	14,128	14,257	14,448	13,710	13,336	11,945	11,193	-752	-6.3
うちひったくり		236	221	211	174	156	145	110	93	79	57	-22	-27.8
うち万引き		14,674	10,424	8,983	8,524	8,673	8,468	8,353	7,961	6,743	6,489	-254	-3.8
知能犯		32	21	30	37	31	39	46	57	63	55	-8	-12.7
うち詐欺		32	18	25	33	31	28	29	32	38	38	0	0.0
風俗犯		95	81	95	110	131	132	116	116	117	138	21	17.9
うち強制わいせつ		93	77	90	105	125	121	108	109	112	129	17	15.2
その他の刑法犯		3,648	3,753	3,469	3,931	4,301	5,241	4,799	5,184	4,970	4,922	-48	-1.0
うち占有隠蔽物横領		2,628	2,773	2,287	2,692	2,825	3,592	3,184	3,403	3,107	2,968	-139	-4.5
人口比		4.9	4.2	4.0	4.0	4.2	4.4	4.2	4.3	3.9	3.7	-0.2	-

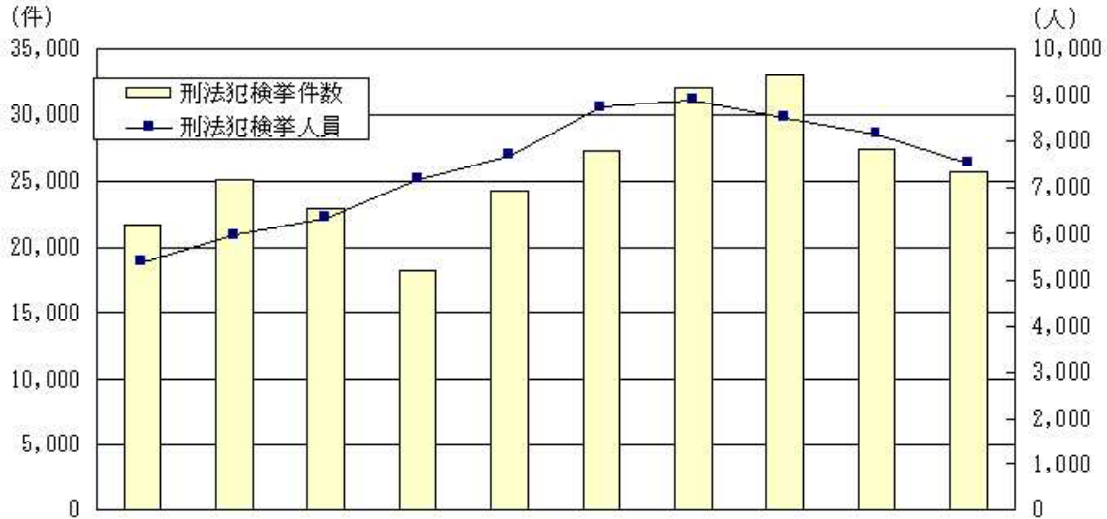
※ 人口比は、国立社会保障・人口問題研究所の推計人口に基づく10歳～13歳の少年人口1,000人当たりの補導人員をいう。

8 来日外国人による犯罪

(1) 刑法犯の検挙状況

平成19年における来日外国人に係る刑法犯の検挙件数は25,730件、検挙人員は7,528人と、前年に比べ、検挙件数1,723件（6.3%）、検挙人員620人（7.6%）それぞれ減少した（図表4-8-(1)）。

図表4-8-(1) 来日外国人の刑法犯検挙状況の推移



	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	増減率
刑法犯検挙件数	21,689	25,135	22,947	18,199	24,258	27,258	32,087	33,037	27,453	25,730	-1,723	-6.3%
刑法犯検挙人員	5,382	5,963	6,329	7,168	7,690	8,725	8,898	8,505	8,148	7,528	-620	-7.6%

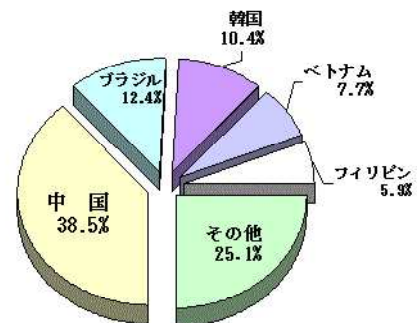
(2) 国籍・地域別刑法犯検挙状況

平成19年における刑法犯の国籍・地域別検挙状況を見ると、検挙件数では中国（台湾、香港等を除く。以下同じ。）が9,664件（構成比37.6%）、次いでブラジルが7,289件（同28.3%）、韓国が2,161件（同8.4%）となっており、検挙人員では中国が2,899人（同38.5%）、次いでブラジルが931人（同12.4%）、韓国が782人（同10.4%）となっている（図表4-8-(2)-1、2）。

図表4-8-(2)-1 国籍・地域別検挙状況

	刑法犯検挙件数			刑法犯検挙人員	
	件数	構成比		人員	構成比
総数	25,730	100%	総数	7,528	100%
中国	9,664	37.6%	中国	2,899	38.5%
ブラジル	7,289	28.3%	ブラジル	931	12.4%
韓国	2,161	8.4%	韓国	782	10.4%
ベトナム	1,112	4.3%	ベトナム	580	7.7%
パキスタン	1,012	3.9%	フィリピン	444	5.9%
その他	4,492	17.5%	その他	1,892	25.1%

図表4-8-(2)-2 検挙人員構成比

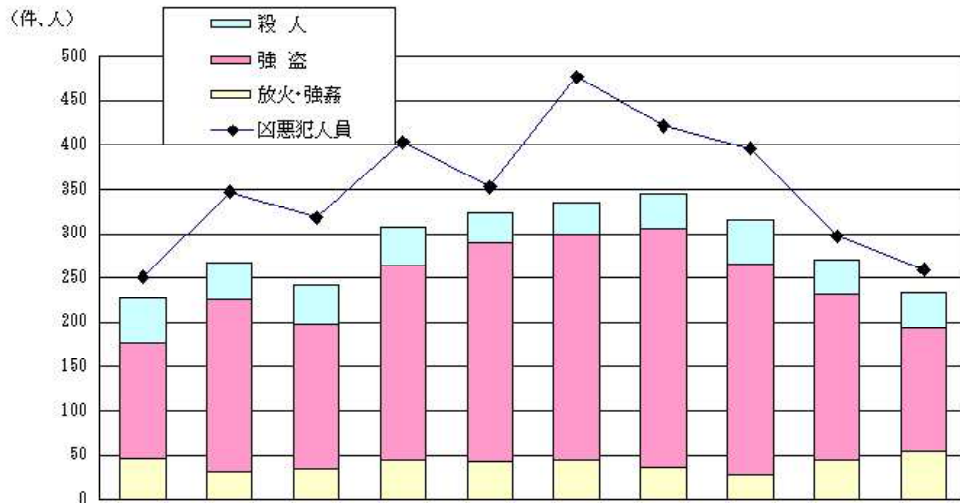


(3) 凶悪犯の検挙状況

平成19年における来日外国人に係る凶悪犯（殺人、強盗、放火及び強姦）の検挙件数は234件、検挙人員は259人で、前年に比べ、検挙件数36件、検挙人員38人それぞれ減少した。

凶悪犯の大半を占める強盗の検挙件数は139件、検挙人員は182人で、前年に比べ、検挙件数49件、検挙人員34人それぞれ減少した（図表4-8-(3)）。

図表4-8-(3) 来日外国人の凶悪犯検挙状況の推移



		平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	増減率
凶悪犯検挙	件数	228	267	242	308	323	336	345	315	270	234	-36	-13.3%
	人員	251	347	318	403	353	477	421	396	297	259	-38	-12.8%
殺人	件数	52	41	44	45	34	37	40	51	37	41	4	10.8%
	人員	62	50	54	59	41	61	52	52	42	41	-1	-2.4%
強盗	件数	130	195	164	219	247	255	269	236	188	139	-49	-26.1%
	人員	160	278	236	309	280	369	338	319	216	182	-34	-15.7%
放火	件数	3	12	6	10	7	13	10	9	23	11	-12	-52.2%
	人員	3	1	6	11	7	13	9	4	18	9	-9	-50.0%
強姦	件数	43	19	28	34	35	31	26	19	22	43	21	95.5%
	人員	26	18	22	24	25	34	22	21	21	27	6	28.6%

【事例1】 中国人研修生による殺人・殺人未遂事件（愛媛）

平成19年10月8日、今治市内の造船会社で中国人研修生2人が刃物で頸部や腹部を刺され重傷を負った殺人未遂事件で、同日、同僚である中国人男性を逮捕し、更に、同社の寮で別の中国人研修生が腹部を刺され失血により死亡していたことが発覚し、同月29日、同人を殺人で再逮捕した。

【事例2】 ブラジル人グループによる強盗致傷等事件（埼玉、群馬）

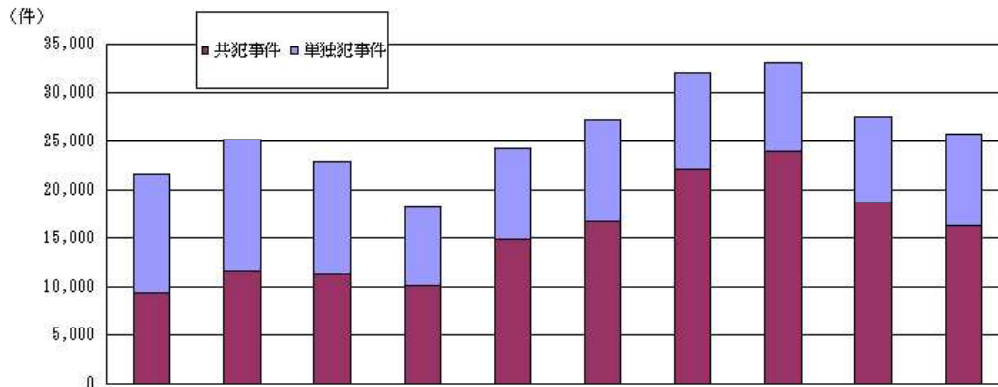
平成19年1月3日、群馬県内のディスコでのトラブルからブラジル人を車両に監禁し、埼玉県内で殴る蹴るなどの暴行を加え現金等を強取した事件で、同年9月までに、日系ブラジル人で構成されている「タンダーキャッツ」のメンバー等17人を監禁、強盗致傷等で逮捕し、同グループを解体するとともに、群馬県伊勢崎市内で発生した同種余罪を解明した。また、同グループに覚せい剤を供給していたイラン人1人を覚せい剤取締法違反で逮捕した。

(4) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況

平成19年における刑法犯検挙件数に占める共犯事件の割合は63.3%と、前年に比べ、4.6ポイント減少したが、日本人の検挙件数に占める共犯事件の割合（16.5%）と比べ約4倍で、依然として共犯率が高い。

罪種別にみると、窃盗犯（72.2%）、強盗（40.3%）での共犯率が高く、特に住宅対象の侵入窃盗（87.4%）の共犯率が高い（図表4-8-(4)-1、2）。

図表4-8-(4)-1 来日外国人の刑法犯検挙件数に占める「共犯事件」の推移



	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	増減率
刑法犯検挙件数	21,689	25,135	22,947	18,199	24,258	27,258	32,087	33,037	27,453	25,730	-1,723	-6.3%
単独犯事件	12,340	13,476	11,584	8,022	9,339	10,438	9,936	9,048	8,816	9,436	620	7.0%
共犯事件	9,349	11,659	11,363	10,177	14,919	16,820	22,151	23,989	18,637	16,294	-2,343	-12.6%
構成比	43.1%	46.4%	49.5%	55.9%	61.5%	61.7%	69.0%	72.6%	67.9%	63.3%	-4.6ポイント	

図表4-8-(4)-2 刑法犯検挙件数 罪種等別・共犯形態（来日外国人・日本人）

	合計	来日外国人					合計	日本人						
		単独犯	共犯	2人組	3人組	4人組以上		単独犯	共犯	2人組	3人組	4人組以上		
刑法犯	25,730	9,436	16,294	6,294	5,475	4,585	553,037	461,688	91,349	55,498	23,213	12,638		
		構成比	63.3%	24.2%	21.9%	17.6%		構成比	89.5%	16.5%	10.0%	4.2%	2.3%	
凶悪犯	234	172	62	29	11	22	5,772	4,901	871	478	204	189		
		構成比	26.5%	12.4%	4.7%	9.4%		構成比	84.9%	15.1%	8.3%	3.5%	3.3%	
うち強盗	139	83	56	24	11	21	2,521	1,843	678	352	176	150		
		構成比	40.3%	17.3%	7.9%	15.1%		構成比	73.1%	26.9%	14.0%	7.0%	6.0%	
窃盗犯	21,927	5,992	15,995	5,851	5,286	4,258	355,411	287,393	68,018	42,626	18,913	6,479		
		構成比	72.2%	27.4%	24.8%	20.0%		構成比	80.9%	19.1%	12.0%	5.3%	1.6%	
うち侵入盗	7,874	1,011	6,863	2,142	2,500	2,221	84,360	69,993	14,367	7,952	4,037	2,378		
		構成比	87.2%	27.2%	31.8%	28.2%		構成比	89.0%	17.0%	9.4%	4.8%	2.3%	
うち住宅対象	7,248	915	6,333	2,005	2,368	1,960	44,239	39,234	5,005	3,099	930	976		
		構成比	87.4%	27.7%	32.7%	27.0%		構成比	88.7%	11.3%	7.0%	2.1%	2.2%	
その他	4,169	3,332	897	354	178	305	191,854	169,394	22,460	12,394	4,096	5,970		
		構成比	79.9%	20.1%	8.5%	4.3%	7.9%		構成比	88.3%	11.7%	6.5%	2.1%	3.1%

(5) 不法滞在者・正規滞在者の検挙状況

平成19年における刑法犯検挙人員に占める不法滞在者の割合は10.0%と、前年に比べ、3.2ポイント減少した。凶悪犯全体でみると、259人中62人で23.9%、そのうち強盗では182人中50人で27.5%、侵入強盗では70人中31人で44.3%となっている。

また、窃盗犯全体でみると3,755人中411人で10.9%と低い割合であるが、侵入窃盗では、408人中164人で40.2%となっている（図表4-8-(5)）。

図表4-8-(5) 来日外国人 罪種等別・在留資格別 検挙人員の比較

		刑法犯												
		凶悪犯	殺人	強盗	窃盗 侵入強盗	放火	強姦	粗暴犯	窃盗犯	窃盗 侵入窃盗	知能犯	風俗犯	その他	
平成19年	検挙人員	7,528	259	41	182	70	9	27	961	3,755	408	536	104	1,913
	正規滞在	6,774	197	32	132	39	9	24	929	3,344	244	368	84	1,852
	構成比	90.0%	76.1%	78.0%	72.5%	55.7%	100.0%	88.9%	96.7%	89.1%	59.8%	68.7%	80.8%	96.8%
	興行	29								16		1		12
	短期滞在	534	19	3	12	7	2	2	47	299	31	20	8	141
	留学	702	13	3	7	2			65	271	26	55	7	291
	就学	466	7	1	5	3			49	211	20	23	6	170
	研修	528	12	8	3	1			15	359	13	17	4	121
	定住者	1,895	79	9	61	16	2	7	311	989	79	59	13	444
	その他	2,620	67	8	44	10	5	10	442	1,199	75	193	46	673
	不法滞在	754	62	9	50	31		3	32	411	164	168	20	61
	構成比	10.0%	23.9%	22.0%	27.5%	44.3%		11.1%	3.3%	10.9%	40.2%	31.3%	19.2%	3.2%
	不法入国・上陸	124	11	1	9	8			3	83	58	21	1	5
	不法在留	201	14	2	11	6			10	121	65	43	3	10
	不法残留	429	37	6	30	17			19	207	41	104	16	46
	興行	6							1	3		1	1	
	短期滞在	174	15	3	12	5			8	70	12	45	12	24
	留学	88	12	1	11	8			3	40	12	23	1	9
	就学	63	7	1	6	4			1	34	11	19		2
	研修	40	1		1					29	1	7		3
その他	58	2	1					1	6	5	9	2	8	
平成18年	検挙人員	8,148	297	42	216	98	18	21	894	4,205	441	538	96	2,118
	正規滞在	7,073	202	31	134	41	16	21	843	3,592	185	314	84	2,038
	構成比	86.8%	68.0%	73.8%	62.0%	41.8%	88.9%	100.0%	94.3%	85.4%	42.0%	58.4%	87.5%	96.2%
	興行	41	1		1	1			3	27		1		9
	短期滞在	555	15	2	11	3	1	1	55	296	23	23	11	155
	留学	864	21	1	18	12	1	1	76	344	15	36	9	378
	就学	663	10	1	7	1			56	341	14	15	3	238
	研修	530	13	5	6	1	1	1	16	328	7	14		159
	定住者	1,827	77	9	60	20	2	6	261	956	65	69	19	445
	その他	2,593	65	13	31	3	11	10	376	1,300	61	156	42	654
	不法滞在	1,075	95	11	82	57	2		51	613	256	224	12	80
	構成比	13.2%	32.0%	26.2%	38.0%	58.2%	11.1%		5.7%	14.6%	58.0%	41.6%	12.5%	3.8%
	不法入国・上陸	244	17	1	16	11			7	146	107	64	3	7
	不法在留	265	23	4	19	13			16	168	69	37	2	19
	不法残留	566	55	6	47	33	2		28	299	80	123	7	54
	興行	7								3		2		2
	短期滞在	233	18	2	14	6	2		11	124	19	51	5	24
	留学	84	7		7	6			6	40	18	21		10
	就学	102	11	2	9	9			4	57	20	25	1	4
	研修	55	11	2	9	8			2	26	7	6		10
その他	85	8		8	4			5	49	16	18	1	4	

9 暴力団による犯罪

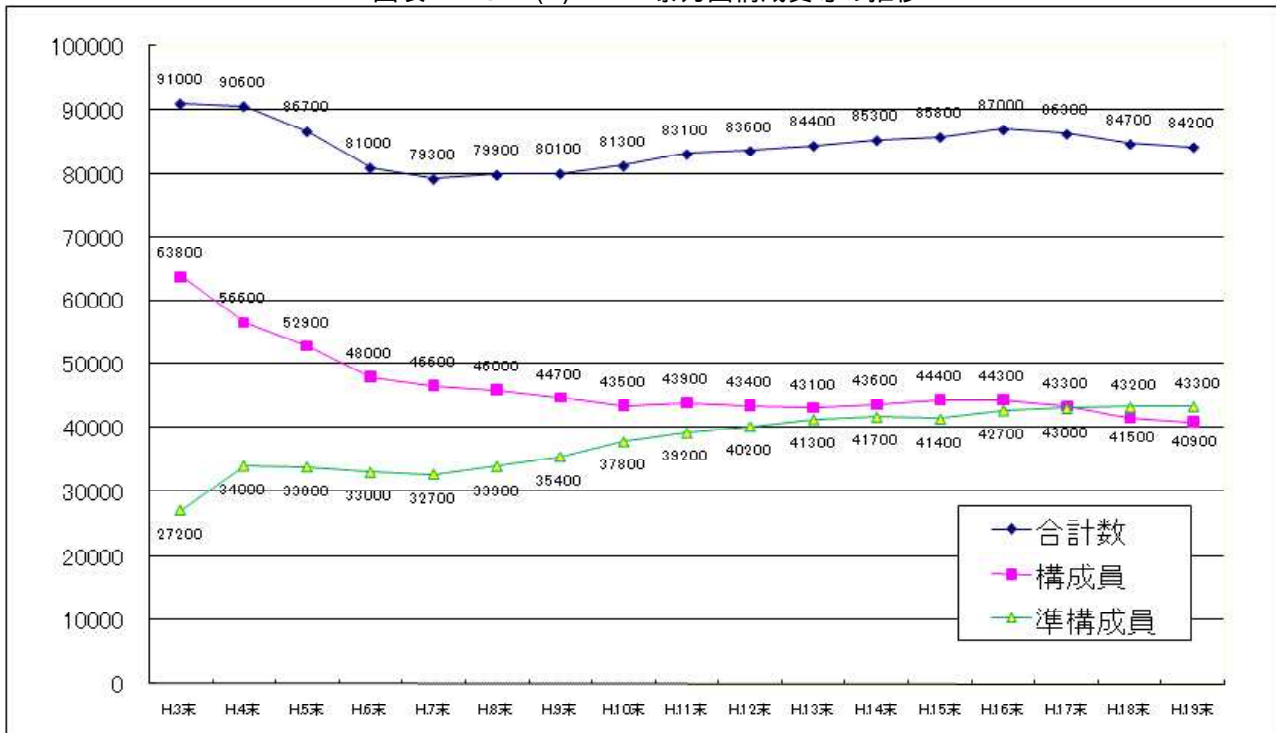
(1) 暴力団構成員等の状況

暴力団構成員及び準構成員（以下「暴力団構成員等」という。）の数は、平成19年12月末現在約8万4,200人と、前年に比べ約500人減少した。うち、暴力団構成員の数は約4万900人で、前年に比べ約600人減少している一方、準構成員の数は約4万3,300人と、前年に比べ約100人増加した。

また、主要3団体の暴力団構成員等の数は約6万1,100人（全暴力団構成員等の約72.6%）で、このうち暴力団構成員の数は約3万1,300人（全暴力団構成員の約76.5%）であり、主要3団体による寡占状態には変わりがないといえる。

中でも山口組は、前年に比べ暴力団構成員等の数は減少しているものの、依然として一極集中の状態が顕著であるといえ、全暴力団構成員等の数の約46.3%（うち構成員については全暴力団構成員の約49.9%）を占めている。

図表4-9-(1)-1 暴力団構成員等の推移



図表4-9-(1)-2 主要3団体の暴力団構成員等の比較

主要団体	団体名	項目	19年末	増減	全体の構成比
山口組	六代目山口組	構成員	20,400	-200	46.3% (構成員49.9%)
		準構成員	18,600	-500	
		計	39,000	-700	
住吉会	住吉会	構成員	6,100	0	15.0% (構成員14.9%)
		準構成員	6,500	200	
		計	12,600	200	
稲川会	稲川会	構成員	4,800	-100	11.3% (構成員11.7%)
		準構成員	4,700	100	
		計	9,500	0	
三団体合計	三団体合計	構成員	31,300	-300	72.6% (構成員76.5%)
		準構成員	29,800	-200	
		計	61,100	-500	

(2) 暴力団構成員等の刑法犯の検挙状況

平成19年における暴力団構成員等の刑法犯の検挙件数は4万3,002件と、前年に比べ259件(0.6%)増加している(図表4-9-(2)-1)。

暴力団構成員等の刑法犯の検挙人員は1万6,621人と、前年に比べ1,395人(7.7%)減少し、このうち構成員の検挙人員は5,368人と、前年に比べ619人(10.3%)減少している(図表4-9-(2)-2、3)。

また、暴力団構成員等の刑法犯の検挙人員を罪種別をみると、傷害が3,580人(構成比21.5%)と最も多く、次いで窃盗が3,050人(同18.4%)、恐喝が2,175人(同13.1%)、詐欺が1,743人(同10.5%)の順になっている(図表4-9-(2)-2)。

図表4-9-(2)-1 暴力団構成員等の罪種別検挙件数の推移

罪種	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減		
												件数	率(%)	
刑	殺人	168	175	172	170	159	184	173	146	126	130	4	3.2	
	強盗	348	381	457	352	382	483	413	413	440	411	-29	-6.6	
	放火	64	86	61	46	51	51	38	34	52	45	-7	-13.5	
	強姦	142	193	162	119	146	127	99	110	108	127	19	17.6	
	凶器準備集合	8	12	8	11	8	6	11	6	6	3	6	3	100.0
	暴行	1,046	876	996	997	1,040	1,050	1,074	1,166	1,313	1,278	-35	-2.7	
	傷害	3,497	3,294	3,667	3,490	3,560	3,466	3,208	3,125	3,308	3,030	-278	-8.4	
	脅迫	402	402	482	480	477	477	423	468	551	505	-46	-8.3	
	恐喝	2,122	1,901	2,265	2,209	2,221	2,313	1,999	1,921	1,968	1,688	-280	-14.2	
	窃盗	28,931	27,087	18,910	16,218	19,607	23,444	23,640	25,930	27,023	27,914	891	3.3	
	詐欺	6,245	6,913	4,642	3,758	3,835	3,643	3,148	3,362	3,537	3,733	196	5.5	
	法	横領	160	102	108	144	116	126	105	99	102	104	2	2.0
文書偽造		1,548	1,539	1,086	924	951	906	698	457	602	573	-29	-4.8	
賭博		350	222	176	228	238	133	136	138	127	304	177	139.4	
わいせつ物頒布等		108	86	81	73	40	59	102	135	144	127	-17	-11.8	
公務執行妨害		365	370	442	444	492	547	556	536	606	564	-42	-6.9	
うち競売等妨害		47	49	43	30	37	34	40	22	10	17	7	70.0	
犯人蔵匿		58	47	43	49	72	58	57	45	68	54	-14	-20.6	
証人威迫		4	3	7	11	5	7	3	11	9	3	-6	-66.7	
逮捕監禁		185	178	213	205	225	204	205	181	168	146	-22	-13.1	
信用毀損・威力業務妨害		50	50	63	74	47	62	52	53	51	57	6	11.8	
器物損壊		746	598	679	648	789	771	876	966	965	849	-116	-12.0	
暴力行為		52	40	38	38	27	36	70	49	43	30	-13	-30.2	
その他刑法犯	884	817	775	943	1,326	1,422	1,858	1,726	1,429	1,324	-105	-7.3		
刑法犯合計	47,483	45,372	35,533	31,631	35,814	39,575	38,944	41,077	42,743	43,002	259	0.6		

図表 4 - 9 - (2) - 2 暴力団構成員等の罪種別検挙人員の推移

罪種	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												人数	率(%)
刑	殺人	257	305	305	294	299	313	310	258	183	188	5	2.7
	強盗	546	638	596	651	652	755	727	696	593	541	-52	-8.8
	放火	49	58	60	48	77	61	61	42	40	22	-18	-45.0
	強姦	194	185	201	163	180	132	137	114	103	103	0	0.0
	凶器準備集合	32	43	61	79	109	136	92	39	31	14	-17	-54.8
	暴行	1,285	1,087	1,185	1,222	1,231	1,273	1,233	1,297	1,376	1,210	-166	-12.1
	傷害	4,882	4,618	5,021	4,838	4,904	4,651	4,319	3,972	3,881	3,580	-301	-7.8
	脅迫	534	516	591	613	606	551	487	543	612	545	-67	-10.9
	恐喝	3,044	2,889	3,290	3,070	2,954	3,092	2,808	2,619	2,523	2,175	-348	-13.8
	窃盗	3,062	3,001	2,623	2,757	2,917	3,396	3,265	3,198	3,139	3,050	-89	-2.8
法	詐欺	1,618	1,880	1,556	1,723	1,695	1,701	1,821	1,712	1,785	1,743	-42	-2.4
	横領	136	104	113	107	117	101	108	86	97	83	-14	-14.4
	文書偽造	353	378	355	293	462	357	323	243	309	308	-1	-0.3
	賭博	1,881	1,575	1,164	1,238	1,374	780	837	845	685	648	-37	-5.4
	わいせつ物頒布等	142	134	126	112	62	80	128	202	197	157	-40	-20.3
	公務執行妨害	382	436	466	462	493	543	569	525	488	518	30	6.1
	うち競売等妨害	93	130	110	78	80	83	98	57	22	72	50	227.3
	犯人蔵匿	86	71	69	60	99	82	69	61	84	72	-12	-14.3
	証人威迫	8	3	11	15	6	13	3	16	8	2	-6	-75.0
	逮捕監禁	364	362	412	474	471	444	414	336	299	276	-23	-7.7
犯	信用毀損・威力業務妨害	102	90	119	108	86	82	102	88	63	83	20	31.7
	器物損壊	517	499	573	515	641	618	637	642	631	535	-96	-15.2
	暴力行為	74	66	78	46	59	73	126	71	82	47	-35	-42.7
	その他刑法犯	659	673	693	762	911	1,031	896	1,024	807	721	-86	-10.7
	刑法犯合計	20,207	19,611	19,668	19,650	20,405	20,265	19,472	18,629	18,016	16,621	-1,395	-7.7

図表 4 - 9 - (2) - 3 暴力団構成員の罪種別検挙人員の推移

罪種	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												人数	率(%)
刑	殺人	114	150	152	152	151	169	156	108	77	97	20	26.0
	強盗	139	187	148	172	177	182	189	177	163	163	0	0.0
	放火	9	16	20	9	18	23	16	12	12	4	-8	-66.7
	強姦	33	33	33	42	46	40	33	24	23	24	1	4.3
	凶器準備集合	10	17	43	14	10	34	16	26	15	11	-4	-26.7
	暴行	567	496	520	464	466	499	446	446	476	404	-72	-15.1
	傷害	1,850	1,751	1,839	1,741	1,803	1,742	1,539	1,436	1,450	1,305	-145	-10.0
	脅迫	284	302	314	299	310	269	236	275	322	273	-49	-15.2
	恐喝	1,368	1,367	1,488	1,396	1,325	1,462	1,358	1,232	1,197	1,005	-192	-16.0
	窃盗	730	690	638	665	688	837	739	658	634	610	-24	-3.8
法	詐欺	540	527	436	502	465	469	483	485	540	510	-30	-5.6
	横領	42	26	37	32	29	30	31	24	26	20	-6	-23.1
	文書偽造	129	142	115	118	136	126	111	100	111	83	-28	-25.2
	賭博	238	188	131	118	117	72	90	97	66	107	41	62.1
	わいせつ物頒布等	19	23	21	10	8	9	8	15	8	12	4	50.0
	公務執行妨害	121	159	149	138	144	149	180	135	137	121	-16	-11.7
	うち競売等妨害	31	56	47	22	32	31	36	25	5	4	-1	-20.0
	犯人蔵匿	40	40	32	22	52	43	33	27	46	31	-15	-32.6
	証人威迫	6	1	9	11	2	8	3	10	5	2	-3	-60.0
	逮捕監禁	176	185	187	281	222	210	182	165	115	136	21	18.3
犯	信用毀損・威力業務妨害	47	43	50	45	37	47	36	27	29	33	4	13.8
	器物損壊	201	179	205	176	244	250	198	209	230	169	-61	-26.5
	暴力行為	52	27	39	26	34	43	75	31	52	20	-32	-61.5
	その他刑法犯	250	245	232	274	306	377	303	324	253	228	-25	-9.9
	刑法犯合計	6,965	6,794	6,838	6,709	6,790	7,090	6,461	6,043	5,987	5,368	-619	-10.3

10 女性・子ども・高齢者を主たる被害者する犯罪

(1) 女性を主たる被害者とする犯罪

ア 女性の犯罪被害の状況

平成19年における刑法犯に係る女性の被害件数（「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。）は53万9,153件で、刑法犯被害件数に占める女性の割合は35.0%となっている（図表4-10-(1)-1）。

女性の被害件数を主な罪種別に見ると、窃盗が41万6,258件（女性の被害全体の77.2%）で最も多く、次いで詐欺が2万2,082件（同4.1%）、暴行が1万1,441件（同2.1%）、傷害が8,885件（同1.6%）、強制わいせつが7,464件（同1.4%）などとなっている。

また、強姦、強制わいせつ及び公然わいせつのほか、女性が被害者となる割合の高い罪種について見ると、略取・誘拐（77.8%）、詐欺（44.9%）、逮捕・監禁（44.3%）、脅迫（42.0%）、強盗（40.9%）、殺人（39.2%）及び暴行（35.8%）などが全刑法犯被害件数に占める女性の割合（35.0%）より高くなっている（図表4-10-(1)-2）。

注：「略取・誘拐」の認知件数には、人身売買の認知件数を含む（以下同じ）。

図表4-10-(1)-1 女性の刑法犯被害件数

区分	年次	平18	平19	増減	
				件数	率(%)
全刑法犯	被害件数	1,668,361	1,540,070	-128,291	-7.7
	女性	529,638	539,153	-40,485	-7.0
	(割合%)	34.7	35.0	0.3	-
	男性	1,088,723	1,000,917	-87,806	-8.1
	(割合%)	65.3	65.0	-0.3	-

図表4 - 10 - (1) - 2 罪種別被害状況

区分	年次	平18	平19	増減	
				件数	率 (%)
殺人	被害件数	1,300	1,182	-118	-8.3
	うち女性	564	467	-97	-17.2
	(割合%)	43.4	39.2	-4.2	-
強盗	被害件数	4,688	4,208	-480	-10.2
	うち女性	1,882	1,720	-162	-8.6
	(割合%)	40.1	40.9	0.8	-
強姦	被害件数	1,948	1,766	-182	-9.3
	うち女性	1,948	1,766	-182	-9.3
	(割合%)	100.0	100.0	0.0	-
暴行	被害件数	31,002	31,968	964	3.1
	うち女性	11,417	11,441	24	0.2
	(割合%)	36.8	35.8	-1.0	-
傷害	被害件数	33,987	30,936	-3,051	-8.8
	うち女性	9,528	8,835	-693	-6.7
	(割合%)	28.0	28.7	0.7	-
脅迫	被害件数	2,580	2,463	-117	-4.5
	うち女性	1,098	1,035	-63	-5.6
	(割合%)	42.5	42.0	-0.5	-
恐喝	被害件数	8,461	7,246	-1,215	-14.4
	うち女性	1,118	968	-150	-13.4
	(割合%)	13.2	13.4	0.2	-
窃盗	被害件数	1,282,891	1,184,398	-98,493	-7.7
	うち女性	449,100	416,258	-32,842	-7.3
	(割合%)	35.0	35.1	0.1	-
詐欺	被害件数	56,262	49,149	-7,113	-12.6
	うち女性	23,090	22,032	-1,058	-4.4
	(割合%)	41.0	44.9	3.9	-
強制わいせつ	被害件数	8,326	7,664	-662	-8.0
	うち女性	8,140	7,464	-676	-8.3
	(割合%)	97.8	97.4	-0.4	-
公然わいせつ	被害件数	1,113	965	-148	-13.3
	うち女性	1,042	894	-148	-14.2
	(割合%)	93.6	92.6	-1.0	-
逮捕・監禁	被害件数	522	418	-104	-19.9
	うち女性	246	135	-111	-24.8
	(割合%)	47.1	44.3	-2.8	-
略取・誘拐	被害件数	199	207	8	4.0
	うち女性	156	161	5	3.2
	(割合%)	78.4	77.8	-0.6	-

イ 年齢層別の犯罪被害の状況

平成19年における女性の被害件数を年齢層別に人口10万人当たり（以下「人口当たり」という。）で見ると、20歳代が1,688.31件で最も多く、次いで20歳未満の1,008.80件、30歳代の944.04件、40歳代の833.01件、50歳代の663.64件、60歳代の540.44件、70歳以上の326.94件の順となっている。

また、罪種別に被害に遭う割合の高い年齢層について人口当たりで見ると、強盗、強姦、暴行、傷害、脅迫、恐喝、窃盗、詐欺、強制わいせつ及び逮捕・監禁では20歳代が高く、公然わいせつ及び略取・誘拐では20歳未満が高くなっている。更に、殺人では70歳以上が高くなっている（図表4 - 10 - (1) - 3）。

図表4-10-(1)-3 年齢層別の犯罪被害件数(平成19年)

年齢層	罪種	合計	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他
被害件数		1,540,070	1,192	4,208	1,766	31,966	30,986	2,463	7,246	1,184,398	48,149	7,664	965	418	207	217,442
	人口当	1,206.34	0.93	3.29	1.38	25.02	24.25	1.93	5.67	926.97	38.47	6.00	0.76	0.33	0.16	170.18
女性計		539,153	467	1,720	1,766	11,441	8,885	1,035	968	416,258	22,082	7,464	894	185	161	65,827
	人口当	823.62	0.71	2.63	2.70	17.48	13.57	1.58	1.48	635.89	33.73	11.40	1.37	0.28	0.25	100.56
20歳未満		115,931	51	203	770	3,242	1,428	176	258	97,254	785	3,877	430	62	112	7,283
	人口当	1,008.80	0.44	1.77	6.70	28.21	12.43	1.53	2.25	846.28	6.83	33.74	3.74	0.54	0.97	63.37
20歳代		124,074	59	553	740	3,435	2,284	266	288	94,432	3,477	2,696	226	71	30	15,517
	人口当	1,688.31	0.80	7.52	10.07	46.74	31.08	3.62	3.92	1,284.96	47.31	36.69	3.08	0.97	0.41	211.14
30歳代		87,588	60	267	162	1,893	2,121	220	147	64,928	3,342	613	120	25	13	13,577
	人口当	944.04	0.65	2.38	1.75	21.48	22.86	2.37	1.58	699.81	36.02	6.61	1.29	0.27	0.14	146.34
40歳代		66,083	46	167	47	1,269	1,261	146	104	49,412	2,724	187	60	17	5	10,638
	人口当	833.01	0.53	2.11	0.59	16.00	15.90	1.84	1.31	622.87	34.34	2.36	0.76	0.21	0.06	134.10
50歳代		61,745	58	196	29	784	925	122	76	46,520	3,606	47	37	8	1	9,336
	人口当	663.64	0.62	2.11	0.31	8.43	9.94	1.31	0.82	500.00	38.76	0.51	0.40	0.09	0.01	100.34
60歳代		45,581	71	143	8	420	485	65	49	34,944	3,984	29	11	1	0	5,371
	人口当	540.44	0.84	1.70	0.09	4.98	5.75	0.77	0.58	414.32	47.24	0.34	0.13	0.01	0.00	63.68
70歳以上		38,151	122	191	10	298	381	40	46	28,768	4,164	15	10	1	0	4,106
	人口当	328.94	1.05	1.64	0.09	2.55	3.27	0.34	0.39	246.53	35.68	0.13	0.09	0.01	0.00	35.18
男性計		1,000,917	725	2,488	0	20,525	22,101	1,428	6,278	768,140	27,067	200	71	233	46	151,615
	人口当	1,606.35	1.16	3.99	-	32.94	35.47	2.29	10.08	1,232.77	43.44	0.32	0.11	0.37	0.07	243.32

注1:「人口当」は、人口10万人当たりの認知件数である。

注2:人口は、総務省統計局の推定人口(平成19年10月1日現在)による。

ウ 場所別被害の発生状況

平成19年において罪種別に女性が被害に遭う割合の高い場所についてみると、強盗、暴行、恐喝、強制わいせつ、公然わいせつ、逮捕・監禁及び略取・誘拐については道路上、殺人、脅迫及び詐欺については一戸建住宅、強姦及び傷害については共同住宅、窃盗については駐車(輪)場が高くなっている(図表4-10-(1)-4)。

図表4-10-(1)-4 罪種別・場所別被害発生件数(平成19年)

区分	罪種	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他
被害総数	女	467	1,720	1,766	11,441	8,885	1,035	968	416,145	22,082	7,464	894	185	161	65,827
	男	725	2,488	0	20,525	22,101	1,428	6,278	767,879	27,067	200	71	233	46	151,615
一戸建住宅	女	202	125	169	893	1,286	298	152	40,575	10,749	324	11	9	13	13
	男	193	82	0	631	973	251	294	94,979	9,686	5	2	13	5	5
共同住宅	女	146	265	641	1,900	2,159	295	180	55,199	4,320	1,495	47	37	13	13
	男	208	91	0	1,024	1,543	239	475	86,898	4,588	25	0	46	8	8
学校(幼稚園)	女	1	2	15	73	224	35	14	8,417	32	72	6	0	2	2
	男	4	5	0	300	864	48	120	12,659	59	3	0	0	4	4
道路上	女	33	696	179	4,737	2,140	104	219	77,059	446	3,186	459	69	78	78
	男	112	949	0	8,165	8,273	261	2,186	99,560	1,923	97	36	54	13	13
駐車(輪)場	女	10	115	136	663	536	48	96	139,506	247	473	99	20	15	15
	男	27	184	0	1,425	2,047	85	937	279,578	568	15	13	31	6	6
都市公園	女	3	14	41	152	187	5	25	2,678	18	174	37	0	9	9
	男	15	40	0	422	738	21	278	4,959	31	29	4	3	1	1
空き地	女	4	5	43	31	38	1	2	1,523	2	72	4	4	3	3
	男	7	6	0	59	160	2	60	5,752	8	3	1	3	0	0
列車内	女	1	0	1	283	64	2	0	3,246	6	492	39	1	0	0
	男	0	0	0	548	207	5	10	4,755	5	6	0	1	0	0
駅・鉄道施設	女	1	8	5	405	147	6	12	3,229	55	80	21	1	5	5
	男	7	12	0	1,580	715	15	81	4,742	150	2	0	0	0	0
その他	女	66	490	536	2,364	2,154	241	318	84,713	6,207	1,156	171	44	23	23
	男	152	1,119	-	6,371	6,581	507	1,837	174,002	10,054	75	15	32	9	9

注:「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

エ 配偶者による暴力事件

配偶者による暴力事件（殺人、傷害及び暴行）（注）の検挙件数は、平成11年以降増加傾向にあったが、平成16年は前年に比べ1.4%、そのうち夫による妻（内縁関係にある者を含む。）への暴力事件も1.3%減少した。しかし、平成17年は前年に比べ14.5%、そのうち夫による妻（内縁関係にある者を含む。）への暴力事件は12.5%、平成18年は前年に比べ15.5%、そのうち夫による妻（内縁関係にある者を含む。）への暴力事件19.0%増加し、平成19年においても2,471件と、前年に比べ232件（10.4%）、そのうち夫による妻（内縁関係にある者を含む。）への暴力事件は2,232件と、前年に比べ150件（7.2%）ともに増加している（図表4 - 10 - (1) - 5）。

注：配偶者による暴力事件には、いわゆる配偶者からの暴力事件だけでなく、例えば、殺人では嘱託殺人、保険金目的殺人等、多様なものが含まれる。

図表4 - 10 - (1) - 5 配偶者による殺人、傷害及び暴行事件の検挙件数の推移

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件数	率(%)
殺人(件)		1,222	1,098	1,219	1,157	1,238	1,258	1,224	1,224	1,155	1,052	-103	-8.9
	うち配偶者	189	170	197	191	197	215	206	218	179	192	13	7.3
	うち夫によるもの	129	105	134	116	120	133	127	126	117	107	-10	-8.5
傷害		15,840	15,589	21,618	22,348	23,199	23,222	22,716	22,962	22,921	21,589	-1,332	-5.8
	うち配偶者	295	403	888	1,097	1,250	1,269	1,198	1,342	1,353	1,346	-7	-0.5
	うち夫によるもの	273	375	838	1,065	1,197	1,211	1,143	1,264	1,294	1,255	-39	-3.0
	うち傷害致死	176	191	168	191	180	173	135	138	139	104	-35	-25.2
	うち配偶者	13	19	17	14	18	18	14	20	15	10	-5	-33.3
	うち夫によるもの	12	17	17	10	15	16	12	17	14	8	-6	-42.9
暴行		5,016	4,730	7,151	7,740	8,223	9,341	10,525	13,519	19,175	21,203	2,028	10.6
	うち配偶者	35	36	127	156	213	234	290	379	707	933	226	32.0
	うち夫によるもの	33	36	124	152	211	230	284	359	671	870	199	29.7
合計		22,078	21,417	29,988	31,245	32,660	33,821	34,465	37,705	43,251	43,844	593	1.4
	うち配偶者	519	609	1,212	1,444	1,666	1,718	1,694	1,939	2,239	2,471	232	10.4
	うち夫によるもの	435	516	1,096	1,333	1,523	1,574	1,554	1,749	2,082	2,232	150	7.2

注1：解決事件を除く。

注2：配偶者には内縁関係にある者を含む。

(2) 子どもを主たる被害者とする犯罪

ア 子どもの犯罪被害の状況

平成19年における刑法犯に係る子ども（少年、20歳未満の者をいう。以下同じ。）の被害件数（「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。）は、30万4,685件で、刑法犯被害件数に占める子どもの割合は19.8%となっている（図表4-11-(2)-1）。

子どもの被害件数を主な罪種別にみると、窃盗が26万516件（子どもの被害全体の85.5%）で最も多く、次いで暴行が6,407件（同2.1%）、傷害が5,991件（同2.0%）、強制わいせつが4,021件（同1.3%）、恐喝が3,065件（同1.0%）などとなっている。

また、子どもが被害者となる割合の高い罪種についてみると、略取・誘拐（69.6%）、強制わいせつ（52.5%）、公然わいせつ（46.1%）、強姦（43.6%）、恐喝（42.3%）などが全刑法犯被害件数に占める子どもの割合（18.5%）より高くなっている（図表4-10-(2)-2）。

注：「略取・誘拐」の認知件数には、人身売買の認知件数を含む（以下同じ）。

図表4-10-(2)-1 子どもの刑法犯被害件数

区分	年次	平18	平19	増減	
				件数	率(%)
全刑法犯	被害件数	1,668,361	1,540,070	-128,291	-7.7
	少年	309,104	304,685	-4,419	-1.4
	（割合%）	18.5	19.8	1.3	-
	成人	1,359,257	1,235,385	-123,872	-9.1
	（割合%）	81.5	80.2	-1.3	-

図表4 - 10 - (2) - 2 罪種別被害状況

区分	年次	平18	平19	増減	
				件数	率 (%)
殺人	被害件数	1,300	1,192	-108	-8.3
	うち少年	156	122	-34	-21.8
	(割合%)	12.0	10.2	-1.8	-
強盗	被害件数	4,688	4,208	-480	-10.2
	うち少年	489	445	-44	-9.0
	(割合%)	10.4	10.6	0.2	-
強姦	被害件数	1,948	1,766	-182	-9.3
	うち少年	808	770	-38	-4.7
	(割合%)	41.5	43.6	2.1	-
暴行	被害件数	31,002	31,966	964	3.1
	うち少年	6,585	6,407	-178	-2.7
	(割合%)	21.2	20.0	-1.2	-
傷害	被害件数	33,987	30,986	-3,001	-8.8
	うち少年	6,374	5,991	-383	-6.0
	(割合%)	18.8	19.3	0.5	-
脅迫	被害件数	2,580	2,463	-117	-4.5
	うち少年	340	312	-28	-8.2
	(割合%)	13.2	12.7	-0.5	-
恐喝	被害件数	8,461	7,246	-1,215	-14.4
	うち少年	3,485	3,065	-420	-12.1
	(割合%)	41.2	42.3	1.1	-
窃盗	被害件数	1,282,891	1,184,024	-98,867	-7.7
	うち少年	261,718	260,516	-1,202	-0.5
	(割合%)	20.4	22.0	1.6	-
詐欺	被害件数	56,262	49,149	-7,113	-12.6
	うち少年	1,594	1,711	117	7.3
	(割合%)	2.8	3.5	0.7	-
強制わいせつ	被害件数	8,326	7,664	-662	-8.0
	うち少年	4,534	4,021	-513	-11.3
	(割合%)	54.5	52.5	-2.0	-
公然わいせつ	被害件数	1,113	965	-148	-13.3
	うち少年	569	445	-124	-21.8
	(割合%)	51.1	46.1	-5.0	-
逮捕・監禁	被害件数	522	418	-104	-19.9
	うち少年	145	109	-36	-24.8
	(割合%)	27.8	26.1	-1.7	-
略取・誘拐	被害件数	199	207	8	4.0
	うち少年	145	144	-1	-0.7
	(割合%)	72.9	69.6	-3.3	-

イ 就学別の犯罪被害の状況

平成19年における子どもの被害件数を就学別に人口当たりで見ると、その他少年（未就学児童、小学生及び中学生を除いた少年をいう。以下同じ。）が3,426.21件で最も多く、次いで中学生の1,812.89件、小学生の347.57件、未就学児童の8.00件の順となっている。

また、罪種別に被害に遭う割合の高い層を就学別の人口当たりで見ると、殺人では未就学児童が高く、強盗、強姦、暴行、傷害、脅迫、恐喝、窃盗、詐欺、強制わいせつ、公然わいせつ、逮捕・監禁及び略取・誘拐ではその他少年が高くなっている（図表4-10-(2)-3）。

図表4-10-(2)-3 就学別の犯罪被害件数（平成19年）

区分	罪種	合計	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他
被害件数		1,540,070	1,192	4,208	1,766	31,966	30,986	2,463	7,246	1,184,024	49,149	7,664	965	418	207	217,442
	人口当	1,205.34	0.93	3.29	1.38	25.02	24.25	1.93	5.67	926.68	38.47	6.00	0.76	0.33	0.16	170.18
少年計		304,685	122	445	770	6,407	5,991	312	3,065	280,516	1,711	4,021	445	109	144	20,627
	人口当	1,292.46	0.52	1.89	3.27	27.18	25.41	1.32	13.00	1,109.10	7.26	17.06	1.89	0.46	0.61	87.50
未就学		527	59	0	1	98	148	1	1	0	0	88	0	0	31	100
	人口当	8.00	0.90	0.00	0.02	1.49	2.25	0.02	0.02	0.00	0.00	1.34	0.00	0.00	0.47	1.52
小学生		24,792	23	4	56	671	234	12	143	22,045	15	747	65	3	49	675
	人口当	347.57	0.32	0.06	0.79	9.41	3.98	0.17	2.00	309.06	0.21	10.47	0.91	0.04	0.69	9.46
中学生		65,536	8	37	146	1,431	1,747	78	965	56,951	86	559	102	12	16	3,398
	人口当	1,812.89	0.22	1.02	4.04	39.59	48.33	2.16	28.69	1,575.41	2.38	15.46	2.82	0.33	0.44	94.00
その他少年		213,830	32	404	567	4,207	3,812	221	1,956	181,520	1,610	2,627	278	94	48	16,454
	人口当	3,426.21	0.51	6.47	9.09	67.41	61.08	3.54	31.34	2,908.51	25.80	42.09	4.45	1.51	0.77	263.64
成人計		1,235,385	1,070	3,763	996	25,559	24,995	2,151	4,181	923,508	47,438	3,643	520	309	63	196,815
	人口当	1,185.82	1.03	3.81	0.96	24.53	23.99	2.06	4.01	886.31	45.53	3.50	0.50	0.30	0.06	188.89

注1：「人口当」は、人口10万人当たりの認知件数である。

注2：人口は、総務省統計局の推定人口（平成19年10月1日現在）による。

注3：「未就学」は、総務省統計局の推定人口（平成19年10月1日現在）の0～5歳を計上した。

注4：「小学生」と「中学生」の人口は、文部科学省学校基本調査（平成19年版）による。

ウ 場所別被害の発生状況

平成19年における子どもの就学別に犯罪の被害に遭う割合が高い場所についてみると、未就学児童については、共同住宅、一戸建住宅及び道路上が高く、小学生、中学生については駐車(輪)場、道路上及び共同住宅が高くなっている（図表4-10-(2)-4）。

また、罪種別に子どもが被害に遭う割合が高い場所についてみると、強盗、暴行、傷害、恐喝、強制わいせつ、公然わいせつ、逮捕・監禁及び略取・誘拐については道路上、脅迫及び詐欺については一戸建住宅、殺人及び強姦については共同住宅、窃盗については駐車(輪)場が高くなっている（図表4-10-(2)-5）。

図表 4 - 10 - (2) - 4 就学別・場所別被害発生件数（平成19年）

区分	就学別		少年										成人	
	総数		未就学		小学生		中学生		その他		成人			
	件数	(割合%)	件数	(割合%)	件数	(割合%)	件数	(割合%)	件数	(割合%)	件数	(割合%)		
被害総数	1,540,070	100.0	304,685	100.0	527	100.0	24,792	100.0	65,536	100.0	213,830	100.0	1,235,385	100.0
一戸建住宅	194,215	12.6	15,188	5.0	62	11.8	1,824	7.4	4,303	6.8	8,999	4.2	179,027	14.5
共同住宅	193,273	12.5	27,883	9.2	177	33.6	3,962	16.0	6,347	9.7	17,397	8.1	165,390	13.4
学校(幼稚園)	26,250	1.7	15,383	5.0	22	4.2	568	2.3	2,770	4.2	12,023	5.6	10,867	0.9
駐車(輪)場	505,176	32.8	138,777	45.5	19	3.6	8,503	34.3	28,792	43.9	101,463	47.5	366,399	29.7
道路上	245,156	15.9	56,732	18.8	54	10.2	4,445	17.9	12,701	19.4	39,532	18.5	188,424	15.3
都市公園	11,796	0.8	6,029	2.0	36	6.8	2,312	9.3	1,508	2.3	2,173	1.0	5,767	0.5
空き地	10,328	0.7	2,079	0.7	3	0.6	152	0.6	469	0.7	1,455	0.7	8,249	0.7
列車内	8,863	0.6	1,081	0.4	2	0.4	19	0.1	59	0.1	1,001	0.5	8,782	0.7
駅・鉄道施設	12,380	0.8	4,542	1.5	6	1.1	52	0.2	511	0.8	3,973	1.9	7,838	0.6
その他	331,633	21.5	36,991	12.1	146	27.7	2,955	11.9	8,076	12.3	25,814	12.1	294,642	23.9

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

図表 4 - 10 - (2) - 5 罪種別・場所別被害発生件数（平成19年）

区分	罪種	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他	合計
		被害総数	1,192	4,208	1,766	31,966	30,988	2,463	7,248	1,184,398	49,149	7,664	965	418	207	217,442
少年計		122	445	770	6,407	5,991	312	3,065	260,560	1,711	4,021	445	109	144	20,583	304,685
一戸建住宅		33	8	91	145	234	90	78	13,188	758	189	4	5	11	354	15,188
共同住宅		48	41	199	456	506	55	123	23,863	368	651	8	18	15	1,529	27,883
学校(幼稚園)		2	3	12	190	607	20	126	13,852	23	58	5	0	6	479	15,383
駐車(輪)場		4	32	65	447	674	14	477	129,001	29	228	29	18	9	7,750	138,777
道路上		13	233	93	3,287	1,837	84	1,215	40,874	118	1,731	283	41	87	6,393	56,732
都市公園		3	29	26	346	672	13	244	3,919	8	159	19	2	9	580	6,029
空き地		1	4	29	30	100	0	45	1,205	1	51	3	2	3	805	2,079
列車内		0	0	0	129	39	1	6	542	1	307	19	0	0	37	1,081
駅・鉄道施設		0	5	0	275	129	2	62	3,721	19	49	14	1	4	261	4,542
その他		20	90	255	1,122	1,193	53	684	30,395	368	598	61	22	20	2,090	36,991

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

エ 子ども対象・暴力的性犯罪被害の状況

子ども対象・暴力的性犯罪（13歳未満の少年が被害者となった強姦、強制わいせつ、強盗強姦（いずれも致死又は致死傷及び未遂を含む。）及びわいせつ目的略取誘拐（未遂を含む。）をいう。）の認知件数は、平成15年まで増加傾向にあったが、平成16年以降減少し、平成19年であっても1,012件と、前年に比べ102件（9.2%）減少している。

罪種別に見ると、前年に比べ強制わいせつは108件（10.6%）と大幅に減少しているが、強姦は14件（20.9%）増加している（図表4-10-(2)-6）。

図表 4 - 10 - (2) - 6 罪種別被害発生件数

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	平18	平19	増減	
												件数	率(%)
子ども対象・暴力的性犯罪		1,318	1,527	1,790	2,137	1,960	2,236	1,796	1,484	1,114	1,012	-102	-9.2
強盗強姦		0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0.0
強姦		63	65	72	60	90	93	74	72	67	81	14	20.9
強制わいせつ		1,199	1,391	1,668	2,037	1,815	2,087	1,679	1,384	1,015	907	-108	-10.6
わいせつ目的略取誘拐		56	69	49	40	54	56	43	28	32	24	-8	-25.0

(3) 高齢者を主たる被害者とする犯罪

ア 高齢者の犯罪被害の状況

平成19年における刑法犯に係る高齢者の被害件数（「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。）は15万6,271件で、刑法犯被害件数に占める高齢者の割合は10.1%となっている（図表4-10-(3)-1）。

高齢者の被害件数を主な罪種別にみると、窃盗が11万7,193件（高齢者の被害全体の75.0%）で最も多く、次いで詐欺が1万110件（同6.5%）、傷害が1,784件（同1.1%）、暴行が1,611件（同1.0%）、強盗が432件（同0.3%）などとなっている。

また、高齢者が被害者となる割合の高い罪種についてみると、殺人（21.7%）、詐欺（20.6%）及び強盗（10.3%）が全刑法犯被害件数に占める高齢者の割合（10.1%）より高くなっている（図表4-10-(3)-2）。

注：「略取・誘拐」の認知件数には、人身売買の認知件数を含む（以下同じ）。

図表4-10-(3)-1 高齢者の刑法犯被害件数

区分	年次	平18	平19	増減	
				件数	率 (%)
全刑法犯	被害件数	1,668,361	1,540,070	-128,291	-7.7
	65歳以上 (割合%)	163,325 9.8	156,271 10.1	-7,054 0.3	-4.3 -
	64歳以下 (割合%)	1,505,036 90.2	1,383,799 89.9	-121,237 -0.3	-8.1 -

図表4 - 10 - (3) - 2 罪種別被害状況

区分	年次	平18	平19	増減	
				件数	率 (%)
殺人	被害件数	1,300	1,192	-108	-8.3
	うち65歳以上 (割合%)	250 19.2	259 21.7	9 2.5	3.6 -
強盗	被害件数	4,688	4,208	-480	-10.2
	うち65歳以上 (割合%)	428 9.1	432 10.3	4 1.2	0.9 -
強姦	被害件数	1,948	1,766	-182	-9.3
	うち65歳以上 (割合%)	14 0.7	12 0.7	-2 0.0	-14.3 -
暴行	被害件数	31,002	31,966	964	3.1
	うち65歳以上 (割合%)	1,417 4.6	1,611 5.0	194 0.4	13.7 -
傷害	被害件数	33,987	30,986	-3,001	-8.8
	うち65歳以上 (割合%)	1,870 5.5	1,784 5.8	-86 0.3	-4.6 -
脅迫	被害件数	2,580	2,463	-117	-4.5
	うち65歳以上 (割合%)	190 7.4	204 8.3	14 0.9	7.4 -
恐喝	被害件数	8,461	7,246	-1,215	-14.4
	うち65歳以上 (割合%)	271 3.2	216 3.0	-55 -0.2	-20.3 -
窃盗	被害件数	1,282,891	1,184,024	-98,867	-7.7
	うち65歳以上 (割合%)	123,017 9.6	117,193 9.9	-5,824 0.3	-4.7 -
詐欺	被害件数	56,262	49,149	-7,113	-12.6
	うち65歳以上 (割合%)	10,037 17.8	10,110 20.6	73 2.8	0.7 -
強制わいせつ	被害件数	8,326	7,664	-662	-8.0
	うち65歳以上 (割合%)	12 0.1	30 0.4	18 0.3	150.0 -
公然わいせつ	被害件数	1,113	965	-148	-13.3
	うち65歳以上 (割合%)	21 1.9	22 2.3	1 0.4	4.8 -
逮捕・監禁	被害件数	522	418	-104	-19.9
	うち65歳以上 (割合%)	15 2.9	7 1.7	-8 -1.2	-53.3 -
略取・誘拐	被害件数	199	207	8	4.0
	うち65歳以上 (割合%)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0.0 -

イ 場所別被害の発生状況

平成19年における罪種別に高齢者（男女別）が被害に遭う割合の高い場所についてみると、女性の殺人、強姦、暴行、傷害、脅迫、恐喝、窃盗、詐欺及び強制わいせつについては一戸建住宅、強盗及び公然わいせつについては道路上が高くなっている。また、男性の殺人、脅迫、恐喝、窃盗及び詐欺については一戸建住宅、強盗、暴行、傷害及び公然わいせつについては道路上が高くなっている（図表4-10-(3)-3）。

図表4-10-(3)-3 罪種別・場所別被害発生件数（平成19年）

区分	罪種	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐
		被害総数	女 152	女 262	女 12	女 464	女 601	女 67	女 65	女 44,404	女 6,062	女 30	女 13	女 5
一戸建住宅	女	92	79	8	140	185	40	27	11,120	4,001	14	0	1	0
	男	66	94	0	129	176	57	38	20,580	2,124	0	1	1	0
共同住宅	女	35	22	0	88	97	12	9	3,227	867	3	1	1	0
	男	14	7	0	106	139	15	10	4,505	380	0	0	0	0
学校（幼稚園）	女	0	0	0	0	1	1	0	72	1	0	0	0	0
	男	0	0	0	5	2	3	0	134	1	0	0	0	0
道路上	女	3	104	0	85	148	3	10	10,079	121	6	6	1	0
	男	7	55	0	455	405	17	28	7,946	292	0	5	2	0
駐車（輪）場	女	1	6	0	14	13	3	0	5,270	30	0	1	0	0
	男	1	8	0	54	68	3	19	13,676	51	0	1	0	0
都市公園	女	0	0	0	8	12	0	1	215	3	0	2	0	0
	男	0	0	0	21	28	3	0	303	3	0	0	0	0
空き地	女	0	0	0	1	4	0	0	179	0	0	0	1	0
	男	0	0	0	3	7	0	1	371	2	0	0	0	0
列車内	女	0	0	0	3	2	0	0	181	1	0	0	0	0
	男	0	0	0	11	4	0	0	198	0	0	0	0	0
駅・鉄道施設	女	0	0	0	4	9	0	1	238	10	0	0	0	0
	男	2	1	0	38	24	1	3	191	6	0	0	0	0
その他	女	21	57	4	123	130	8	17	13,823	1,028	7	3	1	0
	男	17	65	0	331	330	38	52	24,285	1,189	0	2	3	0

(裏面)

第 5 資料

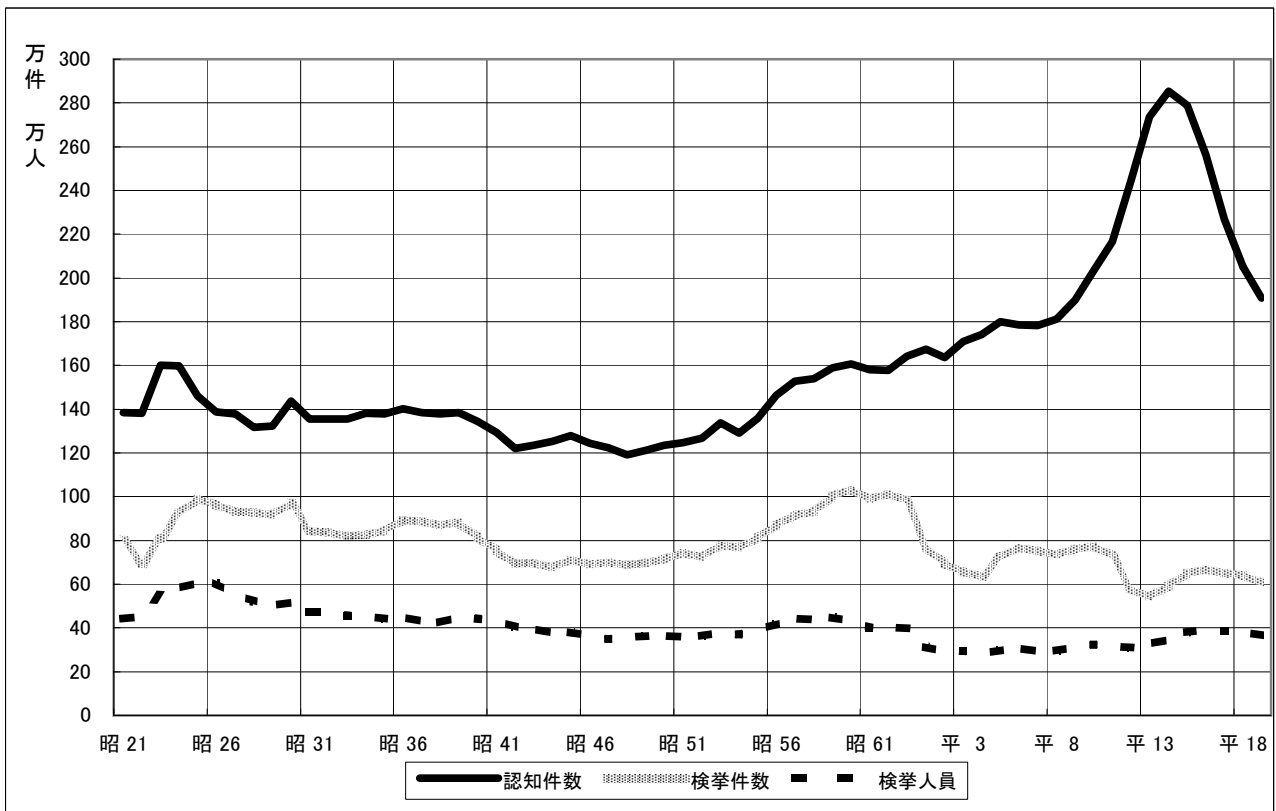
(裏面)

図表 5-1 刑法犯の認知・検挙状況の推移

年次	認知件数(件)	検挙件数(件)	検挙人員(人)
昭 21	1,384,222	800,431	442,579
昭 22	1,382,210	693,845	455,097
昭 23	1,599,968	808,619	546,991
昭 24	1,597,891	920,855	579,897
昭 25	1,461,044	991,107	607,769
昭 26	1,387,289	962,455	606,686
昭 27	1,377,273	931,863	557,521
昭 28	1,317,141	927,012	519,707
昭 29	1,324,333	916,804	503,063
昭 30	1,435,652	968,626	515,480
昭 31	1,354,102	842,660	470,522
昭 32	1,354,429	838,210	471,600
昭 33	1,353,930	818,715	457,212
昭 34	1,382,792	825,511	454,898
昭 35	1,378,817	841,718	442,527
昭 36	1,400,915	892,547	451,586
昭 37	1,384,784	885,465	430,153
昭 38	1,377,476	868,207	425,473
昭 39	1,385,358	885,168	449,842
昭 40	1,343,625	812,996	440,563
昭 41	1,293,877	756,230	433,545
昭 42	1,219,840	692,913	402,738
昭 43	1,234,198	697,407	393,831
昭 44	1,253,950	675,183	377,826
昭 45	1,279,787	710,078	380,850
昭 46	1,244,168	690,027	361,972
昭 47	1,223,546	700,378	348,788
昭 48	1,190,549	688,328	357,738
昭 49	1,211,005	696,536	363,309
昭 50	1,234,307	713,031	364,117

年次	認知件数(件)	検挙件数(件)	検挙人員(人)
昭 51	1,247,631	743,048	359,360
昭 52	1,268,430	723,509	363,144
昭 53	1,336,922	779,697	381,742
昭 54	1,289,405	765,945	368,126
昭 55	1,357,461	811,189	392,113
昭 56	1,463,228	870,513	418,162
昭 57	1,528,779	916,058	441,963
昭 58	1,540,717	929,321	438,705
昭 59	1,588,693	1,002,923	446,617
昭 60	1,607,697	1,032,879	432,250
昭 61	1,581,411	990,650	399,886
昭 62	1,577,954	1,012,076	404,762
昭 63	1,641,310	982,165	398,208
平 元	1,673,268	772,320	312,992
平 2	1,636,628	692,593	293,264
平 3	1,707,877	654,538	296,158
平 4	1,742,366	636,290	284,908
平 5	1,801,150	723,610	297,725
平 6	1,784,432	767,844	307,965
平 7	1,782,944	753,174	293,252
平 8	1,812,119	735,881	295,584
平 9	1,899,564	759,609	313,573
平 10	2,033,546	772,282	324,263
平 11	2,165,626	731,284	315,355
平 12	2,443,470	576,771	309,649
平 13	2,735,612	542,115	325,292
平 14	2,853,739	592,359	347,558
平 15	2,790,136	648,319	379,602
平 16	2,562,767	667,620	389,027
平 17	2,269,293	649,503	386,955
平 18	2,050,850	640,657	384,250
平 19	1,908,836	605,358	365,577

注：道路上の交通事故に係る業務上（重）過失致死傷及び危険運転致死傷（昭和40年以前は、すべての業務上（重）過失致死傷）を除く。



図表5-2 刑法犯の

区分	年次	平10	平11	平12	平13	平14
	人口(10万人)		1,265	1,267	1,269	1,273
刑法犯総数	認知件数	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	2,853,739
	犯罪率	1,607.5	1,709.3	1,925.5	2,148.9	2,240.0
重要犯罪	認知件数	12,725	14,682	18,281	21,530	22,294
	犯罪率	10.1	11.6	14.4	16.9	17.5
重要窃盗犯	認知件数	330,369	367,174	423,281	443,502	478,476
	犯罪率	261.2	289.8	333.6	348.4	375.6
凶悪犯	認知件数	8,253	9,087	10,567	11,967	12,567
	犯罪率	6.5	7.2	8.3	9.4	9.9
殺人	認知件数	1,388	1,265	1,391	1,340	1,396
	犯罪率	1.1	1.0	1.1	1.1	1.1
強盗	認知件数	3,426	4,237	5,173	6,393	6,984
	犯罪率	2.7	3.3	4.1	5.0	5.5
放火	認知件数	1,566	1,728	1,743	2,006	1,830
	犯罪率	1.2	1.4	1.4	1.6	1.4
強姦	認知件数	1,873	1,857	2,260	2,228	2,357
	犯罪率	1.5	1.5	1.8	1.8	1.9
粗暴犯	認知件数	41,751	43,822	64,418	72,801	76,573
	犯罪率	33.0	34.6	50.8	57.2	60.1
うち) 暴行	認知件数	7,367	7,792	13,225	16,928	19,442
	犯罪率	5.8	6.1	10.4	13.3	15.3
うち) 傷害	認知件数	19,476	20,233	30,184	33,965	36,324
	犯罪率	15.4	16.0	23.8	26.7	28.5
うち) 恐喝	認知件数	13,900	14,768	18,926	19,566	18,403
	犯罪率	11.0	11.7	14.9	15.4	14.4
窃盗犯	認知件数	1,789,049	1,910,393	2,131,164	2,340,511	2,377,488
	犯罪率	1,414.3	1,507.8	1,679.4	1,838.6	1,866.2
侵入窃盗	認知件数	237,703	260,981	296,486	303,698	338,294
	犯罪率	187.9	206.0	233.6	238.6	265.5
乗り物盗	認知件数	705,431	694,375	754,939	827,593	775,435
	犯罪率	557.7	548.0	594.9	650.1	608.7
非侵入窃盗	認知件数	845,915	955,037	1,079,739	1,209,220	1,263,759
	犯罪率	668.7	753.8	850.9	949.9	992.0
知能犯	認知件数	59,271	53,528	55,184	53,007	62,751
	犯罪率	46.9	42.2	43.5	41.6	49.3
うち) 詐欺	認知件数	48,279	43,431	44,384	43,104	49,482
	犯罪率	38.2	34.3	35.0	33.9	38.8
風俗犯	認知件数	6,686	7,448	9,801	11,841	12,220
	犯罪率	5.3	5.9	7.7	9.3	9.6
うち) 強制わいせつ	認知件数	4,251	5,346	7,412	9,326	9,476
	犯罪率	3.4	4.2	5.8	7.3	7.4
その他の刑法犯	認知件数	128,536	141,348	172,336	245,485	312,140
	犯罪率	101.6	111.6	135.8	192.8	245.0

注1：犯罪率は、人口10万人当たりの認知件数をいう。

注2：人口は、総務省統計局の推計人口（各年10月1日現在）を四捨五入し、10万人単位にした数値である。

罪種別犯罪率の推移

平15	平16	平17	平18	平19	年次	
					認知件数	区分
					人口 (10万人)	
1,276	1,277	1,278	1,278	1,278		
2,790,136	2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	認知件数	刑法犯総数
2,186.6	2,006.9	1,775.7	1,604.7	1,493.6	犯罪率	
23,971	22,568	20,388	18,649	16,922	認知件数	重要犯罪
18.8	17.7	16.0	14.6	13.2	犯罪率	
469,148	407,929	338,967	282,047	241,425	認知件数	重要窃盗犯
367.7	319.4	265.2	220.7	188.9	犯罪率	
13,658	13,064	11,360	10,124	9,051	認知件数	凶悪犯
10.7	10.2	8.9	7.9	7.1	犯罪率	
1,452	1,419	1,392	1,309	1,199	認知件数	殺人
1.1	1.1	1.1	1.0	0.9	犯罪率	
7,664	7,295	5,988	5,108	4,567	認知件数	強盗
6.0	5.7	4.7	4.0	3.6	犯罪率	
2,070	2,174	1,904	1,759	1,519	認知件数	放火
1.6	1.7	1.5	1.4	1.2	犯罪率	
2,472	2,176	2,076	1,948	1,766	認知件数	強姦
1.9	1.7	1.6	1.5	1.4	犯罪率	
78,759	76,616	73,772	76,303	72,908	認知件数	粗暴犯
61.7	60.0	57.7	59.7	57.0	犯罪率	
21,937	23,691	25,815	31,002	31,966	認知件数	うち) 暴行
17.2	18.6	20.2	24.3	25.0	犯罪率	
36,568	35,937	34,484	33,987	30,986	認知件数	うち) 傷害
28.7	28.1	27.0	26.6	24.2	犯罪率	
17,595	14,424	10,978	8,636	7,384	認知件数	うち) 恐喝
13.8	11.3	8.6	6.8	5.8	犯罪率	
2,235,844	1,981,574	1,725,072	1,534,528	1,429,956	認知件数	窃盗犯
1,752.2	1,551.7	1,349.8	1,200.7	1,118.9	犯罪率	
333,233	290,595	244,776	205,463	175,728	認知件数	侵入窃盗
261.2	227.6	191.5	160.8	137.5	犯罪率	
695,791	629,722	556,987	517,815	510,162	認知件数	乗り物盗
545.3	493.1	435.8	405.2	399.2	犯罪率	
1,206,820	1,061,257	923,309	811,250	744,066	認知件数	非侵入窃盗
945.8	831.1	722.5	634.8	582.2	犯罪率	
74,754	99,258	97,500	84,271	75,999	認知件数	知能犯
58.6	77.7	76.3	65.9	59.5	犯罪率	
60,298	83,015	85,596	74,632	67,787	認知件数	うち) 詐欺
47.3	65.0	67.0	58.4	53.0	犯罪率	
13,034	12,346	12,085	11,932	11,184	認知件数	風俗犯
10.2	9.7	9.5	9.3	8.8	犯罪率	
10,029	9,184	8,751	8,326	7,664	認知件数	うち) 強制わいせつ
7.9	7.2	6.8	6.5	6.0	犯罪率	
374,087	379,909	349,504	333,692	309,738	認知件数	その他の刑法犯
293.2	297.5	273.5	261.1	242.4	犯罪率	

図表 5-3 刑法犯の都道府県別

年次	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15
都道府県						
認知件数(件)	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	2,853,739	2,790,136
北海道	82,688	81,820	86,786	92,832	94,091	93,863
札幌	52,417	53,208	59,084	63,359	63,792	62,143
函館	6,726	6,257	6,337	6,921	6,617	7,717
旭川	10,471	9,842	9,518	9,617	10,637	10,817
釧路	9,135	8,843	8,530	9,425	9,312	9,564
北見	3,939	3,670	3,317	3,510	3,733	3,622
東北管区	113,628	116,770	129,958	142,929	145,801	135,031
青森	10,755	12,941	16,730	17,051	19,202	18,940
岩手	14,997	13,610	13,865	15,125	15,011	13,686
宮城	38,821	42,820	47,207	49,887	49,261	43,376
秋田	12,201	11,419	12,159	12,768	11,978	10,616
山形	11,151	11,749	12,171	13,029	14,331	12,852
福島	25,703	24,231	27,826	35,069	36,018	35,561
東京	251,180	268,006	291,371	292,579	301,913	299,406
関東管区	605,107	650,000	724,467	786,208	831,091	819,702
茨城	41,168	44,356	52,110	60,681	67,672	64,844
栃木	28,620	31,996	33,819	36,321	39,061	40,469
群馬	29,657	29,744	28,822	32,544	39,803	40,753
埼玉	131,984	142,972	156,842	170,963	177,762	179,276
千葉	122,549	136,521	152,516	164,721	168,366	164,278
神奈川	134,613	143,134	169,968	179,692	190,173	186,290
新潟	24,530	25,827	25,309	33,205	35,947	35,413
山梨	9,335	9,978	12,533	13,761	15,245	14,130
長野	28,173	29,252	32,110	34,764	34,054	31,974
静岡	54,478	56,220	60,438	59,556	63,008	62,275
中部管区	209,203	247,302	276,653	323,682	342,534	361,021
富山	10,841	11,154	12,005	17,660	16,311	15,501
石川	10,304	11,376	12,804	16,805	16,666	17,770
福井	9,542	9,666	10,886	11,671	13,884	12,501
岐阜	28,068	33,266	39,177	48,088	51,956	46,956
愛知	129,383	158,791	176,119	190,212	196,117	225,706
三重	21,065	23,049	25,662	39,246	47,600	42,587
近畿管区	384,956	393,293	473,887	606,204	617,794	578,761
滋賀	22,405	22,907	26,288	31,258	32,183	27,801
京都	49,637	49,176	54,078	63,051	65,082	63,291
大阪	196,383	200,102	252,367	327,262	300,429	285,307
兵庫	75,166	78,857	94,150	129,197	164,445	153,080
奈良	20,063	20,477	25,043	31,163	32,017	28,018
和歌山	21,302	21,774	21,961	24,273	23,638	21,264
中国管区	107,967	115,581	121,984	138,510	147,661	139,054
鳥取	6,348	6,509	6,682	7,468	8,215	9,302
島根	7,508	6,915	7,533	8,695	9,055	9,217
岡山	28,174	30,135	31,883	37,678	45,386	43,423
広島	48,185	53,388	52,827	59,352	59,330	53,512
山口	17,752	18,634	23,059	25,317	25,675	23,600
四国管区	52,882	53,792	61,257	66,853	69,314	75,122
徳島	8,296	8,846	10,717	11,181	11,432	12,369
香川	10,002	12,047	13,412	15,744	19,475	22,185
愛媛	22,530	21,386	24,407	26,987	25,599	27,380
高知	12,054	11,513	12,721	12,941	12,808	13,188
九州管区	225,935	239,062	277,107	285,815	303,540	288,176
福岡	124,071	133,238	153,630	157,749	168,190	154,834
佐賀	7,304	7,960	11,025	12,391	13,222	14,351
長崎	10,420	11,917	13,493	14,097	13,952	14,454
熊本	21,824	21,814	26,874	27,034	28,684	28,973
大分	12,248	13,292	15,202	15,625	17,158	17,362
宮崎	13,881	14,586	15,905	15,588	17,703	16,389
鹿児島	19,379	17,677	19,487	19,905	18,990	18,899
沖縄	16,808	18,578	21,491	23,426	25,641	22,914

認知件数の推移

平 16	平17	平 18	平 19	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	-142,014	-6.9	認知件数(件)
88,249	73,071	65,417	60,880	-4,537	-6.9	北海道
59,413	49,839	44,834	42,133	-2,701	-6.0	札幌
7,920	6,115	5,457	5,556	99	1.8	函館
9,042	7,567	6,304	5,860	-444	-7.0	旭川
8,912	6,740	6,364	5,379	-985	-15.5	釧路
2,962	2,810	2,458	1,952	-506	-20.6	北見
120,581	102,900	93,986	85,364	-8,622	-9.2	東北管区
17,360	14,769	13,018	11,784	-1,234	-9.5	青森
12,885	11,289	10,090	9,102	-988	-9.8	岩手
40,211	33,357	31,698	29,216	-2,482	-7.8	宮城
9,565	8,604	7,571	6,699	-872	-11.5	秋田
11,423	10,352	9,214	8,708	-506	-5.5	山形
29,137	24,529	22,395	19,855	-2,540	-11.3	福島
283,326	253,912	244,611	228,805	-15,806	-6.5	関東管区
782,924	673,226	596,152	548,734	-47,418	-8.0	茨城
55,633	52,266	47,183	46,087	-1,096	-2.3	栃木
37,943	33,380	33,059	30,358	-2,701	-8.2	群馬
42,643	35,453	32,060	27,769	-4,291	-13.4	埼玉
181,350	157,047	136,651	126,453	-10,198	-7.5	千葉
147,587	131,037	115,700	105,185	-10,515	-9.1	神奈川
183,148	142,920	122,703	112,529	-10,174	-8.3	新潟
31,391	28,174	26,126	25,024	-1,102	-4.2	山梨
12,967	10,683	9,547	8,435	-1,112	-11.6	長野
29,822	26,753	22,902	21,422	-1,480	-6.5	静岡
60,440	55,513	50,221	45,472	-4,749	-9.5	中部管区
328,699	306,274	249,659	229,674	-19,985	-8.0	富山
14,206	13,168	11,364	10,648	-716	-6.3	石川
14,648	12,739	12,524	10,669	-1,855	-14.8	福井
10,060	8,324	7,422	7,193	-229	-3.1	岐阜
43,160	38,649	32,864	31,252	-1,612	-4.9	愛知
208,170	198,937	157,382	143,948	-13,434	-8.5	三重
38,455	34,457	28,103	25,964	-2,139	-7.6	近畿管区
520,896	485,308	453,593	426,640	-26,953	-5.9	滋賀
23,841	18,750	17,969	16,553	-1,416	-7.9	京都
63,593	57,586	54,932	52,960	-1,972	-3.6	大阪
255,697	249,511	232,451	216,303	-16,148	-6.9	兵庫
135,119	121,539	113,320	107,378	-5,942	-5.2	奈良
23,942	21,365	18,895	18,299	-596	-3.2	和歌山
18,704	16,557	16,026	15,147	-879	-5.5	中国管区
119,383	101,354	96,602	89,411	-7,191	-7.4	鳥取
8,688	7,382	6,838	6,261	-577	-8.4	島根
8,864	7,586	6,782	6,001	-781	-11.5	岡山
37,195	32,102	31,632	29,257	-2,375	-7.5	広島
44,325	36,938	35,022	32,696	-2,326	-6.6	山口
20,311	17,346	16,328	15,196	-1,132	-6.9	四国管区
69,488	61,117	53,704	51,319	-2,385	-4.4	徳島
10,552	9,655	9,111	8,518	-593	-6.5	香川
20,800	16,997	14,640	13,010	-1,630	-11.1	愛媛
24,654	22,167	19,001	18,626	-375	-2.0	高知
13,482	12,298	10,952	11,165	213	1.9	九州管区
249,221	212,131	197,126	188,009	-9,117	-4.6	福岡
128,545	106,805	102,101	95,207	-6,894	-6.8	佐賀
13,033	11,040	9,660	10,112	452	4.7	長崎
13,911	12,833	11,148	10,730	-418	-3.7	熊本
25,628	22,191	20,054	19,553	-501	-2.5	大分
15,482	13,035	11,823	11,567	-256	-2.2	宮崎
13,610	12,030	11,352	11,498	146	1.3	鹿児島
17,128	14,934	13,565	13,625	60	0.4	沖縄
21,884	19,263	17,423	15,717	-1,706	-9.8	

図表5-4 刑法犯の都道府県別

年次	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15
都道府県						
検挙件数(件)	772,282	731,284	576,771	542,115	592,359	648,319
北海道	17,407	14,287	13,927	13,369	14,612	17,909
札幌	10,088	8,066	8,253	8,228	9,138	11,181
函館	1,416	1,284	994	1,268	1,207	1,561
旭川	2,967	2,320	2,103	1,663	1,962	2,077
釧路	1,892	1,799	1,902	1,364	1,594	2,025
北見	1,044	818	675	846	711	1,065
東北管区	49,894	44,749	35,915	36,609	40,534	43,432
青森	7,656	5,819	4,368	4,226	5,398	5,855
岩手	4,216	4,414	3,553	3,562	4,265	4,495
宮城	10,030	9,871	9,045	10,081	10,412	11,976
秋田	5,599	4,941	5,068	4,720	4,600	4,869
山形	7,216	5,597	4,485	4,152	4,808	5,130
福島	15,177	14,107	9,396	9,868	11,051	11,107
東京	87,184	87,021	76,585	75,288	75,952	85,995
関東管区	223,597	216,317	155,527	147,948	157,464	170,652
茨城	22,224	17,046	11,289	11,870	13,864	13,977
栃木	11,998	10,658	8,304	6,332	7,603	9,355
群馬	12,215	12,526	10,267	9,256	9,909	10,054
埼玉	28,478	26,839	26,239	25,019	22,735	25,788
千葉	31,134	31,833	24,462	24,131	29,908	33,458
神奈川	68,758	70,269	41,611	37,531	36,537	40,019
新潟	14,000	13,191	10,400	9,693	10,123	10,096
山梨	4,185	3,982	2,679	2,033	2,667	3,245
長野	12,503	11,412	7,604	7,239	8,533	8,748
静岡	18,102	18,561	12,672	14,844	15,585	15,912
中部管区	90,289	84,249	56,722	55,510	81,883	80,140
富山	5,854	4,636	3,577	3,845	4,650	4,829
石川	5,650	5,373	3,647	3,939	8,296	6,667
福井	6,454	5,304	4,308	3,500	4,191	4,369
岐阜	11,356	10,290	6,617	6,548	8,089	9,446
愛知	50,691	47,130	30,932	30,398	48,600	46,468
三重	10,284	11,516	7,641	7,280	8,057	8,361
近畿管区	141,252	127,518	101,872	91,039	93,386	106,410
滋賀	7,018	5,612	5,536	5,629	6,228	8,191
京都	16,592	14,882	13,774	13,766	12,811	15,908
大阪	65,291	54,390	41,255	37,497	39,100	42,137
兵庫	30,556	31,581	25,844	21,799	23,803	25,973
奈良	10,567	10,153	9,873	7,902	6,844	9,253
和歌山	11,228	10,900	5,590	4,446	4,600	4,948
中国管区	51,420	46,596	43,809	37,631	40,844	41,564
鳥取	4,146	3,970	3,642	2,889	3,598	4,541
島根	4,451	3,767	3,376	3,166	3,246	3,506
岡山	11,435	11,550	10,413	10,572	9,515	9,710
広島	23,305	19,742	17,956	13,251	13,424	13,525
山口	8,083	7,567	8,422	7,753	11,061	10,282
四国管区	24,792	25,574	23,918	21,187	20,065	21,543
徳島	4,754	4,769	4,666	5,155	4,413	5,084
香川	5,147	5,882	4,808	4,385	4,906	5,415
愛媛	7,138	7,452	7,010	6,381	6,278	6,694
高知	7,753	7,471	7,434	5,266	4,468	4,350
九州管区	86,447	84,973	68,496	63,534	67,619	80,674
福岡	37,815	37,560	27,234	24,259	27,197	37,121
佐賀	3,639	3,363	3,194	3,960	4,066	4,176
長崎	6,896	6,277	5,912	5,837	6,377	6,896
熊本	11,691	10,891	9,692	9,003	8,884	9,546
大分	4,355	4,861	4,103	3,825	4,866	5,483
宮崎	5,719	5,539	4,744	4,757	3,954	4,606
鹿児島	9,032	8,493	7,391	6,625	7,581	6,619
沖縄	7,300	7,989	6,226	5,268	4,694	6,227

検挙件数の推移

平 16	平17	平 18	平 19	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
667,620	649,503	640,657	605,358	-35,299	-5.5	検挙件数(件)
21,213	22,257	23,036	22,657	-379	-1.6	北海道
14,041	15,101	16,094	15,917	-177	-1.1	札幌
2,086	1,564	1,630	1,808	178	10.9	函館
2,244	3,029	2,163	2,057	-106	-4.9	旭川
1,939	1,789	2,294	1,885	-409	-17.8	釧路
903	774	855	990	135	15.8	北見
38,726	36,939	34,284	31,668	-2,616	-7.6	東北管区
5,235	5,029	4,393	4,080	-313	-7.1	青森
4,452	4,306	4,195	3,754	-441	-10.5	岩手
10,516	9,819	9,410	8,731	-679	-7.2	宮城
4,589	4,162	4,071	3,817	-254	-6.2	秋田
4,125	5,069	4,024	3,890	-134	-3.3	山形
9,809	8,554	8,191	7,396	-795	-9.7	福島
89,252	86,444	89,549	79,277	-10,272	-11.5	東京
189,826	188,264	193,509	186,541	-6,968	-3.6	関東管区
16,662	15,967	17,031	18,824	1,793	10.5	茨城
10,268	9,065	9,258	10,001	743	8.0	栃木
14,067	11,052	10,829	10,472	-357	-3.3	群馬
32,413	31,161	34,060	32,550	-1,510	-4.4	埼玉
32,902	35,528	38,122	34,911	-3,211	-8.4	千葉
46,458	47,286	47,342	44,747	-2,595	-5.5	神奈川
9,127	8,146	8,183	8,298	115	1.4	新潟
3,062	4,472	3,931	3,500	-431	-11.0	山梨
8,970	8,490	9,669	9,319	-350	-3.6	長野
15,897	17,097	15,084	13,919	-1,165	-7.7	静岡
76,286	74,913	64,962	57,174	-7,788	-12.0	中部管区
4,085	3,802	3,573	3,021	-552	-15.4	富山
6,406	5,272	5,208	4,406	-802	-15.4	石川
3,520	4,388	3,546	3,291	-255	-7.2	福井
8,284	9,636	9,236	9,249	13	0.1	岐阜
45,095	42,313	32,166	29,043	-3,123	-9.7	愛知
8,896	9,502	11,233	8,164	-3,069	-27.3	三重
105,720	106,802	102,594	100,692	-1,902	-1.9	近畿管区
7,565	8,153	6,484	6,715	231	3.6	滋賀
16,089	15,385	14,978	14,073	-905	-6.0	京都
41,341	41,290	39,192	38,079	-1,113	-2.8	大阪
28,817	28,846	29,238	28,457	-781	-2.7	兵庫
7,802	9,022	8,805	8,475	-330	-3.7	奈良
4,106	4,106	3,897	4,893	996	25.6	和歌山
39,438	37,386	35,360	34,370	-990	-2.8	中国管区
3,574	3,437	3,862	3,203	-659	-17.1	鳥取
3,166	3,652	3,305	3,006	-299	-9.0	島根
9,713	9,361	9,525	8,136	-1,389	-14.6	岡山
14,568	12,279	11,350	13,006	1,656	14.6	広島
8,417	8,657	7,318	7,019	-299	-4.1	山口
20,703	21,134	20,918	18,624	-2,294	-11.0	四国管区
3,899	4,411	3,843	3,506	-337	-8.8	徳島
5,791	4,934	5,193	4,948	-245	-4.7	香川
7,150	8,008	7,977	6,681	-1,296	-16.2	愛媛
3,863	3,781	3,905	3,489	-416	-10.7	高知
86,456	75,364	76,445	74,355	-2,090	-2.7	九州管区
40,152	34,059	35,372	34,774	-598	-1.7	福岡
4,137	4,216	4,636	4,079	-557	-12.0	佐賀
8,465	5,861	6,125	5,978	-147	-2.4	長崎
11,731	8,944	7,641	8,256	615	8.0	熊本
5,716	4,911	5,114	4,028	-1,086	-21.2	大分
4,412	4,568	5,359	4,750	-609	-11.4	宮崎
6,083	6,130	5,400	5,282	-118	-2.2	鹿児島
5,760	6,675	6,798	7,208	410	6.0	沖縄

図表5-5 刑法犯の都道府県別

年次 都道府県	平10	平11	平12	平13	平14	平15
検挙人員(人)	324,263	315,355	309,649	325,292	347,558	379,602
北海道	10,876	9,287	10,119	10,302	10,801	12,484
札幌	7,068	5,952	6,428	6,563	7,112	8,323
函館	860	739	738	811	826	993
旭川	1,315	1,164	1,342	1,268	1,234	1,328
釧路	1,034	920	1,079	1,026	1,083	1,210
北見	599	512	532	634	546	630
東北管区	21,744	20,361	20,372	22,092	25,636	26,731
青森	2,867	2,658	2,391	2,979	3,649	4,005
岩手	2,706	2,453	2,197	2,377	2,923	2,910
宮城	5,602	5,059	5,444	6,127	7,214	7,772
秋田	2,705	2,785	2,462	2,874	2,837	2,758
山形	2,704	2,438	2,828	2,540	2,941	2,958
福島	5,160	4,968	5,050	5,195	6,072	6,328
東京	47,630	47,957	46,562	47,026	47,828	54,280
関東管区	80,770	79,027	80,034	83,177	88,294	96,636
茨城	5,966	5,750	5,613	5,957	5,630	5,960
栃木	3,746	3,555	3,596	3,773	4,332	5,114
群馬	4,180	3,790	4,079	4,113	4,568	4,756
埼玉	11,358	11,187	12,767	14,017	14,438	15,631
千葉	11,000	11,493	11,223	12,210	13,652	15,411
神奈川	25,664	24,102	22,737	22,411	23,928	26,576
新潟	5,806	5,474	5,306	5,337	5,566	5,550
山梨	1,252	1,348	1,390	1,469	1,743	1,968
長野	4,705	4,828	4,788	4,522	5,133	5,403
静岡	7,093	7,500	8,535	9,368	9,304	10,267
中部管区	26,392	26,244	25,906	29,152	33,566	34,389
富山	2,414	2,553	2,487	2,878	3,052	3,076
石川	1,827	2,020	2,013	2,284	2,906	2,994
福井	1,954	1,703	1,999	2,043	2,415	2,438
岐阜	3,408	3,134	3,419	3,661	5,165	5,199
愛知	12,928	13,502	12,854	14,532	15,825	16,344
三重	3,861	3,332	3,134	3,754	4,203	4,338
近畿管区	66,970	65,798	59,594	63,293	66,169	69,678
滋賀	2,160	1,704	2,112	2,669	3,133	3,231
京都	9,401	8,533	7,512	8,636	8,333	8,667
大阪	32,858	33,600	29,605	31,015	31,235	33,456
兵庫	17,454	17,014	15,354	15,800	17,590	17,560
奈良	2,800	2,818	2,960	3,022	3,455	3,710
和歌山	2,297	2,129	2,051	2,151	2,423	3,054
中国管区	23,649	22,283	22,582	22,812	23,669	24,941
鳥取	1,938	1,957	1,910	2,167	2,071	2,390
島根	1,864	1,606	1,778	1,620	1,735	1,813
岡山	5,887	5,496	5,973	6,406	6,309	7,196
広島	9,346	8,657	8,482	8,179	8,519	8,500
山口	4,614	4,567	4,439	4,440	5,035	5,042
四国管区	10,952	10,451	10,347	10,783	11,562	12,519
徳島	2,024	1,784	1,939	2,063	2,218	2,454
香川	2,790	2,696	2,591	2,664	2,954	3,387
愛媛	3,634	3,633	3,795	3,919	3,982	4,105
高知	2,504	2,338	2,022	2,137	2,408	2,573
九州管区	35,280	33,947	34,133	36,655	40,033	47,944
福岡	15,571	15,097	13,570	14,221	16,407	22,838
佐賀	1,924	1,798	1,969	2,325	2,118	2,243
長崎	3,319	3,124	3,418	3,727	3,886	3,907
熊本	4,180	3,688	3,823	4,391	4,598	4,963
大分	2,470	2,331	2,677	2,640	2,936	3,378
宮崎	1,898	2,032	2,292	2,340	2,489	2,724
鹿児島	3,590	3,405	3,779	3,667	3,765	3,836
沖縄	2,328	2,472	2,605	3,344	3,834	4,055

検挙人員の推移

平16	平17	平18	平 19	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
389,027	386,955	384,250	365,577	-18,673	-4.9	検挙人員(人)
14,383	13,197	13,485	13,888	403	3.0	北海道
9,590	8,577	9,012	9,401	389	4.3	札幌
1,300	1,210	1,075	1,115	40	3.7	函館
1,394	1,426	1,469	1,611	142	9.7	旭川
1,449	1,280	1,357	1,334	-23	-1.7	釧路
650	704	572	427	-145	-25.3	北見
24,975	22,934	21,499	19,932	-1,567	-7.3	東北管区
3,537	3,248	3,242	3,087	-155	-4.8	青森
2,886	2,631	2,677	2,453	-224	-8.4	岩手
7,413	6,341	5,585	5,168	-417	-7.5	宮城
2,652	2,336	2,287	1,996	-291	-12.7	秋田
2,635	2,887	2,542	2,356	-186	-7.3	山形
5,852	5,491	5,166	4,872	-294	-5.7	福島
57,612	58,837	58,775	53,702	-5,073	-8.6	東京
103,931	107,113	109,554	103,526	-6,028	-5.5	関東管区
6,957	6,835	6,622	6,892	270	4.1	茨城
5,680	5,910	5,447	5,520	73	1.3	栃木
4,870	4,684	4,144	4,282	138	3.3	群馬
18,433	19,589	20,255	19,307	-948	-4.7	埼玉
16,308	17,230	19,895	17,604	-2,291	-11.5	千葉
28,817	30,365	31,447	28,841	-2,606	-8.3	神奈川
5,739	5,758	5,712	5,642	-70	-1.2	新潟
1,934	2,547	2,047	2,060	13	0.6	山梨
5,125	4,811	4,947	4,867	-80	-1.6	長野
10,068	9,384	9,038	8,511	-527	-5.8	静岡
35,756	33,449	35,945	33,672	-2,273	-6.3	中部管区
2,791	2,612	2,432	2,046	-386	-15.9	富山
2,964	2,892	2,957	2,403	-554	-18.7	石川
1,965	1,823	1,670	1,603	-67	-4.0	福井
5,449	4,875	4,751	4,529	-222	-4.7	岐阜
18,058	16,857	19,946	19,201	-745	-3.7	愛知
4,529	4,390	4,189	3,890	-299	-7.1	三重
69,537	70,851	68,971	67,886	-1,085	-1.6	近畿管区
3,152	2,988	2,639	2,517	-122	-4.6	滋賀
9,784	10,178	9,941	9,550	-391	-3.9	京都
32,201	31,919	30,531	30,113	-418	-1.4	大阪
17,743	19,179	19,037	19,335	298	1.6	兵庫
3,439	3,711	3,793	3,474	-319	-8.4	奈良
3,218	2,876	3,030	2,897	-133	-4.4	和歌山
23,614	22,914	21,641	20,900	-741	-3.4	中国管区
2,081	1,988	1,734	1,572	-162	-9.3	鳥取
1,894	1,821	1,610	1,418	-192	-11.9	島根
6,476	6,567	6,123	5,420	-703	-11.5	岡山
8,586	8,079	7,856	8,179	323	4.1	広島
4,577	4,459	4,318	4,311	-7	-0.2	山口
12,648	11,931	11,125	10,880	-245	-2.2	四国管区
2,275	2,076	2,036	2,027	-9	-0.4	徳島
3,456	3,203	3,171	3,000	-171	-5.4	香川
4,225	3,974	3,732	3,660	-72	-1.9	愛媛
2,692	2,678	2,186	2,193	7	0.3	高知
46,571	45,729	43,255	41,191	-2,064	-4.8	九州管区
21,912	20,866	19,712	18,898	-814	-4.1	福岡
2,200	2,059	1,762	2,079	317	18.0	佐賀
3,894	4,106	3,676	3,753	77	2.1	長崎
4,812	4,872	4,711	4,234	-477	-10.1	熊本
3,517	2,897	2,730	2,175	-555	-20.3	大分
2,691	2,787	3,142	2,868	-274	-8.7	宮崎
3,569	3,796	3,334	3,224	-110	-3.3	鹿児島
3,976	4,346	4,188	3,960	-228	-5.4	沖縄

図表 5 - 6 刑法犯の包括罪種別

区分		年次	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15
刑法犯	認知件数(件)	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	2,853,739	2,790,136	
	検挙件数(件)	772,282	731,284	576,771	542,115	592,359	648,319	
	検挙人員(人)	324,263	315,355	309,649	325,292	347,558	379,602	
凶悪犯	認知件数	8,253	9,087	10,567	11,967	12,567	13,658	
	検挙件数	6,991	6,859	7,175	7,320	7,604	8,238	
	検挙人員	6,949	7,217	7,488	7,490	7,726	8,362	
粗暴犯	認知件数	41,751	43,822	64,418	72,801	76,573	78,759	
	検挙件数	29,638	28,488	39,211	39,924	40,425	42,296	
	検挙人員	39,755	37,874	50,419	50,428	49,615	49,530	
窃盗犯	認知件数	1,789,049	1,910,393	2,131,164	2,340,511	2,377,488	2,235,844	
	検挙件数	597,283	561,148	407,246	367,643	403,872	433,918	
	検挙人員	181,329	172,147	162,610	168,919	180,725	191,403	
知能犯	認知件数	59,271	53,528	55,184	53,007	62,751	74,754	
	検挙件数	55,118	47,827	44,322	37,800	39,884	40,574	
	検挙人員	11,286	10,562	11,341	11,539	13,173	13,653	
風俗犯	認知件数	6,686	7,448	9,801	11,841	12,220	13,034	
	検挙件数	5,899	5,438	5,809	6,066	5,633	6,165	
	検挙人員	7,239	6,110	6,112	6,166	5,912	5,886	
その他	認知件数	128,536	141,348	172,336	245,485	312,140	374,087	
	検挙件数	77,353	81,524	73,008	83,362	94,941	117,128	
	検挙人員	77,705	81,445	71,679	80,750	90,407	110,768	

図表 5 - 7 凶悪犯の罪種別

区分		年次	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15
凶悪犯	認知件数(件)	8,253	9,087	10,567	11,967	12,567	13,658	
	検挙件数(件)	6,991	6,859	7,175	7,320	7,604	8,238	
	検挙人員(人)	6,949	7,217	7,488	7,490	7,726	8,362	
殺人	認知件数	1,388	1,265	1,391	1,340	1,396	1,452	
	検挙件数	1,356	1,219	1,322	1,261	1,336	1,366	
	検挙人員	1,365	1,313	1,416	1,334	1,405	1,456	
強盗	認知件数	3,426	4,237	5,173	6,393	6,984	7,664	
	検挙件数	2,614	2,813	2,941	3,115	3,566	3,855	
	検挙人員	3,379	3,762	3,797	4,096	4,151	4,698	
放火	認知件数	1,566	1,728	1,743	2,006	1,830	2,070	
	検挙件数	1,369	1,458	1,372	1,540	1,234	1,448	
	検挙人員	693	750	789	783	815	866	
強姦	認知件数	1,873	1,857	2,260	2,228	2,357	2,472	
	検挙件数	1,652	1,369	1,540	1,404	1,468	1,569	
	検挙人員	1,512	1,392	1,486	1,277	1,355	1,342	

認知・検挙状況の推移

平 16	平17	平 18	平 19	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
2,562,767	2,269,293	2,050,850	1,908,836	-142,014	-6.9	認知件数(件)	刑法犯
667,620	649,503	640,657	605,358	-35,299	-5.5	検挙件数(件)	
389,027	386,955	384,250	365,577	-18,673	-4.9	検挙人員(人)	
13,064	11,360	10,124	9,051	-1,073	-10.6	認知件数	凶悪犯
7,924	7,418	7,125	6,461	-664	-9.3	検挙件数	
7,519	7,047	6,459	5,923	-536	-8.3	検挙人員	
76,616	73,772	76,303	72,908	-3,395	-4.4	認知件数	粗暴犯
41,128	44,037	49,409	49,656	247	0.5	検挙件数	
46,801	49,156	54,505	54,163	-342	-0.6	検挙人員	
1,981,574	1,725,072	1,534,528	1,429,956	-104,572	-6.8	認知件数	窃盗犯
447,950	429,038	416,281	395,243	-21,038	-5.1	検挙件数	
195,151	194,119	187,654	180,446	-7,208	-3.8	検挙人員	
99,258	97,500	84,271	75,999	-8,272	-9.8	認知件数	知能犯
36,299	38,151	37,296	33,878	-3,418	-9.2	検挙件数	
14,850	15,053	15,760	15,264	-496	-3.1	検挙人員	
12,346	12,085	11,932	11,184	-748	-6.3	認知件数	風俗犯
6,070	6,422	6,752	6,462	-290	-4.3	検挙件数	
5,688	6,373	6,261	6,279	18	0.3	検挙人員	
379,909	349,504	333,692	309,738	-23,954	-7.2	認知件数	その他
128,249	124,437	123,794	113,658	-10,136	-8.2	検挙件数	
119,018	115,207	113,611	103,502	-10,109	-8.9	検挙人員	

認知・検挙状況の推移

平 16	平17	平 18	平 19	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
13,064	11,360	10,124	9,051	-1,073	-10.6	認知件数(件)	凶悪犯
7,924	7,418	7,125	6,461	-664	-9.3	検挙件数(件)	
7,519	7,047	6,459	5,923	-536	-8.3	検挙人員(人)	
1,419	1,392	1,309	1,199	-110	-8.4	認知件数	殺人
1,342	1,345	1,267	1,157	-110	-8.7	検挙件数	
1,391	1,338	1,241	1,161	-80	-6.4	検挙人員	
7,295	5,988	5,108	4,567	-541	-10.6	認知件数	強盗
3,666	3,269	3,061	2,790	-271	-8.9	検挙件数	
4,154	3,844	3,335	2,985	-350	-10.5	検挙人員	
2,174	1,904	1,759	1,519	-240	-13.6	認知件数	放火
1,513	1,361	1,337	1,120	-217	-16.2	検挙件数	
867	791	825	764	-61	-7.4	検挙人員	
2,176	2,076	1,948	1,766	-182	-9.3	認知件数	強姦
1,403	1,443	1,460	1,394	-66	-4.5	検挙件数	
1,107	1,074	1,058	1,013	-45	-4.3	検挙人員	

図表 5 - 8 粗暴犯の罪種別

区分		年次	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15
粗暴犯	認知件数(件)	41,751	43,822	64,418	72,801	76,573	78,759	
	検挙件数(件)	29,638	28,488	39,211	39,924	40,425	42,296	
	検挙人員(人)	39,755	37,874	50,419	50,428	49,615	49,530	
凶器準備集合	認知件数	37	34	36	42	30	34	
	検挙件数	36	33	36	43	30	29	
	検挙人員	193	180	222	497	283	419	
暴行	認知件数	7,367	7,792	13,225	16,928	19,442	21,937	
	検挙件数	5,035	4,751	7,195	7,852	8,348	9,539	
	検挙人員	5,885	5,505	8,119	8,636	9,132	10,124	
傷害	認知件数	19,476	20,233	30,184	33,965	36,324	36,568	
	検挙件数	15,892	15,644	21,731	22,544	23,453	23,659	
	検挙人員	22,795	21,952	29,359	29,584	29,862	28,999	
脅迫	認知件数	971	995	2,047	2,300	2,374	2,625	
	検挙件数	910	869	1,524	1,590	1,572	1,567	
	検挙人員	961	896	1,458	1,525	1,527	1,457	
恐喝	認知件数	13,900	14,768	18,926	19,566	18,403	17,595	
	検挙件数	7,765	7,191	8,725	7,895	7,022	7,502	
	検挙人員	9,921	9,341	11,261	10,186	8,811	8,531	

図表 5 - 9 窃盗犯の

区分		年次	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15
窃盗犯	認知件数(件)	1,789,049	1,910,393	2,131,164	2,340,511	2,377,488	2,235,844	
	検挙件数(件)	597,283	561,148	407,246	367,643	403,872	433,918	
	検挙人員(人)	181,329	172,147	162,610	168,919	180,725	191,403	
侵入窃盗	認知件数	237,703	260,981	296,486	303,698	338,294	333,233	
	検挙件数	165,818	152,984	109,128	89,456	98,335	109,920	
	検挙人員	15,480	15,234	13,651	13,712	13,696	14,208	
乗り物盗	認知件数	705,431	694,375	754,939	827,593	775,435	695,791	
	検挙件数	121,075	108,657	69,698	65,435	57,928	56,867	
	検挙人員	50,426	48,672	39,469	39,813	39,589	41,265	
非侵入窃盗	認知件数	845,915	955,037	1,079,739	1,209,220	1,263,759	1,206,820	
	検挙件数	310,390	299,507	228,420	212,752	247,609	267,131	
	検挙人員	115,423	108,241	109,490	115,394	127,440	135,930	

認知・検挙状況の推移

平 16	平17	平 18	平 19	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
76,616	73,772	76,303	72,908	-3,395	-4.4	認知件数(件)	粗暴犯
41,128	44,037	49,409	49,656	247	0.5	検挙件数(件)	
46,801	49,156	54,505	54,163	-342	-0.6	検挙人員(人)	
27	16	20	19	-1	-5.0	認知件数	凶器準備集合
28	16	20	20	0	0.0	検挙件数	
279	95	155	159	4	2.6	検挙人員	
23,691	25,815	31,002	31,966	964	3.1	認知件数	暴行
10,666	13,703	19,405	21,463	2,058	10.6	検挙件数	
11,002	13,970	19,802	21,808	2,006	10.1	検挙人員	
35,937	34,484	33,987	30,986	-3,001	-8.8	認知件数	傷害
22,938	23,304	23,331	22,062	-1,269	-5.4	検挙件数	
27,069	27,130	27,075	25,458	-1,617	-6.0	検挙人員	
2,537	2,479	2,658	2,553	-105	-4.0	認知件数	脅迫
1,581	1,638	1,812	1,869	57	3.1	検挙件数	
1,388	1,522	1,693	1,684	-9	-0.5	検挙人員	
14,424	10,978	8,636	7,384	-1,252	-14.5	認知件数	恐喝
5,915	5,376	4,841	4,242	-599	-12.4	検挙件数	
7,063	6,439	5,780	5,054	-726	-12.6	検挙人員	

手口別認知・検挙状況の推移

平 16	平17	平 18	平 19	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
1,981,574	1,725,072	1,534,528	1,429,956	-104,572	-6.8	認知件数(件)	窃盗犯
447,950	429,038	416,281	395,243	-21,038	-5.1	検挙件数(件)	
195,151	194,119	187,654	180,446	-7,208	-3.8	検挙人員(人)	
290,595	244,776	205,463	175,728	-29,735	-14.5	認知件数	侵入窃盗
104,816	104,454	100,824	96,266	-4,558	-4.5	検挙件数	
13,548	12,564	12,434	12,037	-397	-3.2	検挙人員	
629,722	556,987	517,815	510,162	-7,653	-1.5	認知件数	乗り物盗
61,308	58,841	56,659	51,911	-4,748	-8.4	検挙件数	
38,952	37,768	36,254	33,193	-3,061	-8.4	検挙人員	
1,061,257	923,309	811,250	744,066	-67,184	-8.3	認知件数	非侵入窃盗
281,826	265,743	258,798	247,066	-11,732	-4.5	検挙件数	
142,651	143,787	138,966	135,216	-3,750	-2.7	検挙人員	

図表5-10 侵入窃盗の

区分		年次	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15
侵入窃盗	認知件数(件)	237,703	260,981	296,486	303,698	338,294	333,233	
	検挙件数(件)	165,818	152,984	109,128	89,456	98,335	109,920	
	検挙人員(人)	15,480	15,234	13,651	13,712	13,696	14,208	
うち)住宅対象	認知件数	123,863	134,492	154,074	161,883	189,336	190,473	
	検挙件数	87,351	82,373	57,893	45,752	51,897	59,133	
	検挙人員	5,813	5,755	5,275	5,144	5,241	5,318	
空き巣	認知件数	87,393	99,174	117,725	124,387	147,500	146,808	
	検挙件数	62,106	58,433	43,163	35,319	37,950	44,368	
	検挙人員	4,064	3,963	3,734	3,678	3,721	3,776	
忍込み	認知件数	28,971	28,268	28,537	29,093	32,860	34,893	
	検挙件数	20,268	19,593	11,972	8,235	11,642	12,452	
	検挙人員	959	1,039	867	796	832	863	
居空き	認知件数	7,499	7,050	7,812	8,403	8,976	8,772	
	検挙件数	4,977	4,347	2,758	2,198	2,305	2,313	
	検挙人員	790	753	674	670	688	679	
うち)金庫破り	認知件数	6,197	7,923	11,942	10,643	10,345	9,262	
	検挙件数	3,120	2,494	2,881	3,154	3,212	3,294	
	検挙人員	369	376	472	577	615	678	
うち)学校荒し	認知件数	5,992	6,061	6,099	5,987	6,365	6,647	
	検挙件数	4,402	3,522	2,642	2,564	1,949	2,400	
	検挙人員	1,163	1,134	1,012	1,067	1,001	1,239	
うち)事務所荒し	認知件数	38,668	43,781	54,483	51,333	49,411	43,686	
	検挙件数	27,771	24,222	17,670	15,235	16,897	16,472	
	検挙人員	1,865	1,968	1,718	1,774	1,648	1,588	
うち)出店荒し	認知件数	36,728	41,714	41,613	43,678	48,719	48,526	
	検挙件数	25,308	24,262	16,677	13,068	14,700	17,385	
	検挙人員	2,612	2,400	2,085	2,211	2,213	2,311	

図表5-11 乗り物盗の

区分		年次	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15
乗り物盗	認知件数(件)	705,431	694,375	754,939	827,593	775,435	695,791	
	検挙件数(件)	121,075	108,657	69,698	65,435	57,928	56,867	
	検挙人員(人)	50,426	48,672	39,469	39,813	39,589	41,265	
自動車盗	認知件数	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	
	検挙件数	18,210	15,241	11,415	13,390	12,791	11,931	
	検挙人員	5,495	5,028	4,590	4,933	4,775	4,599	
オートバイ盗	認知件数	246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	154,979	
	検挙件数	43,678	40,356	23,708	19,440	15,725	12,447	
	検挙人員	18,697	17,296	15,143	14,707	13,106	11,213	
自転車盗	認知件数	423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	476,589	
	検挙件数	59,187	53,060	34,575	32,605	29,412	32,489	
	検挙人員	26,234	26,348	19,736	20,173	21,708	25,453	

手口別認知・検挙状況の推移

平 16	平17	平 18	平 19	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
290,595	244,776	205,463	175,728	-29,735	-14.5	認知件数(件)	侵入窃盗
104,816	104,454	100,824	96,266	-4,558	-4.5	検挙件数(件)	
13,548	12,564	12,434	12,037	-397	-3.2	検挙人員(人)	
170,991	142,945	120,023	103,490	-16,533	-13.8	認知件数	うち)住宅対象
57,948	60,486	58,717	54,491	-4,226	-7.2	検挙件数	
5,209	4,875	4,830	4,462	-368	-7.6	検挙人員	
133,159	111,700	91,461	76,894	-14,567	-15.9	認知件数	空き巣
43,521	45,611	43,106	40,893	-2,213	-5.1	検挙件数	
3,686	3,477	3,403	3,120	-283	-8.3	検挙人員	
29,456	24,159	22,442	21,154	-1,288	-5.7	認知件数	忍込み
12,211	12,362	13,143	11,344	-1,799	-13.7	検挙件数	
889	741	810	784	-26	-3.2	検挙人員	
8,376	7,086	6,120	5,442	-678	-11.1	認知件数	居空き
2,216	2,513	2,468	2,254	-214	-8.7	検挙件数	
634	657	617	558	-59	-9.6	検挙人員	
7,844	6,472	4,921	3,881	-1,040	-21.1	認知件数	うち)金庫破り
3,157	3,300	2,696	2,787	91	3.4	検挙件数	
509	544	437	407	-30	-6.9	検挙人員	
5,024	3,923	3,133	2,525	-608	-19.4	認知件数	うち)学校荒し
2,214	2,009	1,980	1,408	-572	-28.9	検挙件数	
1,115	894	738	655	-83	-11.2	検挙人員	
36,511	30,465	25,181	20,347	-4,834	-19.2	認知件数	うち)事務所荒し
13,016	11,988	11,884	11,236	-648	-5.5	検挙件数	
1,421	1,313	1,280	1,154	-126	-9.8	検挙人員	
39,739	34,573	27,718	22,821	-4,897	-17.7	認知件数	うち)出店荒し
16,922	16,106	14,756	14,558	-198	-1.3	検挙件数	
2,055	1,837	1,807	1,651	-156	-8.6	検挙人員	

手口別認知・検挙状況の推移

平 16	平17	平18	平19	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
629,722	556,987	517,815	510,162	-7,653	-1.5	認知件数(件)	乗り物盗
61,308	58,841	56,659	51,911	-4,748	-8.4	検挙件数(件)	
38,952	37,768	36,254	33,193	-3,061	-8.4	検挙人員(人)	
58,737	46,728	36,058	31,790	-4,268	-11.8	認知件数	自動車盗
13,765	14,898	13,288	13,507	219	1.6	検挙件数	
3,823	3,366	3,056	2,380	-676	-22.1	検挙人員	
126,717	104,155	93,294	83,028	-10,266	-11.0	認知件数	オートバイ盗
11,715	11,621	12,426	10,161	-2,265	-18.2	検挙件数	
9,203	8,665	7,766	7,131	-635	-8.2	検挙人員	
444,268	406,104	388,463	395,344	6,881	1.8	認知件数	自転車盗
35,828	32,322	30,945	28,243	-2,702	-8.7	検挙件数	
25,926	25,737	25,432	23,682	-1,750	-6.9	検挙人員	

図表 5-12 非侵入窃盗の

区分		年次	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15
非侵入窃盗	認知件数(件)		845,915	955,037	1,079,739	1,209,220	1,263,759	1,206,820
	検挙件数(件)		310,390	299,507	228,420	212,752	247,609	267,131
	検挙人員(人)		115,423	108,241	109,490	115,394	127,440	135,930
うち) ひったくり	認知件数		35,763	41,173	46,064	50,838	52,919	46,354
	検挙件数		19,636	20,597	14,796	12,925	18,434	14,861
	検挙人員		2,605	3,304	3,072	3,078	3,158	2,953
うち) すり	認知件数		21,019	21,928	24,526	25,691	24,590	25,338
	検挙件数		9,597	8,189	5,012	4,412	4,400	4,149
	検挙人員		953	967	813	770	796	836
うち) 車上ねらい	認知件数		252,092	294,635	362,762	432,140	443,298	414,819
	検挙件数		74,473	73,715	45,666	43,176	48,881	60,479
	検挙人員		2,857	2,892	2,933	3,027	3,322	3,491
うち) 部品ねらい	認知件数		61,192	73,824	101,338	129,380	128,539	120,726
	検挙件数		10,548	10,206	6,527	6,650	7,260	8,515
	検挙人員		1,745	1,965	2,006	2,082	2,429	2,345
うち) 自動販売機 ねらい	認知件数		181,444	222,328	190,490	170,470	174,718	147,878
	検挙件数		43,906	45,754	30,707	18,851	28,962	28,152
	検挙人員		2,010	2,192	2,084	2,329	2,850	3,231
うち) 万引き	認知件数		112,237	105,227	112,559	126,110	140,002	146,308
	検挙件数		96,828	88,532	87,366	92,319	101,445	106,925
	検挙人員		94,656	85,832	86,643	91,816	100,849	105,792

図表 5-13 知能犯の罪種別

区分		年次	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15
知能犯	認知件数(件)		59,271	53,528	55,184	53,007	62,751	74,754
	検挙件数(件)		55,118	47,827	44,322	37,800	39,884	40,574
	検挙人員(人)		11,286	10,562	11,341	11,539	13,173	13,653
詐欺	認知件数		48,279	43,431	44,384	43,104	49,482	60,298
	検挙件数		44,405	38,340	35,255	30,017	31,547	30,364
	検挙人員		8,651	8,178	8,492	8,495	9,507	10,194
横領	認知件数		1,355	1,229	1,553	1,995	2,151	2,183
	検挙件数		1,242	1,112	1,229	1,505	1,503	1,375
	検挙人員		882	759	971	1,067	1,184	1,088
偽造	認知件数		9,458	8,737	9,091	7,671	10,883	12,103
	検挙件数		9,293	8,245	7,690	6,050	6,608	8,675
	検挙人員		1,474	1,388	1,631	1,634	2,112	2,124
汚職	認知件数		147	100	115	171	178	130
	検挙件数		146	99	112	170	174	127
	検挙人員		228	172	188	255	283	195
あっせん 利得処罰法	認知件数		—	—	—	—	1	0
	検挙件数		—	—	—	—	1	0
	検挙人員		—	—	—	—	2	0
背任	認知件数		32	31	41	66	56	40
	検挙件数		32	31	36	58	51	33
	検挙人員		51	65	59	88	85	52

手口別認知・検挙状況の推移

平 16	平17	平 18	平 19	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
1,061,257	923,309	811,250	744,066	-67,184	-8.3	認知件数(件)	非侵入窃盗
281,826	265,743	258,798	247,066	-11,732	-4.5	検挙件数(件)	
142,651	143,787	138,966	135,216	-3,750	-2.7	検挙人員(人)	
39,399	32,017	26,828	23,687	-3,141	-11.7	認知件数	うち) ひったくり
13,561	10,406	10,090	11,321	1,231	12.2	検挙件数	
2,259	1,851	1,652	1,524	-128	-7.7	検挙人員	
19,198	15,446	13,698	10,220	-3,478	-25.4	認知件数	うち) すり
3,791	3,632	3,699	3,064	-635	-17.2	検挙件数	
970	938	956	916	-40	-4.2	検挙人員	
328,921	256,594	205,744	168,129	-37,615	-18.3	認知件数	うち) 車上ねらい
63,171	53,465	49,592	41,116	-8,476	-17.1	検挙件数	
3,238	2,634	2,766	2,344	-422	-15.3	検挙人員	
112,161	103,772	88,739	78,016	-10,723	-12.1	認知件数	うち) 部品ねらい
10,668	11,786	9,840	10,382	542	5.5	検挙件数	
2,134	1,973	1,931	1,758	-173	-9.0	検挙人員	
112,965	88,180	55,981	50,846	-5,135	-9.2	認知件数	うち) 自動販売機 ねらい
29,748	23,409	22,607	18,585	-4,022	-17.8	検挙件数	
2,560	2,027	1,370	1,064	-306	-22.3	検挙人員	
158,020	153,972	147,113	141,915	-5,198	-3.5	認知件数	うち) 万引き
114,465	115,636	110,723	105,774	-4,949	-4.5	検挙件数	
112,783	113,953	107,123	102,504	-4,619	-4.3	検挙人員	

認知・検挙状況の推移

平 16	平17	平 18	平 19	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
99,258	97,500	84,271	75,999	-8,272	-9.8	認知件数(件)	知能犯
36,299	38,151	37,296	33,878	-3,418	-9.2	検挙件数(件)	
14,850	15,053	15,760	15,264	-496	-3.1	検挙人員(人)	
83,015	85,596	74,632	67,787	-6,845	-9.2	認知件数	詐欺
26,617	29,384	30,127	27,963	-2,164	-7.2	検挙件数	
11,238	11,648	12,406	12,113	-293	-2.4	検挙人員	
2,543	2,347	2,408	2,157	-251	-10.4	認知件数	横領
1,517	1,453	1,545	1,358	-187	-12.1	検挙件数	
1,210	1,111	1,252	1,104	-148	-11.8	検挙人員	
13,547	9,410	7,010	5,941	-1,069	-15.2	認知件数	偽造
8,032	7,175	5,433	4,442	-991	-18.2	検挙件数	
2,236	2,033	1,847	1,898	51	2.8	検挙人員	
111	112	158	69	-89	-56.3	認知件数	汚職
107	111	152	67	-85	-55.9	検挙件数	
139	230	194	113	-81	-41.8	検挙人員	
1	1	2	0	-2	-100.0	認知件数	あっせん 利得処罰法
1	1	2	0	-2	-100.0	検挙件数	
0	0	7	0	-7	-	検挙人員	
41	34	61	45	-16	-26.2	認知件数	背任
25	27	37	48	11	29.7	検挙件数	
27	31	54	36	-18	-33.3	検挙人員	

図表 5-14 風俗犯の罪種別

区分		年次	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15
風俗犯	認知件数(件)		6,686	7,448	9,801	11,841	12,220	13,034
	検挙件数(件)		5,899	5,438	5,809	6,066	5,633	6,165
	検挙人員(人)		7,239	6,110	6,112	6,166	5,912	5,886
賭博	認知件数		515	293	278	290	300	208
	検挙件数		515	291	278	290	300	202
	検挙人員		3,372	2,327	1,905	2,077	1,928	1,725
わいせつ	認知件数		6,171	7,155	9,523	11,551	11,920	12,826
	検挙件数		5,384	5,147	5,531	5,776	5,333	5,963
	検挙人員		3,867	3,783	4,207	4,089	3,984	4,161
うち) 強制わいせつ	認知件数		4,251	5,346	7,412	9,326	9,476	10,029
	検挙件数		3,498	3,388	3,602	3,887	3,367	3,893
	検挙人員		1,890	1,926	2,286	2,236	2,130	2,273
うち) 公然わいせつ	認知件数		1,250	1,212	1,554	1,771	2,052	2,422
	検挙件数		1,217	1,163	1,377	1,438	1,573	1,706
	検挙人員		1,096	1,102	1,179	1,261	1,371	1,456

図表 5-15 その他の刑法犯の

区分		年次	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15
その他の刑法犯	認知件数(件)		128,536	141,348	172,336	245,485	312,140	374,087
	検挙件数(件)		77,353	81,524	73,008	83,362	94,941	117,128
	検挙人員(人)		77,705	81,445	71,679	80,750	90,407	110,768
うち) 占有離脱物横領	認知件数		64,025	67,635	55,850	63,775	71,782	90,163
	検挙件数		63,783	67,383	55,271	62,773	70,240	87,587
	検挙人員		66,687	70,053	57,138	64,628	72,283	89,358
うち) 公務執行妨害	認知件数		1,395	1,531	2,082	2,354	2,621	3,007
	検挙件数		1,384	1,508	2,049	2,302	2,544	2,909
	検挙人員		1,492	1,569	1,997	2,057	2,194	2,508
うち) 住居侵入	認知件数		13,308	14,549	20,976	26,686	33,872	40,348
	検挙件数		4,013	4,094	4,818	5,245	6,461	7,820
	検挙人員		2,679	2,868	3,445	3,856	4,214	5,361
うち) 逮捕・監禁	認知件数		429	417	564	586	630	643
	検挙件数		405	382	509	492	523	522
	検挙人員		663	640	754	847	887	822
うち) 略取誘拐・ 人身売買	認知件数		221	249	302	237	251	284
	検挙件数		211	244	272	211	215	231
	検挙人員		141	164	180	179	173	151
うち) 盗品等	認知件数		1,382	1,502	1,731	2,388	2,987	4,519
	検挙件数		1,373	1,495	1,725	2,372	2,967	4,457
	検挙人員		1,373	1,486	1,688	2,322	2,916	4,345
うち) 器物損壊等	認知件数		46,009	53,552	87,943	145,936	196,018	230,743
	検挙件数		4,714	4,958	6,364	7,662	9,607	11,100
	検挙人員		2,850	2,861	4,062	4,222	4,931	5,331

認知・検挙状況の推移

平 16	平17	平 18	平 19	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
12,346	12,085	11,932	11,184	-748	-6.3	認知件数(件)	風俗犯
6,070	6,422	6,752	6,462	-290	-4.3	検挙件数(件)	
5,688	6,373	6,261	6,279	18	0.3	検挙人員(人)	
249	221	209	424	215	102.9	認知件数	賭博
243	213	204	415	211	103.4	検挙件数	
1,422	1,771	1,379	1,529	150	10.9	検挙人員	
12,097	11,864	11,723	10,760	-963	-8.2	認知件数	わいせつ
5,827	6,209	6,548	6,047	-501	-7.7	検挙件数	
4,266	4,602	4,882	4,750	-132	-2.7	検挙人員	
9,184	8,751	8,326	7,664	-662	-8.0	認知件数	うち) 強制わいせつ
3,656	3,797	3,779	3,542	-237	-6.3	検挙件数	
2,225	2,286	2,254	2,240	-14	-0.6	検挙人員	
2,391	2,420	2,602	2,286	-316	-12.1	認知件数	うち) 公然わいせつ
1,669	1,741	1,999	1,718	-281	-14.1	検挙件数	
1,451	1,502	1,715	1,618	-97	-5.7	検挙人員	

罪種別認知・検挙状況の推移

平 16	平17	平18	平19	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
379,909	349,504	333,692	309,738	-23,954	-7.2	認知件数(件)	その他の刑法犯
128,249	124,437	123,794	113,658	-10,136	-8.2	検挙件数(件)	
119,018	115,207	113,611	103,502	-10,109	-8.9	検挙人員(人)	
101,869	95,520	93,436	83,449	-9,987	-10.7	認知件数	うち) 占有離脱物横領
95,845	90,897	89,012	79,891	-9,121	-10.2	検挙件数	
96,083	91,306	89,444	80,192	-9,252	-10.3	検挙人員	
3,129	3,327	3,576	3,569	-7	-0.2	認知件数	うち) 公務執行妨害
2,957	3,188	3,402	3,459	57	1.7	検挙件数	
2,705	2,868	3,118	3,181	63	2.0	検挙人員	
37,857	34,518	31,030	27,383	-3,647	-11.8	認知件数	うち) 住居侵入
8,566	8,961	9,211	9,041	-170	-1.8	検挙件数	
5,993	6,107	6,209	5,901	-308	-5.0	検挙人員	
639	576	522	418	-104	-19.9	認知件数	うち) 逮捕・監禁
480	428	418	330	-88	-21.1	検挙件数	
762	642	629	526	-103	-16.4	検挙人員	
320	277	199	207	8	4.0	認知件数	うち) 略取誘拐・ 人身売買
232	204	180	178	-2	-1.1	検挙件数	
187	176	167	152	-15	-9.0	検挙人員	
5,547	5,403	5,134	4,582	-552	-10.8	認知件数	うち) 盗品等
5,310	5,198	4,866	4,424	-442	-9.1	検挙件数	
4,935	4,889	4,495	4,230	-265	-5.9	検挙人員	
226,059	205,312	194,824	185,472	-9,352	-4.8	認知件数	うち) 器物損壊等
12,332	12,884	13,816	13,617	-199	-1.4	検挙件数	
5,522	6,362	6,551	6,575	24	0.4	検挙人員	

図表5-16 街頭犯罪・侵入犯罪の

区分		年次	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15
街頭 犯 罪 関 係	路上強盗	認知件数(件)	1,119	1,495	2,070	2,509	2,888	2,955
		検挙件数(件)	873	925	930	968	1,104	1,226
		検挙人員(人)	1,503	1,609	1,645	1,658	1,631	1,865
		うち少年(人)	1,098	1,111	1,122	1,103	1,027	1,227
		少年の割合(%)	73.1	69.0	68.2	66.5	63.0	65.8
	ひったくり	認知件数	35,763	41,173	46,064	50,838	52,919	46,354
		検挙件数	19,636	20,597	14,796	12,925	18,434	14,861
		検挙人員	2,605	3,304	3,072	3,078	3,158	2,953
		うち少年	1,871	2,420	2,179	2,190	2,166	1,957
		少年の割合	71.8	73.2	70.9	71.2	68.6	66.3
	強姦	認知件数	1,873	1,857	2,260	2,228	2,357	2,472
		うち街頭	668	648	825	806	869	832
		街頭の割合	35.7	34.9	36.5	36.2	36.9	33.7
	強制 わいせつ	認知件数	4,251	5,346	7,412	9,326	9,476	10,029
		うち街頭	2,399	3,196	4,475	5,786	5,915	6,145
		街頭の割合	56.4	59.8	60.4	62.0	62.4	61.3
	略取誘拐・ 人身売買	認知件数	221	249	302	237	251	284
		うち街頭	166	181	216	179	175	213
		街頭の割合	75.1	72.7	71.5	75.5	69.7	75.0
	暴行	認知件数	7,367	7,792	13,225	16,928	19,442	21,937
うち街頭		4,801	5,051	8,734	11,352	12,814	14,477	
街頭の割合		65.2	64.8	66.0	67.1	65.9	66.0	
傷害	認知件数	19,476	20,233	30,184	33,965	36,324	36,568	
	うち街頭	11,157	11,687	16,965	19,400	20,465	20,098	
	街頭の割合	57.3	57.8	56.2	57.1	56.3	55.0	
恐喝	認知件数	13,900	14,768	18,926	19,566	18,403	17,595	
	うち街頭	9,344	10,419	13,230	13,856	12,514	11,089	
	街頭の割合	67.2	70.6	69.9	70.8	68.0	63.0	
自動車盗	認知件数	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	
	検挙件数	18,210	15,241	11,415	13,390	12,791	11,931	
	検挙人員	5,495	5,028	4,590	4,933	4,775	4,599	
	うち少年	2,091	1,658	1,531	1,691	1,680	1,542	
	少年の割合	38.1	33.0	33.4	34.3	35.2	33.5	
オートバイ盗	認知件数	246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	154,979	
	検挙件数	43,678	40,356	23,708	19,440	15,725	12,447	
	検挙人員	18,697	17,296	15,143	14,707	13,106	11,213	
	うち少年	18,202	16,872	14,746	14,288	12,650	10,669	
	少年の割合	97.4	97.5	97.4	97.2	96.5	95.1	
自転車盗	認知件数	423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	476,589	
	検挙件数	59,187	53,060	34,575	32,605	29,412	32,489	
	検挙人員	26,234	26,348	19,736	20,173	21,708	25,453	
	うち少年	16,675	16,271	12,991	13,843	14,710	16,316	
	少年の割合	63.6	61.8	65.8	68.6	67.8	64.1	
車上ねらい	認知件数	252,092	294,635	362,762	432,140	443,298	414,819	
	検挙件数	74,473	73,715	45,666	43,176	48,881	60,479	
	検挙人員	2,857	2,892	2,933	3,027	3,322	3,491	
	うち少年	742	704	658	663	816	776	
	少年の割合	26.0	24.3	22.4	21.9	24.6	22.2	
部品ねらい	認知件数	61,192	73,824	101,338	129,380	128,539	120,726	
	検挙件数	10,548	10,206	6,527	6,650	7,260	8,515	
	検挙人員	1,745	1,965	2,006	2,082	2,429	2,345	
	うち少年	1,054	1,234	1,259	1,329	1,574	1,468	
	少年の割合	60.4	62.8	62.8	63.8	64.8	62.6	
自動販売機 ねらい	認知件数	181,444	222,328	190,490	170,470	174,718	147,878	
	検挙件数	43,906	45,754	30,707	18,851	28,962	28,152	
	検挙人員	2,010	2,192	2,084	2,329	2,850	3,231	
	うち少年	789	1,044	1,196	1,593	2,163	2,453	
	少年の割合	39.3	47.6	57.4	68.4	75.9	75.9	
侵 入 犯 罪 関 係	侵入強盗	認知件数(件)	1,314	1,649	1,786	2,335	2,436	2,865
		検挙件数(件)	897	1,020	1,024	1,116	1,314	1,402
		検挙人員(人)	854	993	982	1,094	1,134	1,310
		来日外国人検挙件数(件)	56	103	91	97	157	141
		来日外国人検挙人員(人)	63	160	132	138	163	218
	侵入窃盗	認知件数	237,703	260,981	296,486	303,698	338,294	333,233
		検挙件数	165,818	152,984	109,128	89,456	98,335	109,920
		検挙人員	15,480	15,234	13,651	13,712	13,696	14,208
		来日外国人検挙件数	2,885	4,744	6,396	6,147	6,754	8,482
		来日外国人検挙人員	390	438	674	688	658	704
住居侵入	認知件数	13,308	14,549	20,976	26,686	33,872	40,348	
	検挙件数	4,013	4,094	4,818	5,245	6,461	7,820	
	検挙人員	2,679	2,868	3,445	3,856	4,214	5,361	
	来日外国人検挙件数	95	182	159	195	205	283	
	来日外国人検挙人員	44	78	98	99	110	134	

認知・検挙状況の推移

平 16	平 17	平 18	平 19	増減		年次	区分	
				件数・人員	率(%)			
2,695	2,192	1,759	1,537	-222	-12.6	認知件数(件)	路上強盗	
955	836	788	621	-167	-21.2	検挙件数(件)		
1,377	1,285	1,053	855	-198	-18.8	検挙人員(人)		
763	707	553	431	-122	-22.1	うち少年(人)		
55.4	55.0	52.5	50.4	-2.1	ポイント	少年の割合(%)		
39,399	32,017	26,828	23,687	-3,141	-11.7	認知件数	ひったくり	
13,561	10,406	10,090	11,321	1,231	12.2	検挙件数		
2,259	1,851	1,652	1,524	-128	-7.7	検挙人員		
1,352	1,025	834	796	-38	-4.6	うち少年		
59.8	55.4	50.5	52.2	1.7	ポイント	少年の割合		
2,176	2,076	1,948	1,766	-182	-9.3	認知件数	強姦	
732	663	612	495	-117	-19.1	うち街頭		
33.6	31.9	31.4	28.0	-3.4	ポイント	街頭の割合		
9,184	8,751	8,326	7,664	-662	-8.0	認知件数	強制わいせつ	
5,510	5,254	5,131	4,640	-491	-9.6	うち街頭		
60.0	60.0	61.6	60.5	-1.1	ポイント	街頭の割合		
320	277	199	207	8	4.0	認知件数	略取誘拐・人身売買	
237	199	126	134	8	6.3	うち街頭		
74.1	71.8	63.3	64.7	1.4	ポイント	街頭の割合		
23,691	25,815	31,002	31,966	964	3.1	認知件数	暴行	
15,319	16,332	18,816	18,993	177	0.9	うち街頭		
64.7	63.3	60.7	59.4	-1.3	ポイント	街頭の割合		
35,937	34,484	33,987	30,986	-3,001	-8.8	認知件数	傷害	
19,218	17,961	17,373	15,665	-1,708	-9.8	うち街頭		
53.5	52.1	51.1	50.6	-0.5	ポイント	街頭の割合		
14,424	10,978	8,636	7,384	-1,252	-14.5	認知件数	恐喝	
8,534	6,346	4,690	4,042	-648	-13.8	うち街頭		
59.2	57.8	54.3	54.7	0.4	ポイント	街頭の割合		
58,737	46,728	36,058	31,790	-4,268	-11.8	認知件数	自動車盗	
13,765	14,898	13,288	13,507	219	1.6	検挙件数		
3,823	3,366	3,056	2,380	-676	-22.1	検挙人員		
1,216	938	852	655	-197	-23.1	うち少年		
31.8	27.9	27.9	27.5	-0.4	ポイント	少年の割合		
126,717	104,155	93,294	83,028	-10,266	-11.0	認知件数	オートバイ盗	
11,715	11,621	12,426	10,161	-2,265	-18.2	検挙件数		
9,203	8,665	7,766	7,131	-635	-8.2	検挙人員		
8,735	8,188	7,311	6,740	-571	-7.8	うち少年		
94.9	94.5	94.1	94.5	0.4	ポイント	少年の割合		
444,268	406,104	388,463	395,344	6,881	1.8	認知件数	自転車盗	
35,828	32,322	30,945	28,243	-2,702	-8.7	検挙件数		
25,926	25,737	25,432	23,682	-1,750	-6.9	検挙人員		
15,342	14,732	14,656	13,611	-1,045	-7.1	うち少年		
59.2	57.2	57.6	57.5	-0.1	ポイント	少年の割合		
328,921	256,594	205,744	168,129	-37,615	-18.3	認知件数	車上ねらい	
63,171	53,465	49,592	41,116	-8,476	-17.1	検挙件数		
3,238	2,634	2,766	2,344	-422	-15.3	検挙人員		
681	527	547	542	-5	-0.9	うち少年		
21.0	20.0	19.8	23.1	3.3	ポイント	少年の割合		
112,161	103,772	88,739	78,016	-10,723	-12.1	認知件数	部品ねらい	
10,668	11,786	9,840	10,382	542	5.5	検挙件数		
2,134	1,973	1,931	1,758	-173	-9.0	検挙人員		
1,255	1,204	1,132	1,037	-95	-8.4	うち少年		
58.8	61.0	58.6	59.0	0.4	ポイント	少年の割合		
112,965	88,180	55,981	50,846	-5,135	-9.2	認知件数	自動販売機ねらい	
29,748	23,409	22,607	18,585	-4,022	-17.8	検挙件数		
2,560	2,027	1,370	1,064	-306	-22.3	検挙人員		
1,933	1,479	912	650	-262	-28.7	うち少年		
75.5	73.0	66.6	61.1	-5.5	ポイント	少年の割合		
2,776	2,205	1,896	1,700	-196	-10.3	認知件数(件)	侵入強盗	侵入
1,458	1,328	1,201	1,140	-61	-5.1	検挙件数(件)		
1,356	1,255	1,107	968	-139	-12.6	検挙人員(人)		
154	125	88	48	-40	-45.5	来日外国人検挙件数(件)	侵入窃盗	犯罪
201	170	98	70	-28	-28.6	来日外国人検挙人員(人)		
290,595	244,776	205,463	175,728	-29,735	-14.5	認知件数		
104,816	104,454	100,824	96,266	-4,558	-4.5	検挙件数		
13,548	12,564	12,434	12,037	-397	-3.2	検挙人員		
8,396	9,160	8,692	7,874	-818	-9.4	来日外国人検挙件数	住居侵入	関係
565	524	441	408	-33	-7.5	来日外国人検挙人員		
37,857	34,518	31,030	27,383	-3,647	-11.8	認知件数		
8,566	8,961	9,211	9,041	-170	-1.8	検挙件数		
5,993	6,107	6,209	5,901	-308	-5.0	検挙人員		
314	364	314	359	45	14.3	来日外国人検挙件数		
127	114	106	114	8	7.5	来日外国人検挙人員		

図表5-17 来日外国人刑法犯の

区分		年次	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15
総数	検挙件数(件)		21,689	25,135	22,947	18,199	24,258	27,258
	検挙人員(人)		5,382	5,963	6,329	7,168	7,690	8,725
凶悪犯	検挙件数		228	267	242	308	323	336
	検挙人員		251	347	318	403	353	477
うち) 殺人	検挙件数		52	41	44	45	34	37
	検挙人員		62	50	54	59	41	61
うち) 強盗	検挙件数		130	195	164	219	247	255
	検挙人員		160	278	236	309	280	369
侵入強盗	検挙件数		56	103	91	97	157	141
	検挙人員		63	160	132	138	163	218
非侵入強盗	検挙件数		74	92	73	122	90	114
	検挙人員		97	118	104	171	117	151
粗暴犯	検挙件数		272	282	494	508	550	568
	検挙人員		305	338	568	578	628	633
うち) 傷害	検挙件数		192	178	347	339	372	386
	検挙人員		213	224	393	378	430	438
窃盗犯	検挙件数		19,078	22,404	19,952	14,823	20,604	22,830
	検挙人員		3,098	3,404	3,803	4,135	4,395	4,555
侵入窃盗	検挙件数		2,885	4,744	6,396	6,147	6,754	8,482
	検挙人員		390	438	674	688	658	704
うち) 住宅対象	検挙件数		1,685	3,032	4,518	3,617	4,852	6,722
	検挙人員		124	148	335	275	345	399
乗り物盗	検挙件数		4,692	1,173	776	923	1,180	1,108
	検挙人員		526	459	383	501	505	620
うち) 自動車盗	検挙件数		520	217	225	450	700	601
	検挙人員		109	92	92	142	136	155
非侵入窃盗	検挙件数		11,501	16,487	12,780	7,753	12,670	13,240
	検挙人員		2,182	2,507	2,746	2,946	3,232	3,231
うち) 部品ねらい	検挙件数		600	994	828	634	888	566
	検挙人員		48	59	64	91	69	69
うち) 車上ねらい	検挙件数		1,551	4,151	1,702	1,883	3,111	3,010
	検挙人員		74	109	129	124	105	100
うち) ひったくり	検挙件数		538	165	133	156	164	126
	検挙人員		60	29	33	40	43	52
うち) すり	検挙件数		1,501	1,252	762	901	831	853
	検挙人員		96	152	117	76	84	81
うち) 自動販売機 ねらい	検挙件数		4,377	7,036	6,706	1,061	4,384	5,355
	検挙人員		210	295	173	51	37	61
うち) 万引き	検挙件数		1,732	1,830	1,867	2,349	2,564	2,441
	検挙人員		1,364	1,467	1,820	2,175	2,415	2,389
知能犯	検挙件数		740	523	819	643	678	728
	検挙人員		319	264	277	267	339	497
うち) 偽造	検挙件数		404	300	418	249	448	461
	検挙人員		185	186	187	154	228	343
風俗犯	検挙件数		107	79	85	95	87	90
	検挙人員		169	150	122	133	76	93
うち) 強制わいせつ	検挙件数		77	58	51	67	64	70
	検挙人員		35	32	35	47	30	42
その他	検挙件数		1,264	1,580	1,355	1,822	2,016	2,706
	検挙人員		1,240	1,460	1,241	1,652	1,899	2,470
うち) 占有離脱物 横領	検挙件数		1,037	1,202	974	1,336	1,487	2,022
	検挙人員		1,049	1,214	967	1,342	1,516	2,009
うち) 住居侵入	検挙件数		95	182	159	195	205	283
	検挙人員		44	78	98	99	110	134
うち) 略取誘拐・ 人身売買	検挙件数		10	13	10	12	8	8
	検挙人員		24	32	16	19	18	7

注：「住宅対象」とは、侵入窃盗のうち、空き巣、忍込み及び居空きをいう。

罪種・手口別検挙状況の推移

平 16	平17	平 18	平 19	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
32,087	33,037	27,453	25,730	-1,723	-6.3	検挙件数(件)	総数
8,898	8,505	8,148	7,528	-620	-7.6	検挙人員(人)	
345	315	270	234	-36	-13.3	検挙件数	凶悪犯
421	396	297	259	-38	-12.8	検挙人員	
40	51	37	41	4	10.8	検挙件数	うち) 殺人
52	52	42	41	-1	-2.4	検挙人員	
269	236	188	139	-49	-26.1	検挙件数	うち) 強盗
338	319	216	182	-34	-15.7	検挙人員	
154	125	88	48	-40	-45.5	検挙件数	侵入強盗
201	170	98	70	-28	-28.6	検挙人員	
115	111	100	91	-9	-9.0	検挙件数	非侵入強盗
137	149	118	112	-6	-5.1	検挙人員	
526	679	785	848	63	8.0	検挙件数	粗暴犯
591	774	894	961	67	7.5	検挙人員	
331	408	423	415	-8	-1.9	検挙件数	うち) 傷害
379	471	503	498	-5	-1.0	検挙人員	
27,521	28,525	23,137	21,327	-1,810	-7.8	検挙件数	窃盗犯
4,717	4,344	4,205	3,755	-450	-10.7	検挙人員	
8,396	9,160	8,692	7,874	-818	-9.4	検挙件数	侵入窃盗
565	524	441	408	-33	-7.5	検挙人員	
7,006	8,149	7,945	7,248	-697	-8.8	検挙件数	うち) 住宅対象
346	340	308	250	-58	-18.8	検挙人員	
1,579	1,737	2,148	2,502	354	16.5	検挙件数	乗り物盗
580	548	623	513	-110	-17.7	検挙人員	
958	1,178	1,661	2,114	453	27.3	検挙件数	うち) 自動車盗
112	133	166	119	-47	-28.3	検挙人員	
17,546	17,628	12,297	10,951	-1,346	-10.9	検挙件数	非侵入窃盗
3,572	3,272	3,141	2,834	-307	-9.8	検挙人員	
766	953	934	1,681	747	80.0	検挙件数	うち) 部品ねらい
70	51	77	48	-29	-37.7	検挙人員	
4,795	5,042	2,394	4,104	1,710	71.4	検挙件数	うち) 車上ねらい
179	111	111	80	-31	-27.9	検挙人員	
35	78	60	131	71	118.3	検挙件数	うち) ひったくり
26	32	30	42	12	40.0	検挙人員	
817	1,161	654	377	-277	-42.4	検挙件数	うち) すり
87	64	68	52	-16	-23.5	検挙人員	
7,336	6,751	4,611	856	-3,755	-81.4	検挙件数	うち) 自動販売機 ねらい
29	22	17	11	-6	-35.3	検挙人員	
2,844	2,743	2,680	2,419	-261	-9.7	検挙件数	うち) 万引き
2,588	2,476	2,308	2,045	-263	-11.4	検挙人員	
797	721	690	870	180	26.1	検挙件数	知能犯
564	525	538	536	-2	-0.4	検挙人員	
538	481	471	478	7	1.5	検挙件数	うち) 偽造
381	348	345	303	-42	-12.2	検挙人員	
85	99	103	88	-15	-14.6	検挙件数	風俗犯
139	133	96	104	8	8.3	検挙人員	
58	66	77	63	-14	-18.2	検挙件数	うち) 強制わいせつ
46	50	59	54	-5	-8.5	検挙人員	
2,813	2,698	2,468	2,363	-105	-4.3	検挙件数	その他
2,466	2,333	2,118	1,913	-205	-9.7	検挙人員	
1,968	1,781	1,652	1,452	-200	-12.1	検挙件数	うち) 占有離脱物 横領
1,938	1,801	1,653	1,462	-191	-11.6	検挙人員	
314	364	314	359	45	14.3	検挙件数	うち) 住居侵入
127	114	106	114	8	7.5	検挙人員	
2	10	8	7	-1	-12.5	検挙件数	うち) 略取誘拐・ 人身売買
6	19	15	6	-9	-60.0	検挙人員	

図表 5-18 来日外国人刑法犯の

区分		年次	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15
総数	検挙件数(件)		21,689	25,135	22,947	18,199	24,258	27,258
	検挙人員(人)		5,382	5,963	6,329	7,168	7,690	8,725
アジア州	検挙件数		16,454	17,399	18,201	13,245	17,406	20,199
	検挙人員		4,043	4,514	4,804	5,160	5,573	6,498
韓国	検挙件数		1,758	1,984	2,001	1,134	1,210	1,424
	検挙人員		538	580	590	581	472	496
中国	検挙件数		7,918	12,487	14,331	9,491	9,691	11,677
	検挙人員		2,401	2,823	3,111	3,343	3,632	4,554
うち) 台湾	検挙件数		260	138	99	117	429	116
	検挙人員		87	92	60	94	102	82
うち) 香港等	検挙件数		229	61	56	429	88	26
	検挙人員		33	10	13	17	27	28
イラン	検挙件数		210	155	100	271	94	70
	検挙人員		72	66	64	68	69	47
インドネシア	検挙件数		83	75	72	47	88	82
	検挙人員		68	77	35	43	79	65
スリランカ	検挙件数		114	16	23	36	120	34
	検挙人員		19	16	23	26	34	27
タイ	検挙件数		120	117	125	83	96	70
	検挙人員		84	90	85	71	83	68
パキスタン	検挙件数		88	63	93	178	84	60
	検挙人員		32	40	56	57	51	44
バングラディシュ	検挙件数		23	18	21	15	33	43
	検挙人員		17	16	24	19	30	28
フィリピン	検挙件数		887	727	375	370	458	420
	検挙人員		269	237	241	243	294	329
ベトナム	検挙件数		4,123	848	501	688	760	681
	検挙人員		340	347	377	469	583	549
マレーシア	検挙件数		812	597	211	261	284	48
	検挙人員		81	60	40	50	54	40
ミャンマー	検挙件数		132	70	39	66	19	45
	検挙人員		36	41	29	25	18	25
トルコ	検挙件数		45	89	138	412	4,272	5,353
	検挙人員		12	40	33	27	26	67
その他	検挙件数		141	153	171	193	197	192
	検挙人員		74	81	96	138	148	159
ヨーロッパ州	検挙件数		314	268	392	362	378	370
	検挙人員		236	238	270	325	348	336
イギリス	検挙件数		61	26	120	51	68	57
	検挙人員		38	27	33	48	71	47
フランス	検挙件数		31	19	19	10	34	60
	検挙人員		15	11	18	11	29	35
ロシア	検挙件数		143	151	153	241	164	153
	検挙人員		129	136	150	204	151	160
その他	検挙件数		79	72	100	60	112	100
	検挙人員		54	64	69	62	97	94
南北アメリカ州	検挙件数		4,804	7,369	4,237	4,466	6,314	6,505
	検挙人員		1,018	1,129	1,156	1,565	1,636	1,733
アメリカ	検挙件数		111	131	160	183	137	154
	検挙人員		89	79	102	106	128	119
コロンビア	検挙件数		215	217	24	249	645	1,066
	検挙人員		61	36	27	76	116	109
ブラジル	検挙件数		3,278	5,110	3,273	3,457	4,967	4,520
	検挙人員		536	658	682	958	952	1,005
ペルー	検挙件数		1,023	1,250	482	425	436	620
	検挙人員		255	263	261	326	327	364
その他	検挙件数		177	661	298	152	129	145
	検挙人員		77	93	84	99	113	136
アフリカ州	検挙件数		56	43	60	78	91	107
	検挙人員		46	40	56	66	67	81
オセアニア州	検挙件数		61	54	57	46	69	75
	検挙人員		39	41	43	50	63	75
無国籍・国籍不明	検挙件数		0	2	0	2	0	2
	検挙人員		0	1	0	2	3	2

注:「香港等」とは、中国国籍を有する者のうち、香港特別行政区又は香港特別行政区以外の政府（シンガポール、マレーシア等）が発給した身分証明書を有する者をいう。 -154-

国籍別検挙状況の推移

平 16	平17	平 18	平 19	増減		年次		区分
				件数・人員	率(%)	検挙件数(件)	検挙人員(人)	
32,087	33,037	27,453	25,730	-1,723	-6.3	検挙件数(件)	検挙人員(人)	総数
8,898	8,505	8,148	7,528	-620	-7.6	検挙件数	検挙人員	
22,530	22,381	18,990	16,331	-2,659	-14.0	検挙件数	検挙人員	アジア州
6,516	6,043	5,896	5,457	-439	-7.4	検挙件数	検挙人員	
1,454	1,466	1,725	2,161	436	25.3	検挙件数	検挙人員	韓国
617	536	600	782	182	30.3	検挙件数	検挙人員	
11,638	11,739	10,258	9,967	-291	-2.8	検挙件数	検挙人員	中国
4,408	3,884	3,597	3,023	-574	-16.0	検挙件数	検挙人員	
215	255	136	245	109	80.1	検挙件数	検挙人員	うち) 台湾
85	100	121	97	-24	-19.8	検挙件数	検挙人員	
83	118	27	58	31	114.8	検挙件数	検挙人員	うち) 香港等
38	45	24	27	3	12.5	検挙件数	検挙人員	
29	66	54	41	-13	-24.1	検挙件数	検挙人員	イラン
23	60	41	35	-6	-14.6	検挙件数	検挙人員	
87	51	65	62	-3	-4.6	検挙件数	検挙人員	インドネシア
84	68	57	63	6	10.5	検挙件数	検挙人員	
301	389	350	160	-190	-54.3	検挙件数	検挙人員	スリランカ
49	69	53	59	6	11.3	検挙件数	検挙人員	
79	207	90	102	12	13.3	検挙件数	検挙人員	タイ
72	103	93	107	14	15.1	検挙件数	検挙人員	
122	153	191	1,012	821	429.8	検挙件数	検挙人員	パキスタン
37	45	79	45	-34	-43.0	検挙件数	検挙人員	
46	50	38	54	16	42.1	検挙件数	検挙人員	バングラディッシュ
43	41	32	48	16	50.0	検挙件数	検挙人員	
364	431	482	524	42	8.7	検挙件数	検挙人員	フィリピン
353	386	407	444	37	9.1	検挙件数	検挙人員	
739	792	1,020	1,112	92	9.0	検挙件数	検挙人員	ベトナム
576	592	650	580	-70	-10.8	検挙件数	検挙人員	
46	25	83	23	-60	-72.3	検挙件数	検挙人員	マレーシア
56	29	22	21	-1	-4.5	検挙件数	検挙人員	
29	26	29	53	24	82.8	検挙件数	検挙人員	ミャンマー
25	20	31	37	6	19.4	検挙件数	検挙人員	
7,350	6,779	4,391	864	-3,527	-80.3	検挙件数	検挙人員	トルコ
27	28	32	20	-12	-37.5	検挙件数	検挙人員	
246	207	214	196	-18	-8.4	検挙件数	検挙人員	その他
146	182	202	193	-9	-4.5	検挙件数	検挙人員	
432	556	674	553	-121	-18.0	検挙件数	検挙人員	ヨーロッパ州
387	444	391	326	-65	-16.6	検挙件数	検挙人員	
63	76	60	181	121	201.7	検挙件数	検挙人員	イギリス
56	75	61	61	0	0.0	検挙件数	検挙人員	
29	46	30	42	12	40.0	検挙件数	検挙人員	フランス
27	44	29	40	11	37.9	検挙件数	検挙人員	
251	307	215	241	26	12.1	検挙件数	検挙人員	ロシア
220	213	176	134	-42	-23.9	検挙件数	検挙人員	
89	127	369	89	-280	-75.9	検挙件数	検挙人員	その他
84	112	125	91	-34	-27.2	検挙件数	検挙人員	
8,930	9,881	7,397	8,617	1,220	16.5	検挙件数	検挙人員	南北アメリカ州
1,824	1,833	1,696	1,580	-116	-6.8	検挙件数	検挙人員	
154	198	231	191	-40	-17.3	検挙件数	検挙人員	アメリカ
135	156	166	179	13	7.8	検挙件数	検挙人員	
862	1,768	2,121	506	-1,615	-76.1	検挙件数	検挙人員	コロンビア
86	101	82	52	-30	-36.6	検挙件数	検挙人員	
7,001	6,811	4,068	7,289	3,221	79.2	検挙件数	検挙人員	ブラジル
1,116	1,064	1,016	931	-85	-8.4	検挙件数	検挙人員	
631	814	575	420	-155	-27.0	検挙件数	検挙人員	ペルー
344	369	301	275	-26	-8.6	検挙件数	検挙人員	
282	290	402	211	-191	-47.5	検挙件数	検挙人員	その他
143	143	131	143	12	9.2	検挙件数	検挙人員	
106	144	324	145	-179	-55.2	検挙件数	検挙人員	アフリカ州
81	119	95	80	-15	-15.8	検挙件数	検挙人員	
87	75	67	81	14	20.9	検挙件数	検挙人員	オセアニア州
86	65	69	84	15	21.7	検挙件数	検挙人員	
2	0	1	3	2	200.0	検挙件数	検挙人員	無国籍・国籍不明
4	1	1	1	0	0.0	検挙件数	検挙人員	

図表 5-19 刑法犯の発生場所別認知件数（全刑法犯、

発生場所	罪種・手口	刑法犯	凶悪犯	殺人				強盗	うち侵入強盗		うち路上強盗	放火	強姦	粗暴犯
				殺人					うち侵入強盗					
				殺人	強盗	うち侵入強盗	うち路上強盗		放火	強姦				
総数		1,908,836	9,051	1,199	4,567	1,700	1,537	1,519	1,766	72,908				
住宅		399,171	3,034	751	565	439	7	908	810	12,436				
一戸建住宅		196,271	1,338	396	207	185	0	566	169	4,671				
共同住宅		202,900	1,696	355	358	254	7	342	641	7,765				
共同住宅（4階建以上）		91,591	772	168	181	104	7	130	293	3,742				
共同住宅（3階建以下）		111,309	924	187	177	150	0	212	348	4,023				
事業所等		510,343	2,452	130	1,737	1,236	16	289	296	17,529				
一般事務所		67,509	194	34	53	40	1	93	14	1,931				
店舗		382,109	2,129	67	1,663	1,189	12	140	259	13,167				
商店		252,754	1,268	15	1,164	842	7	72	17	4,086				
デパート		29,115	47	1	34	13	0	7	5	375				
コンビニエンスストア		25,499	599	2	595	544	0	2	0	1,257				
ドラッグストア		12,116	35	1	31	16	0	2	1	64				
ディスカウントストア		17,976	62	0	54	19	1	8	0	198				
その他のスーパーマーケット		93,869	206	3	182	47	4	18	3	1,023				
レンタルビデオ店		4,231	21	0	19	12	0	1	1	106				
貴金属店		738	14	0	14	12	0	0	0	7				
古物店		2,617	16	0	14	8	0	2	0	22				
給油所		5,918	35	0	32	27	1	2	1	211				
その他の商店		60,675	233	8	189	144	1	30	6	823				
サービス営業店		129,355	861	52	499	347	5	68	242	9,081				
生活環境営業		99,146	659	48	314	180	4	62	235	8,475				
一般ホテル・旅館		6,064	82	4	21	12	0	7	50	310				
サウナ等公衆浴場		7,540	7	0	5	3	1	1	1	197				
映画館劇場等		732	1	0	1	0	0	0	0	35				
ばちこ屋・まあじゃん屋等		20,531	75	4	48	21	2	19	4	894				
景品交換所		61	18	0	18	13	0	0	0	6				
ゲームセンター		9,452	15	0	14	8	0	0	1	478				
その他の風俗営業店		4,772	60	4	34	16	0	7	15	750				
個室付浴場		85	2	0	2	2	0	0	0	11				
ホテル・ラブホテル等		2,277	183	5	42	10	0	2	134	160				
その他の店舗型風俗特殊営業店		586	10	0	8	3	0	0	2	80				
深夜飲食店		13,773	74	9	43	27	0	8	14	2,818				
その他の飲食店		33,273	132	22	78	65	1	18	14	2,736				
金融機関等		18,475	186	2	179	164	0	3	2	238				
質屋		416	10	1	9	9	0	0	0	2				
貸金業		1,871	18	0	17	13	0	1	0	16				
銀行		10,247	23	0	23	17	0	0	0	107				
郵便局		3,104	115	0	115	111	0	0	0	67				
信用金庫・組合		1,398	13	0	13	12	0	0	0	18				
農(漁)業協同組合		1,439	7	1	2	2	0	2	2	28				
公営競技場		645	0	0	0	0	0	0	0	69				
競馬場		223	0	0	0	0	0	0	0	22				
競輪場		189	0	0	0	0	0	0	0	11				
オートレース場		68	0	0	0	0	0	0	0	7				
競艇場		165	0	0	0	0	0	0	0	29				
スポーツ・行楽施設		11,089	16	2	6	3	1	3	5	299				
ゴルフ場		2,052	2	0	2	2	0	0	0	20				
その他のスポーツ施設		8,368	12	2	3	1	1	2	5	251				
遊園地動物園		669	2	0	1	0	0	1	0	28				
学校(幼稚園)		37,235	57	5	7	1	0	30	15	1,713				
病(医)院診療所		12,591	43	24	7	4	0	8	4	516				
神社仏閣		10,899	29	0	7	2	3	18	4	202				
街頭		883,777	2,984	244	2,123	7	1,480	122	495	39,293				
道路上		286,079	2,024	147	1,662	0	1,289	36	179	26,046				
駐車(輪)場		534,915	537	37	301	4	143	63	136	5,894				
都市公園		16,268	116	18	54	0	37	3	41	1,832				
空き地		13,119	81	11	11	0	2	16	43	353				
公共交通機関等		30,272	52	19	23	3	5	3	7	4,329				
地下鉄内		1,508	1	1	0	0	0	0	0	184				
新幹線内		493	0	0	0	0	0	0	0	25				
その他の列車内		8,362	1	0	0	0	0	0	1	910				
駅		15,997	34	6	20	3	4	3	5	2,904				
その他の鉄道施設		802	2	2	0	0	0	0	0	57				
航空機内		58	0	0	0	0	0	0	0	8				
空港		487	0	0	0	0	0	0	0	38				
船舶内		325	1	1	0	0	0	0	0	6				
海港		1,780	12	9	2	0	1	0	1	64				
バス内		460	1	0	1	0	0	0	0	133				
その他の交通機関		2,150	163	11	66	0	3	0	86	712				
タクシー内		1,297	38	2	34	0	0	0	2	374				
その他の自動車内		853	125	9	32	0	3	0	84	338				
その他の街頭		974	11	1	6	0	1	1	3	127				
地下街地下道路		588	8	0	4	0	1	1	3	85				
高速道路		386	3	1	2	0	0	0	0	42				
その他		115,545	581	74	142	18	34	200	165	3,650				

凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯（平成19年）

凶器準備集合	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯	窃盗犯			非種・手口	発生場所
						侵入窃盗	乗り物盗	自動車盗		
19	31,966	30,986	2,553	7,384	1,429,956	175,728	510,162	31,790		総数
1	4,388	5,911	1,079	1,057	281,246	106,700	93,539	3,374		住宅
0	1,464	2,209	549	449	136,333	65,136	32,819	1,738		一戸建住宅
1	2,924	3,702	530	608	144,913	41,564	60,720	1,636		共同住宅
0	1,435	1,743	274	290	63,176	14,380	31,688	661		共同住宅（4階建以上）
1	1,489	1,959	256	318	81,737	27,184	29,032	975		共同住宅（3階建以下）
2	7,187	7,656	730	1,954	403,905	60,322	35,293	2,282		事務所等
0	583	863	217	268	50,507	24,016	3,618	1,563		一般事務所
1	5,978	5,359	355	1,474	309,495	28,327	19,967	673		店舗
1	2,124	1,316	115	530	222,743	14,066	14,412	491		商店
0	166	109	7	93	26,968	156	1,617	4		デパート
0	706	396	27	128	20,440	266	2,025	137		コンビニエンスストア
0	37	20	0	7	11,495	291	312	5		ドラッグストア
0	108	71	4	15	16,652	300	691	12		ディスカウントストア
1	544	302	19	157	87,463	1,328	6,460	69		その他のスーパーマーケット
0	57	31	2	16	3,401	189	553	3		レンタルビデオ店
0	2	4	0	1	472	54	21	4		貴金属店
0	13	6	0	3	2,264	338	138	24		古物店
0	103	86	3	19	3,316	1,065	134	46		給油所
0	388	291	53	91	50,272	10,079	2,461	187		その他の商店
0	3,854	4,043	240	944	86,752	14,261	5,555	182		サービス営業店
0	3,583	3,847	214	831	70,596	13,273	4,427	146		生活環境営業
0	129	137	11	33	4,265	585	116	15		一般ホテル・旅館
0	116	73	4	4	6,997	128	82	8		サウナ等公衆浴場
0	18	14	0	3	592	10	80	0		映画館劇場等
0	493	278	16	107	16,800	272	808	39		ぱちんこ屋・まあじゃん屋等
0	0	0	1	5	20	9	0	0		景品交換所
0	223	142	1	112	8,015	118	1,018	8		ゲームセンター
0	280	412	18	40	2,792	485	393	12		その他の風俗営業店
0	5	4	1	1	55	11	4	1		個室付浴場
0	46	64	10	40	1,074	88	13	2		モーテル・ラブホテル等
0	25	38	5	12	353	92	20	4		その他の店舗型風俗特殊営業店
0	1,101	1,550	56	111	7,520	2,427	215	9		深夜飲食店
0	1,147	1,135	91	363	22,113	9,048	1,678	48		その他の飲食店
0	83	48	17	90	6,094	309	230	14		金融機関等
0	0	0	0	2	106	18	2	0		質屋
0	2	2	2	10	414	30	2	1		貸金業
0	38	16	5	48	3,334	6	99	2		銀行
0	28	16	5	18	906	22	47	0		郵便局
0	5	1	4	8	441	10	18	1		信用金庫・組合
0	10	13	1	4	893	223	62	10		農(漁)業協同組合
0	48	18	1	2	477	6	39	0		公営競技場
0	18	2	1	1	176	3	7	0		競馬場
0	10	1	0	0	137	0	26	0		競輪場
0	3	4	0	0	51	2	4	0		オートレース場
0	17	11	0	1	113	1	2	0		競艇場
0	140	130	8	21	9,585	673	859	22		スポーツ・行楽施設
0	9	11	0	0	1,875	279	18	12		ゴルフ場
0	117	110	7	17	7,150	372	826	10		その他のスポーツ施設
0	14	9	1	4	560	22	15	0		遊園地動物園
0	373	1,088	110	142	24,493	3,465	10,889	21		学校(幼稚園)
1	196	242	43	34	10,185	2,227	603	14		病(医)院診療所
0	57	104	5	36	9,225	2,287	216	11		神社仏閣
15	18,993	15,665	578	4,042	655,357	250	366,799	23,315		街頭
6	12,902	10,413	368	2,357	185,514	0	103,381	2,857		道路上
5	2,088	2,583	133	1,085	432,199	138	253,798	19,535		駐車(輪)場
4	574	925	26	303	8,833	23	2,165	14		都市公園
0	90	198	3	62	8,933	0	2,947	889		空き地
0	2,963	1,224	31	111	19,138	82	4,495	17		公共交通機関等
0	133	51	0	0	1,176	0	0	0		地下鉄内
0	15	9	0	1	436	0	0	0		新幹線内
0	683	211	7	9	6,456	0	0	0		その他の列車内
0	1,950	845	21	88	8,472	44	4,399	5		駅
0	35	17	0	5	268	13	38	0		その他の鉄道施設
0	7	1	0	0	42	0	0	0		航空機内
0	26	11	1	0	312	5	4	1		空港
0	2	4	0	0	287	0	1	0		船舶内
0	21	35	2	6	1,449	20	53	11		海港
0	91	40	0	2	240	0	0	0		バス内
0	317	266	16	113	239	0	0	0		その他の交通機関
0	239	98	1	36	142	0	0	0		タクシー内
0	78	168	15	77	97	0	0	0		その他の自動車内
0	59	56	1	11	501	7	13	3		その他の街頭
0	43	30	1	11	345	5	4	0		地下街地下道路
0	16	26	0	0	156	2	9	3		高速道路
1	1,398	1,754	166	331	89,448	8,456	14,531	2,819		その他

図表5-20 刑法犯の発生場所別認知件数（非侵入窃盗、

発生場所	罪種・手口									知能犯
	オートバイ盗	自転車盗	非侵入窃盗	うちひったくり	うちすり	うち車上ねらい	うち部品ねらい	うち自動販売機ねらい		
総数	83,028	395,344	744,066	23,687	10,220	168,129	78,016	50,846	75,999	
住宅	23,054	67,111	81,007	98	0	17,570	11,569	2,300	29,987	
一戸建住宅	8,563	22,518	38,378	0	0	11,356	3,605	817	20,730	
共同住宅	14,491	44,593	42,629	98	0	6,214	7,964	1,483	9,257	
共同住宅（4階建以上）	6,905	24,122	17,108	74	0	2,548	4,221	710	5,194	
共同住宅（3階建以下）	7,586	20,471	25,521	24	0	3,666	3,743	773	4,063	
事業所等	3,463	29,548	308,290	178	4,371	10,219	3,267	19,443	33,996	
一般事務所	534	1,521	22,873	2	14	1,608	1,663	7,325	4,850	
店舗	2,342	16,952	261,201	166	4,060	6,803	1,323	11,485	28,635	
商店	1,463	12,458	194,265	110	2,257	4,079	938	8,432	9,991	
デパート	111	1,502	25,195	20	955	162	30	101	608	
コンビニエンスストア	215	1,673	18,149	7	39	725	62	260	1,237	
ドラッグストア	24	283	10,892	2	21	185	10	224	128	
ディスカウントストア	75	604	15,661	2	127	266	38	215	511	
その他のスーパーマーケット	478	5,913	79,675	70	883	1,503	161	1,421	1,505	
リサイクルデパート	49	501	2,659	0	11	217	15	60	356	
貴金属店	4	13	397	1	0	16	10	6	185	
古物店	12	102	1,788	0	2	62	49	30	138	
給油所	40	48	2,117	1	0	84	26	347	1,593	
その他の商店	455	1,819	37,732	7	219	859	537	5,768	3,730	
サービス営業店	879	4,494	66,936	56	1,803	2,724	385	3,053	18,644	
生活環境営業	765	3,516	52,896	47	1,534	2,262	297	1,632	8,011	
一般ホテル・旅館	20	81	3,564	1	17	85	24	157	983	
サウナ等公衆浴場	16	58	6,787	0	24	192	9	123	110	
映画館劇場等	5	75	502	0	71	8	3	3	13	
ばちこ屋・まあじゃん屋等	222	547	15,720	31	415	785	79	170	282	
景品交換所	0	0	11	1	0	0	0	0	11	
ゲームセンター	120	890	6,879	5	526	122	34	190	54	
その他の風俗営業店	57	324	1,914	1	58	57	31	84	418	
個室付浴場	0	3	40	0	0	1	0	1	6	
ホテル・ラブホテル等	4	7	973	3	5	35	4	34	594	
その他の店舗型風俗特殊営業店	2	14	241	0	3	3	3	16	41	
深夜飲食店	33	173	4,878	3	209	115	22	36	1,740	
その他の飲食店	286	1,344	11,387	2	206	859	88	818	3,759	
金融機関等	46	170	5,555	7	46	102	42	278	10,523	
質屋	0	2	86	0	0	1	0	0	249	
貸金業	0	1	382	0	1	0	0	2	1,324	
銀行	16	81	3,229	4	28	21	11	3	6,144	
郵便局	10	37	837	2	13	14	3	9	1,778	
信用金庫・組合	2	15	413	1	2	13	5	4	779	
農(漁)業協同組合	18	34	608	0	2	53	23	260	249	
公営競技場	8	31	432	1	122	13	2	22	19	
競馬場	0	7	166	1	44	4	0	3	6	
競輪場	6	20	111	0	38	1	1	4	4	
オートレース場	2	2	45	0	11	7	1	13	4	
競艇場	0	2	110	0	29	1	0	2	5	
スポーツ・行楽施設	60	777	8,053	1	101	347	44	1,121	91	
ゴルフ場	3	3	1,578	0	1	70	9	332	19	
その他のスポーツ施設	57	759	5,952	0	59	259	31	726	62	
遊園地動物園	0	15	523	1	41	18	4	63	10	
学校(幼稚園)	458	10,410	10,139	3	22	1,360	215	361	127	
病(医)院診療所	107	482	7,355	3	65	219	55	238	318	
神社仏閣	22	183	6,722	4	210	229	11	34	66	
街頭	54,012	289,472	288,308	23,215	5,299	135,832	60,835	17,336	8,939	
道路上	15,185	85,339	82,133	22,872	1,005	27,462	5,049	9,825	5,133	
駐車(輪)場	37,889	196,374	178,263	268	58	104,541	54,605	5,547	1,109	
都市公園	194	1,957	6,645	25	97	1,559	97	518	54	
空き地	502	1,556	5,986	2	3	1,982	704	1,151	19	
公共交通機関等	240	4,238	14,561	42	4,069	255	376	284	1,775	
地下鉄内	0	0	1,176	1	699	0	0	3	2	
新幹線内	0	0	436	0	112	0	0	0	0	
その他の列車内	0	0	6,456	6	2,531	0	0	1	17	
駅	223	4,171	4,029	32	600	72	102	225	1,608	
その他の鉄道施設	1	37	217	3	12	10	20	14	11	
航空機内	0	0	42	0	4	0	0	0	3	
空港	1	2	303	0	16	5	2	4	94	
船舶内	0	1	286	0	6	0	32	0	1	
海浜	15	27	1,376	0	13	168	220	37	15	
バス内	0	0	240	0	76	0	0	0	24	
その他の交通機関	0	0	239	0	23	0	0	2	750	
タクシー内	0	0	142	0	4	0	0	0	667	
その他の自動車内	0	0	97	0	19	0	0	2	83	
その他の街頭	2	8	481	6	44	33	4	9	99	
地下街地下道路	0	4	336	6	44	1	1	4	12	
高速道路	2	4	145	0	0	32	3	5	87	
その他	2,499	9,213	66,461	196	550	4,508	2,345	11,767	3,077	

知能犯、風俗犯、その他の刑法犯) (平成19年)

うち詐欺	風俗犯	うち強制わいせつ	その他の刑法犯	発生場所					非種・手口
				うち占有離脱物横領	うち公務執行妨害	うち住居侵入	うち略取誘拐・人身売買	うち器物損壊等	
67,787	11,184	7,664	309,738	83,449	3,569	27,383	207	185,472	総数
29,523	2,356	1,849	70,112	3,998	242	17,579	39	46,540	住宅
20,508	454	329	32,745	430	95	9,448	18	21,958	一戸建住宅
9,015	1,902	1,520	37,367	3,568	147	8,131	21	24,582	共同住宅
5,069	1,170	940	17,537	1,816	73	2,643	10	12,533	共同住宅(4階建以上)
3,946	732	580	19,830	1,752	74	5,488	11	12,049	共同住宅(3階建以下)
28,324	1,793	721	50,668	5,696	474	7,974	27	34,168	事務所等
3,285	111	51	9,916	425	198	2,334	0	6,479	一般事務所
24,603	1,457	474	27,226	3,932	225	3,276	20	18,337	店舗
8,207	834	190	13,832	2,354	80	1,639	9	9,126	商店
495	58	30	1,059	189	9	56	1	751	デパート
1,024	107	21	1,859	550	32	40	3	1,158	コンビニエンスストア
92	12	5	382	54	0	50	0	263	ドラッグストア
373	25	5	528	111	4	78	0	311	ディスカウントストア
1,259	120	60	3,552	969	16	287	3	2,079	その他のスーパーマーケット
317	140	9	207	48	0	26	0	116	レンタルビデオ店
156	0	0	60	5	0	12	0	42	貴金属店
106	14	4	163	15	0	33	0	71	古物店
1,551	4	1	759	142	5	70	0	530	給油所
2,834	354	55	5,263	271	14	987	2	3,805	その他の商店
16,396	623	284	13,394	1,578	145	1,637	11	9,211	サービス営業店
7,572	558	254	10,847	1,199	123	1,387	10	7,624	生活環境営業
932	58	55	366	32	1	58	2	238	一般ホテル・旅館
104	31	25	198	43	3	41	1	98	サウナ等公衆浴場
9	18	2	73	11	0	2	0	58	映画館劇場等
231	24	5	2,456	572	7	137	0	1,668	ばちこ屋・まあじゃん屋等
10	0	0	6	0	0	2	0	4	景品交換所
45	29	10	861	198	3	35	0	586	ゲームセンター
390	134	14	618	50	17	35	3	481	その他の風俗営業店
5	1	1	10	1	1	3	0	4	個室付浴場
581	36	35	230	8	1	13	2	184	Motel・ラブホテル等
20	46	0	56	1	1	6	1	41	その他の店舗型風俗特殊営業店
1,703	57	47	1,564	33	44	186	1	1,245	深夜飲食店
3,542	124	60	4,409	250	45	869	0	3,017	その他の飲食店
8,741	21	8	1,413	205	15	120	1	814	金融機関等
228	0	0	49	1	0	5	0	12	質屋
835	2	2	97	8	0	14	0	69	貸金業
5,386	5	3	634	141	6	19	1	311	銀行
1,470	9	1	229	20	9	30	0	135	郵便局
648	0	0	147	25	0	4	0	98	信用金庫・組合
174	5	2	257	10	0	48	0	189	農(漁)業協同組合
12	0	0	80	40	2	4	0	22	公営競技場
4	0	0	19	10	1	1	0	4	競馬場
1	0	0	37	17	0	2	0	11	競輪場
4	0	0	6	4	0	0	0	2	オートレース場
3	0	0	18	9	1	1	0	5	競艇場
71	44	22	1,054	134	5	126	0	751	スポーツ・行楽施設
14	13	1	123	8	1	32	0	79	ゴルフ場
54	29	19	864	109	4	90	0	627	その他のスポーツ施設
3	2	2	67	17	0	4	0	45	遊園地動物園
101	90	75	10,755	1,068	13	1,768	6	7,675	学校(幼稚園)
276	100	95	1,429	96	32	254	1	886	病(医)院診療所
59	35	26	1,342	175	6	342	0	791	神社仏閣
7,948	6,423	4,640	170,781	69,891	2,337	225	134	93,712	街頭
4,540	4,397	3,223	62,965	41,651	1,889	0	91	16,671	道路上
962	732	488	94,444	22,856	271	107	21	70,170	駐車(輪)場
50	324	203	5,109	2,647	16	23	10	2,103	都市公園
11	89	75	3,644	1,969	11	0	3	1,577	空き地
1,641	758	540	4,220	737	104	94	6	2,952	公共交通機関等
1	60	44	85	2	8	0	0	73	地下鉄内
0	3	0	29	3	0	0	0	23	新幹線内
16	528	394	450	59	1	0	0	377	その他の列車内
1,556	130	77	2,849	601	80	73	5	1,952	駅
10	9	5	455	30	2	4	0	286	その他の鉄道施設
0	0	0	5	2	0	0	0	2	航空機内
30	2	1	41	7	1	5	1	19	空港
1	0	0	30	1	0	6	0	18	船舶内
7	4	4	236	18	3	6	0	187	海港
20	22	15	40	14	9	0	0	15	バス内
679	100	93	186	19	42	0	3	63	その他の交通機関
617	11	11	65	17	3	0	0	42	タクシー内
62	89	82	121	2	39	0	3	21	その他の自動車内
65	23	18	213	12	4	1	0	176	その他の街頭
11	22	17	116	10	1	1	0	91	地下街地下道路
54	1	1	97	2	3	0	0	85	高速道路
1,992	612	454	18,177	3,864	516	1,605	7	11,052	その他

(裏面)

図 表 索 引

1	1 - 1	刑法犯の認知・検挙状況の推移	1
2	1 - 2	包括罪種別の認知・検挙状況の推移	2
3	1 - 3 - (1)	刑法犯 死傷被害者数の推移	3
4	1 - 3 - (2)	財産犯 被害額の推移	3
5	2 - 1	街頭犯罪の認知状況の推移	7
6	2 - 1 - (1) - 1	路上強盗の認知・検挙状況の推移	8
7	2 - 1 - (1) - 2	路上強盗の発生場所別認知件数	9
8	2 - 1 - (1) - 3	路上強盗の発生時間帯別認知件数	9
9	2 - 1 - (1) - 4	路上強盗の被害者の年齢・性別認知件数(平成19年)	9
10	2 - 1 - (1) - 5	路上強盗の共犯形態別検挙件数	9
11	2 - 1 - (1) - 6	路上強盗の検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段	10
12	2 - 1 - (2) - 1	ひったくりの認知・検挙状況の推移	11
13	2 - 1 - (2) - 2	ひったくりの発生場所別認知件数	11
14	2 - 1 - (2) - 3	ひったくりの発生時間帯別認知件数	11
15	2 - 1 - (2) - 4	ひったくりの被害者の年齢・性別認知件数(平成19年)	12
16	2 - 1 - (2) - 5	ひったくりの共犯形態別検挙件数	12
17	2 - 1 - (2) - 6	ひったくりの検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段	12
18	2 - 1 - (3) - 1	強姦の認知・検挙状況の推移	13
19	2 - 1 - (3) - 2	街頭における強姦の発生場所別認知件数	13
20	2 - 1 - (3) - 3	街頭における強姦の発生時間帯別認知件数	14
21	2 - 1 - (3) - 4	街頭における強姦の被害者の年齢別認知件数(平成19年)	14
22	2 - 1 - (3) - 5	強姦の共犯形態別検挙件数	14
23	2 - 1 - (4) - 1	強制わいせつの認知・検挙状況の推移	15
24	2 - 1 - (4) - 2	街頭における強制わいせつの発生場所別認知件数	15
25	2 - 1 - (4) - 3	街頭における強制わいせつの発生時間帯別認知件数	15
26	2 - 1 - (4) - 4	街頭における強制わいせつの被害者の年齢・性別認知件数(平成19年)	16
27	2 - 1 - (4) - 5	強制わいせつの共犯形態別検挙件数	16
28	2 - 1 - (5) - 1	略取・誘拐の認知・検挙状況の推移	17
29	2 - 1 - (5) - 2	街頭における略取・誘拐の発生場所別認知件数	17
30	2 - 1 - (5) - 3	街頭における略取・誘拐の発生時間帯別認知件数	17
31	2 - 1 - (5) - 4	街頭における略取・誘拐の被害者の年齢別認知件数(平成19年)	18
32	2 - 1 - (5) - 5	略取・誘拐の共犯形態別検挙件数	18
33	2 - 1 - (6) - 1	街頭における暴行・傷害・恐喝の認知・検挙状況の推移	19
34	2 - 1 - (6) - 2	街頭における暴行・傷害・恐喝の発生場所別認知件数	20
35	2 - 1 - (6) - 3	街頭における暴行・傷害・恐喝の被害者の年齢・性別認知件数(平成19年)	20
36	2 - 1 - (6) - 4	街頭における傷害・恐喝の発生時の犯罪供用物の状況	21
37	2 - 1 - (7) - 1	自動車盗の認知・検挙状況の推移	22
38	2 - 1 - (7) - 2	自動車盗の発生場所別認知件数	22
39	2 - 1 - (7) - 3	自動車盗のキーの有無別認知件数の推移	22
40	2 - 1 - (7) - 4	自動車盗の被害額別認知件数の推移	23
41	2 - 1 - (7) - 5	被害自動車の還付数・還付率の推移	23
42	2 - 1 - (7) - 6	自動車盗の共犯形態別検挙件数	23
43	2 - 1 - (8) - 1	オートバイ盗の認知・検挙状況の推移	24
44	2 - 1 - (8) - 2	オートバイ盗の発生場所別認知件数	24
45	2 - 1 - (8) - 3	オートバイ盗のキーの有無別認知件数の推移	25
46	2 - 1 - (8) - 4	被害オートバイの還付数・還付率の推移	25
47	2 - 1 - (8) - 5	オートバイ盗の共犯形態別検挙件数	25
48	2 - 1 - (9) - 1	自転車盗の認知・検挙状況の推移	26
49	2 - 1 - (9) - 2	自転車盗の発生場所別認知件数	26
50	2 - 1 - (9) - 3	自転車盗の施錠の有無別認知件数の推移	26
51	2 - 1 - (9) - 4	被害自転車の還付数・還付率の推移	27
52	2 - 1 - (9) - 5	自転車盗の共犯形態別検挙件数	27
53	2 - 1 - (10) - 1	車上ねらいの認知・検挙状況の推移	28
54	2 - 1 - (10) - 2	車上ねらいの発生場所別認知件数	28
55	2 - 1 - (10) - 3	車上ねらいの施錠の有無別認知件数の推移	28
56	2 - 1 - (10) - 4	車上ねらいの共犯形態別検挙件数	29
57	2 - 1 - (11) - 1	部品ねらいの認知・検挙状況の推移	30

58	2 - 1 - (11) - 2	部品ねらいの発生場所別認知件数	3 0
59	2 - 1 - (11) - 3	部品ねらいの共犯形態別検挙件数	3 0
60	2 - 1 - (12) - 1	自動販売機ねらいの認知・検挙状況の推移	3 1
61	2 - 1 - (12) - 2	自動販売機ねらいの発生場所別認知件数	3 2
62	2 - 1 - (12) - 3	自動販売機ねらいの共犯形態別検挙件数	3 2
63	2 - 2	侵入犯罪の認知状況の推移	3 3
64	2 - 2 - (1) - 1	侵入強盗の認知・検挙状況の推移	3 4
65	2 - 2 - (1) - 2	侵入強盗に伴う身体犯の認知件数の推移	3 4
66	2 - 2 - (1) - 3	侵入強盗の発生場所別認知件数	3 4
67	2 - 2 - (1) - 4	侵入強盗の発生時間帯別認知件数	3 5
68	2 - 2 - (1) - 5	侵入強盗の共犯形態別検挙件数	3 5
69	2 - 2 - (2) - 1	侵入窃盗の認知・検挙状況の推移	3 6
70	2 - 2 - (2) - 2	侵入窃盗の発生場所別認知件数	3 6
71	2 - 2 - (2) - 3	侵入窃盗の発生場所別の侵入口・侵入手段（平成19年）	3 7
72	2 - 2 - (2) - 4	ピッキング用具を使用した認知・検挙状況の推移	3 7
73	2 - 2 - (2) - 5	ドリルを使用したサムターン回しによる認知・検挙状況の推移	3 7
74	2 - 2 - (2) - 6	侵入窃盗の共犯形態別検挙件数	3 8
75	2 - 2 - (3) - 1	住居侵入の認知・検挙状況の推移	3 9
76	2 - 2 - (3) - 2	住居侵入の発生場所別認知件数	3 9
77	2 - 2 - (3) - 3	住居侵入の共犯形態別検挙件数	4 0
78	3 - 1	詐欺の認知・検挙状況の推移	4 3
79	3 - 2	振り込め詐欺（恐喝）の認知・検挙状況	4 4
80	3 - 2 - (1) - 1	いわゆるオレオレ詐欺（恐喝）の認知・検挙状況	4 4
81	3 - 2 - (1) - 2	いわゆるオレオレ詐欺（恐喝）の形態別（文言別）認知事件数	4 5
82	3 - 2 - (1) - 3	オレオレ詐欺（恐喝）事件の1件当たりの被害額	4 5
83	3 - 2 - (2) - 1	架空請求詐欺（恐喝）の認知・検挙状況	4 6
84	3 - 2 - (2) - 2	架空請求詐欺（恐喝）事件の形態別（文言別）認知事件数	4 7
85	3 - 2 - (2) - 3	架空請求詐欺（恐喝）事件の1件当たりの被害額	4 7
86	3 - 2 - (3) - 1	融資保証金詐欺の認知・検挙状況	4 8
87	3 - 2 - (3) - 2	融資保証金詐欺（恐喝）事件の1件当たりの被害額	4 8
88	3 - 2 - (4) - 1	還付金等詐欺事件の認知・検挙状況	5 0
89	3 - 2 - (4) - 2	還付金等詐欺事件の1件当たりの被害額	5 0
90	3 - 3 - (1)	口座詐欺事件等の検挙状況	5 1
91	3 - 3 - (2)	携帯電話端末詐欺事件の検挙状況	5 2
92	4 - 1 - (1)	重要犯罪の認知・検挙状況の推移	5 5
93	4 - 1 - (2) - 1	殺人事件の認知・検挙状況の推移	5 6
94	4 - 1 - (2) - 2	殺人事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成19年）	5 6
95	4 - 1 - (2) - 3	殺人事件の発生場所別認知件数の状況（平成19年）	5 6
96	4 - 1 - (2) - 4	殺人事件の検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段（平成19年）	5 7
97	4 - 1 - (2) - 5	殺人事件の年齢別検挙人員	5 7
98	4 - 1 - (2) - 6	捜査本部設置・解決状況の推移	5 8
99	4 - 1 - (2) - 7	通り魔殺人事件の認知・検挙の推移	5 8
100	4 - 1 - (2) - 8	保険金目的殺人事件の検挙件数の推移	5 9
101	4 - 1 - (2) - 9	殺人事件の検挙件数における被疑者と被害者の関係	6 0
102	4 - 1 - (3) - 1	強盗事件の認知・検挙状況の推移	6 1
103	4 - 1 - (3) - 2	強盗事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成19年）	6 1
104	4 - 1 - (3) - 3	強盗事件の発生時の犯罪供用物の状況（平成19年）	6 2
105	4 - 1 - (3) - 4	強盗事件に伴う身体犯の認知件数の推移	6 2
106	4 - 1 - (3) - 5	強盗事件の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成19年）	6 2
107	4 - 1 - (3) - 6	強盗事件の年齢別検挙人員	6 2
108	4 - 1 - (3) - 7	金融機関・郵便局対象強盗事件の認知・検挙状況の推移	6 4
109	4 - 1 - (3) - 8	金融機関・郵便局対象強盗事件の内訳	6 4
110	4 - 1 - (3) - 9	金融機関・郵便局対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成19年）	6 4
111	4 - 1 - (3) - 10	防犯設備の設置・活用状況（平成19年）（金融機関・郵便局対象）	6 4
112	4 - 1 - (3) - 11	消費者金融対象強盗事件の認知状況の推移	6 5
113	4 - 1 - (3) - 12	消費者金融対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成19年）	6 5
114	4 - 1 - (3) - 13	防犯設備の設置・活用状況（平成19年）（消費者金融対象）	6 5
115	4 - 1 - (3) - 14	深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の認知・検挙状況の推移	6 6

116	4 - 1 - (3) - 15	深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の発生時間帯別 認知事件数（平成19年）	6 6
117	4 - 1 - (3) - 16	防犯設備の設置・活用状況（平成19年）（深夜スーパーマーケット等対象）	6 6
118	4 - 1 - (3) - 17	ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の認知状況の推移	6 7
119	4 - 1 - (3) - 18	ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の発生時間帯別認知件数（平成19年）	6 7
120	4 - 1 - (3) - 19	ぱちんこ景品買取所対象強盗事件の認知事件件数の推移	6 8
121	4 - 1 - (3) - 20	ぱちんこ景品買取所対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成19年）	6 8
122	4 - 1 - (3) - 21	現金輸送車対象強盗事件の認知・検挙状況の推移	6 8
123	4 - 1 - (3) - 22	タクシー対象強盗事件の認知事件数の推移	6 9
124	4 - 1 - (3) - 23	タクシー対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成19年）	6 9
125	4 - 1 - (3) - 24	防犯仕切板の活用と負傷等の状況（平成19年）	6 9
126	4 - 1 - (3) - 25	強盗の手口別認知件数	7 0
127	4 - 1 - (3) - 26	強盗の手口別検挙件数・検挙率	7 0
128	4 - 1 - (3) - 27	強盗の手口別検挙人員	7 0
129	4 - 1 - (4) - 1	強姦の認知・検挙状況の推移	7 1
130	4 - 1 - (4) - 2	強制わいせつの認知・検挙状況の推移	7 1
131	4 - 1 - (4) - 3	主な性犯罪の発生時間帯別認知件数の状況（平成19年）	7 1
132	4 - 1 - (4) - 4	主な性犯罪の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成19年）	7 2
133	4 - 1 - (4) - 5	強姦の年齢別検挙人員	7 2
134	4 - 1 - (4) - 6	強制わいせつの年齢別検挙人員	7 2
135	4 - 1 - (5) - 1	略取誘拐・人身売買事件の認知・検挙状況の推移	7 3
136	4 - 1 - (5) - 2	略取誘拐・人身売買の被害者の年齢・性別認知件数の状況（平成19年）	7 3
137	4 - 1 - (5) - 3	略取誘拐・人身売買事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成19年）	7 4
138	4 - 1 - (5) - 4	略取誘拐・人身売買事件の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成19年）	7 4
139	4 - 1 - (5) - 5	略取誘拐・人身売買の被疑者の年齢・性別検挙人員の状況（平成19年）	7 4
140	4 - 1 - (5) - 6	身の代金目的略取・誘拐事件の認知・検挙状況の推移	7 4
141	4 - 1 - (5) - 7	略取誘拐・人身売買の年齢別検挙人員	7 5
142	4 - 1 - (6) - 1	放火事件の認知・検挙状況の推移	7 5
143	4 - 1 - (6) - 2	放火事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成19年）	7 6
144	4 - 1 - (6) - 3	放火の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成19年）	7 6
145	4 - 1 - (6) - 4	放火の年齢別検挙人員	7 6
146	4 - 2 - (1) - 1	重要窃盗犯手口別認知・検挙状況の推移	7 7
147	4 - 2 - (1) - 2	侵入盗の年齢別検挙人員	7 8
148	4 - 2 - (1) - 3	侵入盗のうち住宅対象の年齢別検挙人員	7 8
149	4 - 2 - (1) - 4	侵入盗のうち住宅対象以外の年齢別検挙人員	7 8
150	4 - 2 - (1) - 5	自動車盗の年齢別検挙人員	7 9
151	4 - 2 - (1) - 6	ひったくりの年齢別検挙人員	7 9
152	4 - 2 - (1) - 7	すり 犯行時の年齢別 検挙人員	7 9
153	4 - 2 - (2)	組織窃盗事件（登録・認定）数の推移	8 0
154	4 - 2 - (3)	建設機械等を使用したATM等を対象とした窃盗事件の認知事件数の推移	8 2
155	4 - 3 - (1)	人質立てこもり事件の認知・検挙状況の推移	8 3
156	4 - 4 - (1) - 1	政治・行政をめぐる不正事案の検挙事件数	8 4
157	4 - 4 - (1) - 2	罪種別検挙状況（第16回統一地方選挙）	8 6
158	4 - 4 - (1) - 3	罪種別検挙状況（第21回参議院議員通常選挙）	8 7
159	4 - 4 - (2)	金融・不良債権関連事犯検挙事件数の推移	9 1
160	4 - 4 - (3)	偽造日本銀行券の発見枚数の推移	9 2
170	4 - 5 - (2)	公然わいせつの認知・検挙状況の推移	9 4
171	4 - 5 - (3)	わいせつ物頒布等の認知・検挙状況の推移	9 4
172	4 - 5 - (4)	賭博の認知・検挙状況の推移	9 5
173	4 - 6 - (1) - 1	高齢者の刑法犯検挙人員の推移	9 6
174	4 - 6 - (1) - 2	高齢者の包括罪種別検挙人員の推移	9 6
175	4 - 6 - (2) - 1	薬物常用者による刑法犯検挙人員の推移	9 7
176	4 - 6 - (2) - 2	薬物常用者による刑法犯罪種別検挙人員の推移	9 7
177	4 - 6 - (3) - 1	銃器使用事件の認知件数の推移	9 8
178	4 - 6 - (3) - 2	刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数の推移	9 9
179	4 - 6 - (3) - 3	殺人及び強盗における銃砲刀剣類等を使用した事件の認知件数	9 9
180	4 - 6 - (3) - 4	猟銃等使用事件の発生状況	9 9
181	4 - 6 - (4) - 1	カードの窃盗被害の状況（平成19年）	1 0 0
182	4 - 6 - (4) - 2	カード偽造犯罪の認知・検挙状況	1 0 1

183	4 - 6 - (4) - 3	カードを使用した窃盗（払出盗）の状況（平成19年）	102
184	4 - 6 - (4) - 4	カードを使用した詐欺の状況（平成19年）	102
185	4 - 6 - (5) - 1	暴行の認知・検挙状況	103
186	4 - 6 - (5) - 2	傷害の認知・検挙状況	103
187	4 - 6 - (5) - 3	傷害致死の認知・検挙状況	103
188	4 - 6 - (5) - 4	暴行の検挙件数における犯罪供物の有無	103
189	4 - 6 - (5) - 5	暴行の年齢別検挙人員	104
190	4 - 6 - (5) - 6	傷害の年齢別検挙人員	104
191	4 - 6 - (5) - 7	万引きの認知・検挙状況	104
192	4 - 6 - (5) - 8	置引きの認知・検挙状況	104
193	4 - 6 - (5) - 9	万引きの年齢別検挙人員	105
194	4 - 6 - (5) - 10	置引きの年齢別検挙人員	105
195	4 - 6 - (5) - 11	公務執行妨害の認知・検挙状況	105
196	4 - 6 - (5) - 12	公務執行妨害の年齢別検挙人員	106
197	4 - 6 - (5) - 13	器物損壊の認知・検挙状況	106
198	4 - 6 - (5) - 14	器物損壊の年齢別検挙人員	106
199	4 - 7 - (1)	少年の刑法犯検挙人員の推移	107
200	4 - 7 - (2)	刑法犯検挙件数に占める共犯事件の推移	108
201	4 - 7 - (3)	触法少年（刑法）の補導状況	109
202	4 - 8 - (1)	来日外国人の刑法犯検挙状況の推移	110
203	4 - 8 - (2) - 1	国籍・地域別検挙状況（来日外国人）	110
204	4 - 8 - (2) - 2	検挙人員構成比（来日外国人）	110
205	4 - 8 - (3)	来日外国人の凶悪犯検挙状況の推移	111
206	4 - 8 - (4) - 1	来日外国人の刑法犯検挙件数に占める共犯事件の推移	112
207	4 - 8 - (4) - 2	刑法犯検挙件数 罪種等別・共犯形態（来日外国人・日本人）	112
208	4 - 8 - (5)	来日外国人の罪種等別・在留資格別検挙人員の比較	113
209	4 - 9 - (1) - 1	暴力団構成員等の推移	114
210	4 - 9 - (1) - 2	主要3団体の暴力団構成員等の比較	114
211	4 - 9 - (2) - 1	暴力団構成員等の罪種別検挙件数の推移	115
212	4 - 9 - (2) - 2	暴力団構成員等の罪種別検挙人員の推移	116
213	4 - 9 - (2) - 3	暴力団構成員の罪種別検挙人員の推移	116
214	4 - 10 - (1) - 1	女性の刑法犯被害件数	117
215	4 - 10 - (1) - 2	罪種別被害状況（女性）	118
216	4 - 10 - (1) - 3	年齢層別の犯罪被害件数（平成19年）（女性）	119
217	4 - 10 - (1) - 4	罪種別・場所別被害発生件数（平成19年）（女性）	119
218	4 - 10 - (1) - 5	配偶者による殺人、傷害及び暴行事件の検挙件数の推移	120
219	4 - 10 - (2) - 1	子どもの刑法犯被害件数	121
220	4 - 10 - (2) - 2	罪種別被害状況（子ども）	122
221	4 - 10 - (2) - 3	就学別の犯罪被害件数（平成19年）	123
222	4 - 10 - (2) - 4	就学別・場所別被害発生件数（平成19年）	124
223	4 - 10 - (2) - 5	罪種別・場所別被害発生件数（平成19年）（就学別）	124
224	4 - 10 - (2) - 6	罪種別被害発生件数（子ども対象・暴力的性犯罪）	124
225	4 - 10 - (3) - 1	高齢者の刑法犯被害件数	125
226	4 - 10 - (3) - 2	罪種別被害状況（高齢者）	126
227	4 - 10 - (3) - 3	罪種別・場所別被害発生件数（平成19年）（高齢者）	127
228	5 - 1	刑法犯の認知・検挙状況の推移	131
229	5 - 2	刑法犯の罪種別犯罪率の推移	132
230	5 - 3	刑法犯の都道府県別認知件数の推移	134
231	5 - 4	刑法犯の都道府県別検挙件数の推移	136
232	5 - 5	刑法犯の都道府県別検挙人員の推移	138
233	5 - 6	刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移	140
234	5 - 7	凶悪犯の罪種別認知・検挙状況の推移	140
235	5 - 8	粗暴犯の罪種別認知・検挙状況の推移	142
236	5 - 9	窃盗犯の手口別認知・検挙状況の推移	142
237	5 - 10	侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	144
238	5 - 11	乗り物盗の手口別認知・検挙状況の推移	144
239	5 - 12	非侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	146
240	5 - 13	知能犯の罪種別認知・検挙状況の推移	146
241	5 - 14	風俗犯の罪種別認知・検挙状況の推移	148

242	5 - 15	その他の刑法犯の罪種別認知・検挙状況の推移	1 4 8
243	5 - 16	街頭犯罪・侵入犯罪の認知・検挙状況の推移	1 5 0
244	5 - 17	来日外国人刑法犯の罪種・手口別検挙状況の推移	1 5 2
245	5 - 18	来日外国人刑法犯の国籍別検挙状況の推移	1 5 4
246	5 - 19	刑法犯の発生場所別認知件数(全刑法犯、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯)	1 5 6
247	5 - 20	刑法犯の発生場所別認知件数(非侵入窃盗、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯)	1 5 7